

# 東長岡戸井口遺跡

東長岡住宅団地建設工事に  
伴う埋蔵文化財調査報告書

第4分冊 旧石器時代編

1999

群馬県住宅供給公社  
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団



ひがしながおかといぐちいせき  
**東長岡戸井口遺跡**

東長岡住宅団地建設工事に  
伴う埋蔵文化財調査報告書

第4分冊 旧石器時代編

1999

群馬県住宅供給公社  
群馬県埋蔵文化財調査事業団





第1文化層 A地点出土の石器 (1)



第1文化層 A地点出土の石器 (2)



第1文化層 A地点出土の接合資料(1)



第1文化層 A地点出土の接合資料(2)



第1文化層 B地点出土の石器



第2・第3文化層 出土の石器



チャートa類 (第1文化層・A地点)



チャートb類 (第1文化層・A地点)



チャートc類 (第1文化層・A地点)



チャートc類 (第1文化層・A地点)



# 凡 例

1. 挿図中に使用した方位は、総て国土座標の北を使用している。

2. 遺構実測図は以下の縮尺で掲載した。

全体図	1/400
ブロック図	1/60
標群・焼土遺構	1/40
接合資料・母岩の分布図	1/80・1/200・1/400

3. 遺物実測図は以下の縮尺で掲載した。なお、小形石器（削器・搔器など微細加工を施す石器）は縮尺を変えて掲載している。それぞれ図中のスケールを参照されたい。

ナイフ形石器・槍先形尖頭器	1 : 1	石核	1 : 2
削器その他の石器	4 : 5	接合資料	1 : 2

4. 遺物分布図に使用したマークは、以下の器種を示している。

◆ ナイフ形石器	▲ 槍先形尖頭器	△ 削器	△ 搔器	□ 彫器
● 石錐	○ 加工痕ある剥片	● 使用痕ある剥片	● 礫器	● 敲石
○ 台石	● 石核	◇ 縦長剥片	● 剥片	● 砕片

5. 「石材」の欄の略号は、次の事を示す。

黒頁：黒色頁岩	黒安：黒色安山岩	珪粘：珪質粘板岩
珪頁：珪質頁岩	灰安：灰色安山岩	凝砂：凝灰質砂岩
硬頁：硬質頁岩	粗安：粗粒輝石安山岩	砂：砂岩
褐岩：褐色碧玉	細安：細粒輝石安山岩	頁：頁岩
石斑：石英斑岩	輝凝：輝綠凝灰岩	珪変岩：珪質変質岩
変珪：変質珪岩	溶凝：溶結凝灰岩	ホルン：ホルンフェルス

6. 報告に使用したトーンは、各々の図版の中で凡例を示した。

7. 報告書の作成に際し、下記の作業を業者に委託した。

石器分布図の作成 (技研測量設計株式会社)	石器トレース (技研測量設計株式会社)
-----------------------	---------------------

8. 遺物写真図版は、基本的に実測図の順に掲載し、また、実測図と対照できるように図版番号を図版の右下に付した。

9. 調査資料は、群馬県埋蔵文化財センターに一括保管している。

# 目 次

巻頭写真

凡 例

## I 調査と遺跡の概要

1. 調査の方法

2. 基本土層

## II 出土した遺構と遺物

2-1. 第1文化層 ..... 8

(1) A 地点

a. 概 要 ..... 8

b. 出土石器 ..... 9

c. 石器と礫の分布 ..... 22

d. 土壌攪乱 ..... 28

e. 接合資料の分布 ..... 28

f. 母岩別資料の分布 ..... 38

(2) B 地点

a. 概 要 ..... 49

b. 出土石器 ..... 50

c. 石器の分布 ..... 57

d. 接合資料の分布 ..... 61

e. 母岩別資料の分布 ..... 63

(3) C 地点

a. 概 要 ..... 66

b. 出土石器 ..... 67

c. 石器の分布 ..... 68

d. 接合資料の分布 ..... 69

e. 母岩別資料の分布 ..... 69

2-2. 第2文化層 ..... 70

a. 概 要 ..... 70

b. 出土石器 ..... 71

c. 石器の分布 ..... 73

d. 焼土遺構 ..... 75

e. 接合資料の分布 ..... 76

3-3. 第3文化層 ..... 77

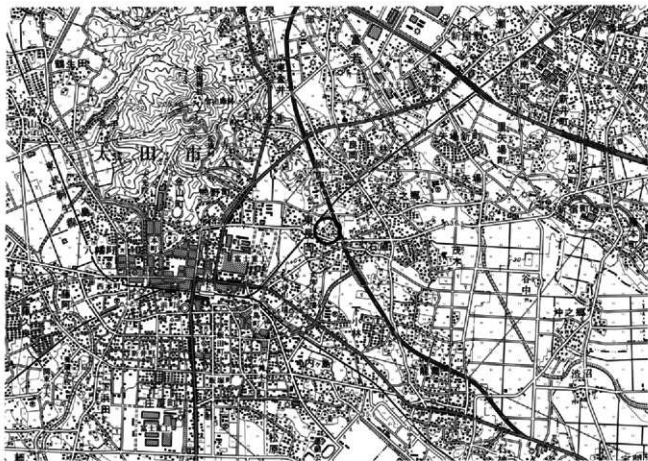
## III 科学的分析

黒曜石の産地分析 ..... 78

## IV 成果と課題

計測値一覧表

## 東長岡戸井口遺跡



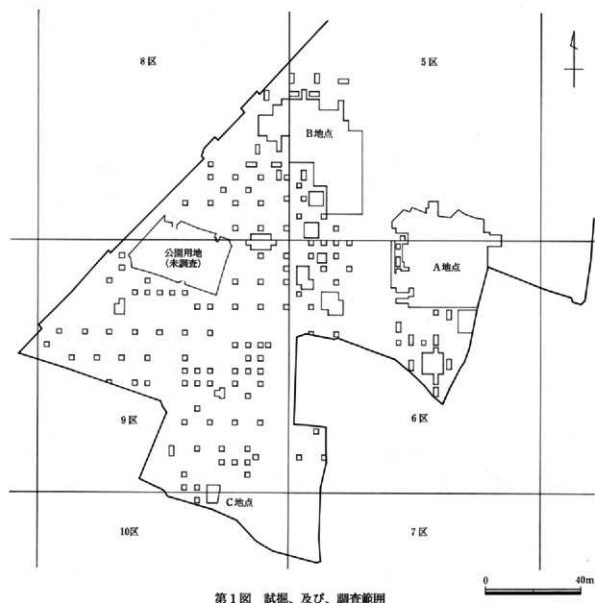
国土地理院25000分の1 (深谷)



# I 調査と遺跡の概要

遺跡は金山丘陵の東に位置し、遺跡地の周辺域は比較的平坦な地形観を呈している。遺跡の所在する太田市域では台地と水田の比高差は少なく、事業団が以前調査した小町田遺跡等の調査でも水位が高く調査が難航しており、水田に水が入る6月の末には排水対策も必要と考えて調査に臨んだ。試掘段階で、遺構が否か判断を保留していた河道の性格を捉えるため掘り下げた東武線に近い地点では、シルトや砂・礫の水性堆積が確認され、また、試掘段階で「遺構なし」と判定した調査区最北端でもトレンチ（試掘段階で2トレンチと呼称）を再度掘り下げ遺跡の基本土層を確認した結果、ここでも同様な水性堆積が看られ、旧石器が存在するとは想定できない状況を呈していた。

発掘調査は、事業の性格を踏まえ効率的調査を心掛けた。事務所を移転する手間を省こうとも考え、試掘調査で遺構密度の薄い地点を選び、この地点の調査を終えた後に事務所を建てる予定で調査に着手した。が、



第1図 試掘、及び、調査範囲

この地点でも予想以上に遺構が濃く、また、旧石器も出土するなど調査は難航した。さらには、遺構量把握を目的に同時並行させ進めていた遺構の確認調査でも予想を超える量の遺構が確認され、たびたび調査計画を練直す事態が生じた。

この地域の地形発達（形成過程）は複雑で、この地点でも渡良瀬の流路変更に伴い南西から北東へ低地が徐々に後退する状況を呈しており、同じ台地でも暗色帯より上のロームを載せる地点と、氾濫性堆積物からなる地点が見られ、その堆積状況は大きく相違していた。当該期石器群の確認を要する対象地は調査地の1/2を越え、網羅的調査は困難と思えた。なお、遺跡を南北に縦断する河道は比較的平坦な人為的掘削痕を部分的に残していること、水平堆積する「暗色帯」を切る点や徐々に低地が後退する地形発達の在り方から、本報告では人為的堀跡（詳細は第1分冊を参照）と考えた。埋没水田の発見は余り期待できない地域だが、用水系整備の進んでいる地域でもあり、今後さらなる周辺調査の進展を見て検討を加えていきたい。

## 1. 調査の方法

当該期石器群の存在は、溝の断面に突き刺さるよう出土した礫器（第27図2）の確認が発見の発端だが、この時点ではまだ、この種の石器は単独出土する場合も多く、上層の遺構調査でも当該期石器群の存在を示す石器や剥片の類が出土していないことから、それほど当該期石器群の分布は広がらないとも思えた。が、初期に確認していた水性堆積とはことなり成層したロームが堆積する地点でもあるため、礫器の出土した地点を中心に2m×4mのトレンチを6ヶ所に設定して試掘調査を試みた。結果的に旧石器は設定した6ヶ所のトレンチ全てで確認され、さらには、河道の西側でも上層の遺構確認段階で多量のポイントや調整剥片が採集され、予想以上に濃い当該期石器群の存在が確認したのである。試掘調査は上層の調査が終了した地区で適宜おこない、旧石器の出土した台地縁辺では2m×4mのトレンチを、台地縁辺から離れた地点では2m×2mのトレンチを設定（第1図）して分布範囲の把握に努めた。礫器の出土したA地点（河道東側）の調査は初年度の6月から9月に、B地点（河道西側）の調査は上層の遺構調査の終了を待ち翌年の上半期に実施した。この時期の遺跡は概して規模の小さな遺跡が多い中で、石器群は予想以上に広がり、更に台地の奥にも調査を広げる必要が生じた。厳しい状況が続く中で現場ではそれまでえられた所見から、台地縁辺から離れた地点の調査は上層の石器群の確認に主眼を置き、下層の「暗色帯」の試掘は途中「残土おき場」を確保する必要が生じ、試掘調査を先行した公園用地周辺を除いて断念した。また、台地縁辺から離れた地点の試掘は2%と少なく決して充分とはいえない。調査期間の制約、及び、台地縁辺部分の調査所見を受けた対応だが、調査精度の点で若干の問題を残した。

## 2. 基本土層

遺跡の所在する金山丘陵の東には渡良瀬川起源の扇状地形が発達するほか、現在の流路に近い足利市域には自然堤防や後背低地が広く展開しており、概して複雑な地形観（沢口1996は扇状地をⅠ～Ⅲに区分）を呈している。この地域には渡良瀬の旧流路を示す地形の凹凸や「地割」も部分的に見られ複雑な地形発達が想定可能だが、現在、この地域の地形の詳細は「圃場整備」が進み不明瞭で、より詳細な地形復元を難しくしている。

広大な遺跡地内には、河川の変流に伴う複雑な地形発達が見て取れた。この地形発達は金山丘陵の西を流れていた渡良瀬川がAs-BP降下以後、丘陵の東へ流路を大きく変えた結果の影響と見られ、この地域の地形発達に与えた影響は大きい。発掘調査からえられた所見では、概して低地は遺跡の南西側から北東側へ後

退しており、遺跡周辺はAs-KP降下以後離水したこと、As-BP降下以後As-Okp降下以前に河川浸食を受けていたこと、この河川浸食を受けた地点は徐々にAs-YP降下段階までには埋没が完了陸化していたこと、遺跡北端には縄文中期前半の土器を多量に出土した低地が見られAs-YP降下時期の台地を部分的に浸食していること、が判明した。ナイフや槍先形尖頭器を組成する石器群（第1文化層）の出土した地点は、As-BP降下以後As-Opk降下以前の台地縁辺と見られよう。

先にも述べた通り、遺跡地内には複雑な地形発達を反映して地点地点で異なる土層が堆積していた。このため、ここでは台地を新旧二分して、以下に基本土層を記していきたい。

**台地（旧）** 主に旧石器の出土地の土層を検討した結果、地形の微妙な起伏が判明した。この起伏は河道の東西とも見られ、概ね北西-南東に延びる尾根状の高い地点（第4図）に旧石器の分布域が重複していた。この地形は多分に基層の凹凸を反映している可能性が強く、旧河道の残した微高地ともいえよう。「暗色帯」より上のロームを載せるこの台地の縁辺はAs-BP降下以後浸食を受けており、発掘調査でも部分的に台地の縁辺を確認している。この地点の土層堆積は複雑で台地の浸食時期の特定は困難だが、As-Okpの降下時期まで基本的な地形観は変わらないまま推移した、と想定している。明確なテフラは給源から遠く肉眼観察は困難だが、Ⅵ層にAs-Okpを、Ⅷ層にAs-BPを、Ⅹ層の上位部分にATの降下層準を確認している。

**I層 表土層**

**Ⅲ層 暗褐色土（縄文包含層）**

**Ⅳ層 黄褐色ローム層**

白色・黄色バミスを含む。分析ではⅣ層にAs-YPを同定・降下層準を想定している。

**Ⅴ層 暗黄褐色軟質ローム層**

白色・黄色バミスを含む。土壌化・粘土化が進み、暗色帯と評価できよう。

**Ⅵ層 暗黄褐色軟質ローム層**

白色バミスを含む。Ⅴ層より明るい。Ⅵ層の上位部分にAs-OpkIの降下層準を想定。

**Ⅶ層 黄褐色硬質ローム層**

白色バミスを含む。As-BP起源？。

**Ⅷ層 暗褐色硬質ローム層**

白色バミスを含む他、細粒黒色鉱物を多く含む。分析ではⅦ・Ⅷ層にAs-BPを同定している。が肉眼ではⅧ層に多く、本来的には降下層準はⅧ層が想定されよう。

**Ⅸ層 明褐色軟質ローム層**

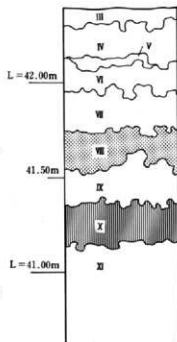
**Ⅹ層 暗褐色軟質ローム層**

暗色帯。ATの降下層準はⅩ層の上位部分。

**Ⅺ層 暗褐色硬質ローム層**

小礫を多く含む。

**Ⅻ層 暗褐色硬質粘質土層（Ag-KPを含む河川堆積物）**



第2図 基本土層

台地(新) 暗色帯を載せる台地の北東側に続く洪積台地。As-Okpl降下後に離水、As-YPが降下するころまでには台地の形成を終えている。台地縁辺ではAs-BPを含むⅧ層が浸食され、概ねⅥ層より上位の還元した粘質土で埋没していた。が、台地縁辺からやや離れた地点では砂とシルトからなるラミナ状の堆積や砂礫の堆積も見られ、土層の堆積状態は大きく相違していた。なお、この地点でも上層のAs-YPが降下する時期にはラミナ堆積は見られないことから、少なくともこの時期には乾燥・陸化が終了していた可能性が指摘されよう。



土層の堆積状態1 <台地(新)、5-206G付近>



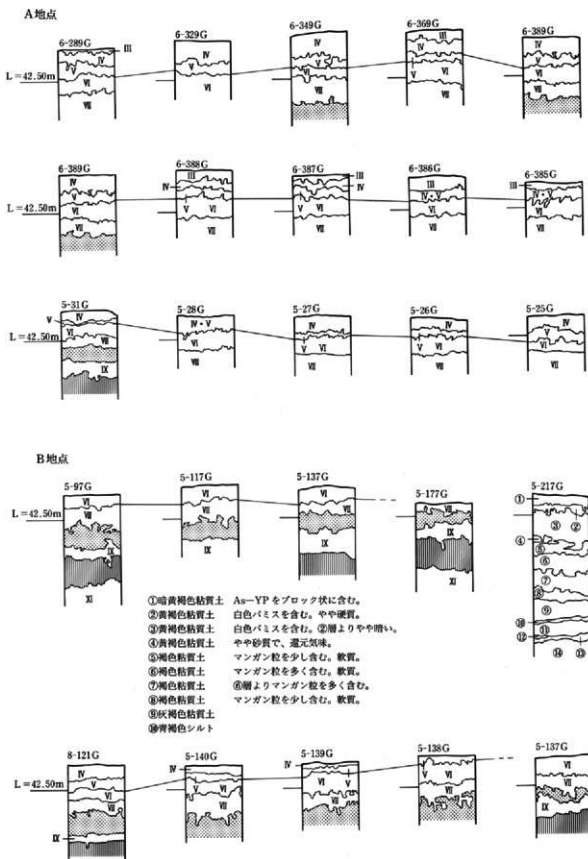
土層の堆積状態2 <台地(新)、5-201G付近>



1. 褐色シルト層 離水後堆積したロームで、V層に対応？。
2. 褐色シルト層 4層から混入した小礫を多く含む。
3. 褐色シルト層 2層よりやや暗い色調を呈する。
4. 砂礫層 径2～3cmの円礫や砂層の互層。礫層は傾斜して堆積。
5. 褐色シルト層 やや明るい色調を呈すロームで、台地縁から流れ込む。
6. 褐色砂質土層 5層と同様に台地縁から流れ込み堆積。粘性に欠ける。
7. 砂質シルト層 粘性が強く、5層に類似。
8. 砂礫層

第3図 土層の堆積状態1 (台地縁辺部分、5-4G・5G)





## II 出土した遺構と遺物

### 2-1. 第1文化層

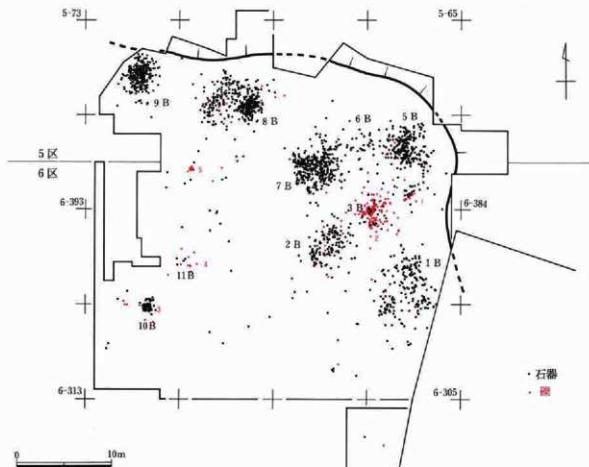
#### (I) A 地点

##### a. 概要

この地点で出土した石器群はAs—Opk 降下前後の台地縁辺に分布していた。この台地縁辺は石器群の調査を進める過程で確認され、発掘調査では概ね旧河道の湾流していた状態を確認し得た、と考えている。

この地点では、総計1807点（礫・礫片321点を除く）の石器が出土している。石器の集中地点は11ヶ所を確認しており、石器分布は概ね台地縁辺に集中する傾向を示していた。礫群は石器分布と重なる例が多く、1例（5号）のみ単独で出土した。石器の出土層位はⅣ層～Ⅷ層で、Ⅵ層・Ⅷ層に多く出土している。礫群の出土層位はⅧ層の上部で、石器の出土層位とも矛盾なくよく整合していた。

石器群の主たる構成器種はナイフと槍先形尖頭器で、このほかには若干の削器・掻器・彫器が組成する。石器石材は遺跡周辺で容易に採取の可能なチャートが圧倒的で、黒曜石が続く。赤城南麓に立地する当該期石器群に多用する黑色頁岩や黑色安山岩は概して少なく、この種の石材の消費は活発ではない。接合資料は



第5図 石器と礫の分布 (A地点)

124例684点が得られ、接合率は約38%に達した。接合資料はブロック内だけではなくブロック間にも及び、1例のみB地点と接合関係を有する資料（接合資料-97）を確認している。母岩分類の結果、チャートでは46例の、黒曜石では17例の母岩を抽出している。比較的分類の難しい黒色頁岩も資料点数が少なく母岩分類が可能で、ここでは13例の母岩に分類した。

この地点の最大の特徴は、礫群の周辺域に石器分布が広がり、さらには、石刃を集中製作した地点が隣接して分布する、言わば後期旧石器時代の前半期に特徴的な「石器の環状分布」にも似た現象を示している点で、この点は特に注意されよう。

## b. 出土石器

総計1807点の石器が出土している。出土資料は剥片や破片の類が圧倒的に多く、約83%を占めている。主な出土石器には二側縁加工のナイフ（24点）や端辺加工のナイフ（9点）、槍先形尖頭器（12点）が特徴的に組成するほか、削器や搔器・若干の加工石器が加わる比較的単純な器種構成を示していた。石器群に特徴的なナイフは遺跡製作のナイフと搬入・遺棄したナイフに分かれ、概して後者のナイフは大形の例が多く、目を引く。これとは逆に槍先形尖頭器では、搬入石器にはこれ以上形状を変えられないほど加工を進めており、この相違は注意されよう。

### ナイフ形石器（第10～12図1～9）

総計33点のナイフが出土している。ナイフは形態的特徴から二側縁加工のナイフと端辺加工のナイフに大きく二分して把握可能だが、出土資料には欠損資料も多く、なかには第11図9や13など側縁加工のナイフや

表1 第1文化層A地点器種

	ナイフ	尖頭器	削器	搔器	彫器	加工痕	使用痕	牌器	敲石	石核	竪長	剥片	破片	合計
1	B 0.0%	2 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.3%	4 2.3%	0 0.0%	3 1.7%	4 2.3%	3 1.7%	60 34.1%	92 52.3%	176 100%
2	B 2.3%	0 0.0%	1 0.8%	2 1.6%	0 0.0%	6 4.7%	4 3.1%	0 0.0%	2 1.6%	3 2.3%	8 6.3%	38 29.7%	61 47.7%	128 100%
3	B 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%	4 18.2%	1 4.5%	2 9.1%	11 50.0%	2 9.1%	22 100%
4	B 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	8 50.0%	5 31.3%	16 100%
5	B 1.3%	3 3.1%	7 4.4%	1 0.8%	0 0.0%	7 3.1%	15 6.6%	0 0.0%	1 0.4%	8 3.5%	3 1.7%	87 38.2%	83 40.6%	229 100%
6	B 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.8%	5 19.2%	18 69.2%	26 100%
7	B 0.9%	3 0.6%	2 0.3%	1 0.3%	0 0.0%	4 1.2%	5 1.5%	2 0.6%	3 0.3%	10 3.0%	1 0.3%	90 26.7%	218 64.7%	337 100%
8	B 1.6%	6 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 1.6%	3 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	10 2.7%	17 4.5%	83 22.0%	252 66.8%	377 100%
9	B 6.3%	15 0.0%	0 0.0%	0 0.4%	1 0.0%	2 0.8%	3 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 2.1%	42 17.5%	77 32.1%	95 39.6%	240 100%
10	B 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	50 50.0%	2 2.5%	1 100%
11	B 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	2 3.3%	2 3.3%	5 8.3%	0 0.0%	29 48.3%	21 35.0%	60 100%
B	外 3.7%	3 1.2%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.7%	4 4.9%	2 2.5%	7 7.4%	4 4.9%	8 8.6%	22 27.2%	29 35.8%	81 100%
不明	0.9%	1 0.0%	2 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.8%	1 0.9%	4 3.6%	20 18.9%	78 70.5%	111 100%
合計	35 1.9%	12 0.7%	5 0.3%	3 0.2%	1 0.1%	36 2.0%	43 2.4%	6 0.3%	21 1.2%	56 3.1%	92 5.1%	532 29.4%	965 53.4%	1,807 100%

基部加工のナイフに分類可能な資料も存在している。裏面基部加工の有無など、出土資料の示す様相は様々だが、より大形の二側縁加工のナイフには打面と石器基部が一致する例が多く裏面基部加工を施しバルブを除去すること、より小形のナイフでは打面と石器基部の関係は正対する例も多く、また、一致する例も打面を除去していること、端辺加工のナイフは素材剥片の先端に加工を施す例が圧倒的に多く、多様な様相を示していた。分類不能な例も多く断定は困難だが、大部分は二側縁加工のナイフと見られ、二側縁加工と端辺加工のナイフの量比は2:1程度と想定されよう。

第10図・第11図1・2・10には二側縁加工のナイフを、第11図3~9・11・12には端辺加工のナイフを図示した。第10図1・2は黒色頁岩を、8・9は黒曜石を用いた搬入石器で、より大形の部類に属す。第11図1は菱形に近い形状のナイフで、やや刃部が短い点が特徴的である。第12図7は器体中央から欠損するため不明だが、槍先形尖頭器に分類可能かもしれない。

#### 槍先形尖頭器 (第12図10~15・第13図1~6)

総計12点が出土している。出土した槍先形尖頭器には概ね二群に大別され、表裏両面を加工するもの(第12図10~13)と周縁加工するもの(第12図14・15、第13図1~3)からなる。

両面加工する第12図10・11は黒曜石を用いた槍先形尖頭器で、これ以上加工できないほど石器の再生を試みている。また、周縁加工する例は幅広い縦長剥片を用いており、より平坦な剝離を施す例(第12図14・15)と、より急峻な加工を施す例(第13図1~3)に細分が可能とも思える。4・5は、槍先形尖頭器の未製品で、製作途中で槍先形尖頭器の作出を放棄している。6は影器(7)と接合関係を有する槍先形尖頭器で、作出状況からみて製作の最終段階で破損放棄した可能性が強い。接合状況、及び、形状からみて、仮に破損

表2 第1文化層A地点石材

	チャート	ホルン	黒曜石	硬頁	燧石	珪頁	黒頁	頁岩	砂岩	灰安	粗安	輝巖	溶巖	珪粘	石英	変質	合計
1B	121 68.8	1 0.6	37 21.0	0 0.0	0 0.0	2 1.2	10 5.7	1 0.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	3 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	176 100
2B	115 89.8	1 0.8	7 5.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0	128 100
3B	15 68.2	0 0.0	2 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 13.6	0 0.0	2 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	22 100
4B	15 93.8	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	16 100
5B	177 77.3	1 0.4	45 19.7	1 0.4	0 0.0	0 0.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0	2 0.9	0 0.0	0 0.0	1 0.4	0 0.0	1 0.4	0 0.0	229 100
6B	26 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	26 100
7B	301 89.3	2 0.6	29 8.6	0 0.0	0 0.0	1 0.3	1 0.3	0 0.0	0 0.0	3 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	337 100
8B	287 76.1	1 0.3	83 22.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 1.3	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	377 100
9B	219 91.3	0 0.0	1 0.4	0 0.0	1 0.4	0 0.0	19 7.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	240 100
10B	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100
11B	54 90.0	4 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 1.7	0 0.0	60 100
B外	49 60.5	5 6.2	13 16.0	0 0.0	0 0.0	1 1.2	3 3.7	1 1.2	0 0.0	3 3.7	1 1.2	1 1.2	0 0.0	3 3.7	0 0.0	0 1.2	81 100
不明	92 82.9	0 0.0	14 12.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.8	0 0.0	1 0.9	1 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	111 100
合計	1,474 81.6	15 0.8	233 12.9	1 0.1	1 0.1	4 2.4	43 2.4	2 0.1	3 0.2	10 0.6	1 0.1	9 0.5	1 0.1	6 0.3	2 0.1	1 0.1	1,807 100

せず石器が完成したなら、10cmを超える大形で細身の槍先形尖頭器が想定できよう。

#### 彫器（第13図7）

1点のみ出土している。上述した通り、この彫器は槍先形尖頭器の製作途上、破損した器体の中央部分を石器素材に用いた例で、左側縁では上端から、右側縁では上下両端から剝離を加え機能部を作出している。右側縁の上端部には必要に加撃され、潰れている。

#### 削器（第14図1～3）

3点が出土している。削器には定形的形状を示す例が概して少なく、剥片の側縁や剥片端部に剝離を加え機能部を作出している。1は横長の幅広剥片を用い、剥片端部に加工を加え機能部を作出する。2は縦長の剥片を用い、側縁部分に加工を施す。調整加工は比較的丁寧で、機能部の作出と捉えるより器体の整形加工と捉えるべきかもしれない。剥片形状が整わず直線の刃部を確保できないことから、ここでは便宜的に削器と捉えた。3は剥片端部に機能部を有する。石器形状は明確ではなく、さらには、途中破損しているため不明だが、調整加工は槍先形尖頭器に近く製作途上に破損した資料かもしれない。

#### 攪器（第14図4～6）

3点が出土している。縦長剥片を用い、急峻な剝離を施し機能部を作出している。削器に比べ定形的だが、弧状を呈する典型的刃部とは異なり、直線的な刃部を意識しているようにも見える。4は縦長・幅広の調整剥片を用い、剥片端部に機能部を作出している。やや弧状を呈する刃部を有するほか、石器先端部分・左辺には上端から種状剝離を施し彫器ともしている。5は縦長の剥片を用いる。機能部を打面側に有し、やや弧状の刃部形状を呈する。6は石刃を用い、その剥片端部に機能部を作出している。左辺では直線的に、右辺では素材を斜断するよう調整加工を施している。

#### 加工痕ある剥片（第14図7～13、第15図1～4）

総計36点が出土している。剥片に部分的加工を加える資料を一括した。やや幅広の縦長剥片から幅広横長剥片まで様々な形状の剥片を用いており、多様性に富む。第14図7は稜上調整を残す小形剥片を用いた例で、剥片端部に微細な加工を施す。8は縦長剥片を用い、側縁に微細な加工を施す。7・8とも黒曜石を用いる。9は幅広剥片を用い、裏面側に細かな加工を施す。10・12は幅広剥片を折断するよう加工を加えた例で、10は右辺下部に機能部を有す。調整加工は刃部角度を大きく変えるものではなく浅い。12は葉理から剥がれ落ちた折断面に微細な剝離を加え機能部を作出している。11・13は剥片の側縁に微細な加工を加える例で、11は縦長剥片を、13は横長剥片を用いている。第15図1は幅広の縦長剥片を用い裏面を加工するほか、左辺の端部を粗く打ち欠く。斜行する右辺には使用痕が見られ、加工は器体の整形加工と捉えるべきかもしれない。2は小形剥片を用い、その剥片端部を加工する。形態的には端辺加工のナイフに分類も可能だが、調整加工は粗く、ここでは便宜的に捉えた。3は礫面を残す幅広の縦長剥片を用い右辺・基部を、4は葉理で剥がれ落ちた大形剥片を用い剥片端部を加工している。

#### 使用痕ある剥片 (第15図5~8、第16~18図1)

総計43点が出土している。比較的大形の剥片を用いる例が多い。剥片形状は多様だが、縦長剥片を用いる例では側縁を、横長剥片を用いる例では剥片の端部を機能部に用いている。第15図5~8、第16図6、第17図1~3、6~8は大形の縦長剥片を、第16図7~9、第18図1は横長の剥片を用いている。この種の石器には剥離途上で生じる多様な形状の剥片を用いており、良好な刃部さえ確保できれば何でも選択使用する傾向が強い。第16図8は褐色碧玉、第18図1はホルンフェルス製の搬入石器。

#### 石核 (第18図2・3、第19~20図、第21図1)

総計56点が出土している。石材の潤沢な地域に近い遺跡の立地条件を反映して、多種多様な形状の石核が出土している。接合関係を有する石核が圧倒的に多く、ここでは接合関係の確認できない資料に限定して図示した。出土資料には原石の端部を「試し割り」する例が多く、現地で質感を確認した上で原石を採取していた可能性が指摘されよう。第18図2・3は石核消費の最終段階を示す石核で、概して小形剥片を剥離して石核を放棄している。第19図1・4は菓理で割がれ落ちた大形剥片を石核に用いる例で、片側で剥離作業を進めている。3は石核左辺に風化剥離面を有する。剥離作業は石核正面で剥片1を剥離する。残る他の剥離面は剥離面の摩耗度が若干となるようにもみえ、石核消費の場の差を示唆している可能性も否定できない。黒曜石。5は表裏両面で剥離を行う石核で、幅広剥片を剥離している。出土資料には同一母岩は見られないこと、石核右辺の突出部分には細部加工が見られることから、石核を転用している可能性が指摘されよう。黒色安山岩。6・7は棒状礫を用い、小口部分で剥離作業を行う例で、やや幅広の剥片を剥離している。第20図1~3は礫の小口部分を打ち欠いた石核で、出土資料で見える限り遺跡で剥片を剥離した状況にはなく、小口部分の剥離は原石の「試し割り」と断定できよう。第20図4・第21図1は石核正面、及び、右辺で剥離作業を行う石核。幅広剥片を剥離しており、消費の途中で石核を放棄している。

#### 剥片類 (第21図2~12、第22~25図、第26図1)

総計532点が出土している。石器製作に伴う不要剥片から「目的剥片」まで剥片形状は多様だが、ここでは主に比較的形状の整った剥片を図示した。第21図2~5、7~10は「小形石刃」で、9・10を除き黒曜石を用いる。6・11・12はチャートを用いた比較的細身の石刃で、11の石刃には打面調整・頭部調整が著しい。12は上下両端を欠損する種・調整剥片。第22図1~3、5~7には大形の部類に属す縦長剥片を図示した。1~3にはチャートを、5~7にはホルンフェルスを用いる。第23図1~3は側面部に石刃剥離の痕跡を残す打面調整剥片。第23図4・第24・25図、及び、第26図1には大形剥片を図示した。剥離の初期段階を示す礫面を大きく残す例が多い。

#### 礫器 (第26図2~5、第27図1・2)

5点が出土している。1例(第26図5)を除き、総てホルンフェルスを用いる。大形の棒状礫を用いる例が圧倒的に多く、礫の小口部分を打ち欠き刃部を作出している。第26図5を除く4点はホルンフェルスを用いる。やや厚い刃部角度を有する2点(第26図3、第27図1)は礫器に分類が可能か疑問だが、出土資料の中には同一母岩が見られないこと、礫重量は概ね0.9~1.2kgを測る点を重視して、ここでは便宜的に礫器と捉えた。第26図2・4は棒状礫を用い礫の端部を打ち欠き、刃部を作出している。3は礫の小口部分を粗く打ち欠く。2・4の刃部角度は異なり、厚い。この資料だけでは到底刃部とは認定できない程で、分類が妥

当か検討を要す。5は角柱状の礫を用いる。礫は菓理で破損しており、この部分を加工することなく用いる。やや厚い刃部角度を有し、刃部には微細な「刃こぼれ」が生じている。第27図1は裏面から数回の打撃を加え刃部を作出する。刃部角度は厚い。2は比較的形状の整う円礫を用い、礫の下端部を打ち欠き刃部を作出する。

#### 敲き石 (第27図4・5、第28～30図)

総計21点が出土している。概して小形例(第30図2)は少なく、中形例が主体を占めている。礫形状は「掌」に入る程度の円礫が圧倒的に多く、このほかには片側が尖る礫を多用している。大形の2点(第30図1・3)には明瞭な打痕が見られないことから未使用の可能性が残る。礫重量は大形例が0.8～1.0kg、中形例が280～580g、小形例が40～190gを測り、概して中形の例が多い。石器石材は粗粒・輝石安山岩を用いる例が8例と最も多く、溶結凝灰岩を用いる例も3例と多い。出土した敲き石には明瞭な打痕を残す例が少なく、礫の小口部分に若干みられる程度で使用頻度は低く、また、なかには礫面に打痕の付く例も少数だが出土している。

#### 接合資料

1,807点(出土位置不明の剥片類111点を含む)の出土資料を対象に接合作業を試みた結果、124例695点の接合資料を確認した。接合率は単純計算で38%に達しており、接合作業から除外した破片を除けば接合率は更に跳ね上がる。接合資料には打面再生を頻繁に行う石刃剥離の他、縦長の幅広剥片を連続剥離するもの、打面転移を行い横長の幅広剥片を剥離するもの、槍先形尖頭器の製作に関するものなど様々で、多様性に富む。

#### 接合資料—25 (第31・32図)

24点よりなる接合資料。幅4cm弱を測る角柱状の原石を用いており、作業面を幅の狭い原石の表裏両面に設定、石刃を連続剥離している。接合状態からみて、石核の上下両端では3度に及ぶ打面再生が確認され、復元的に見れば剥離以前の原石高は15cm前後と想定されよう。接合資料には剥片・中央付近で欠損する例が多く、また、空白部分も多い。細かな菓理が欠損の確実な要因だが、大部分は未回収で、製作地点から持ち出している可能性も否定できない。礫面の残存状況から接合資料は原石消費の後半段階と見られ、他の地点で前半の石核消費を終え石核を持ち込み消費した可能性が指摘されよう。チャート—2。

…(下設打面へ) ○○→1

⇒(上設打面へ) 4 (打再) ⇒5→○→6→7

⇒(下設打面へ) ○・14 (打再) ⇒2→3→8→9→10

⇒(上設打面へ) 11 (打再) ⇒12→13⇒14・15・16 (稜上調整) ⇒17→18

⇒(下設打面へ) 19

⇒(上設打面へ) 20→21→22→23→24

#### 接合資料—29 (第32・33図)

9点からなる接合資料。高さ7.2cm、幅3.5cmを測る盤状の大形剥片を石核に用いる。剥片剥離は側縁部分を後退するよう行われ、石刃を連続剥離している。剥離作業は上下両端で行われ、上下両端とも2度の打面

再生を試みているほか、頻繁に打面転移を繰り返している。接合資料には石刃剥離の初期段階が欠けており、他の地点で石核を消費した後に遺跡に持ち込み石刃を剥離した可能性が高い。チャート4。

○○○○→1 (打再) →2→○

⇒ (下設打面へ) ○ (打再) ⇒○→3

⇒ (上設打面へ) 4・5・6 (打再) ⇒○・○○○→7

⇒ (下設打面へ) ○ (打再) ⇒8→9

#### 接合資料—32 (第33図)

3点からなる接合資料。高さ10.8cm、幅5.6cmを測る石核を用いる。剥片剥離は打点を左右に大きく振り行われ、石刃を連続剥離している。この地点では少なくとも3枚の石刃を剥離したはずだが、遺存していた石刃は剥片1以外にはなく、残る2点は他の地点に持ち出している可能性が高い。チャート6。

○…○ (石刃剥離) ⇒○○ (稜上調整) ⇒1⇒2 (打再) ⇒○○→3

#### 接合資料—34 (第34・35図)

21点からなる接合資料。高さ8.8cm、幅4.4cm、厚さ6cm以上を測る角柱状原石を石核に用いる。剥片剥離は頻繁な打面再生と側縁調整を伴い石刃を連続剥離している。石刃は上端からのみ剥離され、石核下端に限り側縁調整を施している。接合資料は原石を持ち込み石刃を剥離したもののだが、剥離初期、及び、後半段階の石刃を欠く点は注意されよう。チャート7。

○○→1→2→3→4⇒ (打調) ⇒5→6→7→8 (側調) ⇒9→○→10⇒○ (打再) ⇒11→12→13

⇒14 (側調) ⇒15⇒16 (側調) ⇒17→18⇒19 (打再) ⇒20→○→○→21

#### 接合資料—35 (第35・36図)

11点からなる接合資料。高さ7.8cm、幅3.1cm、厚さ3cm以上を測る角柱状原石を石核に用いる。剥片剥離は上下両端の打面から行われ、石刃を連続剥離している。この石刃剥離は原石の正面から後退するよう打点を左右に振り行われ、打角の関係で石刃は徐々に小さくなる傾向を示していた。礫面の残存状況では断定は困難だが、石核消費の初期段階は他の地点で終えている可能性が指摘されよう。チャート8。

⇒ (上設打面) ○○⇒1→2 (打再) ⇒4→5→6→○→7

⇒ (下設打面へ) 8→9→○

⇒ (上設打面へ) 10→○→○→11

#### 接合資料—37 (第36・37図)

12点からなる接合資料。高さ6.8cm、幅5.2cmを測る盤状の大形剥片を石核に用いる。剥片剥離は上下両端から行われ、打面再生を伴い剥離は展開する。接合資料には初期段階の剥片を欠いており、他の地点で剥離したのち、この地点で石核消費を終えている。チャート10。

⇒ (上設打面) ○○→3⇒○○→2 (打再) ⇒1→○○

⇒ (下設打面へ) 4 (打再) ⇒○○→5

⇒ (上設打面へ) 6→7→8→9→10→11→○→○→12



#### 接合資料—30 (第37図)

3点からなる接合資料。石刃には礫面が大きく残り、剥離の初期段階を示している。礫面の残存状況からみて、幅の狭い角柱状を呈する原石形状と幅の狭い部分を作業面に石刃剥離を行う剥片剥離が想定されよう。チャート—4。

○→1→○→2→○(打再)→3

#### 接合資料—42 (第37図)

9点からなる接合資料。高さ5.8cm、幅2.0cm、厚さ3cm以上を測る角柱状原石を石核素材に用いる。剥片剥離は石核の上下両端で行われ、石刃を連続剥離している。石核下端では打面転移を伴う他、石核正面・右には側縁調整の痕跡を残している。チャート—14。

⇒(上設打面で) (側調) ⇒○→1

⇒(下設打面、裏側へ) ○○⇒○(打再) ⇒○⇒3(打再) ⇒2→3→4

⇒(上設打面へ) ○

⇒(下設打面へ) 5→6→7→○→8

⇒(上設打面へ) ○→9

#### 接合資料—43 (第38図)

16点からなる接合資料。高さ8.2cm、幅2.0cm、厚さ4cm以上を測る角柱状原石を石核素材を用いる。剥片剥離は石核の上下両端で行われ、軌跡な石核調整を施した後に、原石の幅の狭い部分を作業面に石刃を連続剥離している。6点の石核調整剥片が示す通り、接合資料は石核消費の初期段階と見られ、石核は他の地点に持ち出している可能性が高い。チャート—14。

1→2⇒3→4・5⇒6→○→○⇒○→○(以上検上調整)

⇒(上設打面で) ○(打再) ⇒7→○⇒○→8(打再) →○⇒9→10⇒11

⇒(下設打面へ) 12→13→14

⇒(上設打面へ) 15→○

⇒(下設打面へ) 16

#### 接合資料—45 (第39図)

3点からなる接合資料。背面を構成する剥離の在り方、及び、接合状態から、打面再生を伴う石刃の連続剥離が想定され、さらには、接合資料の左側・側面にも石刃剥離を示す剥離が見られ、ここでも幅の狭い部分を選び石刃を剥離する癖が指摘できよう。石核高は現業で8.2cmを測る。チャート—15。

○→1⇒○(打再) ⇒2⇒○(打再) ⇒3

#### 接合資料—46 (第39図)

2点からなる接合資料。少なくともこの状態で3度の打面転移が確認され、このことから頻繁な打面転移を伴う石刃剥離が想定されよう。石刃は2点とも打面部分を欠いている。チャート—15。

⇒(下設打面で) ○○

⇒(上設打面へ) 1→○○

⇒ (下設打面へ) ○○→2

#### 接合資料—23 (第39図)

4点からなる接合資料。軌拗な後・調整を加えた後に、石刃を連続剥離している。接合資料のみでは断定は困難だが、同一母岩に分類が可能な接合資料 (接合資料—19～22・24) からみて、少なくとも石核消費の最終段階とはいえない。チャート—1。

○○→1⇒○○⇒2⇒○○ (以上後上調整) ⇒3→4

#### 接合資料—154 (第40・41図)

10点からなる接合資料。高さ8.0cm、幅5.7cm、厚さ5cm以上を測る石核を用いる。剥片剥離は石核の上下両端から行われ、良質の石刃を連続剥離している。左右の側面には稜面を部分的に残しており、それほど原石は大きくなる。残核は出土資料の中にはなく、他の地点に持ち出している。が、残核は高さ5cm、幅3cm程度と小さく、石刃剥離は難しい状況と判断されよう。黒色頁岩—1。

⇒ (上設打面で) ○○→1 (打再) ⇒○○

⇒ (下設打面へ) ○○⇒○ (打再) ⇒○○→3

⇒ (上設打面へ) ○ (打再) →○○→4

⇒ (下設打面へ) ○○→5→6

⇒ (上設打面へ) ○⇒2→7⇒○ (打再) ⇒8→9→○→10

#### 接合資料—157 (第41図)

2点からなる接合資料。剥離過程で生じた原石の厚い破片を石核素材に用いる。やや幅広いの小形剥片1を剥離、この剥離面を打面に幅広い剥片を剥離した後に、打面を下に戻し2枚の小形剥片を剥離して石核を放棄している。黒色頁岩—4。

○→1⇒○⇒○○→2

#### 接合資料—38・1・3・5・6 (第41図)

小形石刃の接合資料を一括した。接合資料—38は三角形の断面形状を持つ石刃の接合資料で、中央より下部を破損する。チャート—10。接合資料—1は破片(?)と右側縁を加工したナイフの接合例。背面に残る剥離は石刃の連続剥離を示している。黒曜石—1。接合資料—3・5は小形石刃剥離に伴う接合例。黒曜石—3。同じく接合資料—6は小形石刃の剥離に伴う接合例で、2点とも剥片下部を欠損している。黒曜石—4。

#### 接合資料—8・18 (第42図)

90°剥離方向の異なるやや幅広い剥片の接合例。剥片の背面は比較的平坦な剥離面や稜面で覆われ、剥離初期の様相を呈する。接合資料—8は黒曜石—11に分類。

#### 接合資料—2・4・7 (第42図)

剥片の中央付近で接合する接合例を一括した。接合資料—2・4は石刃剥離に伴う小形石刃の接合例で、

2は接合資料-1と、4は接合資料-5と同一母岩。

#### 接合資料-52 (第42~44図)

19点からなる接合資料。高さ11.4cm、幅4.8cm、厚さ8.2cmを測る角柱状原石を石核に用いる。剥片剥離は上端の礫面を打面に行われ、幅広の縦長剥片を剥離している。隔離段階の後半に剥離した大形剥片(18・19)は石核に転用、小形剥片を剥離している。原石の正面には葉理が発達しており、この葉理で初期の剥片は割れている。チャート-21。

1→2→3→4→5→6→7→8→(○○→9)→10→11→12→13→14→(15→16→17→18)  
→(○○→○○→○○→19)

#### 接合資料-53 (第44~46図)

26点からなる接合資料。高さ4.8cm、幅5.8cm、厚さ10.2cmを測る角柱状原石を石核に用いる。剥片剥離は最初上端の平坦な礫面を打面に行われ、幅広剥片(1~11)を剥離している。12~14は打面を右辺に移し、作業面を打撃面に変え剥片剥離を試みており、15以後の剥離は再び作業面を元に戻して剥片を剥離している。剥片16を剥離した段階で、剥片17が不意に割れ、18以後の剥片は基本的に17の剥離面を打面に剥片を剥離して約10枚ほど剥片を剥離して石核消費を終えている。チャート-22。

1→2→3→4→5→6→7→○→8→9→○→10→11⇔12→13→14⇔15→16・17  
⇔18→19→20→21→22→23→24→25→26

#### 接合資料-50 (第47~50図)

33点からなる接合資料。高さ10.8cm、幅15.4cm、厚さ8cmを測る角柱状原石を石核に用いる。剥片剥離は最初上端の平坦な礫面を打面に行われ、幅広の大形剥片(1~19)を剥離している。それ以後の剥離は打面と作業面を頻繁に入れ変え剥片を剥離している。剥離した剥片の形状は比較的大形で、典型的「石刃剥離」とは大きくことなる。チャート-19。

1→2→3→4→5→6→7→8→9→10・11→12→13⇔14・15(?)  
→16→17→18→19  
⇔(90°打面転移) 20→21→22→23・24  
⇔(90°打面転移) 25→26  
⇔(90°打面転移) 27  
⇔(90°打面転移) 28→29→30→○  
⇔(180°打面転移) 31→32→33

#### 接合資料-54 (第51・52図)

11点の剥片と石核(第52図12)からなる接合資料。高さ9.2cm、幅7.2cm、厚さ5.5cmを測る扁平礫を石核に用いる。剥片剥離は上端の平坦な礫面を打面に行われ幅広の大形剥片(1~4)を剥離している。途中剥離は正面左側の礫面と上端の礫面に打点を交互に移動している。剥片7の剥離以後、打面は正面・左に固定、打点を左右に大きく振り剥離している。なお、剥片11は最終的に打面を対辺に移し剥離、もう1枚の剥片を剥離して石核消費を終えている。チャート-23。

○→1→2→3→4⇒5⇒6⇒7→8→9→10

⇒(180°打面転移)11→12

#### 接合資料—81 (第52図)

剥片1・石核1からなる接合資料。長さ12.4cm、幅6.3cm、厚さ5.8cmを測る角柱状原石を石核に用いる。剥片剥離は上端の稜面を打面に選択、大形の幅広剥片を剥離している。剥片1に残る剥離痕は「試し割り」の可能性が高い。チャート—44。

○→1→2

#### 接合資料—64・89 (第53図)

槍先形尖頭器の製作途中を示す接合資料。2例とも接合剥片は厚く最終段階の剥離にはほど遠く、製作を途中で放棄している。

#### 接合資料—51 (第54図)

角柱状原石を用い剥片剥離を行う接合資料。剥離は上面の稜面を打面に行われ、幅広剥片を剥離している。原石には葉理が発達しており、このため意図する形状の剥片が剥離できないまま、途中で剥離作業を終えている可能性が高い。チャート—20。

1→(○→2→3→4)

#### 接合資料—55 (第55図)

11点からなる接合資料。高さ4.4cm、幅7.9cm、厚さ3.8cm以上を測る扁平稜を石核に用いる。剥片剥離は基本的に稜の小口部分で行われ、幅広剥片を連続的に剥離した可能性が高い。剥離作業は正面以外にも稜の裏面でも行われ、打点を左右に大きく振り進む。剥離の前後関係は厳密には不明だが、概して正面・左の剥離が先行した可能性が高い。チャート—24。

○⇒1⇒○⇒2→3→4→○○→8→9→○→10→○○→11

○⇒○○⇒○○⇒5→6→○→7

#### 接合資料—56 (第56・57図)

20点からなる接合資料。高さ3.8cm、幅10.4cm、厚さ7cm以上を測る扁平稜を石核に用いる。まず、剥離は稜面を除去、広く平坦な打面を作ることからはじまる。剥片2は打面再生に近い剥離で、この剥離で生じた稜線が次の剥片3の打点に一致することから打点を限定する機能を演じた可能性が指摘されよう。以下、剥離は90°の打面転移を繰り返し進む。剥片8を剥離した段階で石核は葉理で大きく破損しており、この葉理を正面に据え打面転移を行い以下の剥離は進む。が、剥片12以下の剥離は比較的組織的で、やや幅広の縦長剥片を連続剥離している。チャート—25。

○○→1

⇒(90°打面転移)2→○

⇒(90°打面転移)○→3・4→5→6

⇒(90°打面転移)7

- ⇒ 8 → ○○
- ⇒ (90°打面転移) 9 → 10 → ○○
- ⇒ (90°打面転移) 11
- ⇒ (90°打面転移) 12 → 13 → 14 → 15 → 16 → 17 → 18 → 19 → 20

#### 接合資料—58 (第58・59図)

20点からなる接合資料。高さ4.4cm、幅6.8cm、厚さ10cm以上を測る角柱状原石を石核に用いる。剥片剥離は上面の踵面を打面に原石の小口部分で行われ、概して幅広の剥片(1~5)を剥離している。以後剥離は石核正面・左に移し小形剥片(6・7)を剥離する。剥片10以下の剥離は石核正面の小口部分以外にも、上面を作業面に加え、頻繁な打面転移を繰り返す。チャート—26。

- 1 → 2・3 → 4 → 5
- ⇒ (90°打面転移) 6・7
- ⇒ (90°打面転移) 8
- ⇒ (90°打面転移) 9 → 10 → 11 → 12
- ⇒ (90°打面転移) 13
- ⇒ (90°打面転移) 14 → 15 → 16
- ⇒ (90°打面転移) 17 → 18 → 19 → 20

#### 接合資料—65 (第59図)

6点からなる接合資料。高さ6.8cm、幅5.5cm、厚さ4.8cmを測る分割礫を石核に用いる。この石核の表裏両面には葉理が大きく残る。剥片剥離は上面で剥片1・2を剥離した後に、90°の打面転移を行い剥片3を含む2枚の剥片を剥離、続いて打面を対辺に移し剥片5を剥離している。石核は消費の途中で放棄している。チャート—33。

- → 1 → 2 → ○ → 3
- ⇒ (180°打面転移) ○○ → 4
- ⇒ (180°打面転移) 5 → ○○ → 6

#### 接合資料—59 (第60図)

4点からなる接合資料。高さ4.8cm、幅5.3cm、厚さ7.9cmを測る亜角礫を石核に用いる。剥片剥離は礫の小口部分から行われ、上面の平坦な踵面を打面に打点を左右に大きく振り、幅広剥片(1・2)を剥離している。剥片3を剥離する前後には打面を入れ替え剥片を剥離している。チャート—27。

- 原石 ○○ → 1 → 2 → ○
- ⇒ (90°打面転移) ○
- ⇒ (90°打面転移) 3 → ○
- ⇒ (90°打面転移) ○…○
- ⇒ (90°打面転移) 4

#### 接合資料—66 (第60図)

3点からなる接合資料。高さ5.2cm、幅7.9cm、厚さ4cm以上の分割隙を石核に用いる。剥片剥離は正面の広い分割面で行われ、大形の剥片を剥離している。剥片2は厚く、このため石核に転用している。石質は良好だが葉理が発達している。チャート—33。

1 → (○○ → ○○ → ○○ → 2) → 3

#### 接合資料—63 (第61図)

3点からなる接合資料。高さ7.9cm、幅6.8cm、厚さ4cmの分割隙を用いる。剥片剥離は大形剥片1を剥離した後に、石核正面で行われ、やや幅広の縦長剥片(石刃?)を連続剥離している。チャート—32。

1・2 → ○ → … → ○ → 3

#### 接合資料—74 (第61・62図)

7点からなる接合資料。高さ7.2cm、幅6.6cm、厚さ5.8cmを測る分割隙を石核に用いる。剥片剥離は上面の平坦面から行われ、剥片1～3を連続剥離する。剥片4を剥離する前に打面転移を行い剥片を剥離、この衝撃で剥片4が割かれ落ちる。その後、大形剥片5が葉理で剥落、残る石核から剥片6を含む数枚の剥片を剥離する。チャート—39。

1 → 2・3 → ○・4 → 5 → 6 → ○…○ → 7

#### 接合資料—75 (第62図)

9点からなる接合資料。比較的小形の分割隙を石核に用いる。正面・左側には小剥離が連続的に見られ、微調整(剥片1)の可能性が残る。剥片1を剥離したのち、上端から剥片2を剥離、続いて打面を対辺に移し、小剥片3を剥離している。その後、再び打面上端に移し4以下の剥片類を剥離する。が、この間の打面再生は4・5が打面を欠いており、明確には位置づけられない。チャート—39。

1 → ○○ → 2

⇒ (180°打面転移) ○ → 3

⇒ (180°打面転移) ○ (打再?) ⇒ 4 → ○ → 5 → 6 → 7 → 8 → 9

#### 接合資料—39 (第62図)

2点からなる接合資料。背面に残る背面構成から作業面を固定、剥片を連続剥離する剥離が復元可能だが、これ以上の接合が見られないため、詳細は明確ではない。比較的石材は良質だが、石刃製作に用いる典型的石材とも異なるため、ここではやや幅広の縦長剥片製作を意図したもの、と暫定的に捉えておきたい。チャート—11。

○○ → 1 → ○○ → 2

#### 接合資料—97 (第63図)

8点からなる接合資料。葉理を大きく残す分割隙を石核に用いる。剥片剥離は石核の表裏両面で行われ、幅広の剥片を剥離している。母岩分類不可。

○○ → 1 → 5 → 6 → 7 → 8 → 2 → 3 → 4

#### 接合資料—83 (第64図)

8点からなる接合資料。高さ4.4cm、幅8.4cm、厚さ8.6cmを測る分割礫を石核に用いる。この石核には極めて葉理が発達しており、1も剥離を意図したものではなく、衝撃で破損剥落した可能性が想定されよう。剥片剥離は1が剥落したのち、石核の上下両端や右辺で行われ、打面と作業面を交互に入れ替え幅広剥片を剥離している。母岩分類不可。

石核原形→1

○○→1・2・3→○○→4・5→○○→6→7

#### 接合資料—36 (第65図)

4点からなる接合資料。高さ2.8cm、幅6.0cm、厚さ3cmを測る角柱状を呈する原石を石核に用いる。剥片剥離は石核正面で行われ、打点を左右に大きく振り幅広剥片を剥離している。チャート—9。

○○→1→○→2→3→○→4

#### 接合資料—69 (第65図)

2点からなる接合資料。高さ6.6cm、幅2.7cm、厚さ5cm以上を測る扁平礫を石核に用いる。剥片剥離は礫の小口部分からやや右に捻れて行われ、やや幅広剥片を剥離している。が、基本的には礫の小口部分で剥離を試みたもの、と断定できよう。チャート—9。

#### 接合資料—76・41・73 (第65図)

小形石刃の連続剥離を示す一群。3例とも石核調整その他を終えた石刃を量産する段階の接合例である。76はチャート—39に、41はチャート—13に母岩分類されよう。

#### 接合資料—47・40 (第66図)

比較的形状の整う石刃の連続剥離を示す一群。47は石核調整その他を終えた段階の石刃を量産する段階の接合例で、両設打面を有する。チャート—16。40は広い平坦面を有する石刃剥離の初期段階を示す接合例。チャート—12。

#### 接合資料—49・67・68 (第66・67図)

打面を固定して幅広剥片を連続剥離する一群。接合資料—49は礫面を打面に、同一48・67は平坦な剥離面を打面に剥離を行う。49はチャート—18に、48・67はチャート—34に母岩分類した。

#### 接合資料—31 (第67図)

4点からなる接合資料。礫面を大きく残す剥離の初期段階を示す接合資料で、上面から剥片1・2を剥離したのち、打点を左辺と右辺に振り剥片3・4を剥離している。チャート—5に分類され、打面再生剥片に位置づく可能性が指摘されよう。

#### 接合資料—24・48・26・125・127 (第67・68図)

石刃、及び、縦長剥片が中央付近で接合した例を一括した。状況的には剥離段階で破損した可能性が想定可能だが、他の地点で剥離、遺跡に持ち込んだ接合資料—127が示す通り、使用過程で破損した例も見られ、一概には断定できない。

#### 接合資料—44・20・27・28・70・61・115・155・156・87 (第68～70図)

横長剥片の接合例を一括した。稜面や葉理を大きく残す例も多く、剥離初期の石核調整剥片の想定が可能だが、接合資料の中には幅広く横長の剥片を剥離する例も見られ、断定できない。

#### 接合資料—19・21・62・77・71・126・116・22 (第70・71図)

縦位、及び、横位に折れた剥片の接合例を一括した。この種の剥片には葉理の発達する例も多く、剥離の段階で不意に破損した可能性が指摘されよう。

### c. 石器と礫の分布

既に述べた通り、A地点出土の石器群はAs—Opk1降下以前の台地縁辺に分布していた。この台地は第三紀に起源する金山丘陵から途中(太田市東金井)枝分かれして南東に延びる丘陵(地元では焼山丘陵と称している)が続いている。土層の堆積状態から判明した北西—南東に延びる尾根状の微高地も、基本的には焼山丘陵がAs—KPを含む河川性の堆積物を基盤に「暗色帯」以上のロームを載せる台地の形成を規定・影響したのである。発掘調査では台地縁辺が旧石器の出土地(A地点、遺跡東端の5区・6区の境界付近)で南北に大きく方向を変えている状態を部分的に確認している。このため、石器群の分布域は更に東へ延びる可能性を否定できないのであり、分析を制約している。旧石器の出土地は、上述した通り焼山に続く尾根状微高地に概ね分布したほか、微高地の南西側にも若干の石器が分布しており、尾根より南西には余り分布が広がらない状態を示していた。

発掘調査の結果、この地点には11ヶ所の石器集中地点と5ヶ所の礫群を確認している。石器と礫の分布は重複する例が圧倒的に多い。重ならない例は完形礫が密集・出土した1ヶ所(5号礫群)で、他の地点では接合関係を有する破損礫を多量に含み、少量の石器が重複・出土する点で大きく相違していた。また、石器は尾根状微高地の北東側に密集分布する傾向を示しており、なかには300点を超える量の石器が出土した地点が存在した。組成的にも均質ではなく、石刃剥離を行う良質石材の卓越する地点、角柱状原石を用い縦長剥片を量産する地点、葉理の発達する不良石材を用い剥離を行う地点など多様でもある。

#### 1号ブロック (第93図)

位置 尾根状微高地の頂部(6—325G・326G・345G・346G・365G・366G)

規模 長径9.5m・短径7.5m

分布状態 密集度は若干だが低い。6—326杭を境に東側と西側、それより北側の3ヶ所に密集地点を有す。

出土層位 この地点ではV層の堆積が北側(6—366杭)を除いて明確ではない。石器はIV層～VI層に出土、VI層に最も多く出土した。

出土点数 176点

器種構成 槍先形尖頭器2、加工痕4、使用痕4、敲き石3、石核8、縦長剥片3、剥片60、砕片92



石材構成 チャート121、黒曜石37、黒色頁岩10、珪質頁岩2、頁岩1、ホルンフェルス1、粗粒安山岩3  
接合資料 チャート(12例48点)、黒色頁岩(2例5点)  
その他 調査区・東端に発見され、石器分布が調査区外に延びる可能性も否定できない。このため、石器分布の全貌は不明だが概ね石器分布の主体は捉え得ている、と考えている。なお、石器分布の南東は3号住居と重複しており、部分的には包含層を壊しているかもしれない。

#### 2号ブロック(第94図)

位置 尾根状微高地の頂部(6-347G・348G・367G・368G)  
規模 長径7.2m・短径5.7m  
分布状態 比較的良好に集中分布している。  
出土層位 IV層～VII層に出土している。この地点ではVII層の出土も多く、VI層の出土量とも余り大きな差は見られない。  
出土点数 128点  
器種構成 ナイフ3、削器1、搔器2、加工痕6、使用痕4、敲き石2、石核3、縦長剥片8、剥片38、砕片61  
石材構成 チャート115、黒曜石7、黒色頁岩2、ホルンフェルス1、珪質粘板岩1、粗粒輝石安山岩2  
接合資料 チャート(16例76点、このうち6例が他のブロックと接合関係を有す)  
その他 石器分布は6-367G付近に良く集中する一方、分布域の南西側(6-368杭の付近)にも集中域が見える。なお、この集中地点の西側を上層の溝が、分布の薄い南側の地点(3-368杭の東)を上層の土坑が部分的に壊している。

#### 3号ブロック(第95図)

位置 尾根状微高地の頂部(6-366G・367G・386G・387G)  
規模 長径4.2m・短径3.3m  
分布状態 散漫な状態で分布する。  
出土層位 IV層の下部～VII層。他の地点とはやや異なり、VI層～VII層に多く出土している。  
出土点数 22点  
器種構成 使用痕2、敲き石4、石核1、縦長剥片2、剥片11、砕片2  
石材構成 チャート15、黒曜石2、溶結凝灰岩2、粗粒輝石安山岩3  
接合資料 チャート(5例56点、このうち2例は他の地点で剝離した石刃剝離に伴う打面再生剥片、1例は石刃関連の資料が各々1点出土)  
その他 この地点には礫群が重複分布している。石器の出土層位が少し低い点が注意されよう。

#### 4号ブロック(第95図)

位置 尾根状微高地の頂部よりやや北側の緩い斜面(6-385G・386G)  
規模 長径3.6m・短径2.1m  
分布状態 散漫な状態で分布する。  
出土層位 IV層～VII層。VI層に最も多く出土している。

出土点数 16点  
器種構成 彫器1、使用痕1、石核1、剥片8、碎片5  
石材構成 チャート15、黒曜石1  
接合資料 チャート(3例53点、このうち1例は5号ブロックで剥離した剥片1が出土)  
その他 この地点には礫群が重複分布している。

#### 5号ブロック(第96図)

位置 尾根状微高地の頂部からやや離れた台地縁辺(6-385G・386G・5-5G・6G)  
規模 長径6.6m・短径5.5m  
分布状態 比較的良好な状態で集中分布する。  
出土層位 約70cmの高低差を以てⅣ層～Ⅸ層の上部に出土。Ⅶ層に最も多く出土している。  
出土点数 229点  
器種構成 ナイフ3、槍先形尖頭器7、削器1、加工痕8、使用痕16、敲き石1、石核7、縦長剥片7、剥片86、碎片93  
石材構成 チャート177、黒曜石45、黒色頁岩1、硬質頁岩1、黒色安山岩2、珪質粘板岩1、輝緑凝灰岩1、ホルンフェルス1  
接合資料 黒曜石(2例4点)、チャート(9例139点、このうち1例は4号ブロック出土の剥片1と、1例は6号ブロック出土の多数の剥片と接合関係を有する)  
その他 Ⅸ層の上部まで達した石器群の出土状態は土壌攪乱が要因とも思える。が、調査所見では他の地点で確認した土壌攪乱は存在せず、現状では説明が難しい。台地縁辺に近く、土層の堆積が若干相違したかもしれない。

#### 6号ブロック(第95図)

位置 尾根状微高地からやや離れた台地縁辺(5-6G・7G)  
規模 長径2.9m・短径2.2m  
分布状態 比較的散漫な状態で分布する。  
出土層位 Ⅳ層～Ⅶ層。Ⅶ層の上部に最も多く出土している。  
出土点数 26点  
器種構成 加工痕1、使用痕1、縦長剥片1、剥片5、碎片18  
石材構成 チャート26  
接合資料 チャート(1例51点、5号ブロックと接合関係を有する)  
その他 チャート1母岩からなり、その他の母岩・石材は見られない。

#### 7号ブロック(第97図)

位置 尾根状微高地の頂部(6-387G・388G・5-7G・8G)  
規模 長径6.6m・短径6.3m  
分布状態 良好に集中分布する。  
出土層位 Ⅳ層～Ⅶ層

出土点数 337点

器種構成 ナイフ3、槍先形尖頭器2、削器1、加工痕4、使用痕5、礫器2、敲き石1、石核10、縦長剥片1、剥片90、砕片218

石材構成 チャート301、黒曜石29、黒色頁岩1、珪質頁岩1、黒色安山岩3、ホルンフェルス2

接合資料 黒曜石（1例2点）、チャート（29例142点、このうち1例は2号・6号ブロックと、1例は2号ブロックと、1例は18号ブロックと接合関係を有する）

その他 A地点とB地点の関係を知る上で重要な唯一の接合資料が存在している。この接合資料（接合-97）は8点からなり、7点がB地点から、残る1点がA地点から出土した。溝がブロックの西側に重複しており、包含層を部分的に壊している。

#### 8号ブロック（第98図）

位置 尾根状微高地の頂部から北の緩い斜面（5-9G・10G・28G・29G・30G）

規模 長径9.1m・短径8.3m

分布状態 5-29Gに集中分布するほか、西側に散漫に分布する。

出土層位 石器分布の集中する5-29G付近ではⅣ層～Ⅶ層に、やや散漫に分布する西側ではⅣ層～Ⅸ層の上部まで出土している。

出土点数 377点

器種構成 ナイフ6、加工痕6、使用痕3、石核10、縦長剥片17、剥片83、砕片252

石材構成 チャート287、黒曜石83、黒色頁岩5、黒色安山岩1、ホルンフェルス1

接合資料 黒曜石（6例14点）、チャート（18例112点、このうち1例は9号ブロックと、1例は3号・9号ブロックと接合関係を有する）、黒色頁岩（1例2点）

その他 やや散漫な分布状態を示す地点には後述するよう土壤攪乱が存在していた。5-29Gに集中分布した地点とはことなりⅨ層の上部まで出土した石器の出土状態は、この土壤攪乱で説明できよう。上層の溝が集中地点の東側で重複、包含層を部分的に壊している。

#### 9号ブロック（第99図）

位置 尾根状微高地の頂部から北の斜面（5-31G・32G・51G・52G）

規模 長径5.5m・短径4.8m

分布状態 良好な状態で集中分布している。

出土層位 Ⅳ層～Ⅶ層の上部

出土点数 240点

器種構成 ナイフ15、掘器1、加工痕1、使用痕3、石核5、縦長剥片42、剥片77、砕片96

石材構成 チャート219、黒曜石1、黒色頁岩19、褐色碧玉1

接合資料 チャート（15例126点、このうち2例は3号・8号ブロックと接合関係を有する）、黒色頁岩（1例12点）

その他 台地縁辺に立地する。比較的傾斜の強い状態は石器の垂直分布に良く見える。

#### 10号ブロック (第99図)

位 置 尾根状微高地より南の、台地縁辺から離れた台地の奥 (6-350G)

規 模 長径1.1m・短径0.7m

分布状態 散漫な状態で分布している。

出土層位 IV層~VI層に出土している。

出土点数 4点

器種構成 ナイフ1、剥片2、砕片1

石材構成 チャート3、黒曜石1

接合資料 なし

そ の 他 4号礫群と重複して分布する。

#### 11号ブロック (第99図)

位 置 尾根状微高地より南の、台地縁辺から離れた台地の奥 (6-331G・351G)

規 模 長径1.9m・短径1.7m

分布状態 良好な状態で集中分布する。

出土層位 IV層~VII層の上部

出土点数 60点

器種構成 使用痕1、礫器2、敲き石2、石核5、剥片29、砕片21

石材構成 チャート54、砂岩1、ホルンフェルス4、石英斑岩1

接合資料 4例38点

そ の 他 3号礫群を重複して分布する。この礫群は構成礫数が少なく認定が妥当か不安だが、熟われている礫が確実に存在していることから、積極的に評価した。

#### 1号礫群 (第100図)

位 置 尾根状微高地からやや北側の斜面 (6-385G・386G)

規 模 長径1.3m・短径0.4m

分布状態 散漫な状態で分布する。

出土層位 VI層。礫群はVI層の途中で最も多く出土している。

出土点数 14点

石材構成 チャート1、ホルンフェルス2、砂岩9 (完形礫1)、粗粒輝石安山岩14 (完形礫1)

接合資料 5例13点

そ の 他 礫重量は50g以下の礫が6点と最も多く、次には50g~100gの礫が多い。完形礫は133g、破損礫は最大で222g・最小で8g (平均67g) を測る。3点の礫に赤化が、2点の礫にススの付着を確認している。

#### 2号礫群 (第101・102図)

位 置 尾根状微高地の頂部 (6-366G・367G・386G・387G)

規 模 長径4.54m・短径3.83m

分布状態 6-387杭付近に長径0.7m・短径0.4mの礫が集中分布するほか、南東に少し離れて比較的大形の礫が分布する。また、礫群の周辺域、特に礫群の北東側には小形の破損礫が散漫に分布する傾向が指摘されよう。

出土層位 VI層の下部からVII層の上位

出土点数 131点

石材構成 チャート101(完形礫3)、ホルンフェルス5、輝緑凝灰岩1(完形礫1)、砂岩9(完形礫1)、粗粒輝石安山岩1、溶結凝灰岩5(完形礫3)

接合資料 27例83点(このうち、3例が4号礫群と接合関係を有する)

その他 礫重量は50g以下の礫が84点と最も多く、次に50g~100gの礫が多い。完形礫は200g~300gに入る礫が3点と最も多く、最大で579g・最小で56gを測る。12点の礫に赤化が、4点の礫にススの付着を確認している。

### 3号礫群(第100図)

位置 台地縁辺から離れた台地の奥(6-331G)

規模 長径1.1m・短径0.2m

分布状態 散漫な状態で分布する。

出土層位 VI層

出土点数 3点

石材構成 チャート1、砂岩1、粗粒輝石安山岩1

接合資料 1例4点?

その他 11号ブロックと重複分布している。付近には礫器や敲き石が分布出土しており、調査段階では躊躇せず礫群と捉えた。分析の結果、礫は3点と少なく礫群に認定可能か疑問に思えた。が、ここでは礫の赤化や破損を重視して積極的に礫群と捉えた。礫重量は破損している2点が600g~700gと重く、完形の1点は110gと軽い。

### 4号礫群(第100図)

位置 台地縁辺から離れた台地の奥(6-350G・370G)

規模 長径2.52m・短径0.97m

分布状態 散漫な状態で分布する。

出土層位 VI層

出土点数 8点

石材構成 チャート5、砂岩3

接合資料 4例14点(このうち、3例が2号礫群と接合関係を有する)

その他 10号ブロックと重複分布している。石器分布も散漫な上に礫分布も散漫だが、2号礫群と密接な接合関係を有しており、礫群と捉えた。礫重量は総て100g以下で、完形礫は見られない。

#### 5号礫群 (第102図)

位置 尾根状微高地の緩い南側斜面 (6-390G)

規模 長径0.7m・短径0.35m

分布状態 狭い範囲に集中分布する。

出土層位 VII層中位で確認。埋土はVII層に類似している。

出土点数 10点

石材構成 砂岩1、粗粒輝石安山岩9

接合資料 なし

その他 礫群は他の礫群とは異なりVII層の上面で確認した。この礫群には長径0.98m・短径0.88mを測る土坑を伴う。埋土は1層がVII層に近い黄褐色ロームで、2層がVII層とVIII層の混土層。「掘り込み」は明確ではなく、覆土は還元気味。総て完形礫で、礫重量は平均で517gを測る。

#### その他の礫分布 (第5図を参照)

このほかにも、上記礫群の構成礫と同じ属性を持つ礫・礫片が出土した地点が存在した。礫の分布状態は散漫だが、2号ブロックや8号ブロックには礫類の量的に纏まる地点を確認している。周辺域には受熱剝片が存在するわけではなく、現状ではこの礫・礫片の存在意義は明確にはできない。

#### d. 土壌攪乱

石器集中地点(2号・7号・8号ブロック)に重複して、ロームの堆積が乱れた地点(写真図版11、1~8を参照されたい)を3ヶ所確認した。この乱れたロームの堆積は3ヶ所とも上層石器群(第1文化層)の調査が終了した段階の確認で、それぞれ石器の集中地点と部分的に重なる位置関係を有している。調査は倒木痕を意識して行い、ローム層の反転にも注意を払い調査を進めた。

石器集中地点に重なるこの「落ち込み」には少数だが石器が出土しており、この「落ち込み」はIX層の下部まで達していた。この時点ではロームの反転も想定可能と思えた。が、5-30G・31Gに残した土層断面ではロームはVII層より下位のロームが変質・ロームが反転しているとはいえないこと、VII層より上のロームは成層していること、下層から出土した石器は数点で「落ち込み」と重複分布する石器が大きく動いている状態は見られないことなどから、ここでは下層から出土した石器(上層の石器と接合関係を確認している)を単なる「潜り込み」と捉え、乱れた状態で堆積したロームには最寒冷期を迎えた厳しい、気候条件の下で生成した土壌攪乱を想定しておきたい。

なお、この土壌攪乱には当時の植生を反映したものととも想定可能だが、今回の調査ではデータの的にも検討できない。

#### e. 接合資料の分布

接合作業の結果、124例695点の接合資料を確認した。接合率は38.5%に達しており、出土資料の2/5が接合している。接合作業を試みてない砕片類を除けば更に接合率は跳ね上がり、石器群の構造分析を行う上で極めて良好な資料と評価されよう。

既に述べた通り、接合資料には石刃剝離を行う典型的な「砂川型刃器技法」を示す例と、同じ角柱状原石が採用されながらも幅広・縦長の剝片を連続剝離する例、葉理の発達した石核を用い打面転位を繰り返し幅

広の剥片を剥離する例に大きく三分され、この所見を念頭に接合資料の分布を記していきたい。

**接合資料—25の分布 (第107・108図)**

分布地点 3号(6-386G)・8号(5-30G)・9号ブロック(5-31G・32G・51G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 3号ブロックに打面調整剥片1、8号ブロックに石刃1が出土

備考 9号ブロックに接合資料が偏在することから、この地点で石刃を量産したもの、と断定できよう。  
8号ブロックの石刃1は9号ブロックで剥離した後の移動だが、3号ブロックに出土した剥片の移動理由は明確ではない。

**接合資料—26の分布 (第108図)**

分布地点 9号ブロック(5-31G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 なし

備考 接合資料—25と同一母岩に分類可能。分布域が重なることからこの地点で剥離している可能性が高い。

**接合資料—27・28の分布 (第108図)**

分布地点 2号ブロック(6-348G・367G・368G)

剥片剥離 石核調整剥片(?)

剥片移動 なし

備考 27・28は同一母岩に分類可能。

**接合資料—29の分布 (第108図)**

分布地点 8号ブロック(5-30G)、9号ブロック(5-30G・6-348G・367G・368G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 8号ブロックに剥片1が出土している。

備考 9号ブロックに接合資料が偏在することから、この地点で石刃を量産したもの、と断定できよう。  
8号ブロックに出土した剥片の移動理由は明確ではない。

**接合資料—30の分布 (第108図)**

分布地点 9号ブロック(5-31G・5-32G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 なし

備考 接合資料—29と同一母岩に分類可能。分布域が重なることから、この地点で剥離している可能性が高い。

**接合資料—31の分布 (第109図)**

分布地点 2号ブロック(6-368G)、3号ブロック(6-366G)、ブロック外(6-368G)

剥片剥離 打面調整剥片

剥片移動 3号ブロックに剥片1が出土している。

備考 資料数量が少なく、剥離地点は特定できない。3号ブロックの剥片は稜面を大きく残す剥離初期の剥片だが、比較的形状が整う剥片で、移動している可能性も否定できない。

**接合資料—32の分布 (第109図)**

分布地点 2号ブロック (6-367G)、7号ブロック (6-388G)、ブロック外 (6-385G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 2号ブロックに石刃が、7号ブロックに打面調整剥片が、6-385Gに石刃石核が出土している。

備考 資料数量が少なく、剥離地点は特定できない。

**接合資料—33の分布 (第109図)**

分布地点 2号ブロック (6-367G)、9号ブロック (5-31G)

剥片剥離 石刃剥離 (搬入?)

剥片移動 2号ブロックには二側縁加工のナイフが、9号ブロックには基部加工のナイフが出土している。

備考 資料数量が少なく、剥離地点は特定できない。接合資料—32と同一母岩に分類可能だが、他の地点で石刃を剥離、製作したナイフを遺跡に持ち込んでいる可能性も否定できない。

**接合資料—34の分布 (第109図)**

分布地点 2号ブロック (6-367G)、8号ブロック (5-29G)、9号ブロック (5-31G・32G・51G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 2号ブロックには石刃 (使用痕) 1が、8号ブロックには石刃3が出土している。

備考 9号ブロックに接合資料が偏在していることから、この地点で石刃を量産したもの、と想定できよう。2号ブロックや8号ブロックの石刃には剥離地点の移動ではなく、剥離した後の石刃の移動を想定しておきたい。

**接合資料—35の分布 (第110図)**

分布地点 2号ブロック (6-367G)、6号ブロック (5-7G)、7号ブロック (6-387G・388G・5-7G・8G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 2号ブロック・6号ブロックには折断した石刃が出土している。

備考 7号ブロックに接合資料が偏在していることから、この地点で石刃を量産したもの、と想定できよう。4点の石刃が4点とも折断状態で出土する理由は現状では不明だが、そこには人為的意図が看取れる。

**接合資料—36の分布 (第110図)**

分布地点 5号ブロック (6-385G・5-5G・6G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

備考 接合状態から、この地点で石核を消費している可能性が高い。

**接合資料—37の分布 (第110図)**

分布地点 2号ブロック (6-367G)、7号ブロック (6-387G・388G・5-7G・8G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 2号ブロックに剥片1が出土している。

備考 7号ブロックに接合資料が偏在していることから、この地点で石刃を量産しているものと断定できよう。2号ブロックに出土した剥片の移動理由は明確ではない。



**接合資料—38の分布 (第110図)**

分布地点 9号ブロック (5—31G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 なし

備考 接合資料—37と同一母岩に分類可能。7号ブロックで剥離した後に、この地点に持ち込んでいる可能性も否定できない。

**接合資料—39の分布 (第110図)**

分布地点 2号ブロック (6—368G)、ブロック外 (6—370G)

剥片剥離 石刃剥離 (?)

剥片移動 不明

備考 資料数量が少なく、剥離地点は特定できない。

**接合資料—19～21の分布 (第111図)**

分布地点 9号ブロック (5—31G・32G・51G・52G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 なし

備考 接合資料—20・21は打面調整剥片と見られ、また、同じ地点には同一母岩に分類可能な石刃製作を示す接合資料—23が存在している。

**接合資料—22～24の分布 (第111図)**

分布地点 9号ブロック (5—31G・32G・51G・52G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 なし

備考 接合資料—23は、稜・調整剥片を含む石刃剥離の典型例。接合資料19～24は総て同一母岩に分類が可能で、この地点で石刃を剥離している可能性が強い。石核は他の地点に持ち出している。

**接合資料—42～44の分布 (第111図)**

分布地点 9号ブロック (5—31G・32G・51G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 なし

備考 総て同一母岩に分類可能で、接合資料—42は剥離の初期段階を欠き、逆に43は剥離の後半部分を欠いている。分布の集中度が高く、この地点で集中的に石刃を製作したもの、と断定できよう。

**接合資料—41の分布 (第112図)**

分布地点 3号ブロック (6—366G・386G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 なし

備考 資料数量が少なく、剥離地点は特定できない。

**接合資料—40・45・46・48・73の分布 (第112図)**

分布地点 2号ブロック (6—347G・367G・368G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 なし

備 考 接合資料—45・46は同一母岩に分類可能。2例とも石刃剥離の部分的表現で、打面再生を試みるなど剥離した石刃を他の地点に持ち出している可能性も想定可能だが、打面再生剥片が出土資料にはないことから、他の地点から搬入している可能性も否定できない。

**接合資料—50の分布 (第113図)**

分布地点 5号ブロック (6-385G・386G・5-5G・6G)、6号ブロック (5-6G・7G)、ブロック外 (6-386G)

剥片剥離 幅広・縦長剥片の剥離

剥片移動 不明

備 考 5号ブロックと6号ブロックの間で頻繁な接合関係を有する。剥離初期の大形剥片や剥離後半の剥片は5号ブロックに出土する傾向が指摘されよう。また、剥離の中間段階に位置づく剥片ではより小形の剥片が6号ブロックに、大形の剥片が5号ブロックに出土する傾向も見られ、剥片を選択・移動している可能性も否定できないため、単なる剥離地点の移動と捉えるのではなく、剥離の中間段階以前を6号ブロックで剥離を行い、このうち大形の剥片を携えて5号ブロックに移り、以後の剥離を行う可能性を想定しておきたい。

**接合資料—52の分布 (第113図)**

分布地点 4号ブロック (6-386G)、5号ブロック (6-386G・5-6G)、ブロック外 (6-386G)

剥片剥離 幅広・縦長剥片の剥離

剥片移動 4号ブロックに破片1が、ブロック外に破片1が出土している。

備 考 5号ブロックに接合資料が偏在していることから、この地点で集中剥離したものと断定できよう。5号ブロックやブロック外から出土した破片の移動理由は明確ではない。

**接合資料—53の分布 (第114図)**

分布地点 5号ブロック (6-385G・5-5G・6G)

剥片剥離 幅広・縦長剥片の剥離

剥片移動 なし

備 考 5号ブロックに接合資料が偏在していることから、この地点に剥離地点が想定されよう。

**接合資料—54の分布 (114図)**

分布地点 5号ブロック (5-6G)

剥片剥離 幅広・縦長剥片の剥離

剥片移動 なし

備 考 5号ブロックに接合資料が偏在していることから、この地点に剥離地点が想定されよう。

**接合資料—87～89の分布 (第115図)**

分布地点 7号ブロック (6-387G・388G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離・槍先形尖頭器の製作

剥片移動 なし

備 考 接合資料—88は幅広剥片の剥離、89は槍先形尖頭器の製作初期段階を示す。88は剥離が表裏両面に及び、槍先形尖頭器の製作を意図した可能性も否定できない。

**接合資料—121～123・130の分布 (第115図)**

分布地点 8号ブロック (5-9G・29G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

備考 小形剥片の接合例。点状打面を有する例も見られ、槍先形尖頭器の製作に伴う剥片かもしれない。

接合資料—82・124・125・129の分布 (第116図)

分布地点 7号ブロック (6-387G・388G・5-8G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

備考 接合資料—82・124は小形剥片の剥離、125・129は中央付近で折れた剥片の接合例。82は、この地点に接合資料が偏在することから、剥離地点と評価されよう。

接合資料—47の分布 (第116図)

分布地点 8号ブロック (5-30G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 なし

備考 2点の石刃からなる接合資料。出土資料にはこれ以外に同一母岩は見られないことから、他の地点で製作・搬入している可能性も否定できない。

接合資料—72の分布 (第117図)

分布地点 4号ブロック (6-386G)、ブロック外 (6-366G)

剥片剥離 槍先形尖頭器と彫器の接合

剥片移動 不明

備考 槍先形尖頭器が破損した後に、彫器に再生利用している。この地点に再生地点が想定可能だが、微細剥片や削片の存在では証明できない。

接合資料—71の分布 (第117図)

分布地点 5号ブロック (5-6G)

剥片剥離 幅広・縦長剥片の接合

剥片移動 なし

備考 角柱状原石を用い、幅広の縦長剥片を剥離したもの。

接合資料—78～80・128の分布 (第117図)

分布地点 1号ブロック (6-346G)、2号ブロック (6-367G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

備考 接合資料—78は1号ブロックの1点と2号ブロックの1点の接合資料だが、剥離地点は特定できない。

接合資料—76の分布 (第117図)

分布地点 2号ブロック (6-367G)

剥片剥離 小形石刃の剥離

剥片移動 なし

備考 接合状況から剥離の最終段階に近い接合資料と考えている。

**接合資料—74の分布 (第117図)**

分布地点 2号ブロック (6—367G)、7号ブロック (5—8G)

剥片剥離 小形石刃の剥離

剥片移動 7号ブロックに剥片1が出土している。

備考 7号ブロックに出土した剥片は石刃に近く、移動理由は剥片形状に求め得る。

**接合資料—75の分布 (第117図)**

分布地点 2号ブロック (6—367G)

剥片剥離 小形石刃の剥離

剥片移動 なし

備考 接合資料には振器を含み、比較的形状の整う剥片を量産している。

**接合資料—91～95の分布 (第118図)**

分布地点 7号ブロック (6—387G・388G・5—8G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

備考 接合資料—91は菓理で折れた剥片の接合例、92・93は幅広・大形剥片の接合例、94は大形剥片と砕片の接合例、95は石核の表裏両面に剥離が及び、打面を頻りに移動する。部分的な剥離作業を示す接合例で、詳細は不明。

**接合資料—113～115の分布 (第118図)**

分布地点 8号ブロック (5—9G・29G・30G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

備考 詳細は不明だが、接合資料—113は大形の石核より幅広剥片を剥離、114・115は幅広剥片の接合例。

**接合資料—70の分布 (第119図)**

分布地点 3号ブロック (6—366G・386G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

**接合資料—55の分布 (第119図)**

分布地点 4号ブロック (6—385G・386G)、ブロック外 (6—386G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

**接合資料—49・69・126の分布 (第119図)**

分布地点 5号ブロック (5—5G・6G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

**接合資料—67・68の分布 (第119図)**

分布地点 7号ブロック (6—387G・388G・5—7G・8G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

備 考 接合資料—67・68は同一母岩に分類可能。概ね、分布域が重なることから、この地点に剝離地点が想定できよう。

**接合資料—58の分布 (第120図)**

分布地点 11号ブロック (6—331G・351G)

剝片剝離 幅広剝片の剝離

剝片移動 なし

備 考 剝離 (石核消費) の前半段階を欠く。

**接合資料—59の分布 (第120図)**

分布地点 11号ブロック (6—331G・351G)

剝片剝離 幅広剝片の剝離

剝片移動 なし

**接合資料—51の分布 (第120図)**

分布地点 11号ブロック (6—331G・351G)

剝片剝離 幅広剝片の剝離

剝片移動 なし

備 考 大形の角柱状原石を持ち込み、剝離している。薬理が発達する石材で、剝離の初期段階で剝離を放棄している。

**接合資料—81の分布 (第120図)**

分布地点 11号ブロック (6—351G)

剝片剝離 幅広剝片の剝離

剝片移動 なし

**接合資料—86・90の分布 (第121図)**

分布地点 1号ブロック (6—346G・366G)

剝片剝離 幅広剝片の剝離

剝片移動 なし

**接合資料—65・66の分布 (第121図)**

分布地点 1号ブロック (6—345G・346G)

剝片剝離 幅広剝片の剝離

剝片移動 なし

備 考 接合資料—65・66は同一母岩に分類可能。接合資料が偏在することから、この地点に剝離地点が想定されよう。

**接合資料—83~85の分布 (第121図)**

分布地点 1号ブロック (6—345G・346G)

剝片剝離 幅広剝片の剝離

剝片移動 なし

**接合資料—61~63の分布 (第121図)**

分布地点 1号ブロック (6—345G・346G)

剝片剝離 幅広剝片の剝離

剥片移動 なし

備考 接合資料—62は中央付近で折れた剥片の接合資料。

**接合資料—64の分布** (第121図)

分布地点 1号ブロック (6—345G)

剥片剥離 槍先形尖頭器の製作

石器移動 なし

備考 槍先形尖頭器・製作の初期段階を示す接合資料。接合資料は比較的集中して分布している。

**接合資料—96・98～100の分布** (第122図)

分布地点 7号ブロック (6—387G・388G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

**接合資料—112の分布** (第122図)

分布地点 8号ブロック (5—9G・29G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

備考 接合資料が偏在・分布していることから、この地点に剥離地点は特定できよう。

**接合資料—97の分布** (第123図)

分布地点 A地点7号ブロック (6—388G・5—8G)、B地点18号ブロック (5—157G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 B地点に剥片1が出土している。

備考 A地点出土の石器とB地点出土の石器の接合資料。B地点出土の石器は比較的形状の整う縦長の剥片だが、剥片の移動理由は明確ではなく、石器群の同時性や地点間の機能的関係を論じるには資料的に不足している。

**接合資料—101～105の分布** (第124図)

分布地点 7号ブロック (6—387G・388G・5—7G・8G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

備考 接合資料—101～103・105は薬理で折れた剥片の接合例、104は15点からなる接合例で、この地点で剥離、剥片は小形で、槍先形尖頭器の作出を意図している可能性も否定できない。

**接合資料—107～110の分布** (第124図)

分布地点 8号ブロック (5—9G・29G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

**接合資料—106の分布** (第125図)

分布地点 7号ブロック (6—387G・5—7G・8G)、ブロック外 (5—9G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 ブロック外に砕片1が出土している。

備考 接合資料—106は大幅剥片を石核に用い剥片剥離を行う。砕片1は意図的移動ではなく、偶発的移

動の可能性が高い。

**接合資料—119・120の分布 (第125図)**

分布地点 7号ブロック (6-387G・388G・5-7G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

**接合資料—116~118の分布 (第125図)**

分布地点 8号ブロック (5-9G・5-29G・5-30G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし(?)

備考 8号ブロックにはより石器の集中する地点と、これより西側の分布の散漫な地点からなる。接合資料—118は、より石器の濃密な地点と石器分布の散漫な地点に分布する。

**接合資料—1~5・18の分布 (第126図)**

分布地点 8号ブロック (5-10G・29G・30G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 なし

備考 このブロックには83点の黒曜石が出土している。碎片が55点と多く、この地点で黒曜石を用いた剥片剥離が想定できよう。器種構成(ナイフ6・石刃7)からみる限り、ナイフの製作に主眼を置いた石器製作が想定されよう。黒曜石。

**接合資料—6・7の分布 (第126図)**

分布地点 5号ブロック (6-386G・5-5G・6G)

剥片剥離 石刃剥離(?)

剥片移動 なし

備考 このブロックには45点の黒曜石が出土している。碎片類が33点と最も多く、この地点では黒曜石を用いた剥片剥離が想定可能で、器種構成(ナイフ1・石刃1)からみる限り、ナイフの製作に主眼を置いた石器製作が想定されよう。黒曜石。

**接合資料—8の分布 (第126図)**

分布地点 7号ブロック (6-388G・5-8G)

剥片剥離 不明

剥片移動 なし

備考 このブロックには29点の黒曜石が出土している。碎片類が24点と最も多く、この地点には黒曜石を用いた剥片剥離が想定できよう。接合資料は剥離の初期段階を示している。ナイフは他の地点から搬入・遺棄しており、多量に出土した碎片類は槍先形尖頭器の再生作業に伴う可能性も否定できない。黒曜石。

**接合資料—154の分布 (第127図)**

分布地点 9号ブロック (5-31G・32G・51G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 なし

備考 良好な石刃を連続剥離している。小形でプリズム状を呈する石核形状が想定可能だが、出土資料

の中にはなく、他の地点に持ち出している。黒色頁岩。

**接合資料—155・156の分布 (第127図)**

分布地点 1号ブロック (6-346G・365G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

備考 黒色頁岩。

**接合資料—56・57の分布 (第128図)**

分布地点 9号ブロック (5-31G・32G・51G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

備考 接合資料—56・57は同一母岩に分類可能。接合資料が偏在することから、この地点に剥離地点が想定されよう。

**接合資料—157の分布 (第128図)**

分布地点 8号ブロック (5-28G・29G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

備考 これ以上剥離できないほど石核を消費しており、剥片剥離の最終段階を示す可能性が高い。黒色頁岩。

**接合資料—127の分布 (第128図)**

分布地点 ブロック外 (6-390G・5-10G)

剥片剥離 大形石刃の接合

剥片移動 なし

備考 中央付近で折れた石刃の接合資料。黒色安山岩。

**f. 母岩別資料の分布**

母岩分類の結果、出土資料には94の母岩(チャート46母岩・543点、黒曜石17母岩・110点、黒色頁岩13母岩・43点、黒色安山岩7母岩・10点など)を確認した。母岩分類は比較的容易で、実質的に母岩分類から外した碎片類(966点)を除けば50%以上の資料を母岩分類している。母岩の分類が比較的容易に行えた背景には、原石まで復元可能な接合資料の存在や、剥片剥離には邪魔な薬理が逆に母岩分類には功を奏したともいえよう。以下には、石刃剥離を行う母岩・幅広縦長剥片の剥離を行う母岩・その他の剥離を行う母岩に大きく三分され、この所見の下に母岩分布を記していきたい。

**チャート2の分布 (第135図)**

分布地点 3号ブロック (6-386G)、8号ブロック (5-29G)、9号ブロック (5-31G・32G・51G)

器種構成 ナイフ2、使用痕2、縦長剥片11、剥片10、碎片9

剥片移動 3号ブロックに打面調整剥片1が、8号ブロックに縦長剥片1が分布。調整剥片の移動理由は明確ではない。

備考 接合資料—25・26。剥離地点は9号ブロックに想定できよう。



#### チャート7の分布 (第135図)

分布地点 3号ブロック (6-367G・386G)、8号ブロック (5-29G)、9号ブロック (5-31G・32G・51G)

器種構成 ナイフ1、加工痕1、使用痕1、石核1、縦長剥片10、剥片8、碎片3

剥片移動 3号ブロックに打面調整剥片1・縦長剥片1が、8号ブロックに縦長剥片3が分布。調整剥片の移動理由は明確ではない。

備考 接合資料-34。剥離地点は9号ブロックに想定できよう。

#### チャート3の分布 (第136図)

分布地点 1号ブロック (6-346G)、3号ブロック (6-347G・348G・367G・368G)、5号ブロック (5-6G)、10号ブロック (6-350G)、ブロック外 (6-348G)

器種構成 ナイフ1、槍先形尖頭器1、使用痕1、縦長剥片3、剥片2、碎片7

剥片移動 3号ブロックに縦長剥片1が、5号ブロックに槍先形尖頭器1が分布。現状では、10号ブロックの剥片は移動理由が明確ではない。接合資料でもないことから分類の問題を含め、検討を要す。

備考 接合資料-27・28。剥離地点は2号ブロックに想定されよう。

#### チャート5の分布 (第136図)

分布地点 2号ブロック (6-368G)、3号ブロック (6-366G)、ブロック外 (6-368G)

器種構成 剥片2、碎片3

剥片移動 3号ブロックに剥片1が分布。

備考 接合資料-31。剥離地点は2号ブロックに想定されよう。

#### チャート6の分布 (第136図)

分布地点 2号ブロック (6-367G)、7号ブロック (6-388G)、9号ブロック (5-31G)、ブロック外 (6-385G)

器種構成 ナイフ3、石核1、剥片1、碎片1

剥片移動 不明

備考 接合資料-32・33。接合資料は集中分布せず、剥離地点は特定できない。

#### チャート8の分布 (第137図)

分布地点 2号ブロック (6-367G)、6号ブロック (5-7G)、7号ブロック (6-387G・388G・5-7G・8G)

器種構成 加工痕1、石核1、剥片10、碎片2

剥片移動 2号ブロックに剥片2が分布。

備考 剥離地点は7号ブロックに想定可能だが、分布は散漫で、剥離段階の分布とは異なる。

#### チャート10の分布 (第137図)

分布地点 2号ブロック (6-347G・367G・368G)、7号ブロック (6-387G・388G・5-7G・8G)、9号ブロック (5-31G)

器種構成 ナイフ1、削器1、加工痕1、石核1、縦長剥片4、剥片6、碎片5

剥片移動 2号ブロックに縦長剥片1・剥片1・碎片1が、9号ブロックに縦長剥片2が分布。

備考 接合資料-37・38。剥離地点は7号ブロックに想定されよう。

**チャート11の分布 (第138図)**

分布地点 2号ブロック (6-367G)、ブロック外 (6-370G)

器種構成 剥片 3

剥片移動 資料点数が少なく不明

備考 接合資料-39。

**チャート12の分布 (第138図)**

分布地点 2号ブロック (6-347G・367G・368G)、9号ブロック (5-31G)、ブロック外 (6-326G・348G)

器種構成 縦長剥片 3、剥片 1、碎片 2

剥片移動 10号ブロックに碎片 1が、ブロック外に縦長剥片 2が分布。碎片 1の移動理由は明確ではない。

備考 接合資料-40。剥離地点は2号ブロックに想定されよう。

**チャート39の分布 (第138図)**

分布地点 1号ブロック (6-346G)、2号ブロック (6-367G)

器種構成 撚器 2、加工痕 5、石核 1、縦長剥片 1、剥片 16、碎片 16

剥片移動 1号ブロックに剥片 1が分布。剥片 1の移動理由は不明。

備考 接合資料-74~80・128。剥離地点は2号ブロックに想定されよう。

**チャート13の分布 (第139図)**

分布地点 3号ブロック (6-366G)

器種構成 縦長剥片 2

剥片移動 なし

備考 接合資料-41。他の地点から搬入した可能性が高い。この遺跡で連続剥離した可能性も想定可能だが、現状では判断できない。

**チャート16の分布 (第139図)**

分布地点 8号ブロック (5-30G)

器種構成 縦長剥片 2

剥片移動 なし

備考 接合資料-47。他の地点から搬入した可能性が高い。この遺跡で連続剥離した可能性も想定可能だが、現状では判断できない。

**チャート9の分布 (第140図)**

分布地点 5号ブロック (6-385G・5-5G・6G)

器種構成 使用痕 1、石核 1、剥片 1、碎片 2

剥片移動 なし

備考 接合資料-36。石核を完全消費しており、この地点に剥離地点が想定されよう。

**チャート18の分布 (第140図)**

分布地点 5号ブロック (5-6G)

器種構成 剥片 2

剥片移動 なし

備考 接合資料-49。この地点に剥離地点が想定され、石核の部分的消費を示す。

#### チャート22の分布 (第140図)

分布地点 5号ブロック (6-385G・5-5G・6G)

器種構成 削器1、加工痕1、使用痕1、石核1、剥片21、碎片3

剥片移動 なし

備考 接合資料-53。石核を完全消費しており、この地点に剥離地点が想定されよう。

#### チャート15の分布 (第140図)

分布地点 2号ブロック (6-348G・367G・368G)、ブロック外 (6-348G)

器種構成 縦長剥片2、使用痕3、剥片1

剥片移動 不明

備考 接合資料-45・46。

#### チャート17の分布 (第140図)

分布地点 2号ブロック (6-347G・367G)

器種構成 使用痕1、剥片2

剥片移動 不明

備考 接合資料-48。

#### チャート19の分布 (第141図)

分布地点 5号ブロック (6-385G・386G・5-5G・6G)、6号ブロック (5-6G・7G)、ブロック外 (6-386G・5-6G・7G)

器種構成 加工痕1、使用痕5、石核1、縦長剥片9、剥片24、碎片21

剥片移動 5号ブロックと6号ブロックの間に頻繁な接合関係を有する。剥離初期の大形剥片や剥離後半の剥片は5号ブロックに出土する傾向が指摘されよう。また、剥離の中間段階に位置づく剥片ではより小形の剥片が6号ブロックに、大形の剥片が5号ブロックに出土する傾向も見られ、剥片を選択・移動している可能性も否定できないため、単なる剥離地点の移動と捉えるのではなく、剥離の中間段階以前を6号ブロックで剥離を行い、このうち大形の剥片を携えて5号ブロックに移り、以後の剥離を行う可能性を想定しておきたい。

備考 接合資料-50。

#### チャート21の分布 (第141図)

分布地点 4号ブロック (6-386G)、5号ブロック (6-386G・5-6G)、ブロック外 (6-386G)

器種構成 加工痕1、使用痕1、石核3、剥片14、碎片8

剥片移動 3号ブロックに碎片1が、ブロック外に碎片1が分布。

備考 接合資料-52。5号ブロックに剥離地点が想定されよう。

#### チャート24の分布 (第141図)

分布地点 4号ブロック (6-385G・386G)、ブロック外 (6-386G)

器種構成 石核1、剥片9、碎片3

剥片移動 なし

備考 接合資料-55。この地点に剥離地点が想定されよう。

チャート20の分布 (第142図)

分布地点 11号ブロック (6-331G・351G)

器種構成 石核1、剥片3、碎片1

剥片移動 なし

備考 接合資料-51。この地点に剝離地点が想定されよう。

チャート27の分布 (第142図)

分布地点 11号ブロック (6-331G・351G)

器種構成 石核1、剥片4

剥片移動 なし

備考 接合資料-59。石核を完全消費しており、この地点に剝離地点が想定されよう。

チャート44の分布 (第142図)

分布地点 11号ブロック (6-351G)

器種構成 石核1、剥片1

剥片移動 なし

備考 接合資料-81。

チャート26の分布 (第142図)

分布地点 11号ブロック (6-331G・351G)

器種構成 使用痕1、石核1、剥片15、碎片9

剥片移動 なし

備考 接合資料-58。石核を完全消費しており、この地点に剝離地点が想定されよう。

チャート23の分布 (第143図)

分布地点 5号ブロック (6-385G・5-5G・6G)

器種構成 ナイフ1、加工痕3、剥片12、碎片9

剥片移動 なし

備考 接合資料-54。石核を完全消費しており、この地点に剝離地点が想定されよう。

チャート35の分布 (第143図)

分布地点 5号ブロック (5-6G)

器種構成 使用痕1、剥片1

剥片移動 なし

備考 接合資料-69。資料点数が少なく、剝離地点は不明。

チャート38の分布 (第143図)

分布地点 5号ブロック (6-386G・5-6G)

器種構成 槍先形尖頭器2

剥片移動 なし

備考 槍先形尖頭器 (第12図14・15) は石刃素材。現状の母岩分類では、同一母岩が確認できないため、搬入石器と評価可能だが、碎片類の分類が難しく細部加工のみこの遺跡で行い槍先形尖頭器を製作している可能性も否定できないため、断定は難しい。

#### チャート34の分布 (第143図)

分布地点 7号ブロック (6-387G・388G・5-7G・8G)

器種構成 剥片4、碎片9

剥片移動 なし

備考 接合資料-67・68。葉理が細かく入る特徴的母岩で、この地点に剥離地点が想定されよう。

#### チャート32の分布 (第144図)

分布地点 1号ブロック (6-345G)

器種構成 槍先形尖頭器1、石核1、剥片4、碎片2

剥片移動 なし

備考 接合資料-63・64。褐色の礫面を有す亜角礫で、やや青味を帯びる。63は打面を固定・幅広剥片を連続剥離、64は槍先形尖頭器・製作の初期段階を示す。

#### チャート33の分布 (第144図)

分布地点 1号ブロック (6-325G・345G・346G)

器種構成 使用痕1、石核3、剥片4、碎片2

剥片移動 なし

備考 接合資料-65・66。チャート32に似た褐色の礫面を有す亜角礫で、分布域も概ね一致する。が、打ち欠いた剥離面の色調は茶褐色に近く、青味を帯びるチャート32とは異なる。

#### チャート30の分布 (第144図)

分布地点 1号ブロック (6-325G・345G)

器種構成 剥片2

剥片移動 資料点数が少なく不明

備考 接合資料-61。分布域はチャート32・33の分布域に重なる。

#### チャート31の分布 (第144図)

分布地点 1号ブロック (6-346G)

器種構成 剥片2、碎片1

剥片移動 なし

備考 接合資料-62。褐色の礫面を有す亜角礫で、剥離面の色調や縞状の葉理構造(?)はチャート32に類似する。葉理で割れた別の石核の存在も想定されよう。

#### チャート1の分布 (第145図)

分布地点 9号ブロック (5-31G・32G・51G)

器種構成 ナイフ2、剥片14、碎片9

剥片移動 なし

備考 接合資料-19~24。この母岩には石刃製作を示す稜・調整剥片(接合資料-24)や打面作出剥片(接合資料-20・22)、再生剥片(同21)を含む。石刃製作の初期段階を示す母岩と見られ、この地点に剥離地点は想定されよう。

#### チャート4の分布 (第145図)

分布地点 9号ブロック (5-31G・32G・51G)、8号ブロック (5-30G)、ブロック外 (5-32G)

器種構成 石核1、縦長剥片5、剥片6、碎片8

剥片移動 8号ブロックに碎片1が分布。

備考 接合資料—29・30。母岩消費の初期段階を欠く。

#### チャート14の分布 (第145図)

分布地点 9号ブロック (5—31G・32G・51G)、ブロック外 (5—11G)

器種構成 ナイフ3、掘器1、石核1、縦長剥片8、剥片17、碎片10

剥片移動 ブロック外に縦長剥片1が分布。

備考 接合資料—42・43。42は石刃剥離の後半(残核出土)を、43は石刃剥離の初期(石核なし)を示す接合資料。左右の側面は障面で、原石の規模が完全に一致。42は石核消費の前半を、43は石核消費の後半を示し、中間段階の石刃を搬出している可能性も想定されよう。

#### チャート25の分布 (第145図)

分布地点 9号ブロック (5—31G・32G・51G)

器種構成 石核1、縦長剥片3、剥片15、碎片8

剥片移動 なし

備考 接合資料—56・57。

#### 黒曜石1の分布 (第146図)

分布地点 2号ブロック (6—348G・367G・368G)、8号ブロック (5—9G・10G・29G・30G)、ブロック外 (6—369G・391G)

器種構成 ナイフ3、縦長剥片4、剥片4、碎片7

剥片移動 2号ブロックに剥片3が、ブロック外に剥片1・碎片1が分布。

備考 接合資料—1・2。この母岩には打面再生剥片1 (6—369G)を含む。この母岩では部分的な石刃剥離とナイフの製作を行う。気泡を多く含み、縞状構造を有する。

#### 黒曜石2の分布 (第146図)

分布地点 2号ブロック (6—367G)、8号ブロック (5—10G・30G)、9号ブロック (5—31G)

器種構成 ナイフ4、縦長剥片1、剥片3、碎片9

剥片移動 2号ブロックに剥片1が、9号ブロックにナイフ1が分布。

備考 この母岩では部分的な石刃剥離とナイフの製作を行う。気泡を多く含み、網雲状に濁る。

#### 黒曜石7の分布 (第146図)

分布地点 1号ブロック (6—326G・346G)

器種構成 碎片3

剥片移動 不明

備考 資料点数が少なく不明だが、碎片は形状から石刃剥離を示唆するようにも思える。ガラス透明な石材で、部分的に黒色・網雲状の縞が入る。

#### 黒曜石9の分布 (第146図)

分布地点 1号ブロック (6—345G)、ブロック外 (5—9G)

器種構成 槍先形尖頭器1、剥片1

剥片移動 不明

備考 これ以上加工できないほど槍先形尖頭器は小形で、再生を経た後の槍先形尖頭器の最終的狀態を示している。槍先形尖頭器には採石を示す剥離面の風化の相違は確認できない。縞状構造を有し、

やや白く濁る。

**黒曜石10の分布 (第146図)**

分布地点 1号ブロック (6-326G)

器種構成 破片4

剥片移動 不明

備考 破片のみからなる母岩で、破片は槍先形尖頭器の製作に伴う典型的形状を有する。黒味が強く、不規則な縞状構造が発達する。

**黒曜石3の分布 (第147図)**

分布地点 8号ブロック (5-29G・30G)

器種構成 縦長剥片3、剥片3、破片5

剥片移動 不明

備考 接合資料-3~5。接合資料は部分的な石刃剥離を示す。薄い褐色の縞状構造を有する。

**黒曜石4の分布 (第147図)**

分布地点 5号ブロック (6-386G・5-5G・6G)、8号ブロック (5-30G)

器種構成 ナイフ1、剥片5、破片8

剥片移動 8号ブロックに剥片1が分布。

備考 接合資料-6・7。接合資料は部分的な石刃剥離を示す。薄い褐色の縞状構造を有し、黒曜石3に似る。が、やや白く濁る点で異なる。8号ブロックの破片1は黒曜石3にも類似。破片で観察が困難でもあり、ここでは初期の分類を尊重した。

**黒曜石6の分布 (第147図)**

分布地点 5号ブロック (5-5G)

器種構成 剥片1、破片1

剥片移動 不明

備考 剥片は幅広い剥片。薄い黒色の網雲状の縞が入る。

**黒曜石8の分布 (第147図)**

分布地点 8号ブロック (5-29G)

器種構成 破片5

剥片移動 不明

備考 破片の形状から、裸面を部分的に残す薄い盤状石核が想定されよう。資料点数が少なく不明だが槍先形尖頭器の製作を示唆するようにも見える。無色透明なガラス部分が多く、筋状の縞状構造を有する。

**黒曜石5の分布 (第147図)**

分布地点 2号ブロック(6-367G)、3号ブロック(6-386G)、5号ブロック(6-385G)、8号ブロック(5-30G)

器種構成 加工痕1、剥片1、破片4

剥片移動 3号ブロックに破片1が、5号ブロックに加工痕1が、8号ブロックに破片1が分布。

備考 資料点数が少なく不明だが、剥離は石刃剥離を志向しているようにも見える。茶褐色の縞が入り、気泡を含む。

#### 黒曜石11の分布 (第148図)

分布地点 5号ブロック(5-5G)、7号ブロック(6-387G・5-7G・8G)、ブロック外(5-7G)、14号ブロック(5-75G)、18号ブロック(5-137G)

器種構成 剥片3、破片8

剥片移動 不明

備考 接合資料-8。無色透明なガラス部分が多く、茶褐色の縞が入る。14号・18号ブロック(B地点)に分布した1点には径3mmの斑品が入り、また、若干だが白く濁り別の母岩に分類可能かもしれない。

#### 黒曜石12の分布 (第148図)

分布地点 5号ブロック(5-6G)、8号ブロック(5-10G)、ブロック外(6-330G)、12号ブロック(5-55G)、18号ブロック(5-137G・157G)、19号ブロック(5-177G)

器種構成 ナイフ2、槍先形尖頭器1、加工痕1、使用痕1、縦長剥片1、剥片6、破片4

剥片移動 A地点では5号ブロックに加工痕1・縦長剥片1が、8号ブロックに使用痕1が、ブロック外にナイフ1が、B地点では12号ブロックに剥片2が、18号ブロックにナイフ1・槍先形尖頭器1・剥片2が、19号ブロックに破片1が分布。

備考 19号ブロックの破片は属性的には稜・調整剥片に近い。ガラス透明部分が多く、希に網雲状の縞が入る。両地点の黒曜石は肉眼的には分離が難しい。現状では接合資料が確認できないため母岩認識は制約され、ここでは石器群の同時性を保証するものではなく、石材の入手ルートと同じくする集団の想定程度に留めるべき、と考えている。

#### 黒曜石13の分布 (第148図)

分布地点 1号ブロック(6-326G・346G)、4号ブロック(6-385G)、5号ブロック(5-5G・6G)、12号ブロック(5-55G・56G・75G)、15号ブロック(5-95G)、18号ブロック(5-137G)

器種構成 剥片4、破片17

剥片移動 不明

備考 破片資料で詳細は不明。出土資料点数の多い、1号・5号・12号・18号ブロックは剝離地点と考えている。破片類は小さく詳細は不明だが、槍先形尖頭器の製作に伴う破片か、決定的ではない。ガラス透明部分が多く、縞状構造などその他の特徴は見られない。

#### 黒曜石14の分布 (第149図)

分布地点 3号ブロック(6-386G)、5号ブロック(5-5G)、15号ブロック(5-95G)、18号ブロック(5-157G)

器種構成 剥片1、破片4

剥片移動 不明

備考 ガラス透明部分が多く、幅の広い縞状構造を有する。

#### 黒曜石15の分布 (第149図)

分布地点 1号ブロック(6-346G)、12号ブロック(5-75G)、14号ブロック(5-76G)

器種構成 剥片1、破片2

剥片移動 不明

備考 網雲状の縞が大部分を占め、ガラス透明部分は少ない。



#### 黒曜石16の分布 (第150図)

分布地点 7号ブロック (6-387G)、12号ブロック (5-75G)

器種構成 槍先形尖頭器1、削器1

剥片移動 不明

備考 削器1は槍先形尖頭器を再生、削器に転用。ガラス透明感に富み、気泡・橋が少し入る。

#### 黒曜石17の分布 (第150図)

分布地点 8号ブロック (5-29G)、18号ブロック (5-136G・137G)

器種構成 削器1、加工痕1、使用痕1、剥片5、碎片3

剥片移動 不明

備考 接合資料-10・11。幅広い筋状の縞状構造が入る。

#### 黒色頁岩1の分布 (第151図)

分布地点 9号ブロック (5-31G・32G・51G)

器種構成 縦長剥片8、剥片7、碎片4

剥片移動 なし

備考 接合資料-154。石刃剥離の初期、及び、最終段階の剥離を欠く。出土地点が偏り、この地点に剥離地点が想定されよう。

#### 黒色頁岩2の分布 (第151図)

分布地点 1号ブロック (6-326G・346G)

器種構成 剥片6、碎片3

剥片移動 なし

備考 接合資料-155・156。出土地点が偏り、この地点に剥離地点が想定されよう。

#### 黒色頁岩4の分布 (第151図)

分布地点 8号ブロック (5-28G・29G)

器種構成 石核1、縦長剥片1、剥片1

剥片移動 なし

備考 接合資料-157。出土地点が偏り、この地点に剥離地点が想定されよう。

#### 黒色頁岩9の分布 (第152図)

分布地点 8号ブロック (5-29G)

器種構成 剥片1、碎片1

剥片移動 なし

#### 黒色頁岩3・5～8・10・12・13の分布 (第152図)

分布地点 1号ブロックに黒色頁岩-10 (碎片1)・13 (碎片1)、2号ブロックに同一6 (ナイフ1)・12 (碎片1)、5号ブロックに同一7 (剥片1)、7号ブロックに同一5 (ナイフ1)、ブロック外に同一3 (剥片1)・8 (碎片1) が分布。

備考 黒色頁岩-3には出土地点の判明している大形剥片の他に、位置不明の大形剥片1が出土。出した2点のナイフは他の地点から搬入。その他の碎片類は分布が偏らず不明。

#### 黒色安山岩 1～4・6・7の分布 (第153図)

分布地点 5号ブロックに黒色安山岩—6 (砕片1)、7号ブロックに同一—4 (剥片2・砕片1)、8号ブロックに同一—1 (石核1)、ブロック外に同一—2 (使用痕1・縦長剥片1)・7 (砕片1) が分布。

備 考 黒色安山岩—1～3は搬入石器。同一—4は部分的な剥片剥離が想定可能。5・6は砕片のみ出土しており、正確は不明。

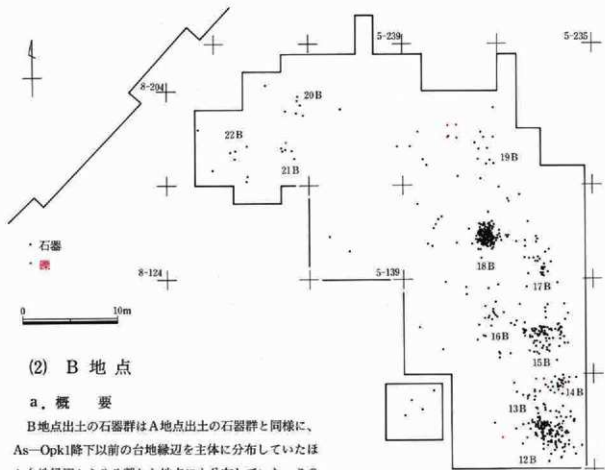
#### ホルンフェルスの分布 (第153図)

分布地点 1号ブロックにホルンフェルス—2 (縦長剥片1)、8号ブロックに同一—2 (縦長剥片1)、2号・5号ブロックに砕片1、7号ブロックに礫器2、11号ブロックに礫器3、ブロック外に剥片1・使用痕1 (同一—3)、礫器1が分布。

備 考 2号・5号ブロックの2点を除き、出土資料は他の地点から搬入。

#### その他の石材分布 (第153図)

その他の石材分布には、粗粒輝石安山岩・溶結凝灰岩・輝緑凝灰岩・石英斑岩・変珪岩・灰色安山岩・砂岩・珪質粘板岩・硬質頁岩・珪質頁岩・褐色碧玉が出土している。敲き石に用いる例の多い火山岩類 (粗粒輝石安山岩など) は、1号・2号ブロックではブロックの北側に、5号・11号ブロックではブロックの中央付近に分布する傾向が指摘されよう。珪岩類は破片資料が多く不明だが、硬質頁岩や褐色碧玉など希少石材や灰色安山岩は遺跡内で打ち欠いた痕跡が見られないことから、他の地点から持ち込まれ、この地点に遺棄したもの、と考えている。

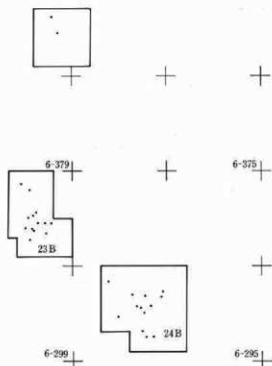


## (2) B 地点

### a. 概要

B地点出土の石器群はA地点出土の石器群と同様に、As—Opk1降下以前の台地縁辺を主体に分布していたほか台地縁辺からやや離れた地点にも分布していた。この地点では総計791点の石器（75点の礫・礫片を含む）が出土しており、台地の縁辺に11ヶ所の、台地縁辺からやや離れた地点に2ヶ所の石器集中地点を確認した。この地点では2ヶ所で熱われた礫の分布を確認している。台地縁辺から離れた地点の試器が乏しく、また、上層の住居や耕作で礫群を欠いた可能性は否定できないわけだが、A地点で礫群が出土したⅣ層・Ⅴ層はB地点にも堆積しており、理由は不明だが少なくとも石器の集中分布していた台地縁辺には礫群が見られない点は注意され、熱われた礫の出土はが跡の存在も想定できよう。

石器の出土層位はⅣ層～Ⅴ層の上位でⅣ層に最も多く出土しており、A地点と同様な傾向を示していた。が、既に述べた通り、台地縁辺に近い石器の集中地点（12号ブロック～17号ブロック）では上層の遺構確認段階で多量の石片が確認され、石器群の主たる包含層が露出していた。石器の集中分布した地点の土層もⅣ層・Ⅴ層を欠いている状態を確認している。石器群を支えた主要器種



第6図 石器と礫の分布（B地点）

はナイフと槍先形尖頭器で、このほかには若干の削器や撻器が出土しており、器種組成の面でもA地点出土の石器群と同様な組成を示していた。が、A地点とB地点ではナイフと槍先形尖頭器の量比は逆転しており、他の器種構成が量的には変わらない点を見れば、この主要器種の量比の相違は注意されよう。

なお、後述する通り、このB地点の調査では切出形石器や尖頭石器が上層の石器群に混在出土した。この地点には上層石器群（第1文化層）とは別に下層石器群（第2文化層）がⅧ層を主体に出土しており、石器の形態的特徴や母岩の特徴から、下層石器群と捉えた。また、石器群の分布域を確定するため拡張調査した際、台地北側縁辺に近い5-220Gでローム中（Ⅵ層下部からⅧ層上部）から土器片が出土した。慎重を期して土器片を取り上げる前に複数の担当者で出土状態・層位を確認、写真撮影を済ませ取り上げた。ロームは乱れた状態にはないことから、更に北側へ調査を広げ、土器片の確認を試みた。が、結果的にはこの1点（第167図1）のみしか出土せず、これ以上の所見が得られないまま調査を終えた。同様の見解では土器片は縄文中期段階の土器の可能性が示され、ここでは事実経過のみ報告しておく。

## b. 出土石器

総計791点の石器が出土している。出土資料は剥片や碎片の類が圧倒的に多く、約82%を占めている。主な出土石器には端辺加工のナイフや二側縁加工（？）のナイフ、槍先形尖頭器が特徴的に組成するほか、削器や撻器・彫器など若干の加工石器が加わる、比較的単純な器種組成を示していた。石器群に特徴的に組成するナイフは1例（第72図1）を除く2例（第72図2・3）は「搬入石器」で、ある意味ではA地点出土のナ

表3 第1文化層B地点器種

	ナイフ	尖頭器	削器	撻器	彫器	石鏃	鏃影	加工痕	使用痕	磨石	台石	石鏃	鏃影	長	剥片	碎片	合計
12 B	0	1	2	0	0	0	0	0	3	1	0	8	0	61	71	149	
	0.0%	0.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	2.0%	0.7%	0.0%	5.4%	0.0%	40.9%	47.7%	100%	
13 B	0	4	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	2	2	9	
	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	100%	100%	
14 B	0	0	0	0	0	0	1	6	0	4	0	4	0	3	13	27	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	22.2%	0.0%	14.8%	0.0%	0.0%	11.1%	48.1%	100%	
15 B	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	7	1	24	53	88		
	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%	8.0%	1.1%	27.3%	60.2%	100%		
16 B	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	11	13		
	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	84.6%	100%		
17 B	0	0	0	0	0	0	2	1	0	4	0	0	15	6	28		
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	3.6%	0.0%	14.3	0.0%	0.0%	53.6%	21.4%	100%		
18 B	1	3	1	0	1	0	8	2	0	1	0	0	34	190	241		
	0.4%	1.2%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	3.3%	0.8%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	14.1%	78.8%	100%		
19 B	0	0	0	0	0	0	0	5	0	2	0	0	0	2	9		
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	100%		
20 B	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	16	3	6		
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	50.0%	100%		
21 B	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	60	3	5		
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	100%		
22 B	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4		
	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100%		
23 B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	7	11		
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	27.3%	100%		
24 B	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	25	3	8		
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	37.5%	100%		
B 外	1	5	3	0	1	1	2	2	6	3	1	3	29	30	84		
	1.2%	6.0%	3.6%	0.0%	1.2%	1.2%	2.4%	2.4%	6.0%	1.2%	3.6%	1.2%	34.5%	35.7%	100%		
不明	1	0	5	0	0	2	4	2	0	1	3	18	1	22	58		
	1.7%	0.0%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	6.9%	3.4%	0.0%	1.7%	5.2%	31.0%	37.9%	100%		
合計	3	16	3	1	1	1	17	23	1	32	7	194	415	740			
	0.4%	1.4%	2.2%	0.4%	0.1%	0.1%	2.3%	2.2%	3.1%	0.1%	4.3%	0.9%	26.2%	56.1%	100%		

イフと同様な傾向の指摘が可能かもしれない。槍先形尖頭器には在地石材を用いる例と黒曜石を用いる例が見られ、前者は概して大きく推定7・8cmを測る例が多い。後者は製作途上に破損しており、詳細は不明だが、A地点と同様に槍先形尖頭器の再生を想定した場合には、その再生頻度はA地点ほどではない、と思える。

#### ナイフ形石器 (第72図1～3)

3点のナイフが出土している。石器組成に占める割合が低く、このため形態的組成は明確ではない。が、出土資料から見る限り、A地点と大きく相違するのではなく、基本的には二側縁加工のナイフと端辺加工のナイフからなる組成が想定されよう。

第72図1は、端辺加工のナイフ。裸面を大きく残す剥離の初期段階に生じた、裏面側に大きく捻れた縦長剥片を用い、剥片先端を加工する。バルブは剥離段階に弾けており、右側縁には微細な「刃こぼれ」が連続している。黒曜石-12。2は、器体の下半部分を欠損したナイフ。調整加工を左側縁・先端部に施す。加工部分を重視するなら先端加工(端辺加工)のナイフに分類可能だが、左側縁の角度の強い剥離面が側縁加工に代わる機能を代替している可能性も想定され、また、先端角が浅く、ここでは二側縁加工のナイフと見た。搬入石器。3は、器体の上半を欠損したナイフ。剥片は幅広い横長剥片に分類可能だが、形状は縦長で調整加工を施し、バルブを除去している。この部分の調整加工は急峻だが、右辺の加工は微細で弱い。石器群の分布域から遠く離れた8-83Gの柱穴覆土から出土している。漆黒の黒曜石を用い、同様な特徴を持つ例は

表4 第1文化層B地点石材

	チャート	ホルン	黒曜石	珪質	黒頁	頁岩	砂岩	凝砂	黒安	ダイ	粗安	輝燧	滑燧	珪岩	合計
12 B	89 59.7%	0 0.0%	56 37.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	1 0.7%	0 0.0%	149 100%
13 B	2 22.2%	0 0.0%	6 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	9 100%
14 B	14 51.9%	0 0.0%	9 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	3 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	27 100%
15 B	42 47.7%	1 1.1%	41 46.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.3%	0 0.0%	2 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	88 100%
16 B	13 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 100%
17 B	24 85.7%	0 0.0%	4 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	28 100%
18 B	108 44.8%	0 0.0%	131 54.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	241 100%
19 B	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100%
20 B	3 50.0%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100%
21 B	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100%
22 B	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100%
23 B	9 81.8%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 100%
24 B	3 37.5%	0 0.0%	5 62.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100%
B 外	58 69.0%	3 3.6%	12 14.3%	3 3.6%	2 2.4%	0 0.0%	1 1.2%	0 0.0%	3 3.8%	0 0.0%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	84 100%
不明	40 69.0%	1 1.7%	12 20.7%	1 1.7%	0 0.0%	1 1.7%	1 1.7%	0 0.0%	2 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	58 100%
合計	413 55.8%	5 0.7%	282 38.1%	5 0.7%	2 0.3%	2 0.3%	6 0.8%	1 0.1%	15 2.0%	3 0.4%	1 0.1%	1 0.1%	3 0.4%	1 0.1%	740 100%

A地点に1例(第10図9)が存在している。

#### 槍先形尖頭器(第72図4～6、第73図)

10点の槍先形尖頭器が出土している。出土した槍先形尖頭器は両面加工が施され、周縁加工を施す槍先形尖頭器が組成していたA地点とは相違している。出土資料には製作初期で破損・放棄した例や、製作の最終段階で破損した例が多く、使用可能な状態の槍先形尖頭器は少ない。

第72図4、第73図3・4は黒曜石を用いた槍先形尖頭器。第72図4は長さ3.6cm・幅1.6cmを測り、小形の部類に属す。槍先形尖頭器の調整剥片(第83図8)と同じ母岩に分類可能だが、砕片類が見られないことから、同一母岩・別個体の可能性が高い。黒曜石-32。第73図3は、器体の上半部分を欠く槍先形尖頭器。器体の形状、及び、調整加工は完成状態を示しており、他の地点で製作、遺跡に持ち込んだ可能性が高い。黒曜石-31。第73図4は、器体の下半部分を欠く槍先形尖頭器。この石器には右辺上端から斜行する剥離が存在する。この剥離は「櫛状剥離」とはことなるものだが、ナイフ的な機能が想定可能かもしれない。最終加工段階に欠損した可能性が高い。黒曜石-12。

#### 彫器(第74図1)

1点のみ出土している。やや厚い幅広剥片を用い、左右の側縁に錯交的剥離を加え形状を整えた後に、先端・左から「櫛状剥離」を施し機能部を作出している。裏面側に残る風化面は微弱で、原石の最終段階から存在したのではなく、移動の過程で損れた可能性が想定されよう。黒曜石。

#### 石鏟(第74図2)

1点のみ出土している。左辺・端部の打面から剥離した厚い幅広剥片を用い、剥片の先端に機能部を作出している。機能部は厚く、裏面側に平坦剥離を、両側縁に急峻な剥離を加えている。通常、当該期石器群に組成する石鏟の機能部は貧弱で、異質とも思える。チャート。

#### 削器(第74図3～6、第75図1～4・6)

16点の削器が出土している。多種多様な形状の剥片を用いるほか、槍先形尖頭器の製作に失敗・破損した資料を再生、削器に転用する例が出土している。

第74図3は、槍先形尖頭器の製作に失敗した後に、左右の側縁に加工を加えて削器に転用している。刃部は右辺で直線的に、左辺では弧状に作出され、初期の形状から大きく姿を変えている。黒曜石-16。4は、幅広剥片の上下両端に加工を加えて、刃部を作出している。刃部は上下両端とも直線的形状を呈している。黒曜石。5は、厚い縦長剥片を用い左辺、及び、剥片端部に加工を施す。左辺には粗く打ち欠いた後に微細な加工を加え刃部を作出している。剥片端部にはやや角度の高い剥離を加えており、弧状の刃部形状と厚い刃部には擧げる機能も想定されよう。チャート。6は、幅広剥片の側縁に加工を加えている。若干加工は厚く、多分に整形加工の色彩が強く、寧ろ刃部は左辺の直線部分が適当ともいえよう。黑色安山岩-12。第75図1・3は、厚い大形剥片を用い、側縁に加工を加え刃部を作出している。1は剥離の初期段階の剥片を、3は槍先形尖頭器の製作を試みたのち転用している。チャート。2・4は幅広剥片を用い、側縁に加工を加えている。2点とも刃部に適当な剥片端部を有している。チャート。6は、幅広剥片を用いる。左辺下端を粗く打ち欠き刃部を作出している。チャート。

#### 搔器 (第75図5、第76図1・2)

大形剥片を用いる例が多く、石刃を用いる典型的搔器は見られない。なかには分類が妥当か疑問な資料も存在しており、検討を要している。

第75図5は、幅広剥片の左辺に加工を加えている。機能部と見た部分には小形石刃を剥離したようにも見える剥離痕が存在しており、石核とも思えた。が、風化状態が異なり、別に小剥離痕が存在することから、ここでは搔器と見た。黒曜石一25。第76図1は大形の縦長剥片を用い、剥片端部に加工を加えている。第75図5と同様に、小形石刃の剥離が目的の石核とも思えたわけだが、端辺の微細な剥離を重視して搔器に分類した。黒曜石一26。第76図2は、盤状の石核を転用、端部に加工を加え機能部を作出している。比較的丁寧な加工で、弧状の刃部を作出しており、典型的搔器の刃部と断定できよう。黒色安山岩一9。

#### 加工痕ある剥片 (第76図3～8、第77図1～4)

17点が出土している。加工意図の明確ではない、剥片の側縁部分や剥片端部を加工する石器を一括した。比較的良好的な形状を持つ剥片が多く、剥片形状に応じ加工部位を変えている。

第76図3は、やや幅広の縦長剥片を用いる。主に剥片端部に加工を加えるほか、左辺にも部分的に加工を加える。加工部位や形状から「端辺加工」のナイフにも分類可能かもしれない。が、調整加工は粗く、ここでは加工意図が不明と見て分類した。チャート。4・5は、剥片の側縁を部分的に打ち欠く。4の加工は粗い反面、5の加工は細かく、加工状態は異なる。チャート。6・7は、やや幅広の縦長剥片を用いる。加工部位は剥片端部(6)や側縁部分(7)で、裏面側に粗い加工を加えており、特徴的である。チャート。8は、礫面を大きく残す横長剥片を用いる。調整加工はバルブを除去するよう施され、これとは逆の剥片端部が刃部と想定されよう。黒曜石。第77図1は、厚い幅広剥片の一端に粗く加工を加えている。石核を転用、加工しており、端部・中央付近に微細な剥離を施す。チャート。2は、幅広剥片を用いる。左辺を粗く加工するほか、右辺には微細な小剥離痕が連続しており、この部分が刃部と見られよう。チャート。3は、幅広剥片を用い、剥片端部を加工する。端部は中央より左が「ノッチ」状を、右が直線状を呈する。黒色安山岩一3。4は、器体の下半を欠損するため剥片形状は不明だが、幅広剥片を用いた可能性が強い。調整加工は左側縁・裏面側に粗く施され、この加工は刃部作出と捉えるより形態整形と捉えるべきかもしれない。また、右辺には「極状剥離」に似た剥離を石器下端から施しているようにもみえ、形態的要素も考慮するべきかもしれない。黒曜石。

#### 使用痕ある剥片 (第77図5～9、第78・79図1)

16点が出土している。剥片形状は多様だが、縦長剥片を用いる例が多い。遺跡で原石を消費、剥片剥離を行うチャートの場合、小形・縦長剥片を用いるほか、例が多い。また、相対的に消費率の低い黒曜石は比較的整形の整う石刃様剥片を用いる例が多い。

第77図5・6は、小形・縦長剥片を用いる。使用痕は側縁、及び、剥片端部に付く。チャート。7・8は縦長剥片を用いる。7の使用痕は左右の側縁の他に剥片端部にも及び、やや開いた弧状の剥片端部を持つ8にはこの部分に使用痕が生じている。チャート。9は、台形状を呈する幅広剥片を用いる。使用痕は剥片・打面部分を除く各辺に見られ、典型的部位に使用痕が生じている。黒曜石一30。

第78図1は、搬入した石刃を用いる。左側縁は直線的、右側縁は弧状の側縁形態を呈し、左側縁に使用痕が付く。黒曜石。

2は、石刃を用いる。より直線的な左側縁に使用痕が付く。右側縁の加工は連続的だが、調査段階のキズの可能性も否定できないため、ここでは使用痕を重視して分類した。黒曜石。3は、礫面を大きく残す縦長剥片を用いる。小形で、剥離初期の剥片の左辺に使用痕が付く。第78図4・第79図1は、幅広で、直線的形状の剥片端部を有する横長剥片を用いている。この種の石器は、通常、剥片端部に使用痕が付く。が、剥片端部が「ヒンジ」状を呈した5は打面側の両側縁を刃部に使用している。チャート。

#### 石核 (第79図2～6、第80～82図)

31点が出土している。A地点とは異なり、B地点で出土した石核は葉理を大きく残す例が多く、盤状を呈する石核が圧倒的多数を占める。盤状を呈するこの石核は原石から組織的・意図的に打ち欠いたものではなく、剥離途中で葉理で破損したのから選択的に石核に利用した可能性が高い。

第79図2・5は、小形の棒状礫や扁平礫の小口部分で剥離を行う石核。2は、遺跡で打ち欠いた痕跡が見られないことから小口部分の剥離は「試し割り」と思える。黒曜石—24。第79図3・6は、角柱状を呈する原石を用いた石核。3は、原石の下半部分を大きく欠いている。チャート。第79図4は、大形剥片を石核に転用している。剥離作業は打面側で行われ、剥離初期で剥離を終えている。黒色安山岩—10。第80図1は、高さ5.6cm、幅3.0cm、厚さ7.2cmを測る角柱状原石を用いた石核で、剥離初期に原石は中央付近で大きく割れている。チャート—51。4は、分割礫を用いた石核。剥離は礫面から行われ、幅広剥片を剥離している。チャート—49。2・5～8は、葉理で割がれ落ちた盤状の剥片を用いた石核。剥片剥離は葉理面から行われ、小形剥片を剥離している。第81図1・3は、葉理から割がれ落ちた盤状の大形剥片を用いた石核。小形剥片を葉理から打ち欠いている。4は、礫面を大きく残す剥片を石核に用いる例。石核上端から小形剥片を剥離している。5・6は、厚い大形剥片を石核に用い、石核の表裏両面と側面から剥離を行う。5の上端には微細な加工が連続しており、石核を転用・石器に使用している可能性が指摘されよう。第82図1～6は、糞子状を呈する石核。比較的剥離が進んだ小形の石核(1～3)と、剥離途中で剥離を終えたやや大形の石核(4～6)に二分されよう。

#### 剥片類 (第83・84図、第85図1)

7点の縦長剥片の他、193点の剥片が出土している。石器製作に伴う不要剥片も多く剥片形状は多様だが、ここでは主に石刃や調整剥片の類を図示した。

第83図1・2は、同一母岩に分類可能な石刃。出土資料には碎片の類が見られないことから、この状態で遺跡に持ち込み廃棄した可能性が高い。黒曜石—19。3・5～9は同一母岩に分類可能な剥片、及び、調整剥片。3は石刃剥離に伴う縦長剥片、5～8は槍先形尖頭器の調整剥片、9は石刃剥離に伴う棒状調整を残す縦長の小形剥片。黒曜石—12。10～12は、槍先形尖頭器の調整剥片。13は、やや幅広の縦長剥片で、剥片は両設打面を有する石核より剥離している。第85図1～5は、幅広剥片の類。6・7は大形の縦長剥片(石刃)。6は礫面を大きく残しており剥離の初期段階に、7は比較的剥離が進んだ段階に剥離している。ホルンフェルス。第85図1は、幅広の横長剥片。背面に残る剥離は求心的で頻繁な打面転移が予想されよう。黒色安山岩—11。

#### 敲き石 (第85図2～7、第86・87図1～3)

23点が出土している。100g未満の小形例や500gを超える大形例は概して少なく、中形例が主体を占める。



礫形状は「掌」で握れる程度で、円礫や棒状礫を多用している。礫の小口部分や側縁に打痕が見られ、打痕は比較的明瞭である。

第85図7や第86図5は小口部分の打痕とは別に、礫表皮が広く変質・剥落している。現状では熱を受け剥落した可能性が想定可能だが、その理由は明確ではない。

#### その他の礫（第87図4、第88図）

76点が出土している。1000gを超える大形例が多く、なかに5000gを超える礫も存在している。大部分は台石に近い機能が想定可能だが、打痕が見られないため機能的に明確ではない。

第88図1・3は礫表皮が熱を受け剥落している。2点ともホルンフェルスを用いる点で共通する。2は礫の小口部分に打痕が見られ、台石的機能の他にも多目的に用いている。ホルンフェルス。

### 接合資料

#### 接合資料—10（第89図）

3点からなる接合資料。風化剥離面を部分的に有する角柱状石核から3枚の剥片を剥離している。削器1の打面には打面調整が著しく、剥片2・3の打面は弾け飛んでいる。剥片剥離は上下両端の打面から行われ、比較的小形の石核形状が想定されよう。黒曜石—17。

（上設打面で）1→○

⇒（下設打面へ）○○

⇒（上設打面へ）⇒○⇒2→3

#### 接合資料—13（第89図）

4点からなる接合資料。上面、及び、裏面に礫面を大きく残す角柱状石核を用いる。剥片剥離は打面調整を行い調整剥片1を剥離した後に、作業面を正面に固定、打面を移動させ進む。作出剥片の形状は幅広く、このうち1点には側縁加工を施している。この資料（2）は側縁加工のナイフにも分類可能だが、先端部分を剥離段階に欠いており、ここでは削器に分類した。黒曜石—20。

1⇒○…○⇒○○⇒2→3

#### 接合資料—11（第89図）

2点からなる接合資料。礫面を部分的に残しており、剥離の初期段階を示している。作出剥片の形状は幅広く、剥離面構成は頻繁な打面転移が想定できよう。黒曜石—17。

#### 接合資料—15（第89図）

2点からなる接合資料。礫面を部分的に残しており、剥離の初期段階を示している。剥片端部には平坦な剥離面を取り込み、盤状を呈する石核形状が想定されよう。やや幅広く台形状を呈する剥片を剥離している。黒曜石—30。

#### 接合資料—9（第89図）

3点の折断剥片からなる接合資料。剥片は側縁に礫面を残しており、大きく「し」字状に歪む断面形状を

呈する。剥片裏面は両極剥離を示唆する対向する剥離が見られ、剥離は剥離段階で折れた可能性も否定できない。黒曜石-17。

#### 接合資料-12 (第89図)

2点の折断剥片からなる接合資料。剥離段階で打面が弾けているため打面形状は不明だが、残存部分からみて点状打面が予想され、剥離面構成も打面管理の行き届いた石刃剥離を示唆している。剥片端部には微細な加工を施している。黒曜石-19。

#### 接合資料-131 (第90図)

8点からなる接合資料。礫面に上面に残す厚い盤状剥片を用いる。剥片1~3を剥離した後に、残る大形剥片の周縁部分を打ち欠き、槍先形尖頭器の作出を試みている。槍先形尖頭器は素材が厚すぎ製作を途中で放棄している。4~7は槍先形尖頭器の作出に伴う碎片類。なお、3には剥離したのち側縁部分に加工を加えており、槍先形尖頭器の作出を意図した可能性も残る。チャート-47。

(上設打面で) ○○→1→2→○

⇒(下設打面へ) 3→(4→5→6→7→8)

#### 接合資料-14 (第90図)

2点からなる接合資料。礫面を大きく残す厚い剥片を用い、剥片の裏面で剥離を行う。剥離は剥片の打面部分を除去するよう行われ、3枚の小形剥片を剥離している。3は剥離を終えた後に、端部を加工して刃部を作出している。黒曜石-28。

#### 接合資料-132 (第91図)

2点からなる接合資料。葉理で割れた薄い剥片を石核に用いる。剥片剥離は石核の表裏両面で行われ、小形の剥片を剥離している。チャート-48。

(石核裏面で) ○

(石核正面で) ○…○→1→○⇒○○

(石核裏面で) ○

#### 接合資料-158 (第91図)

2点からなる接合資料。剥片端部や打面に礫面を部分的に取り込む剥片1の在り方から、長さ(作業面の高さ)3cm前後の扁平礫を石核に用いている可能性が強く、剥離は左右に打点を振り後退するよう進めた、と判断できよう。幅広・横長剥片を剥離しており、打面調整の類は見られない。珪質頁岩。

#### 接合資料-137 (第91図)

2点からなる接合資料。礫面を大きく残しており、剥離の初期段階を示している。礫面から直接剥離しており、90°打面転移を行い幅広・横長の剥片を剥離している。チャート。

○⇒1⇒2

### c. 石器の分布

A地点と同様に、石器群はAs—Opk1降下以前の台地縁辺を主体に分布していたほか、台地縁辺からやや離れた台地の奥にも若干の石器が分布していた。当該期石器群の調査は、A地点と同様にAs—Opk1降下以前の台地縁辺を中心に行い、この地点の調査を終えた後に上層の遺構密度が増す台地中央へ調査を進めた。石器の集中地点は台地縁辺で10ヶ所を、台地縁辺からやや離れた地点で2ヶ所を確認している。この地点には、若干の熟わかれた礫が少量出土した程度でA地点とは異なり礫群は全く見られない。包含層が露出していたとはいえ、礫群の出土するVI層下部～VII層上部は耕作されないまま残存しており、仮に礫群が存在したなら容易に確認が可能な筈で、礫群は本来的にはない、と断定できよう。

既に上層の遺構確認段階で石器群の存在は確認され、耕作で石器群の包含層が露出する状態を示していた。実際、この地点ではVI層より上の土層堆積が見られない（第4図を参照）のであり、接合資料の少ない点も業理の発達している石材を多く用いること以上に、包含層の残存状態が大きき要因と判断できよう。また、分布域の東には試掘段階で「旧河道」と称した、遺跡を南北に縦断する堀跡が石器群の包含層を壊している可能性も否定できないのであり、分析を制約している。

#### 12号ブロック（第103図）

位 置 尾根状微高地が若干西側に傾斜する地点（5—55G・56G・75G・76G）  
規 模 長径8.0m・短径6.8m  
分布状態 5—55G・56G付近に集中分布する。  
出土層位 VI層～VII層  
出土点数 149点  
器種構成 槍先形尖頭器1、削器1、搔器2、加工痕1、使用痕3、敲き石1、石核8、剥片61、碎片71  
石材構成 チャート89、黒曜石56、頁岩1、黒色安山岩1、輝緑凝灰岩1、溶結凝灰岩1  
接合資料 黒曜石1例4点（13号・14号ブロックと接合）、7例15点  
そ の 他 耕作でIV層～VI層を欠く。特に石器集中地点の東側では深く耕作が達しており、VII層が露出した状態を示していた。

#### 13号ブロック（第103図）

位 置 尾根状微高地が若干西側に傾斜する地点（5—76G）  
規 模 長径2.4m・短径1.4m  
分布状態 散漫に分布する。  
出土層位 VI層  
出土点数 9点  
器種構成 削器4、敲き石2、石核1、碎片2  
石材構成 チャート2、黒曜石6、溶結凝灰岩1  
接合資料 黒曜石2例6点（このうち、1例は12号・14号ブロックと接合）  
そ の 他 耕作でIV層～VI層の上位を欠いている。小規模な分布域と器種構成は基本的には剥片剥離の卓越した地点とは思えず、現状では石器の「使用空間」的な色彩が強い。

#### 14号ブロック (第103図)

位 置 尾根状微高地が若干西側に傾斜する地点 (5-75G)

規 模 長径4.2m・短径2.6m

分布状態 比較的良好に集中する。

出土層位 VI層~VII層の上部

出土点数 27点

器種構成 加工痕1、敲き石6、石核4、剥片3、砕片13

石材構成 チャート14、黒曜石9、黒色安山岩3、凝灰質砂岩1

接合資料 黒曜石1例4点(12号・13号ブロックと接合)、チャート3例7点

そ の 他 平面的にも垂直的にも比較的中性が高く、耕作で石器群の本来的な組成が大きく変化している可能性が強い。

#### 15号ブロック (第104図)

位 置 尾根状微高地の頂部 (5-115G・116G)

規 模 長径6.3m・短径4.8m

分布状態 比較的良好に集中分布する。

出土層位 VI層

出土点数 88点

器種構成 掘器1、使用痕1、敲き石1、石核7、縦長剥片1、剥片24、砕片53

石材構成 チャート42、黒曜石41、黒色安山岩2、ホルンフェルス1、砂岩2

接合資料 チャート3例6点

そ の 他 耕作でIV層・V層を欠く。

#### 16号ブロック (第105図)

位 置 尾根状微高地の頂部 (5-116G・117G)

規 模 長径3.3m・短径2.7m

分布状態 比較的散漫に分布する。

出土層位 VII層

出土点数 13点

器種構成 槍先形尖頭器1、剥片1、砕片11

石材構成 チャート13

接合資料 なし

そ の 他 耕作でVI層より上を欠く。

#### 17号ブロック (第105図)

位 置 尾根状微高地の頂部 (5-135G・136G)

規 模 長径5.3m・短径4.2m

分布状態 比較的散漫に分布する。

出土層位 VI層～IX層  
出土点数 28点  
器種構成 加工痕2、使用痕1、石核4、剥片15、砕片6  
石材構成 チャート24、黒曜石4  
接合資料 チャート2例5点  
その他 耕作でIV層・V層を欠く。

#### 18号ブロック (第104図)

位 置 尾根状微高地の西側斜面 (5-136G・137G・156G・157G)  
規 模 長径5.1m・短径3.8m  
分布状態 良好な状態で集中分布する。  
出土層位 VI層～IX層の上部  
出土点数 241点  
器種構成 ナイフ1、槍先形尖頭器3、削器1、彫器1、加工痕8、使用痕2、石核1、剥片34、砕片190  
石材構成 チャート108、黒曜石131、珪質頁岩1、黒色安山岩2、デイサイト3  
接合資料 黒曜石4例10点、チャート5例24点 (このうち、1例はA地点7号ブロックと接合)  
その他 耕作でIV層・V層を欠く。石器の出土層位はレベル的にはIX層だがこの地点にはVIII層が堆積せず、やや軟質のVI層に似たローム層が堆積していた。石器の出土状態は土壤攪乱で説明可能と考えられている。

#### 19号ブロック (第105図)

位 置 尾根状微高地の頂部 (5-177G・197G)  
規 模 長径4.5m・短径3.2m  
分布状態 散漫な状態で分布する。  
出土層位 VII層  
出土点数 9点  
器種構成 敲き石5、石核1、剥片1、砕片2  
石材構成 チャート2、黒曜石1、珪質頁岩1、黒色安山岩2、デイサイト3  
接合資料 デイサイト1例3点  
その他 耕作でIV層・V層を欠く。

#### 20号ブロック (第105図)

位 置 尾根状微高地の頂部から離れた台地の平坦部 (8-219G)  
規 模 長径2.7m・短径2.2m  
分布状態 散漫な状態で分布する。  
出土層位 IV層～VII層の上部  
出土点数 6点  
器種構成 加工痕1、縦長剥片1、剥片1、砕片3

石材構成 チャート3、黒曜石3  
接合資料 黒曜石1例2点  
その他 石器の出土地点は北側に緩く傾斜している。

#### 21号ブロック (第106図)

位置 尾根状微高地から離れた台地の平坦部 (8-161G)  
規模 長径2.4m・短径0.9m  
分布状態 散漫な状態で分布する。  
出土層位 V層・VI層  
出土点数 5点  
器種構成 敲き石1、剥片3、砕片1  
石材構成 チャート3、黒曜石1、溶結凝灰岩1  
接合資料 黒曜石1例2点  
その他 石器の出土地点は概ね平坦で、石器使用空間に近い。

#### 22号ブロック (第106図)

位置 尾根状微高地の頂部から離れた台地の平坦部 (8-162G)  
規模 長径2.4m・短径1.1m  
分布状態 散漫な状態で分布する。  
出土層位 V層・VI層  
出土点数 4点  
器種構成 削器2、使用痕1、砕片1  
石材構成 チャート3、砂岩1  
接合資料 なし  
その他 砕片類が少なく、石器使用空間に近い様相を呈する。

#### 23号ブロック (第106図)

位置 台地縁辺から離れた台地の奥 (6-339G・340G・359G)  
規模 長径3.8m・短径3.6m  
分布状態 散漫な状態で分布する。  
出土層位 IV層～VII層  
出土点数 11点  
器種構成 縦長剥片1、剥片3、砕片7  
石材構成 チャート9、黒曜石1、砂岩1  
接合資料 なし  
その他 資料点数が少ないこと、砕片類の出土が見られ、石器製作の部分的様相が見て取れる。

#### 24号ブロック (第106図)

位置 台地縁辺から離れた台地の奥 (6-297G・317G)

規模 長径3.9m・短径2.2m

分布状態 散漫な状態で分布する。

出土層位 IV層の下部～VIII層の上部

出土点数 8点

器種構成 使用痕2、石核1、剥片2、砕片3

石材構成 チャート3、黒曜石5

接合資料 なし

その他 出土資料の在り方からみて、石器製作の部分的表現か、使用に伴う石器の再生を示す可能性が想定されよう。

#### d. 接合資料の分布

接合作業の結果、38例97点の接合資料を確認している。接合率は13%とA地点に遠く及ばず、数値的には寂しい。この背景には後世の攪乱で包含層の状態を大きく欠いていたこと、葉理の発達する石礫石材を多く用いるため接合が難しい点が大きく影響した、と考えている。さらにはまた、この地点の石器製作が石刃を用いるナイフの製作より、槍先形尖頭器の製作、及び、製作過程で出る剥片類を用いた石器製作に主力を注いでいる点も看過できない。以下には、A地点と同様に、各種剥片剥離と石器製作を念頭に接合資料の分布を記していきたい。

#### 接合資料-136の分布 (第129図)

分布地点 14号ブロック (5-75G)

剥片移動 なし

剥片剥離 ー

備考 敲き石の接合

#### 接合資料-134の分布 (第129図)

分布地点 14号ブロック (5-75G)

剥片移動 なし

剥片剥離 ー

備考 角柱状原石を分割、小形剥片を剥離している。

#### 接合資料-140の分布 (第129図)

分布地点 14号ブロック (5-75G)

剥片移動 なし

剥片剥離 幅広剥片の剥離 (90°打面転移)

備考 葉理の発達するチャートを用いる。

#### 接合資料-141の分布 (第129図)

分布地点 14号ブロック (5-75G)

剥片移動 なし

剥片剥離 幅広剥片の剥離 (90°打面転移)

備考 葉理で剥れた角柱状石核を用いる。

#### 接合資料-144の分布 (第129図)

分布地点 14号ブロック (5-75G)

剥片移動 なし

剥片剥離 ー

備考 葉理で割れた板状石核を用いる。

#### 接合資料-142・143・145の分布 (第129図)

分布地点 12号ブロック (5-56G・76G)

剥片移動 不明

剥片剥離 幅広剥片の剥離

備考 葉理が発達するチャートを用いる。

**接合資料—146～148の分布 (第130図)**

分布地点 15号ブロック (5—96G)

剥片移動 不明

剥片剥離 幅広剥片の剥離

備考 147・148は剥片中央で折れた剥片の接合。

**接合資料—149・150の分布 (第130図)**

分布地点 17号ブロック (5—135G・136G)

剥片移動 不明

剥片剥離 幅広剥片の剥離

備考 葉理が発達するチャートを用いる。

**接合資料—137の分布 (第130図)**

分布地点 ブロック外 (5—116G)

剥片移動 不明

剥片剥離 幅広剥片の剥離

備考 礫面を大きく残す剥離の初期段階を示す接合。

**接合資料—151の分布 (第131図)**

分布地点 18号ブロック (5—137G)

剥片移動 不明

剥片剥離 幅広剥片の剥離

備考 剥片2の接合。打面を固定剥離。石材は良質。

**接合資料—152の分布 (第131図)**

分布地点 18号ブロック (5—137G)・ブロック外 (5—158G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 不明

備考 接合資料は2点の剥片が接合しており、打面再生を行い剥片を剥離している。石材は打面付近の葉理を除けば比較的良好で、石刃剥離も可能と思える。

**接合資料—163の分布 (第131図)**

分布地点 18号ブロック (5—137G・157G)

剥片移動 なし

剥片剥離 槍先形尖頭器の製作

備考 接合資料—131と同一母岩。

**接合資料—153の分布 (第131図)**

分布地点 21号ブロック (8—161G)

剥片移動 不明

剥片剥離 幅広剥片の剥離

備考 葉理から割れた大形剥片を石核に用いる。

**接合資料—12の分布 (第132図)**

分布地点 20号ブロック (8—181G)

剥片移動 不明

剥片剥離 石刃剥離

備考 中央付近で折れた石刃の接合。

**接合資料—9～11・15の分布 (第132図)**

分布地点 18号ブロック (5—136G・137G)

剥片移動 なし

剥片剥離 幅広剥片の剥離

備考 接合資料—9から11は同一母岩に分類可能。

**接合資料—13の分布 (第132図)**

分布地点 12号ブロック (5—76G)・13号ブロック (5—76G)・14号ブロック (5—75G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 13号ブロックに削器1が分布。

備考 12号ブロックには石核1と剥片1が出土しており、現状ではこの地点に剥離地点を想定、削器1を移動使用したものと考えている。

**接合資料—14の分布 (第132図)**

分布地点 13号ブロック (5—76G)

剥片移動 なし

剥片剥離 幅広剥片の剥離と削器の作出

備考 盤状石核から剥片を剥離・刃部を作出。



**接合資料—160の分布 (第132図)**

分布地点 14号ブロック (5-75G) 備考 凍結膨張作用で破損(?)。

**接合資料—159の分布 (第132図)**

分布地点 19号ブロック (5-177G・159G) 備考 堆積層面から破損。

**接合資料—131の分布 (第133図)**

分布地点 18号ブロック (5-137G)・ブロック外 (5-178G)

剥片剥離 槍先形尖頭器の製作 剥片移動 やや大形の剥片がブロック外に分布。

備考 分割鏢(大形剥片?)用い幅広剥片を剥離した後に、残核から槍先形尖頭器の製作を試みている。素材が厚すぎ途中で製作を放棄している可能性が高い。

**接合資料—133の分布 (第133図)**

分布地点 16号ブロック (5-117G)・ブロック外 (5-116G)

剥片剥離 槍先形尖頭器の再生(?) 剥片移動 不明

備考 槍先形尖頭器は下端部の折れ面で厚く、この部分の加工に意を注いでおり、この部分を剥離・加工する段階で石器は破損したものと考えている。先端部は薄く加工され完成状態を示しており、先端を左右対象に置いた場合には現状の細身の形状とは異なり、やや幅広の石器形状が想定されよう。

**e. 母岩別資料の分布**

母岩分類の結果、B地点出土の資料には49の母岩(チャート13母岩38点、黒曜石22母岩78点、黒色頁岩2母岩2点、黒色安山岩5母岩11点など)を確認した。この地点は後世の耕作で大きく包含層が壊され、さらには、葉理の発達する石材を多用するなど接合資料が極端に少なく、A地点とは異なり母岩分類は充分とはいえない。

**チャート47の分布 (第154図)**

分布地点 18号ブロック (5-137G・157G)・ブロック外 (5-178G)

器種構成 槍先形尖頭器1、加工痕2、剥片2、碎片8

剥片移動 ブロック外に幅広の大形剥片1が分布。

備考 接合資料—131。分布が偏在していることから、この地点で槍先形尖頭器の製作を試みたもの、と想定できよう。

**チャート49の分布 (第154図)**

分布地点 12号ブロック (5-55G)・18号ブロック (5-157G)・ブロック外 (5-156G)

器種構成 削器1、石核1、剥片3、碎片1

剥片移動 12号ブロックに剥片1が、18号ブロックに碎片1が分布。

備考 分布の主体はブロック外の5-156Gで、現象的にはこの地点に剥離地点が想定されよう。19号ブロックに隣接している。

**チャート48の分布 (第154図)**

分布地点 12号ブロック (5-55G・56G)

器種構成 石核1、剥片2、碎片2

剥片移動 なし

備 考 接合資料—132。葉理で剥落した大形剥片を石核素材に用いている。分布域が偏り、この地点に剥離地点が想定されよう。

**チャート51の分布 (第154図)**

分布地点 14号ブロック (5—75G) 器種構成 石核2

剥片移動 不明 備 考 葉理が細かく入り、剥離の初期に石核を放棄。

**チャート56の分布 (第154図)**

分布地点 14号ブロック (5—75G) 備 考 蔽き石 (接合資料—136)

**黒曜石22の分布 (第155図)**

分布地点 12号ブロック (5—55G)・15号ブロック (5—95G)・18号ブロック (5—137G)・ブロック外 (5—178G)

器種構成 剥片2、碎片5

剥片移動 12号ブロックに剥片1が、15号ブロックに碎片1が、18号ブロックに剥片1・碎片2が分布したほか、ブロック外にも剥片1が分布。

備 考 剥片類の形状は槍先形尖頭器の調整剥片に類似。碎片類の単独分布は理解に苦しむ。ガラス透明で、絹雲状の縞状構造が部分的に観察可能。

**黒曜石32の分布 (第155図)**

分布地点 12号ブロック (5—56G)・18号ブロック (5—137G)

器種構成 槍先形尖頭器1、剥片1 (槍先形尖頭器の調整剥片)

剥片移動 完形に近い槍先形尖頭器が12号ブロックに、調整剥片が18号ブロックに分布。

備 考 白く濁る縞状構造が入る特徴的な黒曜石。両地点とも黒曜石が多出しており、各々の地点で製作を試みた可能性が高い。

**黒曜石18の分布 (第156図)**

分布地点 18号ブロック (5—137G) 器種構成 剥片2

剥片移動 不明

備 考 1点は槍先形尖頭器の製作の初期剥片(?)。若干の気泡を含む他、極く粗い筋状の縞状構造が入る。

**黒曜石21の分布 (第156図)**

分布地点 18号ブロック (5—137G) 器種構成 碎片2

剥片移動 不明 備 考 ガラス透明感に富み、筋状の縞状構造を有す。

**黒曜石23の分布 (第156図)**

分布地点 18号ブロック (5—137G) 器種構成 碎片3

剥片移動 不明

備 考 形状から槍先形尖頭器に伴う碎片か。気泡を少し含み、細い縞状構造を有す。ガラス透明。

**黒曜石30の分布 (第156図)**

分布地点 18号ブロック (5—137G) 器種構成 使用痕1、碎片2

剥片移動 不明 備 考 黒味が強く、筋状の縞が入る。接合資料—15。

#### 黒曜石19の分布 (第157図)

分布地点 20号ブロック (8-181G)・ブロック外 (5-200G)

器種構成 加工痕1、縦長剥片1、剥片2、破片1

剥片移動 ブロック外に縦長剥片1が分布。

備考 接合資料-12。気泡や斑晶を含まず、ガラス透明感に富む極めて良質な黒曜石を用いる。この地点には黒曜石の破片類は存在せず、現状では他の地点から搬入したもの、と考えている。

#### 黒曜石28の分布 (第157図)

分布地点 13号ブロック (5-76G) 器種構成 削器2

剥片移動 不明

備考 大形剥片を石核に用い剥片を剥離、2点とも端部を加工、刃部を作出。気泡や斑晶を含まず、極めて良質。やや黒味が強い。

#### 黒色頁岩15の分布 (第159図)

分布地点 ブロック外 (5-97G) 器種 破片1

剥片移動 不明

#### 黒色頁岩16の分布 (第159図)

分布地点 ブロック外 (5-97G) 器種 剥片1

剥片移動 不明

#### 黒色安山岩5・8～12の分布 (第158図)

分布地点 12号ブロックに黒色安山岩5 (剥片1) が、14号ブロックに同一8 (加工痕1・破片3) が、15号ブロック・ブロック外に同一9 (播器1・破片1) が、19号ブロックに同一10 (石核1・破片1) が分布したほか、分類不能の黒色安山岩が18号ブロック (剥片1・破片1) とブロック外 (剥片2・破片1) が分布。

剥片移動 剥片剥離が部分的で不明。

#### ホルンフェルス6～8の分布 (第158図)

分布地点 15号ブロックにホルンフェルス6 (縦長剥片1) が、13号ブロックの周辺に同一7 (剥片1) が、19号ブロックの周辺に同一8 (剥片1) が分布。

#### その他の石材分布 (第158図)

出土資料には、このほか輝緑凝灰岩・砂岩・珪質頁岩・頁岩・珪質粘板岩が出土している。頁岩は破片が1点のみ出土しており、詳細は不明。珪質頁岩は4点 (位置不明の剥片1を含む) が5-158Gに分布・接合を確認しており、部分的な剥片生産を試みている。なお、輝緑凝灰岩や砂岩は敲き石 (破片) の可能性も残しており、また、珪質粘板岩も礫混入の可能性を含め判断は難しい。

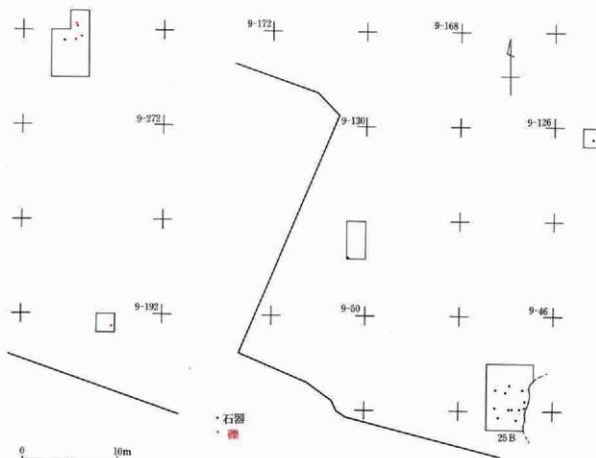
### (3) C 地点

#### a. 概要

この地点から出土した石器群は台地縁辺から遠く離れた台地の奥に分布していた。他の地点とはことなり、石器の集中分布は調査区の南端（9-6G・7G、10-386G・387G）で1ヶ所が見られ、このほかには調査区の西端（9-293G・313G）や、同じく調査区の南西隅（9-70G）で礫や石器の出土を若干確認した程度で、石器群の分布は極めて散漫な状態を示していた。

この地点では、総計29点の石器（8点の礫・礫片を含む）が出土している。石器の出土地点は調査区・南端の1ヶ所（25号ブロック）で確認している。石器の出土層位は他の地点と同様にⅣ層～Ⅶ層の上部で、Ⅵ層に最も多く出土している。

石器の集中地点には主に剣片・破片の類が主体を占め、また、分布域の東を中世・地下式土抗で大きく欠き、このため石器群を支えた主たる構成器種は不明だが、周辺域ではナイフ（第92図1）や槍先形尖頭器（同図2）が出土しており、概ね他の地点と同様な器種組成が想定されよう。石器石材は黒曜石が67%と圧倒的に多く、このほかにはチャート（24%）や石英・粗粒輝石安山岩が存在している。接合資料は2例4点を確認しており、1例は石刃剥離、1例は槍先形尖頭器の製作を示していた。石器の集中地点は黒曜石のみからなり、1点を除き総て同一母岩に分類した。



第7図 石器と礫の分布（C地点）

## b. 出土石器

総計21点の石器が出土している。出土資料は剥片や破片の類が主で、約57%を占めている。出土した主な石器は槍先形尖頭器やナイフが各々1点ずつ出土している。が、それぞれ単独出土で、また、槍先形尖頭器は上層の遺構確認段階の、ナイフは溝の覆土から出土しているため、層位的には組成していい石器だが現状では推測の域を出ない。残る破片も量的に少なく、剥片剥離も若干の剥離を行う程度と推定できよう。なお、この地点では右辺に連続する剥離を加えた削器が出土している。出土石器は破片類が主体を占め資料的には是非とも掲載するべき資料だが掲載から漏れたため、ここでは説明のみ記しておく。出土した削器は、丈の短い幅広剥片を用い側縁に連続する剥離を加え刃部を作出している。剥片は左右の側縁が概ね平行しており、さらには、背面構成も石刃剥離を明確に意識しており、この地点の石器群の性格を暗示するようでもある。

### ナイフ形石器 (第92図1)

1点のみ出土した。加工部位からみて二側縁加工のナイフに分類可能だが、左辺・刃部の状態は完成状態にはほど遠く、明確ではない。石器石材も石英を用いており、他の地点とも大きくことなる。現状では石器先端には破損したのち、上端から細部加工を施しているようにも見える。

### 槍先形尖頭器 (第92図2)

1点のみ出土した。出土した槍先形尖頭器は長さ4.5cm、幅2.4cmを測る木葉形状を呈しており、表裏両面を加工する。側縁形状は左側縁の湾曲が強く、左右対称とはいえない。また、石器基部には平坦面を有しており、基部を破損・再生した可能性も否定できない。黒曜石-34。

### 縦長剥片 (第92図3)

1点のみ出土した。端面を大きく残しており、剥離の初期段階に剥離している。剥片端部には微細な使用痕が生じている。出土地点は9-70Gで、III層から出土した。チャート。

表5 第1文化層C地点器種

	ナイフ	尖頭器	削器	使用痕	巖石	石核	縦長	剥片	破片	合計
25 B	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	66.7%	12
B 外	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	3
不明	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	6
合計	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	14.3%	19.0%	38.1%	21

表6 第1文化層C地点石材

	チャート	黒曜石	編安	石英	合計
25 B	0.0%	100%	0.0%	0.0%	12
B 外	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	3
不明	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	6
合計	23.8%	66.7%	4.8%	4.8%	21

#### 使用痕ある剥片（第92図4）

1点のみ出土した。礫面を大きく残す剥離の初期段階に剥離した、長さ8.7cm、幅10.7cm、重さ264gを測る幅広・大形剥片を用いている。剥片端部には「刃こぼれ」が生じており、この部分を刃部に使用した可能性が高い。重量から見れば、礫器の使用が想定できよう。出土資料には同一母岩は見られないことから搬入石器と見た。細粒輝石安山岩。

#### 接合資料

接合資料は2例4点を確認している。既に述べた通り、接合資料には石刃剥離を示唆するもの（接合資料一17）と槍先形尖頭器の製作を示唆するもの（接合資料一16）からなる。資料点数の少ない点を考え併せるなら、石器製作の部分的表現と評され、接合資料の存在したこの地点（25号ブロック）以外にも石器の集中地点が存在した可能性も否定できない。

#### 接合資料一16（第92図）

2点からなる接合資料。剥片は「し」字状の断面形状を呈しており、槍先形尖頭器の製作を示唆するようにも見える。が、剥片の打面形状は平坦で、現状では調整剥片とは位置づけられない。剥片端部に石核底面とも思える広く平坦な剥離面を取り込む。このためこの資料には石刃剥離を想定できないのであり、現状では打面転移を伴う幅広剥片の剥離が想定されよう。背面を構成する剥離は概ね一致している。バルブは全く見られない。黒曜石一33。

#### 接合資料一17（第92図）

3点からなる接合資料。風化剥離面を部分的に残しており、剥離の初期段階を示している。背面構成の在り方は石刃剥離を示しており、接合資料は2点とも剥片剥離段階で斑晶が原因して横位に折れている。黒曜石一33。

#### c. 石器の分布

既に述べた通り、この地点では調査区南端で1ヶ所の石器集中地点を確認している。このほかには調査区南西端で石器の単独出土を確認したほか、9-293G・313Gで礫の分布を確認しており、後世の遺構構築に伴い大きく包含層を欠いている点や試掘精度が甘い点を考え併せるなら、このほかにも当該期石器群の存在した可能性も否定できない。

#### 25号ブロック（第107図）

位置 台地縁辺から遠く離れた台地の奥（9-6G・7G、10-396G・397G）

規模 長径6.5m・短径6.3m

分布状態 散漫な状態で分布する。

出土層位 IV層～VII層

出土点数 12点

器種構成 削器1、縦長剥片1、剥片2、砕片8

石材構成 黒曜石一12

接合資料 なし

その他 中世・地下式土坑が掘り込まれ、分布域の東を大きく欠いている。

#### d. 接合資料の分布

接合作業の結果、2例4点の接合資料を確認している。この地点からえられた接合資料は極めて少なく、石器製作の様相も明確とはいえない。

#### 接合資料16の分布 (第134図)

分布地点 25号ブロック (9-6 G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 不明

#### 接合資料17の分布 (第134図)

分布地点 25号ブロック (9-6 G・7 G)

剥片剥離 石刃剥離

剥片移動 不明

備考 剥離初期の剥片。部分的な石刃剥離。

#### e. 母岩別資料の分布

母岩分類の結果、出土資料には母岩2 (黒曜石10点)を確認した。石器群の分布域の東側で中世・地下式土坑が重複しているため石器群の全貌は不明だが、本来的にはそれほど密な分布状況にはない、と考えている。

#### 黒曜石33の分布 (第159図)

分布地点 25号ブロック (10-387 G、9-6 G・7 G)

器種構成 削器1、縦長剥片2、剥片2、碎片4

剥片移動 不明

備考 気泡を多く含み、筋状の織状構造を有す。ガラス透明感が強い。

#### 黒曜石34の分布 (第159図)

分布地点 25号ブロック (10-386 G)

器種構成 碎片1

剥片移動 不明

備考 黒曜石33に比べ、気泡を含む量が少なく、ガラス透明感も強い。

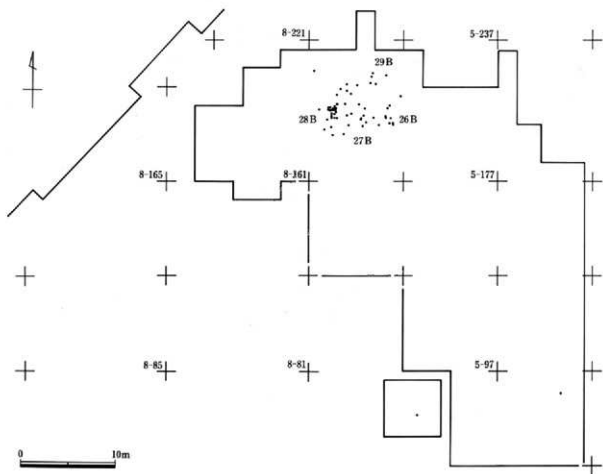
## 2-2. 第2文化層

### a. 概要

当該期石器群は台地縁辺に近いB地点に分布していた。石器群は概ね尾根状の微高地に分布していた第1文化層(B地点)と見た石器群の東側に出土した。

第2文化層を構成する石器群は、総計70点(2点の礫片を含む)が出土している。石器の集中地点は4ヶ所で確認しており、石器の分布密度は概して薄い状態で出土した。また、このほかには石器群の分布域からやや離れて切出形石器が上層出土の石器群に混在出土している。礫群は未確認だが石器群の分布域とはやや離れた5-138G・158Gで炭化物を伴う焼土遺構を確認している。この焼土遺構は人為的所産か否か、意見の別れる所だが現状ではこの地点だけではなく、他の地点(第3文化層、A地点の調査所見)でも焼土こそ未確認だが、焼土遺構を確認した層層と同じAs-BPを含むⅧ層で多量の炭化物を断面で確認していること、また、以前「関越道・新潟線」関連で調査した赤城西麓の遺跡でもAs-BP直下に多量の炭化物を含んでいたことなどから、理由は不明だが現状では人為的遺構とは認定できない、と考えている。

主たる構成器種は基部・先端加工のナイフや切出形石器、側縁加工を重視した尖頭石器、側縁に粗い加工を施す角錐状石器(?)で、概して加工具類は少なく加工痕ある剥片(欠損しているため不明だが、ナイフの可能性も否定できない)が組成している。石器石材は黒曜石が圧倒的に多く70%以上を占め、チャートが



第8図 石器分布(B地点)



表7 第2文化層器種

	ナイフ	切出形	角錐状	尖頭器	加工痕	縁石	石核	剥片	砕片	合計
26 B	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	100%
27 B	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	66.7%	100%
28 B	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	2.5%	0.0%	22.5%	70.0%	100%
29 B	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	100%
B 外	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	100%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	0.0%	0.0%	100%
合計	2.9%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	26.5%	61.8%	100%

表8 第2文化層石材

	チャート	黒曜石	珪英岩	粗安	合計
26 B	0.0%	100%	0.0%	0.0%	100%
27 B	0.0%	100%	0.0%	0.0%	100%
28 B	15.0%	80.0%	2.5%	2.5%	100%
29 B	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100%
B 外	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100%
不明	100%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
合計	20.6%	76.5%	1.5%	1.5%	100%

続く。接合資料は極めて少なく、2例5点を確認した。母岩分類は難しく微妙だが、砕片類から見れば、2個体か3個体程度を持ち込む母岩消費が想定され、このほかには石器と認定した数点と剥片類の数点を遺跡に持ち込んでいる、と捉えておきたい。

## b. 出土石器

総計68点の石器が出土している。出土資料には剥片や砕片の類が圧倒的に多く、88%を占めている。既に述べた通り、主な石器は基部・先端部分を加工するナイフや切出形石器、側縁加工を重視した尖頭器、側縁を粗く加工した角錐状石器で、当該期石器群に特徴的な石器組成を示していた。

### ナイフ形石器 (第160図1)

1点のみ出土している。典型的形態を呈する石刃の基部、及び、先端部分に剝離を施す。特に、先端部分には石刃の表裏両面から微細な剝離を施し、石刃の先端を截断するよう加工している。その断面形状は「し」字状を呈しており、大きく歪んでいる。出土資料には同一母岩は見られないことからこの状態で遺跡に搬入遺棄した可能性が想定されよう。黒曜石。

### 切出形石器 (第160図2)

1点のみ出土している。礫面を部分的に残す幅広剥片を用いている。調整加工を左辺中央より下部と右辺に粗く施し、石器を作出している。この石器は5—78Gで上層の石器群に混在出土したもののだが、ここでは形態の特徴から判断して上層の石器群から分離、第2文化層の石器群と捉えた。出土資料には同一母岩が見られないことから、他の地点で製作遺跡に持ち込んでいる可能性が高い。黒曜石。

### 尖頭器 (第160図3)

1点のみ出土している。幅広・横長の剥片を横位に用いている。調整加工は左右の側縁部分に施しているほかには、石器先端・右辺に粗い剝離を施す程度で、石器左辺の先端部分や基部は加工せず、剥片形状を巧く利用して石器を作出している。黒曜石。

### 角錐状石器 (第160図4)

1点のみ出土している。礫表皮を部分的に残す剝離の初期段階に剝離した、断面・三角形を呈する厚い縦長の剥片を用いている。調整加工を左辺で極めて粗く施しており、石器先端・右辺には微細な「刃こぼれ」が生じている。この石器は5—75Gで上層の石器群に混じり出土したもののだが、ここでは石器の形態の特徴を重視して第2文化層の石器群と捉えた。また、典型的な角錐状石器ともことなるようにもみえ、分類が妥当か不安でもある。出土資料には同一母岩が見られず、他の地点で製作・遺跡に持ち込んだ、と考えている。黒曜石。

### 加工痕ある石器 (第160図5)

1点のみ出土した。比較的丁寧な調整加工を左辺に施している。石器上半、及び、中央より右側を大きく欠損するため不明だが、調整加工はナイフに極めて類似しており、小形ナイフの可能性も全く否定できない。黒曜石。

### 剥片類 (第160図6～10、第161図1～3)

18点が出土している。小形石刃には黒曜石を用いる例が、やや大形の縦長剥片にはチャートを用いる例が多い。

第160図6は、礫面を大きく残す石刃。剥片を剝離した後に打面を除去しており、剝離段階にはこれより大形の石刃が想定されよう。礫面の在り方よりみて、石核は角柱状を呈する高さ(作業面の高さ)5cm程度と考える。黒曜石。7は、打面調整の顕著な調整打面から剝離した石刃。台形状を呈する断面形状を呈する。背面構成よりみて石刃を連続剝離しており、ある程度剝離が進んだ段階の石刃と思える。黒曜石。8は、側縁に部分的な礫面を残す石刃。剥片端部には微細な剝離が生じている。背面に残る剝離面構成から上下両端に打面を有する石核が想定されよう。黒曜石。9は、礫面を打面に剝離したやや幅広の縦長剥片。背面構成は石刃剝離を志向しているようにも見える。チャート。10は、礫面を剥片端部に残す剥片。剝離段階に右辺を欠いている。チャート。第161図1は、やや幅広の剥片。剥片は比較的良好な刃縁の獲得に成功している。出土資料には同一母岩が見られないことから、搬入石器と捉えた。黒曜石。2は、比較的平坦な剝離面打面から剝離した剥片。剥片端部を剝離段階で欠損している。黒曜石。3は、縦位・横位に折断した剥片の接合資料。欠損するため形状は不明だが、やや大形の石刃の剝離を試みたかもしれない。接合資料—162。黒曜石。

4は、敲き石の頭部破片。先端部分には打撃の衝撃で大きな剥離が生じている。また、この敲き石の破損は破断面に同心円状に広がるリングが見えることから埋没後に破損した可能性が指摘されよう。粗粒輝石安山岩。

#### 接合資料

既に述べた通り、接合資料は2例5点を確認している。比較的形状の整った剥片には破片類と母岩の共有が見られないことから、剥片剥離は低調と判断されよう。

#### 接合資料—138（第161図）

3点からなる接合資料。接合資料には礫面を大きく残していることから、原石を大きく打ち欠き平坦面を作出した後に剥離した、剥離の初期段階を示す剥片と断定されよう。チャート。

#### c. 石器の分布

第2文化層と捉えた石器群はAs-BPを含むⅧ層を主体に出土している。この石器群の上層には第1文化層と捉えた石器群が尾根状微高地と平坦な台地に離れて分布していた。下層に出土した石器群（第2文化層）は尾根状微高地に分布した石器群とはやや離れた平坦な台地部分に分布した石器群（8区・東端）に近い、5区・西端に分布していた。

既に述べた通り、石器群は4ヶ所の集中地点を形成、概して散漫な状態で出土した。切出形石器や角錐状石器（？）が上層の石器群に混じり尾根状微高地から出土しており、第1文化層（B地点）と見た石器群の中には分離できないまま報告した資料が存在する可能性も否定できない。第2文化層と捉えた石器群が出土した5区・西端にも層位的には上層から出土した資料が存在しており、出土層位・接合関係・母岩分類を通じ石器群の分離を試みたわけだが、上層の石器群と同一母岩と見た1点を除き積極的には分離できないため基本的には無理して分離せず第2文化層と大きく捉え報告しており、確実とはいききれない。

#### 26号ブロック（第162図）

位 置 尾根状微高地からやや離れた平坦な台地（5—199G）

規 模 長径2.6m・短径0.9m

分布状態 散漫な状態で分布する。

出土層位 Ⅷ層・Ⅸ層

出土点数 8点

器種構成 剥片2、破片6

石材構成 黒曜石8

接合資料 なし

その他 出土資料の分布は散漫だが、石器群の分布域の両側に破片類が集中する傾向が指摘され、この地点で部分的な石器製作を試みた可能性は想定できよう。

#### 27号ブロック (第162図)

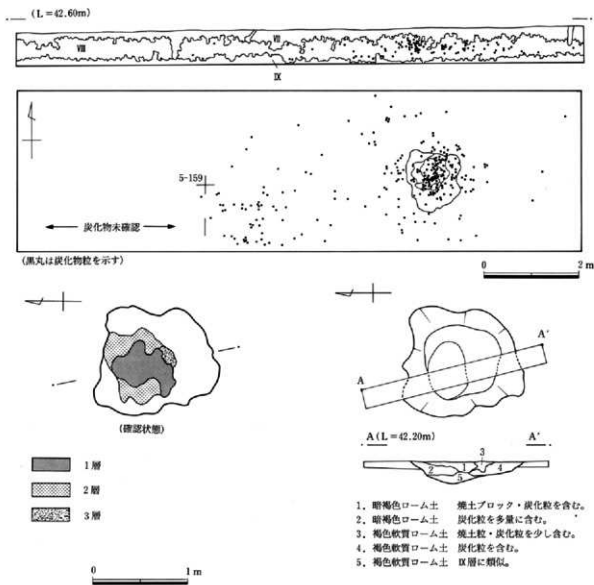
- 位 置 尾根状微高地からやや離れた平坦な台地 (5-199G)
- 規 模 長径3.7m・短径1.8m
- 分布状態 散漫な状態で分布する。
- 出土層位 VI層~VII層の上部
- 出土点数 9点
- 器種構成 ナイフ1、剥片2、砕片6
- 石材構成 黒曜石9
- 接合資料 なし
- そ の 他 出土資料の分布は散漫だが、分布域の南西側に集中分布する傾向が指摘されよう。

#### 28号ブロック (第162図)

- 位 置 尾根状微高地からやや離れた平坦な台地 (5-180G・200G・219G・220G)
- 規 模 長径7.5m・短径4.4m
- 分布状態 5-200Gの中央付近に集中分布するほか、周辺域に散漫に分布する。
- 出土層位 V層~VII層
- 出土点数 41点
- 器種構成 ナイフ1、加工痕1、敲き石1、剥片10、砕片28
- 石材構成 チャート6、黒曜石33、珪質変質岩1、粗粒輝石安山岩1
- 接合資料 黒曜石1例2点、チャート1例3点
- そ の 他 第2文化層ではただ一つ明確な石器製作の様相を示す石器集中地点で、主に黒曜石を用いた石器製作が展開している。

#### 29号ブロック (第163図)

- 位 置 尾根状微高地からやや離れた平坦な台地 (5-219G)
- 規 模 長径2.4m・短径1.5m
- 分布状態 散漫な状態で分布する。
- 出土層位 VIII層の下部~IX層の上部
- 出土点数 5点
- 器種構成 尖頭器1、剥片4
- 石材構成 チャート4、黒曜石1
- 接合資料 チャート1例3点(隣接する5-200Gに出土した位置不明の石核、及び、5-199Gに出土した位置不明の剥片と接合関係を有する)
- そ の 他 出土資料には砕片類は全く含まず、この地点には石器製作の痕跡は見られない。



第9図 焼土遺構

#### d. 焼土遺構 (第9図)

上層石器群 (第1文化層) の分布域を確定するため調査区の西を試掘した所、IX層の上面で焼土と炭化物の集中部分が存在した。焼土と炭化物は概ね0.7m×0.5mの範囲に広がり、中心部には焼土が、周辺部には炭化物が分布する傾向を示していた。確認状態を撮影したのち、段階的に平面確認を繰り返し、最終的には深さ12cmを測る皿状の「落ち込み」を確認した。この「落ち込み」は南側が浅く、北側で窪む形状を呈していた。確認面を精査した所、この焼土遺構の周辺にも炭化物が散布していた。これとはことなる地点で同様な確認を試みた所、他の地点でも同様な炭化物の散布が確認され、さらには焼土遺構の北・約1mの地点の断面で炭化物の層位的分布を確認した結果、Ⅷ層には多量の炭化物を含む実態が判明した。層位的には下層石器群 (第2文化層) に伴う可能性が高い。が、先にも述べた通り、同様な状態は既にA地点の調査でも確認しており、現状では人為的遺構とは認定できない、と考えている。

#### e. 接合資料の分布

接合作業の結果、2例5点の接合資料を確認している。出土資料は石器製作の部分的表現を示す例が多く、破片類のしめる割合が高い。このため、接合対象資料が少なく、接合状況は良好とはいえない。

##### 接合資料—138の分布 (第163図)

分布地点 28号ブロック (5-200G・219G・220G) 剥片剥離 幅広剥片の剥離

剥片移動 なし

備考 接合資料は礫面を残す剥離初期の剥片。

##### 接合資料—139の分布 (第163図)

分布地点 29号ブロック (5-219G)・ブロック外 (5-199G)

剥片剥離 幅広剥片の剥離 剥片移動 不明

備考 接合資料は厚い大形剥片を石核に剥片を剥離。接合剥片以外にも数枚の剥片を剥離しており、他の地点に持ち出している可能性も想定されよう。

##### 接合資料—162分布 (第163図)

分布地点 28号ブロック (5-200G) 剥片移動 不明

### 3-3. 第3文化層

第3文化層と捉えた石器は2点が出土している。2点ともA地点の出土で、X層に出土している。石器の出土地点は台地縁辺からやや離れており、上層石器群（第1文化層）とはやや異なる地点に出土した。石器が出土したこの地点は旧河道の浸食で「暗色帯」を載せる台地縁辺を欠いており、特に台地の東側で浸食が著しい。この地点の古地形は調査区からはずれるため詳細は不明だが、暗色帯堆積時の台地はAs-Opk1降下段階より東に延びる可能性が強く、この地点に当該期石器群が存在した可能性も否定できない。

石器は2点が出土している。第164図1は縦長剥片。打面と作業面を固定して剥片を連続剥離する背面構成から石刃剥離が想定され、出土資料は石刃と捉えて大過ない。打角は鈍角で、石核底面を取り込み剥離している。左辺には礫面を大きく残しており、また、剥片端部には繰り返す打撃を試みた痕跡を残している。単独で出土しており、他の地点で製作、この地点に持ち込んでいる可能性が高い。黒曜石。第164図2は、礫の小口部分に剥離面を有する。左側・側面を除いて礫面が覆う。正面の剥離面も若干風化しているようにも見える。変質玄武岩。

#### その他の遺物（草創期ほか）

縄文草創期に帰属する打製石斧・石槍が出土したほか、B地点・第2文化層の調査中にローム中より土器が1点出土している。

第166図1は、チャート製の打製石斧。長さ調整加工は裏面側で平坦剥離を施す一方、背面側ではやや角度の強い剥離を施している。器体中央から先端には稜を有しており、断面・三角形状を呈する。刃部には礫面を残しており、微細な剥離で弱い弧状の刃部を作出している。この遺跡で確認した遺構の主体は縄文前期・中期～後期の集落で、この時期の打製石斧にはホルンフェルスを多く用いる。出土資料にはチャートを用いる例は皆無で、三角形状を呈する特徴的な断面形状を呈すること、さらには、草創期・打製石斧の刃部は、刃部に直交する剥離を加える例が多く、ここでは草創期の打製石斧と捉えた。44・45溝の埋土（5-109G付近）から出土している。

第166図2は、柳葉形状を呈する細身の石槍。石器先端と基部を欠いている。このため、石器形状の詳細は不明だが、石器基部は直線的に推移しており、茎の作出を意図していた可能性も否定できない。全体に摩耗が著しく、剥離面の観察は難しい。56号住居埋土（4-182G付近）から出土している。

第167図1は、押圧を施す隆帯を垂下した口縁部破片。口縁部は緩やかな波状口縁で、波頂部を欠いている。丸頭状を呈する口唇部は丁寧に「撫で」つけられ、尖る。出土資料は旧石器の調査中の出土で、VI層が変質したロームから出土している。取り上げる前に出土層位を確認しており、肉眼的には上層から混入出土したようにはみえない状態で出土した。縄文中期か。5-220G出土。

## III 科学的分析

### 黒曜石の産地分析

（株）第四紀地質研究所 井上 巖

#### 1 実験条件

化学分析は日本電子製 JSX3200型蛍光X線分析装置(XRF)、実験条件は加速電圧：30kV、電流：自動、有効測定時間：200秒でおこなった。

分析指定元素 Na、Mg、Al、Si、K、Ca、Ti、Mn、Fe、Rb、Sr、Y、Zrの13元素である。

#### 2 結果の取り扱い

化学分析結果は酸化物として、ノーマル法(13元素全体で100%になる)で計算し、化学分析表を作成した。化学分析表に基づいて  $\text{SiO}_2\text{--Al}_2\text{O}_3$ 、 $\text{Na}_2\text{O--Fe}_2\text{O}_3$ 、 $\text{K}_2\text{O--CaO}$ 、Rb--Srの各図を作成した。これらの図をもとに、黒曜石を化学組成の面から分類した。Rb--Srは重量%(Wt%)ではなく、積分強度(I)で分析した。

第2表化学分析表には東長岡遺跡から出土した黒曜石の製品とフレイク他の分析値が記載してある。これらの分析結果と比較対比したのは長野県、神奈川県、静岡県、東京都、栃木県などの原産地の黒曜石の分析値である。

原産地黒曜石の分析結果に基づいて原産地黒曜石分布図として図-1 ( $\text{SiO}_2\text{--Al}_2\text{O}_3$ 図)、図-2 ( $\text{Na}_2\text{O--Fe}_2\text{O}_3$ 図)、図-3 ( $\text{K}_2\text{O--CaO}$ 図)、図-4 (Rb--Sr図)を作成した。図-1～図-3は重量%、図-4 (Rb--Sr図)は重量%ではなく、積分強度で作成した。

#### 3 化学分析結果

東長岡遺跡出土の黒曜石の化学分析結果に基づいて第1-1図( $\text{SiO}_2\text{--Al}_2\text{O}_3$ 図)、第2-1図( $\text{Na}_2\text{O--Fe}_2\text{O}_3$ 図)、第3-1図( $\text{K}_2\text{O--CaO}$ 図)、第4-1図(Rb--Sr図)を作成した。これらの分析結果と原産地黒曜石の分析結果を対比し、遺跡出土黒曜石の原産地を同定した。(第3表黒曜石原産地対比表、第1表原産地黒曜石化学成分表参照)

##### 3-1 $\text{SiO}_2\text{--Al}_2\text{O}_3$ の相関について

第1-1図( $\text{SiO}_2\text{--Al}_2\text{O}_3$ 図)に示すように  $\text{SiO}_2$ が73~78%、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ が11~16%の領域にあり、製品、碎片、剥片は混在する。原産地黒曜石との関係で言えば、いくぶん  $\text{SiO}_2$ が全体に低い傾向が認められる。これらの大半は和田峠系-1(西餅屋・東餅屋・小深沢)と和田峠系-2(星ヶ塔・男女倉5)、蓼科系(冷山・麦草峠)の領域にある。

##### 3-2 $\text{Na}_2\text{O--Fe}_2\text{O}_3$ の相関について

第2-1図( $\text{Na}_2\text{O--Fe}_2\text{O}_3$ 図)に示すように  $\text{Na}_2\text{O}$ が3.5~5%、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$ が1.5%以下の領域にあり、これ



らの大半は和田峠系-1と和田峠系-2、蓼科系と同じ領域にある。しかし東長岡-7と10は $Fe_2O_3$ が1.5%以上の領域にあり、東長岡-7は高原山、東長岡-10は伊豆箱根系の畑宿の黒曜石の領域にある。

### 3-3 $K_2O-CaO$ の相関について

第3-1図( $K_2O-CaO$ 図)に示すように東長岡遺跡の黒曜石はその大半が $K_2O$ が4~7%、 $CaO$ が0~1.2%の領域にあり、 $CaO$ の値が高い領域には蓼科系、低い領域には和田峠系-1と2が分布する。東長岡-7と10は $CaO$ が4%以下の領域にあり、東長岡-7は高原山、東長岡-10は伊豆箱根系の畑宿の領域にある。ナイフ形石器は蓼科系(冷山・麦草峠)のものが明確に分類される。

### 3-4 $Rb-Sr$ の相関について

第4-1図( $Rb-Sr$ 図)に示すように $Rb$ が500~1500、 $Sr$ が800~1500の領域は蓼科系(冷山・麦草峠)、 $Rb$ が1000~2000、 $Sr$ が0~500の領域は和田峠系-2(星ヶ塔)、 $Rb$ が2000~3500、 $Sr$ が0~200の領域は和田峠系-1に対比される。このように和田峠系-1と2、蓼科系は明瞭に分類される。尖頭器はそのほとんどが和田峠系-2(星ヶ塔)、ナイフ形石器は蓼科系(冷山・麦草峠)と和田峠系-1である。和田峠系-1はナイフ形石器、石刃、搔器、削器など多種にわたるのが蓼科系(冷山・麦草峠)ではナイフ形石器がその大半を占める。

## 4 ま と め

東長岡遺跡出土の黒曜石は第3表に示すように蓼科系(冷山・麦草峠)、和田峠系-1、和田峠系-2(星ヶ塔)がほとんどである。他地域のものとしては東長岡-7の高原山?と東長岡-10の伊豆箱根系(畑宿?)の2個と東長岡-8と29の不明のものである。ナイフ形石器は蓼科系(冷山・麦草峠)、和田峠系-1の2種類の黒曜石で製作されており、尖頭器は和田峠系-2(星ヶ塔)と明瞭に分類される。

蓼科系(冷山・麦草峠)はナイフ形石器が主体であるが、和田峠系-1はナイフ形石器、石刃、搔器、削器など多種にわたる。

第1表 原産地黒曜石化学成分表

原産地名	$SiO_2$	$Al_2O_3$	$Na_2O$	$Fe_2O_3$	$K_2O$	$CaO$	$Rb(I)$	$Sr(I)$	$Rb/(Rb+Sr)$	$Y/(Y+Zr)$
西 餅 屋	75.6~77.4	12.3~13.0	3.68~4.87	0.77~0.83	4.82~5.22	0.52~0.57	1941~3084	0~276	0.91~1.00	0.29~0.42
東 餅 屋	76.2~77.0	12.3~12.9	4.17~4.54	0.68~0.72	4.89~5.31	0.46~0.51	2669~2775	0~128	0.95~1.00	0.14~0.42
小 深 沢	75.1~77.6	12.0~13.7	3.64~4.99	0.68~1.03	4.45~5.66	0.48~1.17	2240~2900	0~661	0.78~1.00	0.24~0.51
男女倉-5	76.2~77.8	12.0~12.6	3.67~4.32	0.84~0.95	4.80~5.29	0.60~0.76	1341~1881	214~730	0.66~0.89	0.07~0.34
星ヶ塔	76.9~77.6	12.2~12.6	4.07~4.37	0.61~0.67	4.67~5.01	0.44~0.50	999~1445	232~561	0.71~0.87	0.00~0.46
冷山D地区	76.0~77.7	11.9~13.2	3.51~4.85	0.84~1.00	4.17~4.98	0.64~0.82	671~1181	854~1535	0.36~0.51	0.00~0.34
麦草峠B地区	76.6~77.8	11.8~12.5	3.84~4.53	0.88~1.06	4.18~4.76	0.70~0.83	835~1242	954~1433	0.39~0.51	0.00~0.31
畑 宿	75.5~77.1	11.9~13.0	4.88~5.46	2.23~2.62	1.33~1.52	1.86~2.13	0~383	1266~1514	0.00~0.23	0.14~0.29
穀 治 屋	75.1~76.8	12.4~13.2	4.62~5.33	2.13~2.37	1.68~1.85	1.95~2.24	153~437	1405~1764	0.09~0.24	0.10~0.23
巖 崎	75.0~77.3	11.9~12.9	4.00~4.65	1.83~2.10	2.38~2.68	1.76~2.72	216~585	820~1147	0.15~0.42	0.09~0.21
上 多 賀	76.6~77.1	12.1~12.5	4.62~5.16	1.69~1.78	1.94~2.15	1.63~1.80	91~483	1159~1549	0.13~0.27	0.11~0.24
神津・恩島島	77.5~77.8	12.1~12.5	4.59~4.85	0.78~0.90	3.21~3.50	0.77~0.86	392~731	624~1053	0.27~0.50	0.03~0.37
高 原 山	75.8~77.8	11.8~12.6	3.77~4.23	1.65~2.26	3.00~3.38	1.25~1.88	696~1130	794~1195	0.37~0.56	0.09~0.32

第2表 化学分析表

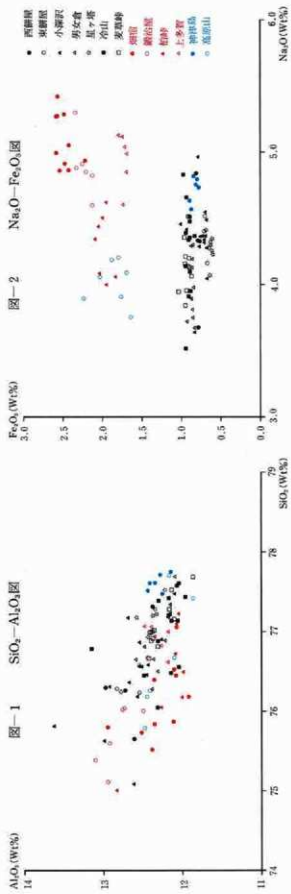
試料番号	Na <sub>2</sub> O	MgO	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	SiO <sub>2</sub>	K <sub>2</sub> O	CaO	TiO <sub>2</sub>	MnO	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	Rh <sub>2</sub> O	SiO	Total	Rh(O)	Sr(O)	石炭種類	原産地		
東長瀬戸井口-1	4.6043	0.0000	13.0102	75.3836	4.9809	0.5264	0.1226	0.0771	0.6670	0.0134	0.0013	90.9999	1129	107	尖頭錫	和田峠系-2		
東長瀬戸井口-2	4.3065	0.0000	13.2029	76.0156	5.1107	0.4717	0.1174	0.0692	0.6888	0.0167	0.0050	90.0040	1381	405	尖頭錫	和田峠系-2		
東長瀬戸井口-3	4.2312	0.0000	12.7146	76.1703	5.0972	0.6194	0.1587	0.0712	0.6662	0.0224	0.0072	90.9999	1698	535	尖頭錫	和田峠系-2		
東長瀬戸井口-4	4.3099	0.0000	12.7937	76.3790	4.9613	0.5178	0.0771	0.0996	0.6968	0.0299	0.0000	90.0011	2441	302	尖頭錫	和田峠系-2		
東長瀬戸井口-5	4.1852	0.0000	12.5652	77.0670	4.8408	0.4921	0.1448	0.0749	0.6414	0.0441	0.0034	100.0021	1221	202	尖頭錫	和田峠系-2		
東長瀬戸井口-6	4.5416	0.0000	12.6688	75.6739	5.2244	0.6029	0.1225	0.0749	0.8419	0.0222	0.0044	90.0011	1787	349	尖頭錫	和田峠系-2		
東長瀬戸井口-7	3.9710	0.0000	13.1829	75.1297	3.4440	1.5720	0.4635	0.0499	2.1429	0.0149	0.0155	90.0031	1048	1064	切出部ナイフ	高取山		
東長瀬戸井口-8	3.6953	0.0000	12.8607	76.6206	5.2745	0.5963	0.1187	0.0705	0.6852	0.0146	0.0053	90.0079	1548	447	ナイフ形石炭	不明		
東長瀬戸井口-9	4.6311	0.0000	13.2489	75.3036	5.2714	0.5306	0.1062	0.1049	0.7853	0.0268	0.0000	100.0110	1046	0	ナイフ形石炭	和田峠系-2		
東長瀬戸井口-10	5.3838	0.0000	12.9327	74.9679	4.1167	2.1031	0.2663	0.0655	2.2629	0.0000	0.0188	100.0000	1046	0	ナイフ形石炭	和田峠系-2		
東長瀬戸井口-11	3.8039	0.0000	15.3065	73.9978	5.0135	0.5281	0.0937	0.1399	0.8797	0.0368	0.0097	100.0018	3035	56	ナイフ形石炭	和田峠系-1		
東長瀬戸井口-12	3.7906	0.0000	13.0676	76.2527	5.1282	0.6105	0.1496	0.0826	0.9037	0.0189	0.0050	90.0052	1041	100.0001	3035	291	石炭?	和田峠系-2
東長瀬戸井口-13	3.7948	0.0000	13.3802	76.2815	4.9589	0.5269	0.0796	0.0956	0.8053	0.0352	0.0096	101.0122	100.0001	502	137	ナイフ形石炭?	和田峠系-2	
東長瀬戸井口-14	3.7977	0.0000	12.9659	75.9537	5.1465	0.5175	0.1115	0.1074	0.7483	0.0302	0.0013	90.0058	100.0001	2556	107	形無	和田峠系-1	
東長瀬戸井口-15	4.1472	0.0000	13.0126	76.1917	5.0353	0.4889	0.0757	0.0937	0.6953	0.0273	0.0016	90.0042	100.0001	2310	129	ナイフ形石炭?	和田峠系-1	
東長瀬戸井口-16	4.3032	0.0000	12.6127	76.3116	4.8119	0.4844	0.0695	0.0927	0.6674	0.0259	0.0007	90.0072	100.0001	2229	55	石瓦	和田峠系-1	
東長瀬戸井口-17	4.0942	0.0000	12.8600	75.2553	5.5449	0.6176	0.1340	0.0821	0.8623	0.0261	0.0061	100.0001	2100	479	尖頭錫	和田峠系-2		
東長瀬戸井口-18	3.9607	0.0000	14.4649	74.1253	5.2119	0.5512	0.4354	0.1229	1.0797	0.0333	0.0018	90.0052	10137	137	ナイフ形石炭	和田峠系-1		
東長瀬戸井口-19	4.4919	0.0000	13.2775	75.6399	4.4913	0.5764	0.2224	0.0616	1.0921	0.0130	0.0168	90.0022	1048	1034	ナイフ形石炭	豊科系		
東長瀬戸井口-20	3.9151	0.0000	15.5441	73.7567	5.0507	0.6809	0.0970	0.1267	0.9188	0.0386	0.0005	90.0053	10108	3165	39	ナイフ形石炭	和田峠系-1	
東長瀬戸井口-21	4.9426	0.0000	12.8470	76.2556	4.9762	0.4834	0.0802	0.1088	0.6841	0.0276	0.0005	90.0047	100.0001	2317	42	銅片	和田峠系-1	
東長瀬戸井口-22	4.3627	0.0000	14.5968	74.3190	5.0918	0.5741	0.1169	0.1083	0.8265	0.0294	0.0012	90.0062	10141	100.0000	2524	98	石瓦	和田峠系-1
東長瀬戸井口-23	4.4943	0.0000	12.4656	76.1221	5.0961	0.5095	0.1091	0.0775	0.6862	0.0127	0.0066	100.0020	100.0000	1150	585	銅片	和田峠系-2	
東長瀬戸井口-24	3.6193	0.0000	12.9658	77.2098	4.7880	0.4703	0.1190	0.0797	0.6388	0.0141	0.0075	90.0019	100.0001	1153	595	石瓦	和田峠系-2	
東長瀬戸井口-25	4.6523	0.0000	13.3423	75.3194	5.0793	0.5198	0.1118	0.0981	0.8177	0.0303	0.0000	90.0052	100.0001	2473	0	銅片	和田峠系-1	
東長瀬戸井口-26	3.4815	0.0000	13.1018	72.1407	5.1569	0.9016	0.5069	0.0734	1.5707	0.0188	0.0176	100.0021	90.0001	1027	951	銅片	豊科系	
東長瀬戸井口-27	3.9649	0.0000	13.9481	76.0574	5.0681	0.5969	0.1288	0.0820	1.1965	0.0159	0.0067	90.0088	100.0001	1259	563	銅片	和田峠系-2	
東長瀬戸井口-28	4.3978	0.0000	13.9481	74.1046	4.5264	0.8243	0.6336	0.0476	1.7616	0.0127	0.0173	99.9999	1017	1352	銅片	豊科系		
東長瀬戸井口-29	3.2123	0.0000	13.2321	75.5462	7.8677	0.4532	0.0797	0.1067	1.0373	0.0298	0.0004	90.0063	10143	100.0000	2413	36	銅片	不明
東長瀬戸井口-30	4.1989	0.0000	12.5511	77.0271	4.9845	0.4861	0.1207	0.0764	0.6131	0.0137	0.0028	100.0000	1126	390	銅片	不明		
東長瀬戸井口-31	3.5991	0.0000	13.0651	77.0793	4.1183	0.7648	0.2255	0.0581	1.0155	0.0163	0.0148	90.0031	100.0000	1261	1115	ナイフ形石炭	豊科系	
東長瀬戸井口-32	3.9542	0.0000	12.5716	77.1310	4.9102	0.7917	0.2547	0.0506	1.0147	0.0099	0.0013	100.0052	100.0000	1094	1501	ナイフ形石炭	豊科系	
東長瀬戸井口-33	3.0290	0.0000	14.1164	75.9414	5.4407	0.5500	0.1144	0.1071	0.8342	0.0343	0.0022	100.0101	100.0000	2694	167	砂片	和田峠系-1	
東長瀬戸井口-34	3.9421	0.0000	13.5043	74.7144	4.9903	0.5413	0.1326	0.1103	0.9416	0.0313	0.0011	90.0063	10101	2475	82	砂片	和田峠系-1	
東長瀬戸井口-35	3.9626	0.0000	13.2025	75.6439	5.3194	0.5495	0.1342	0.1137	0.9689	0.0362	0.0007	90.0089	10183	90.9999	2704	53	銅片	和田峠系-1
東長瀬戸井口-36	4.6517	0.0000	12.8817	75.0185	5.7169	0.6256	0.1285	0.1398	0.9592	0.0511	0.0015	90.0065	10192	100.0000	3453	101	銅片	和田峠系-1
東長瀬戸井口-37	4.0701	0.0000	12.6290	76.9138	5.0166	0.4955	0.1016	0.1016	0.7844	0.0259	0.0000	90.0077	10160	100.0000	2439	0	砂片	和田峠系-2
東長瀬戸井口-38	4.4490	0.0000	13.1128	75.1437	4.8839	0.6871	0.1484	0.0839	1.0221	0.0319	0.0077	100.0062	1753	525	砂片	和田峠系-1		
東長瀬戸井口-39	4.1880	0.0000	13.8055	74.3298	4.6232	0.6618	0.1697	0.0963	1.1840	0.0278	0.0027	90.0067	10144	99.9999	2201	212	銅片	和田峠系-1

原料番号	Na <sub>2</sub> O	MgO	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	SiO <sub>2</sub>	K <sub>2</sub> O	CaO	TiO <sub>2</sub>	MnO	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	Rb <sub>2</sub> O	SrO	Y <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	ZnO	Total	Rb(O)	Sr(O)	石炭種類	原産地
東長門川口-40	4.1805	0.0000	13.3094	74.0265	5.7027	6.4888	0.1472	0.1254	1.1398	0.0522	0.0000	0.0661	0.0213	99.9999	3536	0	砕片	和田砂浜-1
東長門川口-41	4.3207	0.0000	13.8278	74.3822	5.3283	6.3733	0.1539	0.1194	1.0121	0.0414	0.0011	0.0684	0.0194	100.0000	2961	78	削片	和田砂浜-1
東長門川口-42	4.3952	0.0000	13.0782	75.7240	5.3164	6.5617	0.1671	0.1047	0.9068	0.0302	0.0005	0.0696	0.0116	100.0000	3012	43	削片	和田砂浜-1
東長門川口-43	4.1800	0.0000	12.6133	76.3343	5.1000	6.3390	0.1133	0.0968	0.7655	0.0320	0.0003	0.0659	0.0112	100.0001	2581	20	加工珪	和田砂浜-1
東長門川口-44	4.0034	0.0000	12.5123	76.4343	5.2424	6.3239	0.1481	0.0960	0.9238	0.0172	0.0078	0.0037	0.0120	100.0000	1348	583	削片	和田砂浜-2
東長門川口-45	3.8673	0.0000	12.5853	76.0254	5.3258	6.5719	0.1678	0.0761	0.9040	0.0214	0.0047	0.0051	0.0240	100.0000	1597	342	削片	和田砂浜-2
東長門川口-46	4.1137	0.0000	12.8810	77.0303	4.9014	6.0524	0.0794	0.0972	0.6747	0.0281	0.0025	0.0089	0.0130	99.9999	2283	201	削片	和田砂浜-1
東長門川口-47	4.2317	0.0000	13.3901	74.0235	5.3158	6.0223	0.3769	0.0653	1.2313	0.0155	0.0011	0.0214	0.0000	99.9999	926	884	ナイフ形石炭	豊科系
東長門川口-48	4.2364	0.0000	13.2166	75.2267	4.7246	6.9132	0.2778	0.0564	1.1739	0.0124	0.0193	0.0000	0.0235	100.0000	879	1337	ナイフ形石炭	豊科系
東長門川口-49	4.2245	0.0000	12.8635	75.9862	4.9591	6.8622	0.2654	0.0542	1.3511	0.0167	0.0178	0.0028	0.0245	100.0000	1153	1206	砕片	豊科系
東長門川口-50	4.1839	0.0000	13.4683	75.0590	4.7281	6.8596	0.3461	0.0716	1.2223	0.0114	0.0159	0.0000	0.0290	99.9999	825	1494	削片	豊科系
東長門川口-51	4.1188	0.0000	12.4923	76.4179	4.4066	6.9127	0.4553	0.0557	1.0752	0.0151	0.0182	0.0005	0.0174	100.0000	1074	1297	ナイフ形石炭	豊科系
東長門川口-52	4.3203	0.0000	12.2670	76.6283	5.0475	6.9206	0.0753	0.1069	0.8065	0.0320	0.0023	0.0080	0.0177	99.9999	2546	173	削片	和田砂浜-1
東長門川口-53	3.6853	0.0000	12.3209	76.3263	5.9174	6.5638	0.1258	0.1084	0.8494	0.0377	0.0020	0.0049	0.0171	100.0000	2789	143	石炭	和田砂浜-1
東長門川口-54	4.3880	0.0000	12.7382	76.0302	5.1773	6.5123	0.0770	0.1069	0.7174	0.0359	0.0000	0.0059	0.0146	99.9999	2173	0	削片	和田砂浜-1
東長門川口-55	4.0874	0.0000	12.9467	75.0822	5.1422	6.5521	0.1008	0.1039	0.7675	0.0318	0.0000	0.0024	0.0129	99.9999	2586	0	削片	和田砂浜-1
東長門川口-56	4.7210	0.0000	12.4445	76.3172	5.0089	6.5064	0.0820	0.1105	0.7074	0.0312	0.0008	0.0059	0.0122	100.0000	2643	69	削片	和田砂浜-1
東長門川口-57	4.8246	0.0000	13.4103	74.3152	4.5577	6.8113	0.1180	0.1284	0.8678	0.0422	0.0012	0.0059	0.0148	100.0001	2989	82	削片	和田砂浜-1
東長門川口-58	4.2113	0.0000	12.6639	76.3245	5.1597	6.3788	0.0778	0.0838	0.8241	0.0249	0.0032	0.0035	0.0148	100.0001	2098	254	削片	和田砂浜-1
東長門川口-59	4.0447	0.0000	12.7943	76.1327	4.9643	6.5213	0.0965	0.0970	0.7334	0.0330	0.0000	0.0078	0.0130	100.0000	2656	0	削片	和田砂浜-1
東長門川口-60	4.2986	0.0000	12.8622	75.0872	5.4160	6.3818	0.1302	0.1014	0.7697	0.0182	0.0075	0.0040	0.0131	99.9999	1427	573	石炭	和田砂浜-2
東長門川口-61	3.5146	0.0000	13.0090	76.5863	5.0569	6.3817	0.0948	0.1107	0.8051	0.0274	0.0013	0.0048	0.0172	99.9998	2946	100	覆蓋	和田砂浜-1
東長門川口-62	4.0302	0.0000	12.8842	76.4991	5.0943	6.0802	0.0802	0.0979	0.7583	0.0314	0.0000	0.0047	0.0171	99.9999	2584	1	使用珪	和田砂浜-1
東長門川口-63	4.0260	0.0000	12.6328	76.1860	5.0282	6.5531	0.0751	0.1115	0.7988	0.0309	0.0000	0.0072	0.0102	99.9999	2552	0	削蓋	和田砂浜-1
東長門川口-64	3.8845	0.0000	12.6418	76.4788	5.2152	6.1903	0.1688	0.1088	0.8177	0.0387	0.0025	0.0077	0.0192	100.0000	2787	173	使用珪	豊科系
東長門川口-65	4.0858	0.0000	12.7406	75.6556	4.7485	6.8695	0.4526	0.0904	1.3333	0.0118	0.0198	0.0056	0.0244	99.9999	815	1333	縦長削片	豊科系
東長門川口-66	4.0617	0.0000	12.9723	76.2512	4.5083	6.7975	0.2532	0.0523	1.0544	0.0135	0.0156	0.0060	0.0130	99.9999	995	1127	縦長削片	豊科系
東長門川口-67	3.2006	0.0000	12.8828	75.8676	5.5376	6.7440	0.2535	0.0328	0.9123	0.0205	0.0055	0.0057	0.0130	100.0000	1849	376	砕片	和田砂浜-2
東長門川口-68	4.2517	0.0000	12.5859	75.8917	5.3586	6.8848	0.1406	0.1018	0.9145	0.0279	0.0027	0.0045	0.0183	100.0000	2102	419	使用珪	和田砂浜-1
東長門川口-69	4.3156	0.0000	12.3346	76.3534	4.9636	6.8276	0.2227	0.0348	1.0873	0.0148	0.0163	0.0000	0.0183	100.0000	887	1185	削蓋	豊科系
東長門川口-70	3.9959	0.0000	11.7990	77.1239	4.4923	6.9146	0.5913	0.0964	1.3031	0.0110	0.0198	0.0003	0.0100	100.0002	1028	1425	削片	豊科系
東長門川口-71	4.3207	0.0000	12.6388	76.5389	4.4546	6.8655	0.2057	0.0682	1.0350	0.0097	0.0142	0.0022	0.0130	100.0001	723	1152	削片	和田砂浜-1
東長門川口-72	4.4272	0.0000	13.5221	75.1022	5.1270	6.5570	0.1769	0.1118	0.8724	0.0379	0.0015	0.0046	0.0129	100.0000	2887	110	削片	和田砂浜-1
東長門川口-73	4.1735	0.0000	13.4483	73.3824	5.6075	6.5886	0.5540	0.1233	1.4053	0.0443	0.0017	0.0108	0.0130	99.9999	2981	108	削片	和田砂浜-1
東長門川口-74	3.9954	0.0000	13.3135	75.1309	4.6331	6.9089	0.4734	0.0600	1.3240	0.0097	0.0036	0.0068	0.0100	100.0000	682	1468	削片	豊科系
東長門川口-75	4.1440	0.0000	13.3089	75.8946	4.9785	6.9881	0.1533	0.1138	0.7838	0.0340	0.0000	0.0057	0.0106	100.0002	2715	0	削片	和田砂浜-1
東長門川口-76	4.3260	0.0000	13.1717	76.3778	4.9660	6.8991	0.1060	0.1111	0.7917	0.0334	0.0029	0.0073	0.0149	99.9999	2623	225	削片	和田砂浜-1
東長門川口-77	4.2501	0.0000	12.8919	76.3001	5.0141	6.9008	0.1289	0.0959	0.7000	0.0173	0.0000	0.0058	0.0087	100.0002	1346	511	削片	和田砂浜-1
東長門川口-78	4.3865	0.0000	12.5754	76.6602	4.9647	6.9707	0.1540	0.0800	0.7185	0.0155	0.0158	0.0048	0.0114	99.9998	1268	389	削片	和田砂浜-2
東長門川口-79	4.4385	0.0000	12.5201	76.6926	5.2547	6.9585	0.1285	0.0725	0.6958	0.0186	0.0058	0.0019	0.0131	100.0000	1438	439	尖頂型	和田砂浜-2
東長門川口-80	3.7272	0.0000	12.6914	76.5605	5.0080	6.4783	0.6510	0.0931	1.7313	0.0259	0.0066	0.0047	0.0220	100.0000	1549	388	削片	和田砂浜-2

試料番号	Na <sub>2</sub> O	MgO	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	SiO <sub>2</sub>	K <sub>2</sub> O	CaO	TiO <sub>2</sub>	MnO	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	Rb <sub>2</sub> O	SnO	Y <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	ZrO <sub>2</sub>	Total	Ro(I)	Sc(I)	石巻種類	原産地
東長瀬戸井口-81	4.5222	0.0000	13.5034	75.1885	5.1678	0.5615	0.0627	0.1235	0.7948	0.0031	0.0056	0.0146	100.0000	2667	22	割片	和田峠系-1	
東長瀬戸井口-82	3.7869	0.0000	13.5108	76.1277	5.1678	0.5617	0.1010	0.7520	0.0372	0.0031	0.0083	0.0161	100.0000	2646	218	砕片	和田峠系-1	
東長瀬戸井口-83	4.0649	0.0000	12.7100	76.7963	4.9137	0.5623	0.0738	0.1028	0.7221	0.0030	0.0005	0.0074	0.0158	99.9999	2476	43	割片	和田峠系-1
東長瀬戸井口-84	4.5834	0.0000	12.9855	75.7334	5.0541	0.5426	0.1757	0.1116	0.7734	0.0036	0.0000	0.0085	0.0151	100.0001	2701	0	割片	和田峠系-1
東長瀬戸井口-85	4.3532	0.0000	12.8762	76.2473	5.0354	0.5055	0.1089	0.0996	0.7440	0.0311	0.0000	0.0047	0.0152	100.0002	2382	0	ナイフ形石巻	和田峠系-1
東長瀬戸井口-86	4.3973	0.0000	13.2695	75.1713	5.4660	0.3698	0.0691	0.1234	0.8688	0.0357	0.0033	0.0085	0.0142	100.0002	2882	245	砕片	和田峠系-1
東長瀬戸井口-87	4.2462	0.0000	12.9799	76.0089	5.1143	0.6070	0.0987	0.1057	0.7658	0.0321	0.0029	0.0098	0.0140	100.0001	2528	225	砕片	和田峠系-1
東長瀬戸井口-88	3.5238	0.0000	12.8479	75.2252	4.9862	0.5588	0.1004	0.1069	0.7450	0.0350	0.0000	0.0066	0.0122	99.9999	2819	0	割片	和田峠系-1
東長瀬戸井口-89	3.5238	0.0000	13.4079	75.3464	4.9862	0.5588	0.1004	0.1073	0.7275	0.0318	0.0000	0.0082	0.0154	99.9999	2252	2	割片	和田峠系-1
東長瀬戸井口-90	4.4042	0.0000	12.6330	76.0125	5.2572	0.5433	0.0792	0.1063	0.7327	0.0325	0.0010	0.0060	0.0121	100.0001	2720	85	砕片	和田峠系-1
東長瀬戸井口-91	4.3221	0.0000	12.8496	76.1213	5.1859	0.5408	0.0775	0.1056	0.7350	0.0325	0.0000	0.0049	0.0151	100.0001	2629	0	砕片	和田峠系-1
東長瀬戸井口-92	4.0978	0.0000	13.2571	75.9579	5.1179	0.5185	0.0931	0.1046	0.7667	0.0354	0.0000	0.0052	0.0157	99.9999	2719	0	加工羂	和田峠系-1
東長瀬戸井口-93	4.0173	0.0000	12.9780	76.4672	5.0365	0.5210	0.1256	0.1077	0.8838	0.0166	0.0049	0.0052	0.0186	100.0000	1189	340	尖頭羂	和田峠系-2

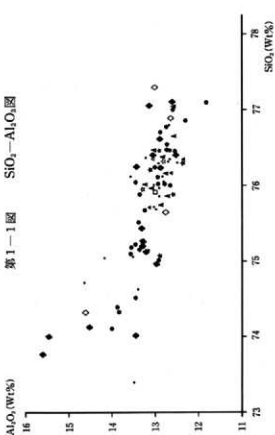
第3表 黒川石原産地対比表

試料No.	石巻種類	原産地	試料No.	石巻種類	原産地	試料No.	石巻種類	原産地		
19	11R-6	ナイフ形石巻 薬料系	93	16R-3	尖頭	84	16I-2	砕	片	和田峠系-1
31	10R-5	ナイフ形石巻 薬料系	16	8R-1	石	86	母岩不明	砕	片	和田峠系-1
32	11R-9	ナイフ形石巻 薬料系	22	19R-3	石	87	母岩不明	砕	片	和田峠系-1
47	12R-5	ナイフ形石巻 薬料系	24	21R-4	石	91	母岩不明	砕	片	和田峠系-1
48	12R-9	ナイフ形石巻 薬料系	60	(黒3D)	割	38	(黒14)	砕	片	和田峠系-2
51	12R-2	ナイフ形石巻 薬料系	61	73R-5	割	67	89R-15	砕	片	和田峠系-2
11	72R-3	ナイフ形石巻 和田峠系-1	14	74R-1	割	78	(黒8?)	砕	片	和田峠系-2
18	12R-1	ナイフ形石巻 和田峠系-1	42	89R-1	割	25	14R-7	割	片	和田峠系-2
20	10R-5	ナイフ形石巻 和田峠系-1	63	90R-14	割	28	14R-11	割	片	和田峠系-2
15	78R-2	ナイフ形石巻 和田峠系-1	40	(黒2)	砕	70	92R-17	割	片	薬料系
85	16R-1	ナイフ形石巻 和田峠系-1	50	(黒2)	砕	74	21R-5	割	片	薬料系
9	72R-2	ナイフ形石巻 和田峠系-2	33	(黒10)	砕	65	42R-4	割	片	薬料系
13	16R-4	ナイフ形石巻 和田峠系-2	34	(黒10)	砕	66	41R-5	割	片	薬料系
7	16R-2	切出形ナイフ 黒原山?	37	(黒13)	砕	21	(黒13)	割	片	和田峠系-1
10	78R-1	ナイフ形石巻 畑原?	40	(黒15)	砕	25	(黒17)	割	片	和田峠系-1
8	72R-1	ナイフ形石巻 不明	55	(黒21)	砕	35	(黒11)	割	片	和田峠系-1
4	72R-4	尖頭羂 和田峠系-1	56	(黒21)	砕	36	(黒13)	割	片	和田峠系-1
1	72R-4	尖頭羂 和田峠系-2	58	(黒22)	砕	39	(黒14)	割	片	和田峠系-1
3	72R-3	尖頭羂 和田峠系-2	59	(黒34)	砕	41	(黒15)	割	片	和田峠系-1
3	72R-3	尖頭羂 和田峠系-2	71	(黒34)	砕	46	89R-12	割	片	和田峠系-1
5	82R-2	尖頭羂 和田峠系-2	73	(黒4)	砕	52	89R-13	割	片	和田峠系-1
6	74R-4	尖頭羂 和田峠系-2	76	(黒7)	砕	54	89R-13	割	片	和田峠系-1
17	12R-11	尖頭羂 和田峠系-2	77	(黒8)	砕	57	(黒22)	割	片	和田峠系-1
79	12R-10	尖頭羂 和田峠系-2	82	母岩不明	砕	72	42R-7	割	片	和田峠系-1
資料No.	石巻種類	原産地	資料No.	石巻種類	原産地	資料No.	石巻種類	原産地		
75	(黒6)	割	81	母岩不明	割	81	母岩不明	割	片	和田峠系-1
81	母岩不明	割	83	母岩不明	割	83	母岩不明	割	片	和田峠系-1
88	16R-7	割	88	16R-7	割	88	16R-7	割	片	和田峠系-1
89	母岩不明	割	89	母岩不明	割	89	母岩不明	割	片	和田峠系-1
99	16R-6	割	99	16R-6	割	99	16R-6	割	片	和田峠系-1
23	16R-3	割	23	16R-3	割	23	16R-3	割	片	和田峠系-2
27	母岩不明	割	27	母岩不明	割	27	母岩不明	割	片	和田峠系-2
39	42R-2	割	39	42R-2	割	39	42R-2	割	片	和田峠系-2
44	83R-10	割	44	83R-10	割	44	83R-10	割	片	和田峠系-2
45	(黒18)	割	45	(黒18)	割	45	(黒18)	割	片	和田峠系-2
89	21R-7	割	89	21R-7	割	89	21R-7	割	片	和田峠系-2
29	母岩不明	加工	29	母岩不明	加工	29	母岩不明	加工	工	不明
92	86R-3	加	92	86R-3	加	92	86R-3	加	工	和田峠系-1
62	(黒27)	使用	62	(黒27)	使用	62	(黒27)	使用	工	和田峠系-1
64	78R-3	使用	64	78R-3	使用	64	78R-3	使用	工	和田峠系-1
68	77R-5	使用	68	77R-5	使用	68	77R-5	使用	工	和田峠系-1
53	69R-13	石	53	69R-13	石	53	69R-13	石	工	和田峠系-1
69	79R-2	石	69	79R-2	石	69	79R-2	石	工	和田峠系-2
12	76R-1	石	12	76R-1	石	12	76R-1	石	工	和田峠系-2

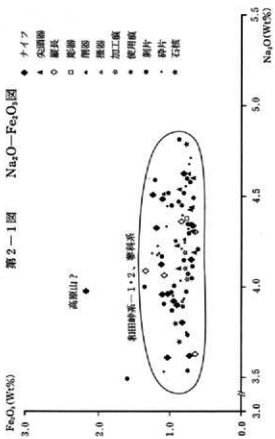


- 西康组
- 莫里组
- 小梁段
- 男女寺
- 星子塔
- 冷山
- 安和岭
- 烟堡
- 魏台堡
- 魏岭
- ▲ 上李理
- 神作岛
- 高原山

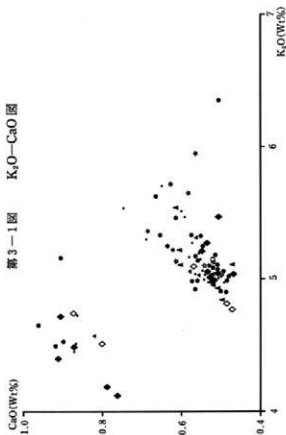
第1-1図  $SiO_2-Al_2O_3$ 図



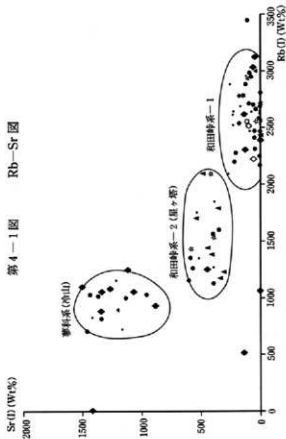
第2-1図  $Na_2O-Fe_2O_3$ 図



第3-1図  $K_2O-CaO$ 図



第4-1図 Rb-Sr 図



## IV 成果と課題

今回の発掘調査では3000点を超える量の旧石器が3地点に出土、本文中では便宜的にA～C地点と仮称・報告した。石器群は概ね3文化層に分離把握され、調査区東端に近い台地縁辺に第1・第3文化層と捉えた石器群（A地点）が、これより約60mほど北西に離れた同じ台地の縁辺に第1・第2文化層と捉えた石器群（B地点）が出土したほか、台地縁辺から遠く離れた調査区南端でも小規模な石器群（C地点）を確認している。石器分布の濃いA・B地点を除き試掘調査は充分ではなく、他の地点の調査は上層石器群の確認に終始、課題を残した。

諸般の都合で分析が充分はたせず、ここでは主に上層石器群（第1文化層）からえられた石器製作構造に関する所見を記していきたい。

### <出土石器>

A～C地点に出土した石器群の示す器種構成は比較的単純な様相を示していた。石器群の主たる構成器種は加工部位の異なる2種類のナイフ（二側縁加工・端辺加工）と槍先形尖頭器で、このほかには若干の削器・掻器・彫器が加わる組成を示していた。石器群はVI層～VII層に多出しており、概ね、同時期の石器群と評価できよう。遺跡南端に近いC地点では資料点数が少なく器種組成は不明だが、A地点とB地点ではナイフと槍先形尖頭器の量比が逆転していたほか、各種石器（掻器や彫器）の形態差も著しくことなり、機能的差違も想定可能な状態を示していた。

A地点出土のナイフは従来の形態的分類に従えば概ね4群に大別可能な状態を呈していた。出土資料には遺跡製作のナイフの他に、数点の搬入ナイフが含まれ、両者は形態、及び、使用石材の点で大きく相違していた。遺跡製作のナイフは二側縁加工のナイフと端辺加工のナイフが圧倒的多数を占めていた。二側縁加工のナイフは概して細身だが、刃部の長い柳葉形状を呈する例（第10図3・4・6・7・10・11）と刃部の短い例（第10図1・10）に細分が可能かもしれない。同様に、端辺加工のナイフにも形態的細分が可能で、端辺を外湾気味に截断するもの（8・12）や直線的に截断するもの（5）、内湾気味に截断するもの（3・7）など多様で、特に意識的に鋭く尖る先端部分を作出する3・7などには単なる切削とはことなる機能も予想され、機能的分化を遂げている可能性を想定するべきかもしれない。現状では遺跡製作のナイフに黒色頁岩を用いる例は確認できない。搬入ナイフは4点（第10図1・2・8・9）と少ない。基本的には、4点とも二側縁加工のナイフに分類可能で、1・2が黒色頁岩を、8・9が黒曜石を用いていた。概して大形・幅広いの傾向が指摘され、遺跡製作のナイフとはやや相違していた。4例とも石器基部側に石刃打面部が位置しており、少なくとも3例には裏面・基部加工を施していた。残る1例も打面を折断除去しており、遺跡製作のナイフとは大きく相違していた。この種の相違は石核の消費過程や石刃形状（大きさ・幅・バルブの発達度）を反映しており、同様な現象は当該期石器群には地域を問わず普遍的に存在している。

移動前後の石器製作は接合資料や母岩を分析していく中で検討は可能だが、母岩の消費サイクルを超えた複数の遺跡を経由している「管理的石器」も当然あり、たんなる搬入石器か、交換概念で捉えるべき石器か、評価が難しい。この種の石器は普遍的に存在するはずだが、たんなる搬入石器と捉えて終わる場合が圧倒的で、来歴は断定できない場合が多い。通常、搬入石器には移動以前に製作使用した上で、次の移動地点（石器の出土地点＝遺跡）で使用する状況を想定しており、これとはことなる他の集団から入手・遺跡に持ち込

む可能性や、集団の流動性を念頭に置いた具体的分析は皆無に近い。そこには、集団の生活を支えた主たる狩猟具を他の集団に依存する状況が現代的な認識では想定が難しいのであり、分析は集団を固定して捉えているためでもある。以前、砂川遺跡のナイフを分析した安藤氏（安藤1977）は石器製作のクセの背後に単位集団を想定、先駆的見解を披瀝した。出土資料には砂川遺跡と同様な状態は指摘できないわけだが、砂川のナイフの製作とはことなるこの遺跡の石器製作の様相（ナイフの集中製作と来歴不明な搬入ナイフの共存）は石器入手、及び、石器製作の多様性を反映したものともし、氏の示した見解とはことなる次元の問題に発展する可能性を秘めている。

もう一つ重要な石器群を支えた狩猟具に、槍先形尖頭器が組成していた。既に述べた通り、槍先形尖頭器にはより小形の黒曜石製尖頭器と、それよりやや大形の尖頭器が出土している。調整加工も表裏両面に加工するもの、剥片周縁を加工するものなど多様で、周縁加工するものにはより面的加工を行う尖頭器（第12図14・15）と、ナイフに近い加工を施す尖頭器（第13図1・3）が存在した。尖頭器は概して小形だが、なかには、長さ8cm前後を測る尖頭器（第13図6、破損したのち彫器に再生している）も出土しており単純ではない。出土資料には黒曜石の出土量も多い。砕片類が圧倒的に多く、剥片生産は極めて低調だが接合資料は石刃の部分的生産を示唆していた。3cmにもみえないより小形の尖頭器（第12図10）は破損した尖頭器の執拗な再生を示唆しており、圧倒的多数を占める砕片類は石刃製作だけではなく、尖頭器の製作（再生）に絡む可能性を示していた。通常石器の再生は、まず機能の回復を念頭に置いているのであり、同一形態・同一機能が回復できないほど破損したとき、はじめてことなる器種へ転用・加工する可能性が高い。判断は瞬時に行われ、そこでは破損の程度以外には判断の是非は問われないはずだが、機能転換の容易な器種（例えば、槍先形尖頭器から彫器・削器に転換を試みる例が多い）も確実に存在していること、さらにはこれ以上加工できないほど小さく加工した尖頭器（第12図10）の存在を考え併せるなら、判断の背景には転用可能な範囲・対象以外に黒曜石など石材入手の難しい石材と容易に入手可能な石材では再生器種に差が生じていた可能性が指摘され、併せて、貴重石材でもある黒曜石は極めて厳しく管理・消費していた、と指摘できよう。

加工具には削器や掻器（彫器）が組成していたほか、剥片縁辺に部分的剝離を加えた「加工痕ある剥片」や「使用痕ある剥片」も同種・加工具に追加できよう。削器や掻器には、やや幅広い小形剥片を用いる例が多く、石刃を用いる例は意外に少ない。加工具の組成率は概して低く、彫器は尖頭器の破損品を転用（第13図7）したものの、掻器に彫器的な機能（第14図4）を付加したものなど従的な様相を呈している。削器や掻器の作出は特に石刃と結び付いているわけではなく、幅広い小形剥片を用いる例が多い。やや弱く内湾する刃部形状の掻器（第14図4・5）には弧状刃部を有する典型的掻器とはことなる機能・用途を想定するべきかもしれない。また、典型的掻器とはことなり著しく刃部が狭い石刃製掻器（第14図6）も適当な幅の刃部が得られないため、刃部を右辺に寄せ対応している。基本的に、加工痕ある剥片或使用痕ある剥片には多様な形状の剥片を用いた。比較的良好的な刃部を有する剥片を任意に選択する傾向が指摘可能だが、特に、大形の使用痕ある剥片には大形・幅広い縦長剥片を選択しており、この種の石器に限り、同種形状の剥片を意図的に量産・剝離していた可能性が高い。

#### <剥片剝離>

石器群を支えた剥片剝離技術は多様だが、概ね三群に大別が可能で、ここではこの大別に従い剝離の様相を捉えていきたい。

#### 剥片剝離の類（接合資料—25・29・32・34・35・37・154ほか）

初期の石刃剝離を既に終えた接合資料が多く、選択・採取した原石形状、及び、石刃剝離初期の石核形状



は明確ではない。接合資料の残る礫面や接合状況から推定した原石形状は、概ね角柱状を呈する例が多く、後述するb類の剥離に用いる原石に類似しており、より大形の原石を用いる場合には原石を分割処理（第32図・接合資料—29、第36図・接合資料—37）して石核に用いている可能性が高い。石刃剥離は石核を厳密に管理して展開、初期の石核調整（打面作出、打面再生、稜の調整）以外にも途中必要に応じて石核調整を試みている。概して、石刃剥離は石核（原石）の小口部分（最大幅5.7cm、最小幅2.0cm）を選び剥離され、打点を左右に振り後退するよう石核を消費している。搬入以前に初期の石刃剥離（最大で5枚を超える石刃を剥離している）を終えている接合資料が大部分を占め、原石サイズは不明（現状では10cm前後を測る接合例が多い）だが、最大でも15cm程度の石核（原石）が想定されよう。打面を固定・石刃剥離を行う例より上下両端に打面を有する例が多く、数回（1回～3回）の打面再生を行い5cm前後（最大6.2cm、最小4.2cm）で石刃剥離を終え石核を放棄している。剥離した石刃は石器群を支えた主要器種でもあるナイフや掻器に加工され、特にナイフとは強い対応関係を示している。同様な状態は黒色頁岩や黒曜石にも想定可能だが、この種の石材には石核消費頻度の乏しい、より管理的な石核消費の在り方が想定されよう。

#### 剥片剥離b類（接合資料—50・52・53ほか）

原石まで復元が可能で、長さ（作業面高）10cm前後・幅（作業面幅）6cm前後・厚さ8cm前後を測る角柱状原石を用いていた。剥片剥離は原石を縦に置き幅の狭い部分で剥離（接合資料—50・52）を行う例の他、これとは逆に幅の広い部分で剥離（接合資料—54）を行う例や、小口部分で剥片剥離を行う例（接合資料—53）が確認され、剥離は多様な様相を呈していた。この種の剥離では打面調整・打面再生その他の石核調整を行わず幅広剥離を剥離しており、剥離初期には打面を固定・途中より打面転移を行い剥離を進めている。この結果、作出剥片は徐々に小さくなる傾向が否めず、原石を完全消費した、最終的な残核は5cm程度と小さい。この種の原石からえられた剥片は幅広・縦長剥片が概して多く、剥片形状は「使用痕ある剥片」に類似している。また、この種の剥離が展開している地点には遺跡製作の槍先形尖頭器が分布、周辺加工を施す槍先形尖頭器の製作にはこの種の剥片を用いている可能性が高く、対応関係が指摘可能かもしれない。

#### 剥片剥離c類（接合資料—55・56・58・59・65・66ほか）

この類型には小形・幅広剥片を剥離する一群を一括した。基本的には角柱状原石を用いており、原石を大きく分割して用いるもの（接合資料—51・55）や角柱状原石の小口部分で剥片剥離するもの（接合資料—58）など、剥片剥離は多様な在り方を示している。打面調整・再生その他の石核調整を行わず幅広の剥片を剥離しており、頻繁な打面転移を繰り返している例が多い。この種の剥離も剥離の前半段階を欠く例（接合資料—55・56・58）が存在する一方、これとは逆に後半段階を欠く資料（接合資料—97）も見られ、石核を計画的に消費する点ではa類の石核消費に類似しているかもしれない。加工痕ある剥片の大部分は、この種の剥離からえられる幅広剥片を用いているほか、掻器の製作にも用いている点は看過できない。

#### その他（接合資料—64・89）

槍先形尖頭器の製作に関連する資料を一括した。2例とも槍先形尖頭器を作出するには素材が厚すぎ、石器の製作に熟達したものなら素材選択段階に選択から漏れて当然の剥片で、製作者の意図・真意が理解できない。技術的には槍先形尖頭器に分類可能な資料だが、掻器的機能を想定、石器の製作を試みている可能性も否定できない。

#### <石器石材>

As-BPの降下を前後して、金山丘陵の西から東へ流路を大きく変えた渡良瀬川は、変流初期に金山丘陵を侵食したのち「渡良瀬扇状地」を形成した。この変流で現在みる地形の大枠が形成、第三紀・足尾山系に由

来する各種石材に加えて安山岩類（赤城起源）や流紋岩類（金山丘陵）を含む、現河床の基本的な石材構成が成立したのである。この変流は「関東造盆地運動」に原因するとも想定可能だが、詳細は不明で侵食・堆積作用に基づく河川争奪にも原因している可能性が想定できよう。金山以東の地形発達には沢口氏（沢口、1996）が詳細に論じている。氏の示した地形発達を勘案するなら、河道は遺跡からそれほど離れていたとは思われないのであり、金山丘陵に続く丘陵に立地する遺跡周辺では上記石材が容易に採取可能と見られ、遺跡は石器石材の潤沢な地域の遺跡と規定できよう。19種類にも達した石器石材は、渡良瀬流域で採取可能な在地石材と、この地域では採取できない非在地石材に大別可能だが、ここでは下記の通り捉えた。

**在地石材** 剥片系石器にはチャートを用いる例が圧倒的で、石材感の異なる3種類のチャート（口絵参照）が出土している。その他の石材の利用頻度は極めて低い。

チャートa類：油脂光沢の強い良質なチャート。筋状の葉理が若干みられる程度で、なかには全く葉理の見られない良質石材も存在する。

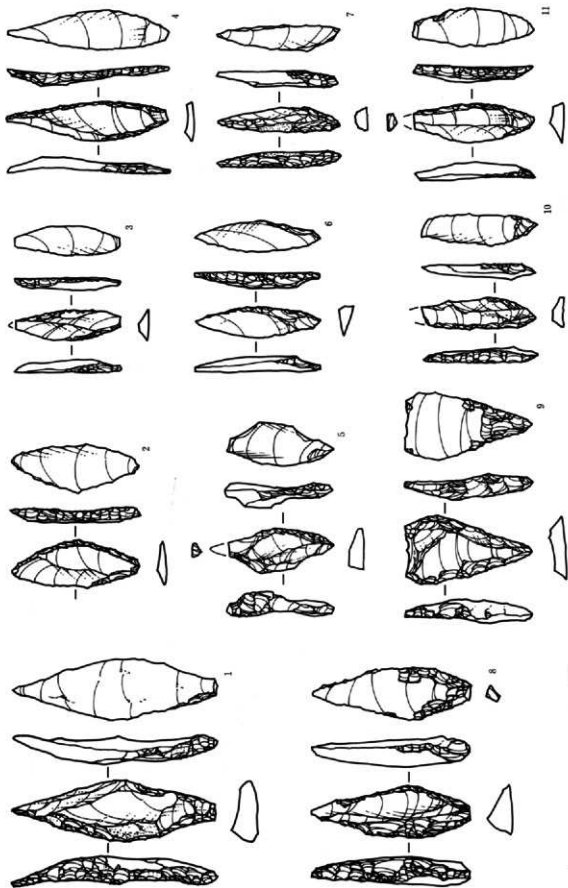
チャートb類：a類に比べ、やや珪化が著しく厚い葉理（1mm～2mm）が発達する。破断面の烈痕は白くささくれだち、油脂光沢はa類よりやや劣る。

チャートc類：葉理が縦横に発達する。この葉理を避けるよう頻繁な打面転移が行われ、幅広い剥片を剝離する。

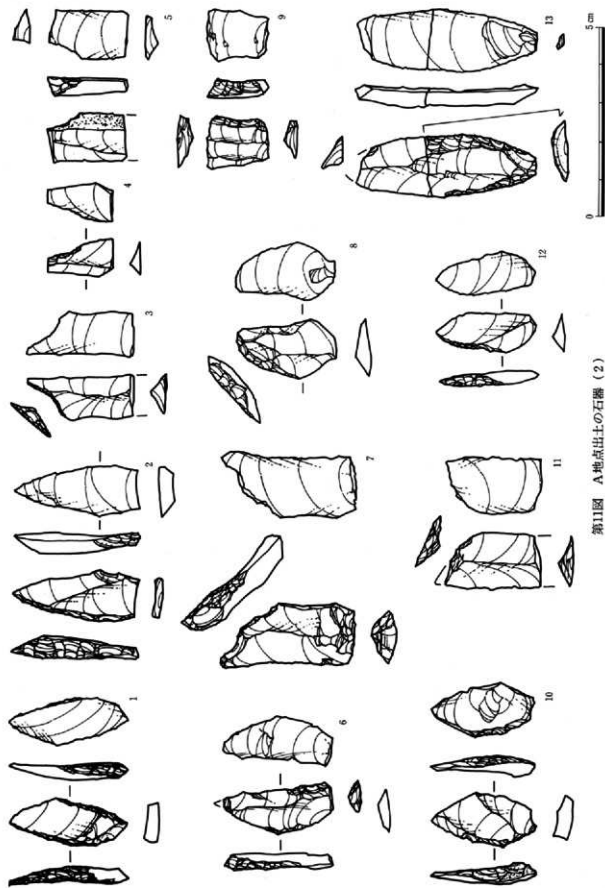
a類は剥片剝離のa類（器種レベルではナイフの製作に関連）に、b類は剥片剝離のb類（使用痕ある剥片や槍先形尖頭器の製作に関連）に、c類は同じく剥片剝離のc類（槍先形尖頭器・擲器の他、削器・加工痕・使用痕ある剥片に関連）に強く結び付いており、石材性状に応じた石器製作を行う様相を呈していた。

**非在地石材** 50km～100km圏内に原産地を有する石材（県北に産する黒色頁岩や黒色安山岩など）と、100km圏外に原産地を有する石材（信州産黒曜石や硬質頁岩など）に分け、捉えた。この種の石材の母岩消費は低調で、母岩の部分的剝離に終始していた。遺跡は栃木県境に近く、県北部や県西部の石材産地には直線距離で50km以上も、信州産・黒曜石や女川層産・硬質頁岩の産地には100km以上も離れている。出土資料から見る限り、非在地石材は母岩の部分的消費を示す例（黒色頁岩・黒色安山岩など）、或は、少量の石刃剝離を行う例（黒曜石。第三章で述べた通り、分析の結果判明した黒曜石原産地は4ヶ所である。蓼科系-冷山・麦草峠-の黒曜石原産地は長野県茅野市の守矢氏らの踏査、及び、同県下・旧石器研究者の先行研究がすでにある。同・原産地産の黒曜石は現在調査中のハッ場ダム関連の遺跡でも出土しており、現在分析者と共同研究がすすめられている。本報告では分析結果のみ示した）が多く、在地石材とは対照的な在り方を示していた。石材研究の進展に伴い、石材産地は再検討を行う必要が生じているのが現状だが、この遺跡からみる限り、この種の石材は採取地の如何を問わず総て「非在地石材」の範疇で括られ、母岩の部分的消費、計画的消費を行う点に「非在地石材」は特徴づけられよう。

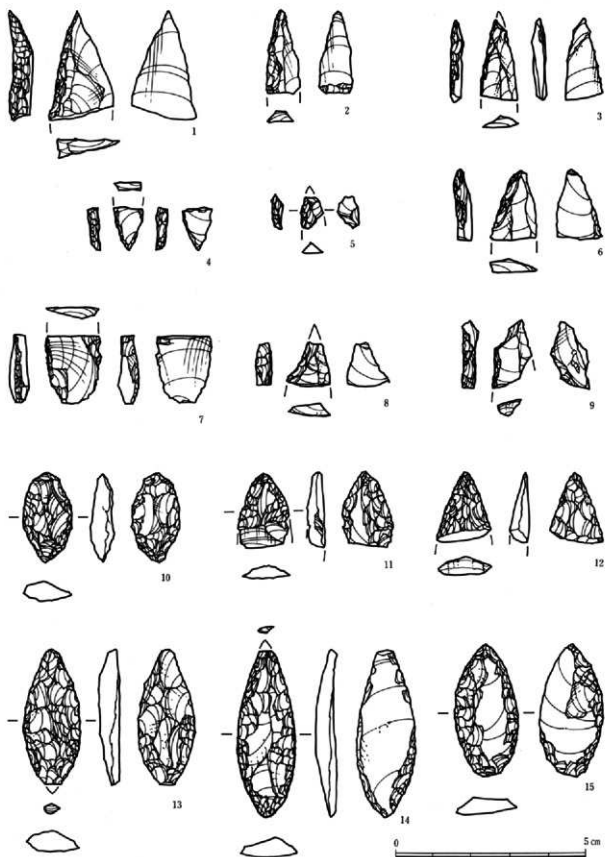
遺跡は石器石材の潤沢な地域に立地しており、良質石材にはここかかない。実際の出土資料には良質石材（チャートa類・b類）以外にも、葉理の発達した粗悪な石材（チャートc類）が多量に出土、目的に応じ使い分けている状況が窺取れた。一見、石器製作にはわからない粗悪な石材を石器製作に用いる状況は、単なる「地域資源に精通した集団の石器製作」と捉えるだけでは説明できないため、今後とも分析を加えていきたい。



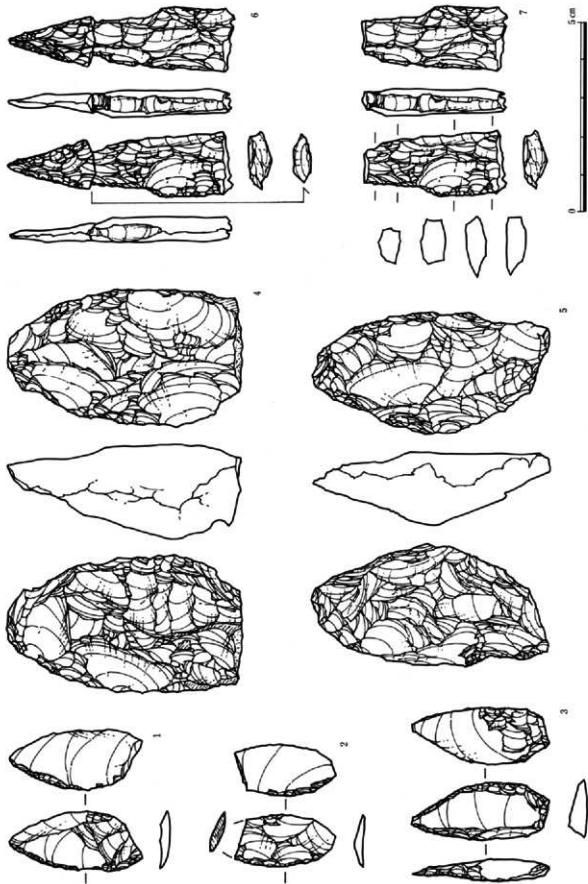
第10図 A地点出土の石器(1)



第11圖 A地点出土の石器(2)



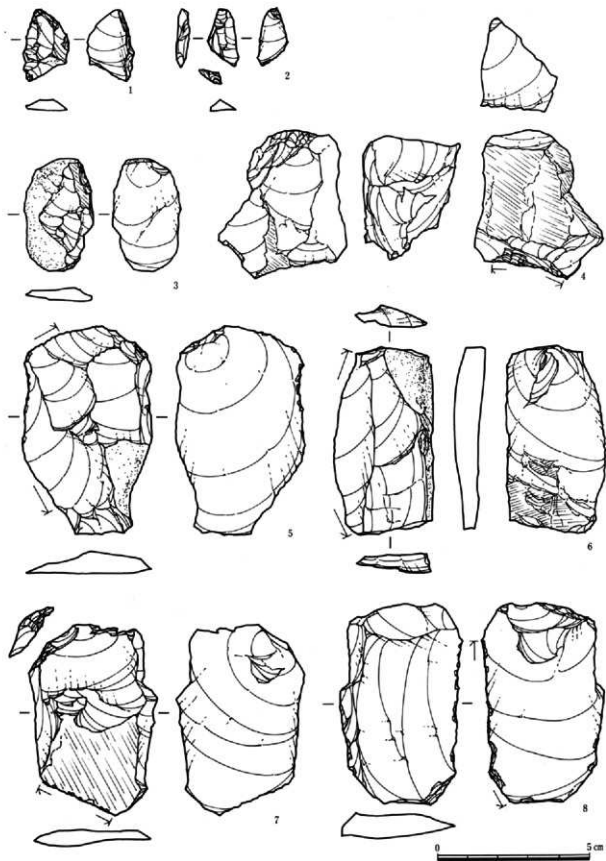
第12図 A地点出土の石器(3)



第13圖 A地点出土の石器(4)

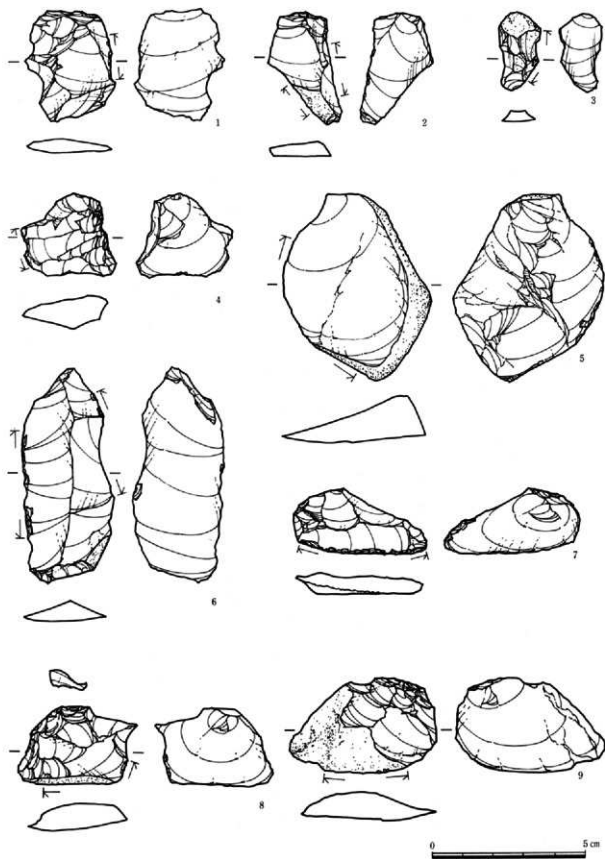


第14図 A地点出土の石器(5)

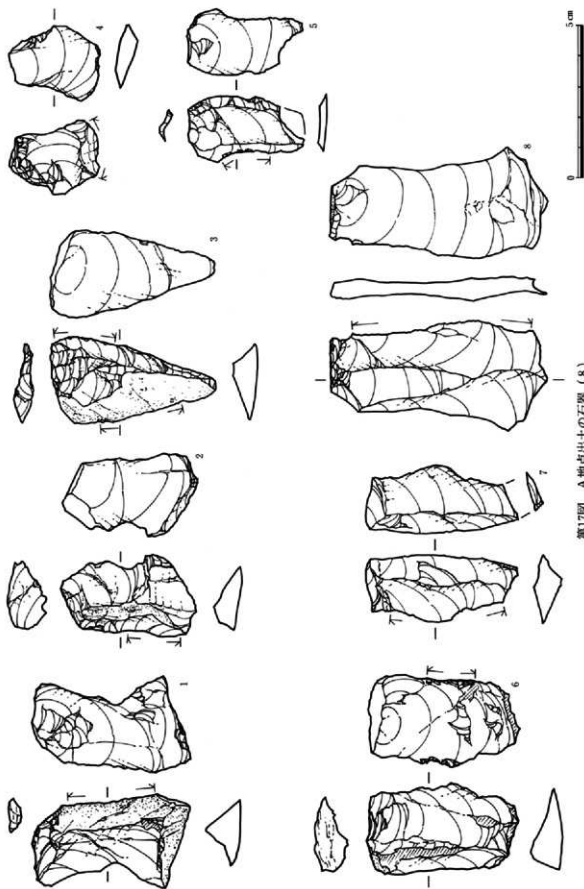


第15図 A地点出土の石器(6)

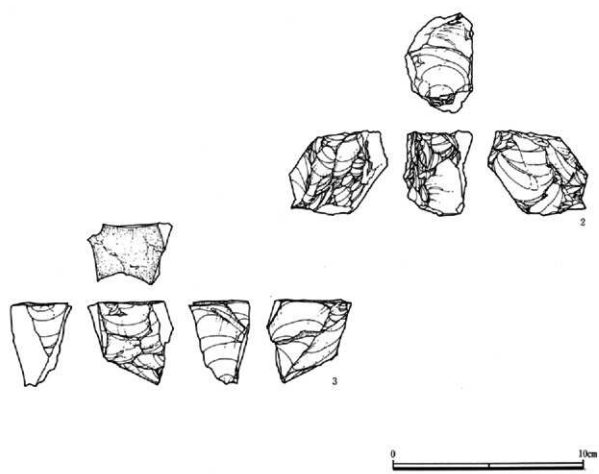
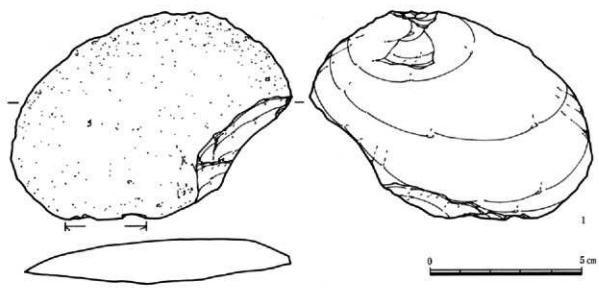




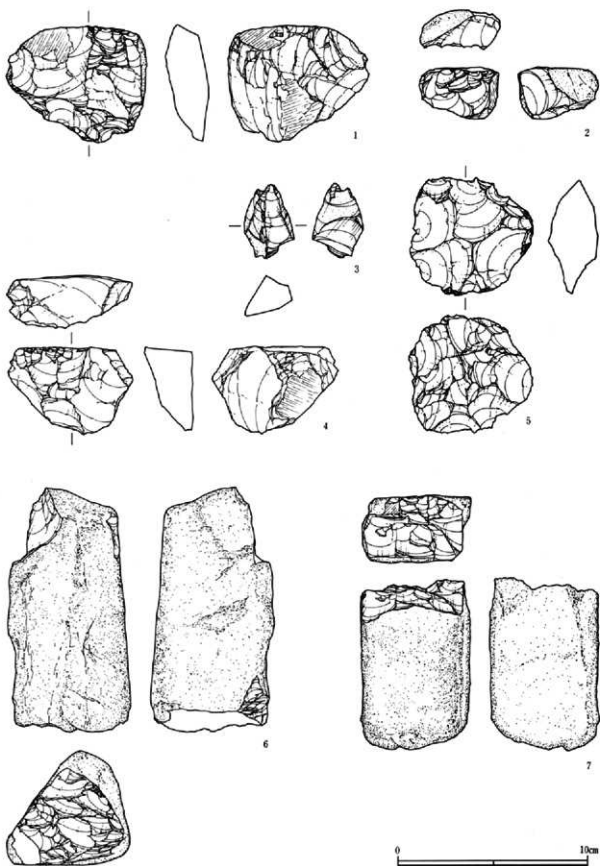
第16図 A地点出土の石器(7)



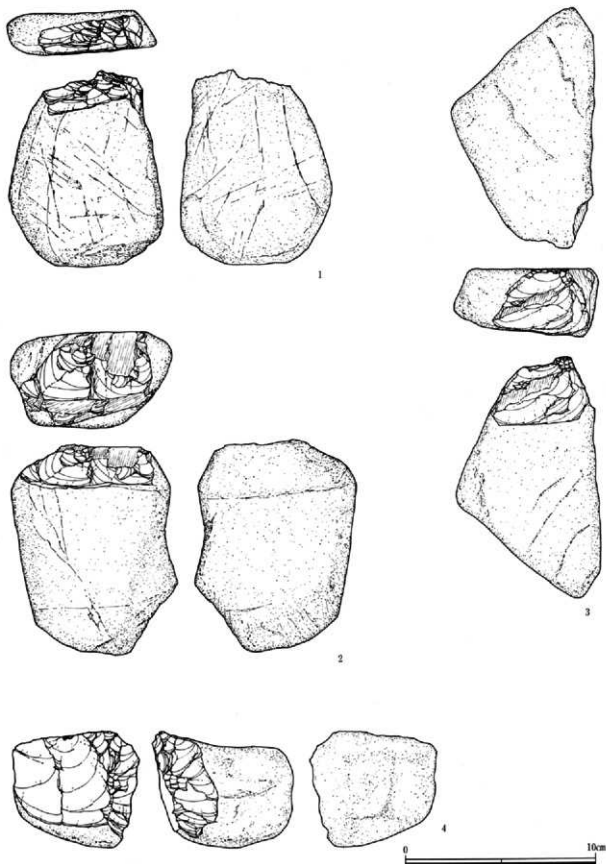
第17図 A地点出土の石器(8)



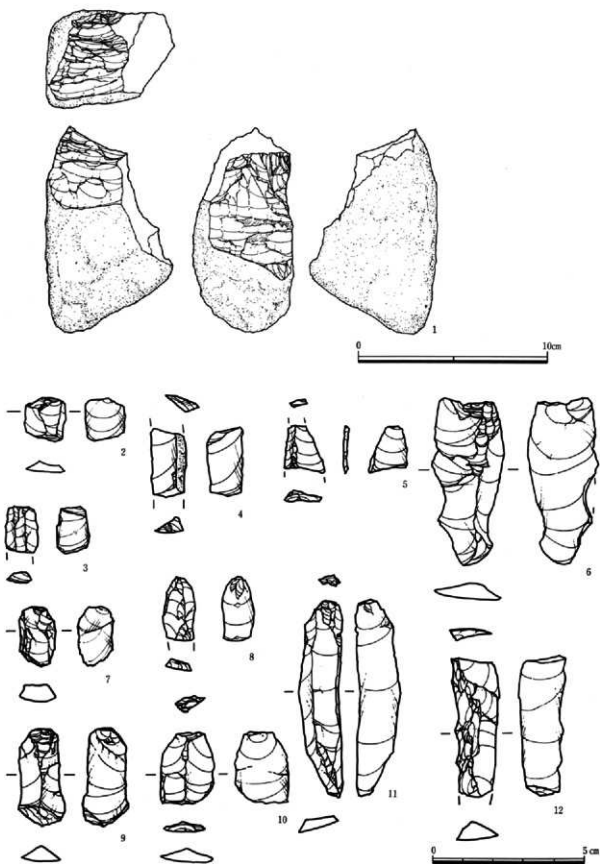
第18図 A地点出土の石器(9)



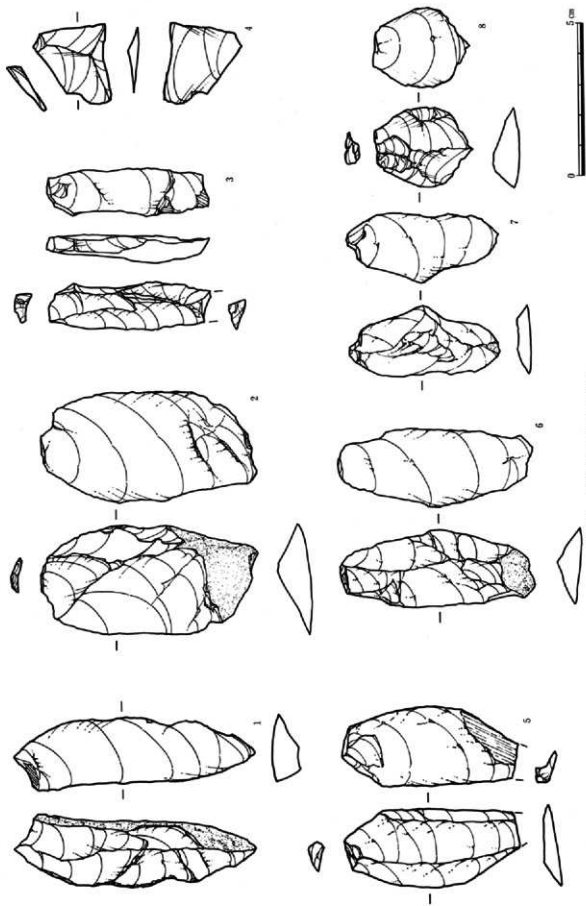
第19図 A地点出土の石器 (10)



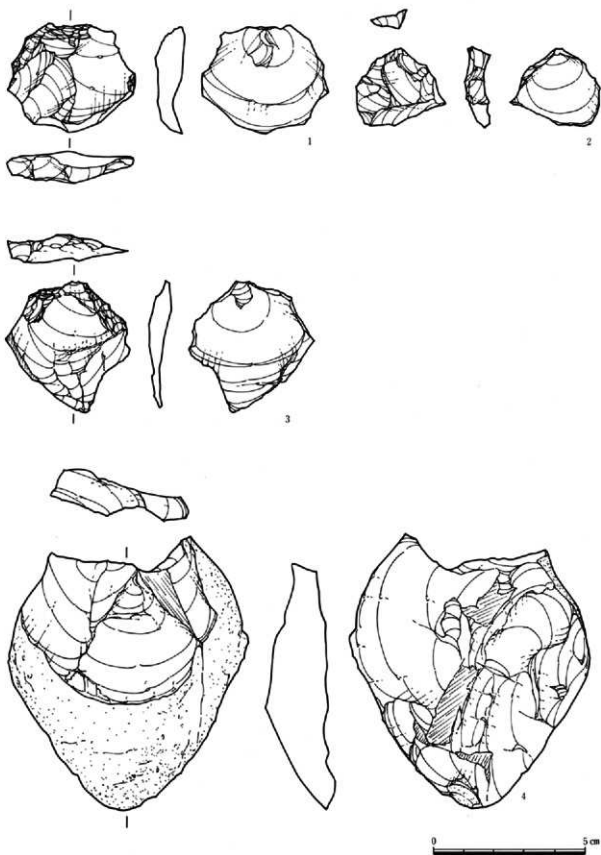
第20図 A地点出土の石器 (11)



第21図 A地点出土の石器 (12)

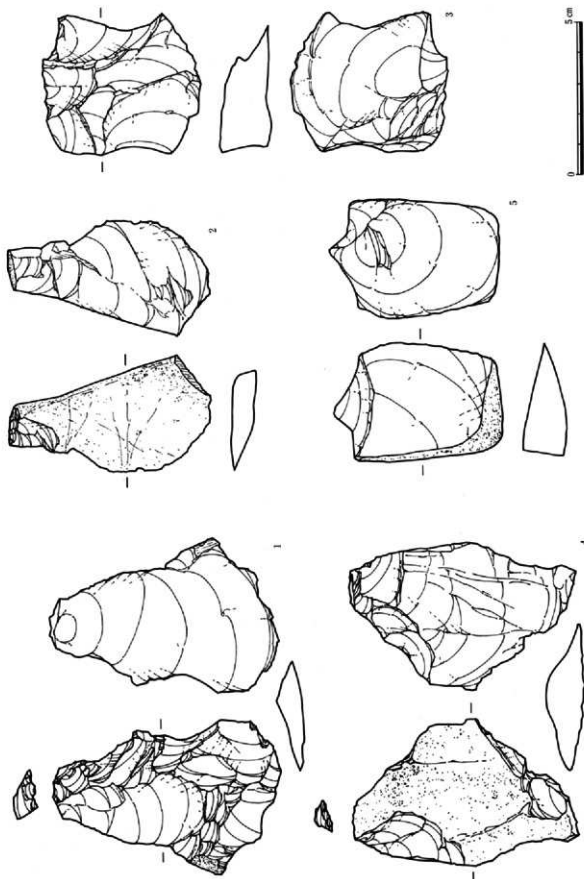


第22図 A地点出土の石器 (13)

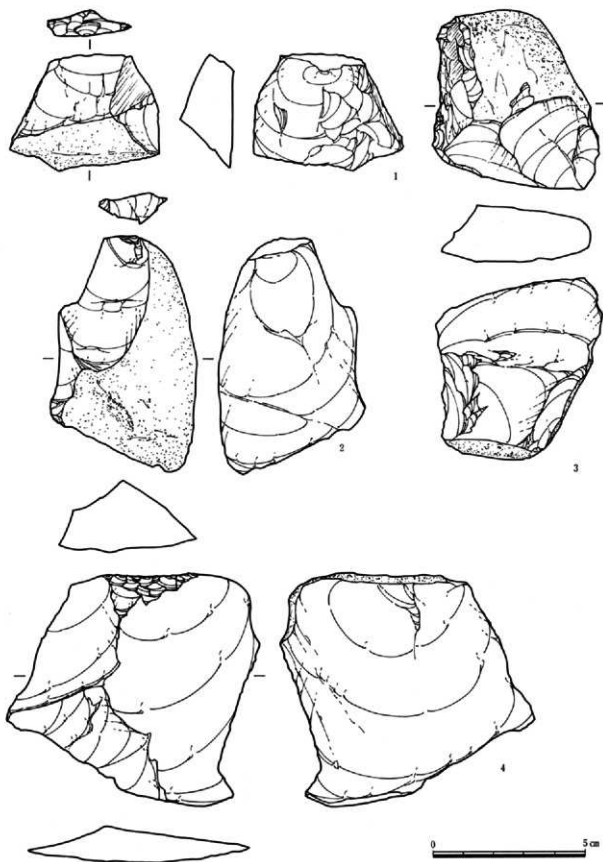


第23図 A地点出土の石器 (14)

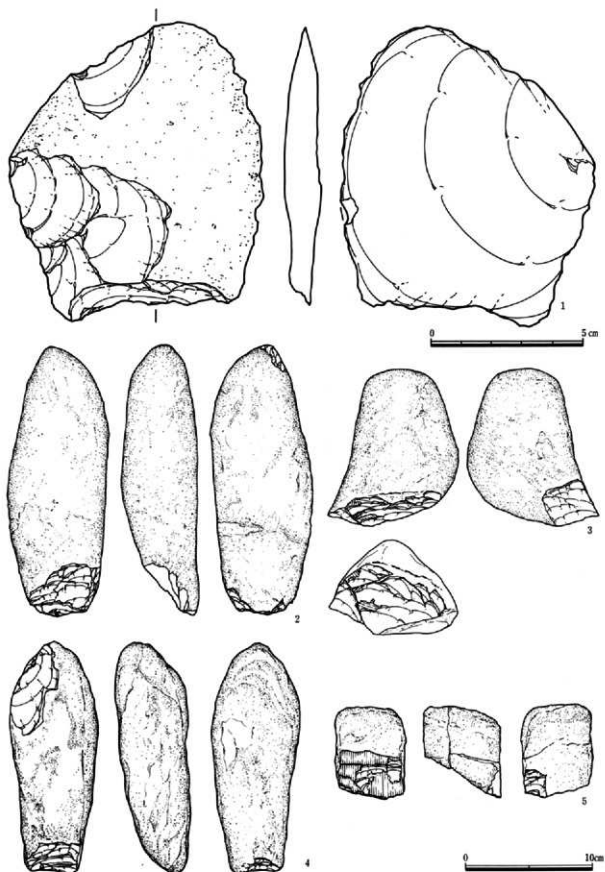




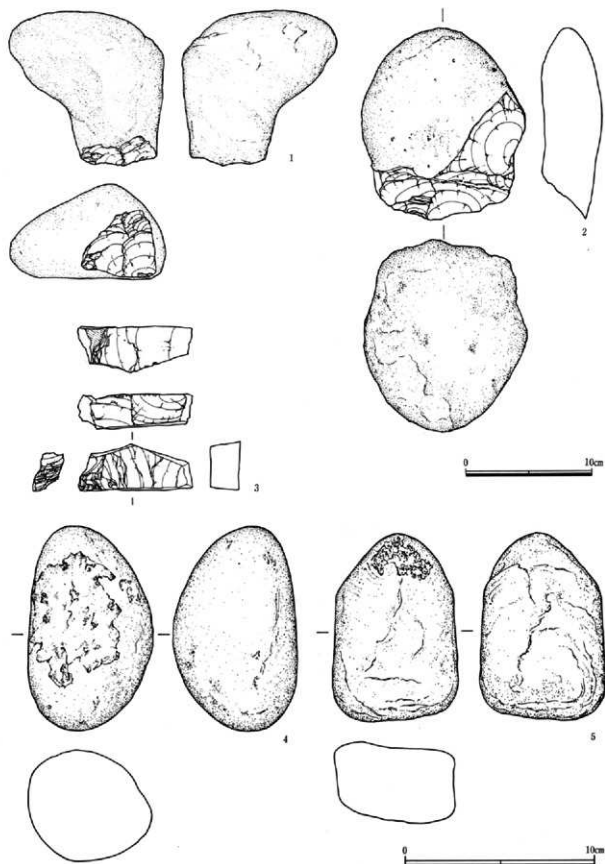
4 第24図 A地点出土の石器 (15)



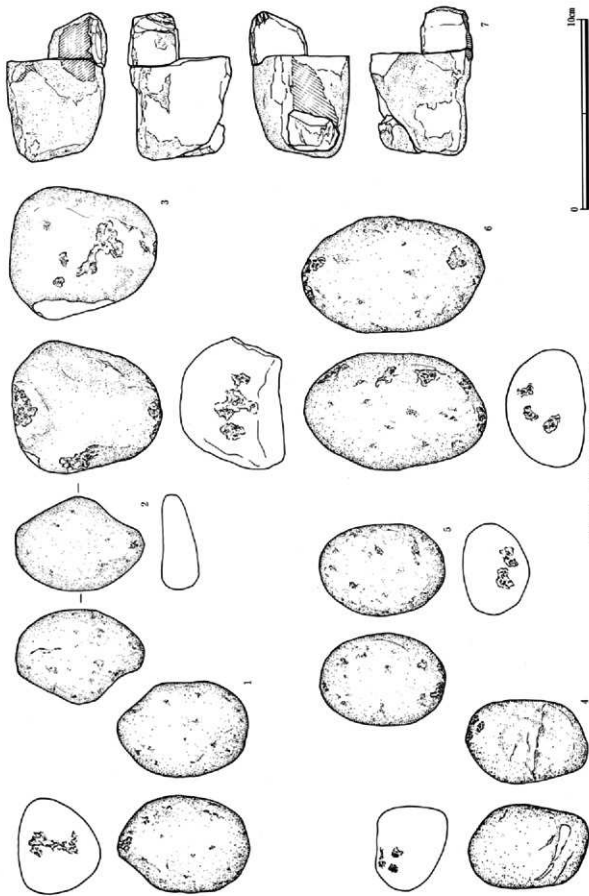
第25図 A地点出土の石器 (16)



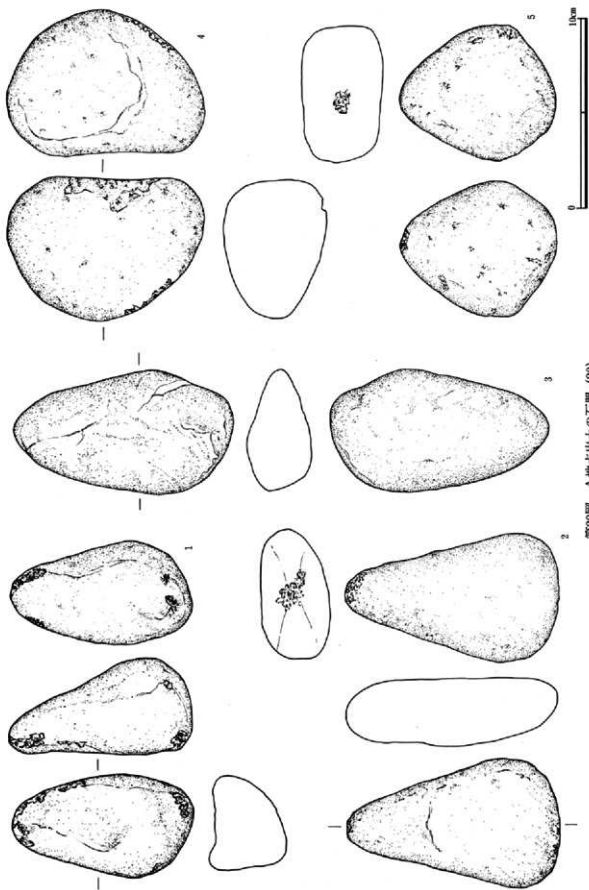
第26図 A地点出土の石器 (17)



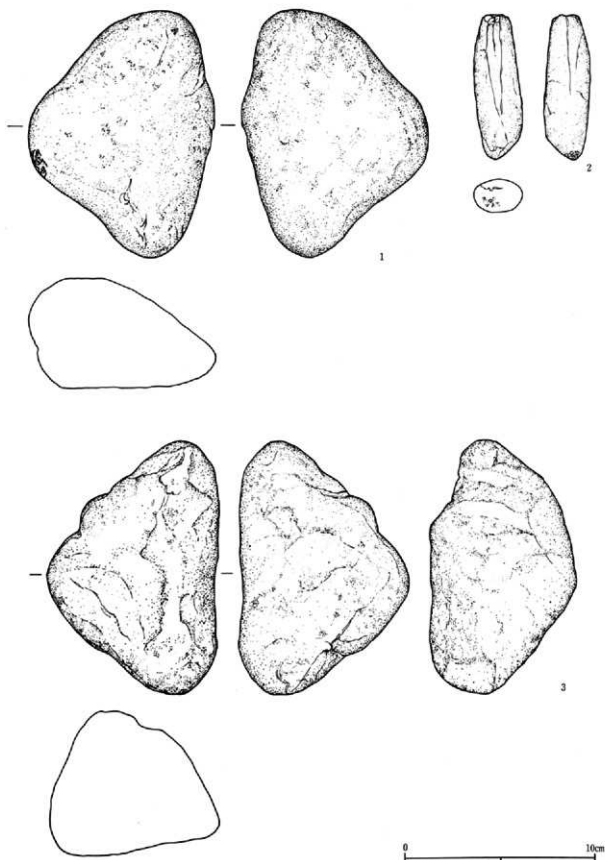
第27図 A地点出土の石器 (18)



第28図 A地点出土の石器 (19)

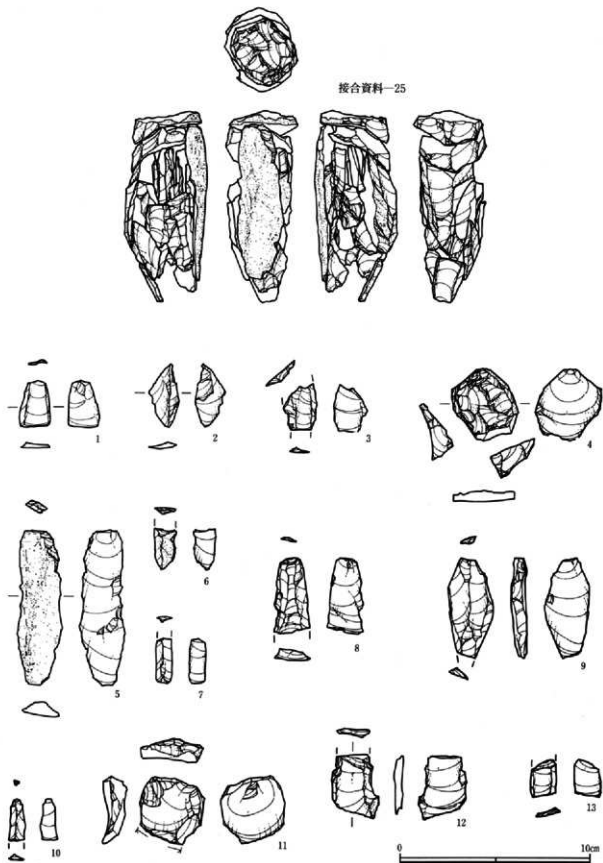


第29図 A地点出土の石器 (20)



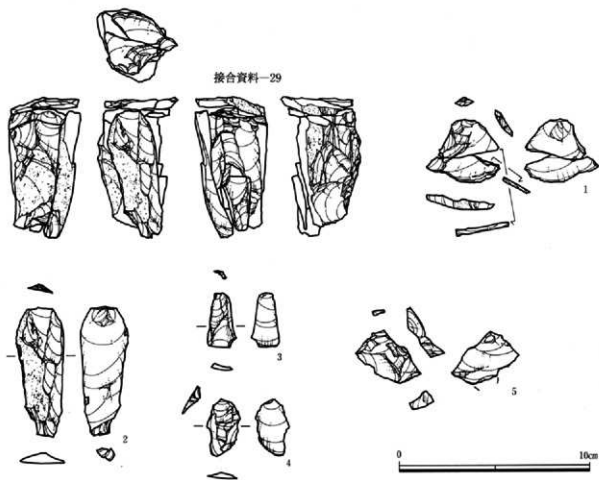
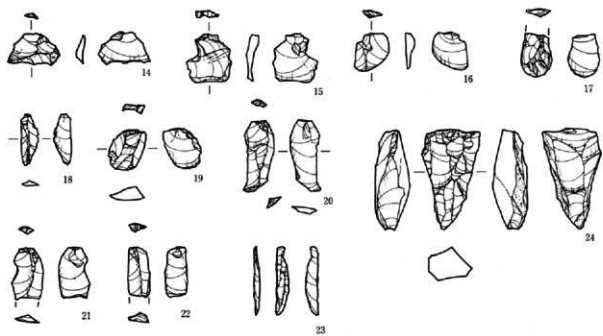
第30図 A地点出土の石器 (21)

接合資料—25

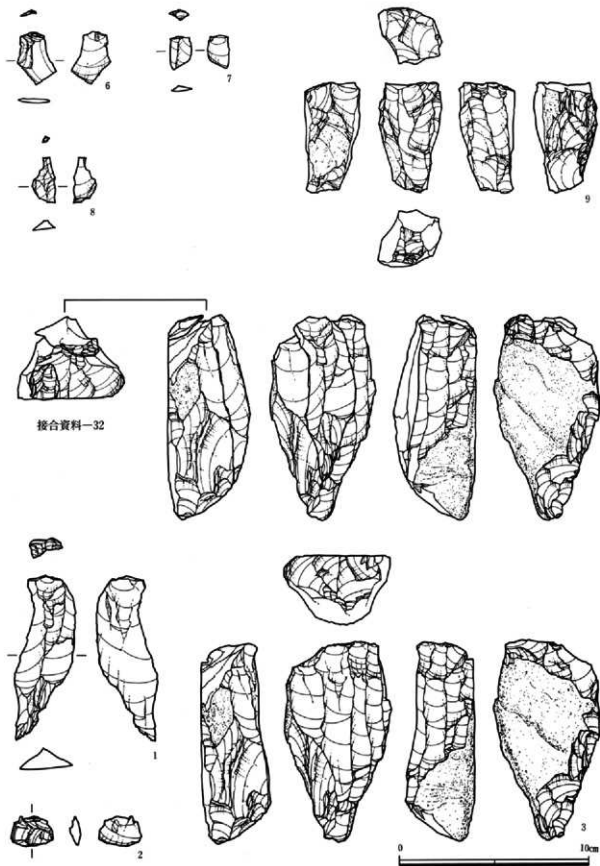


第31圖 接合資料—25 (1)

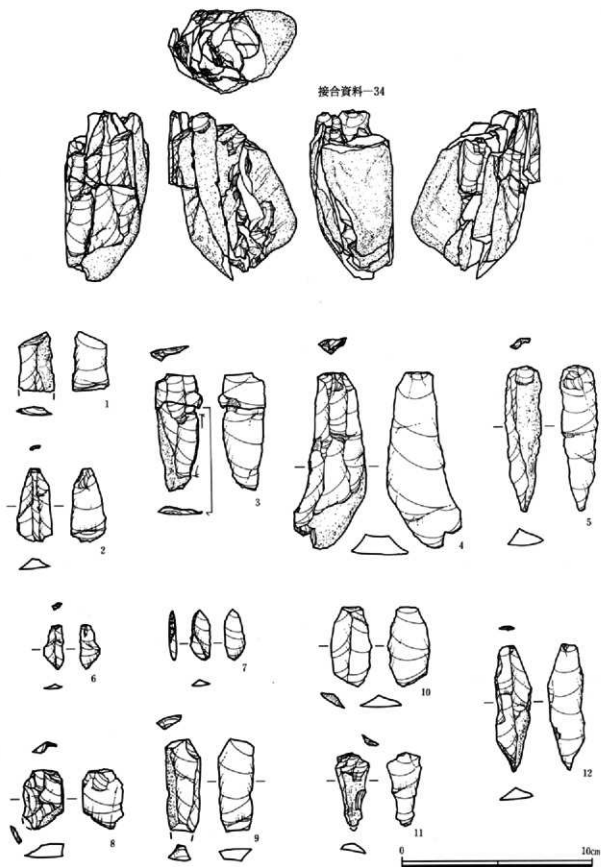




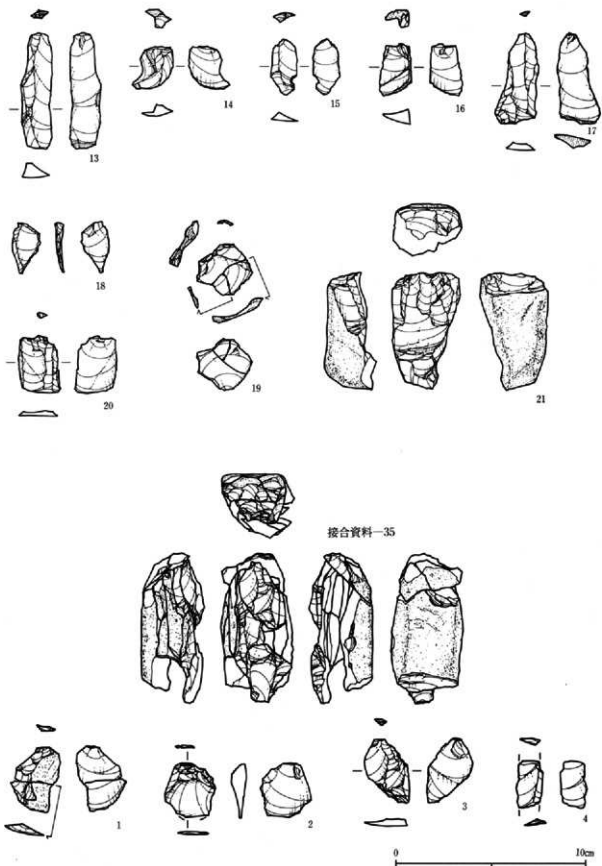
第32図 接合資料-25 (2)・29 (1)



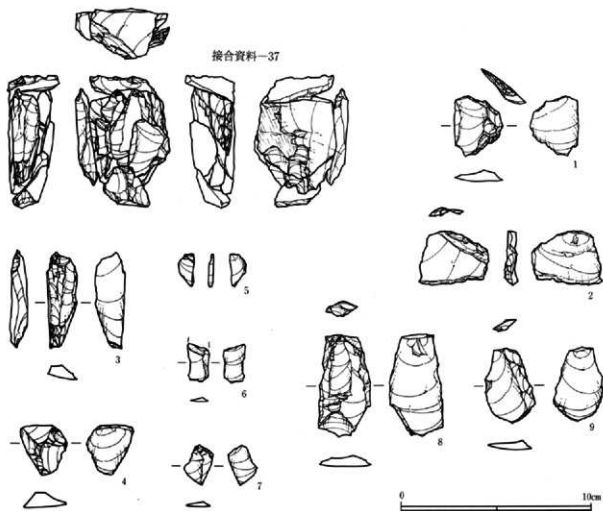
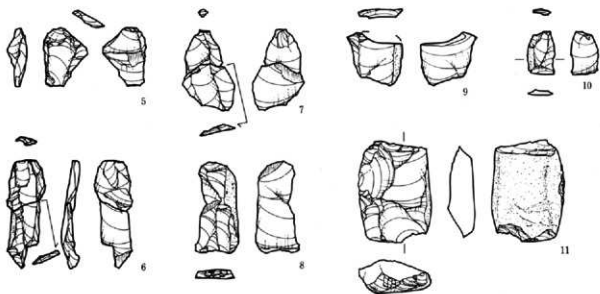
第33図 接合資料-29 (2)・32



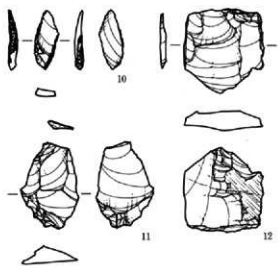
第34圖 接合資料-34 (1)



第35図 接合資料-34 (2)・35 (1)



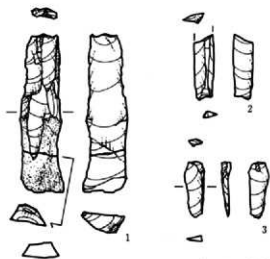
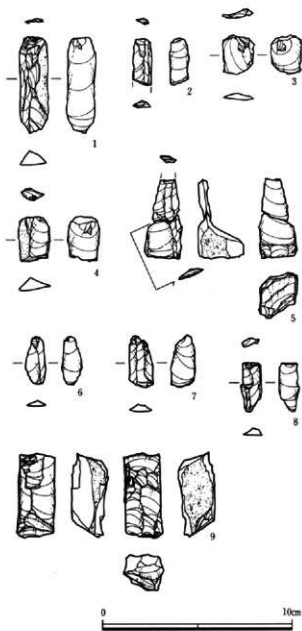
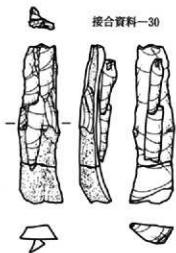
第36圖 接合資料-35 (2)・37 (1)



接合資料-42

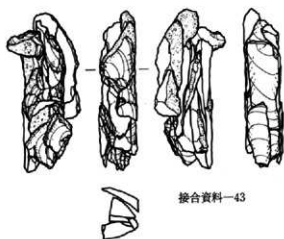


接合資料-30

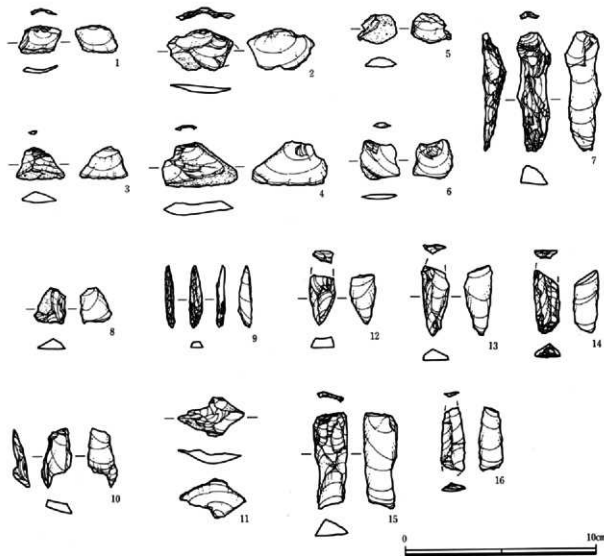


0 10cm

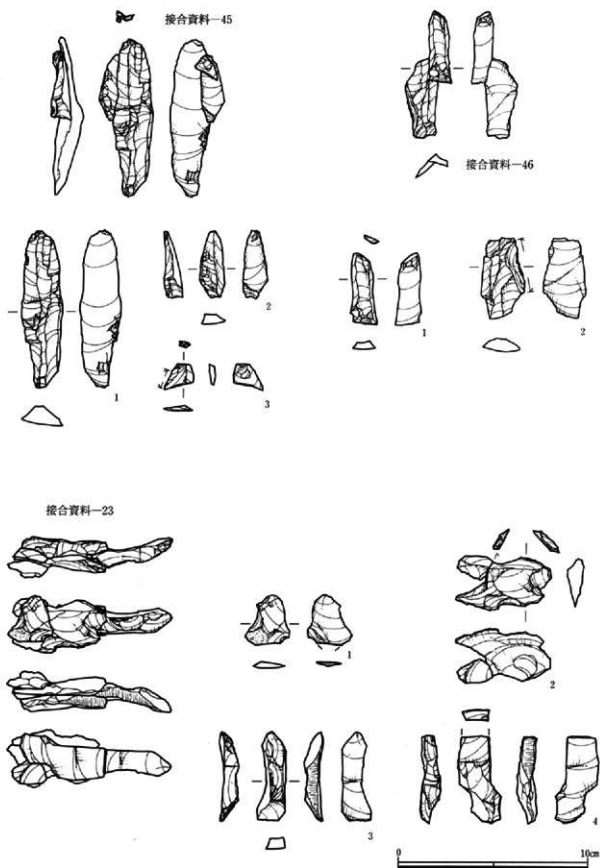
第37图 接合資料-37 (2)・30・42



接合資料—43



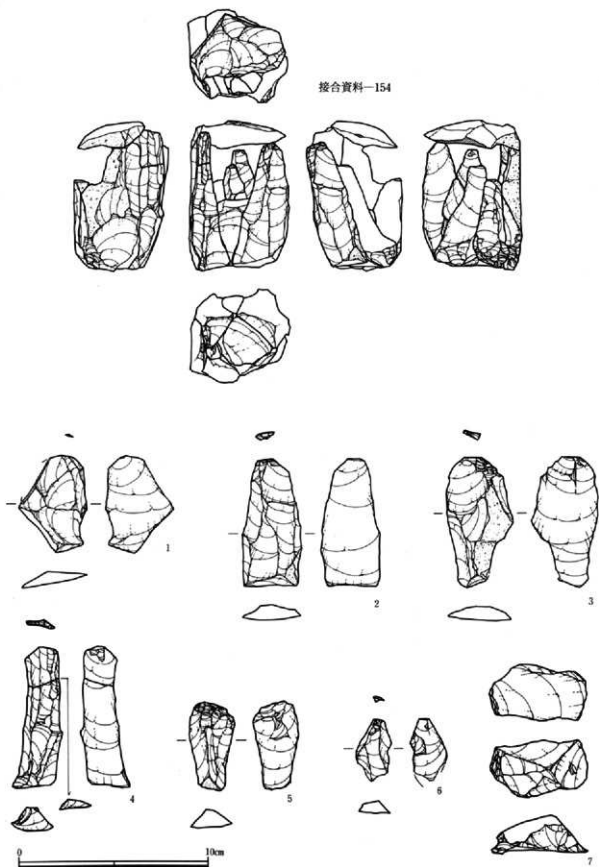
第38圖 接合資料—43



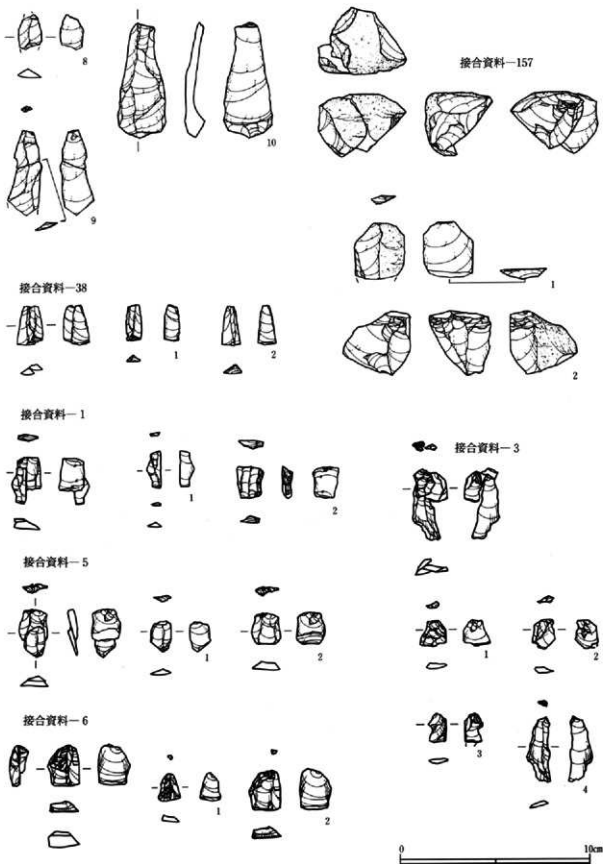
第39回 接合資料—45・46・23



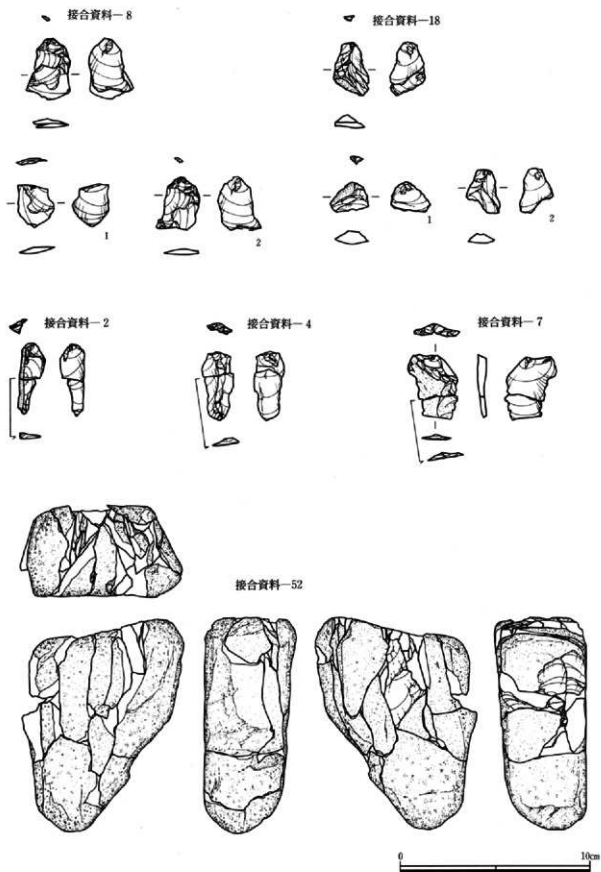
接合資料—154



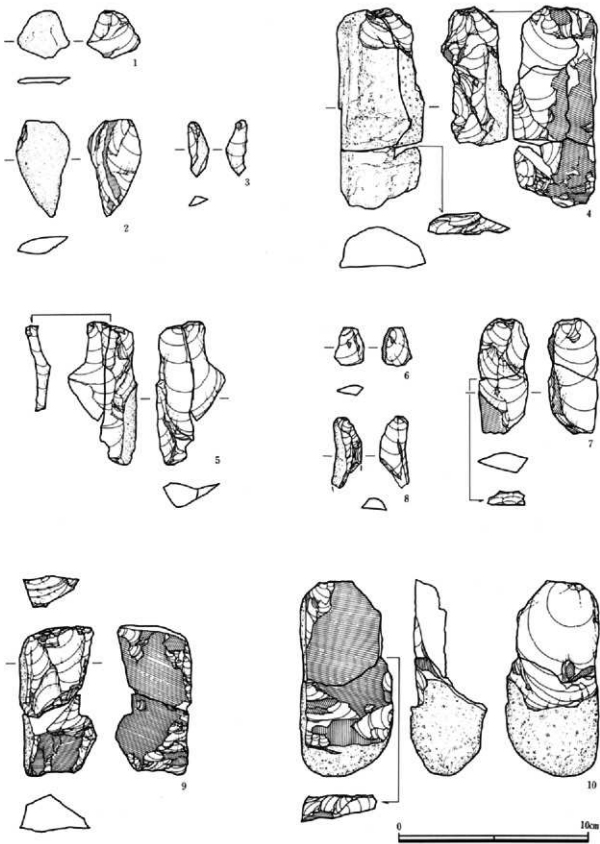
第40圖 接合資料—154 (1)



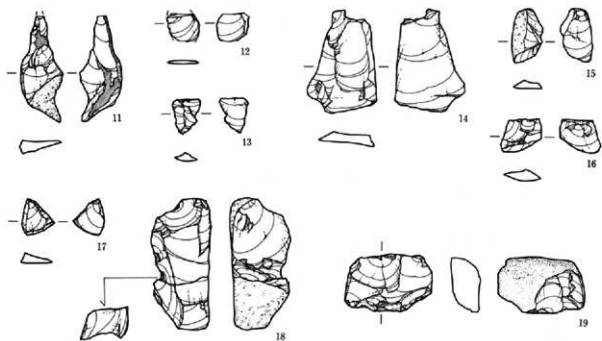
第41図 接合資料-154 (2)・157・38・1・3・5・6



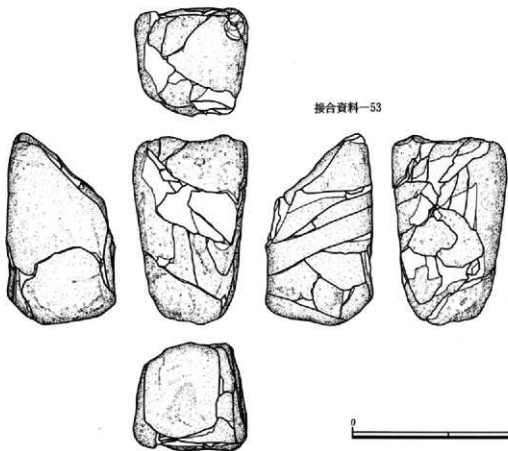
第42図 接合資料-2・4・7・8・18・52 (1)



第43図 接合資料—52 (2)



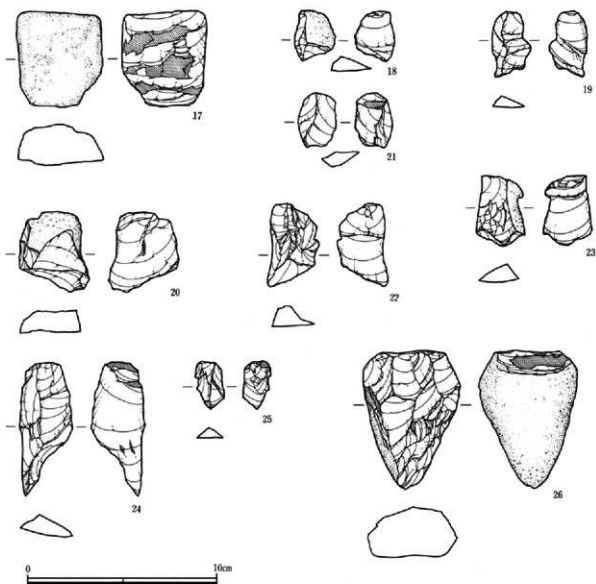
接合資料—53



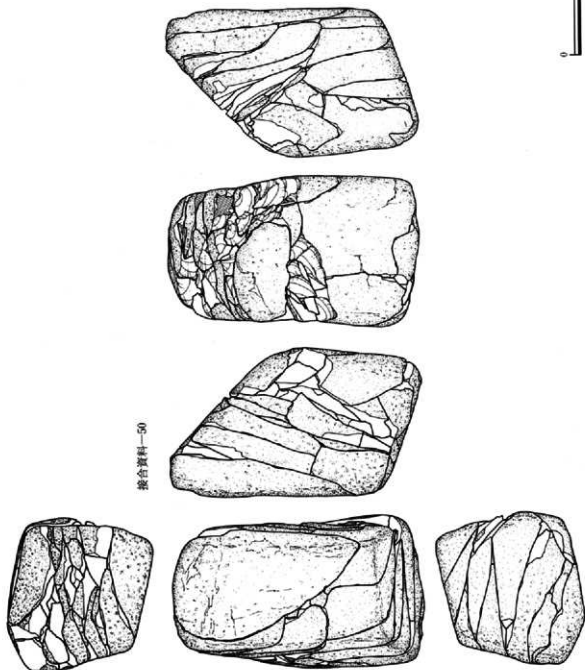
第44圖 接合資料—52 (3)・53 (1)



第45図 接合資料—53 (2)



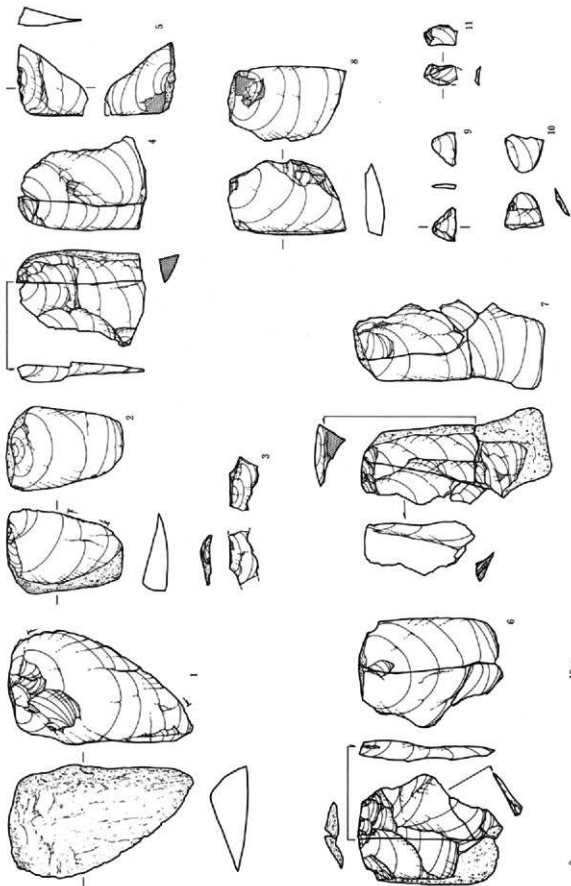
第46図 接合資料—53(3)



採合資料-50

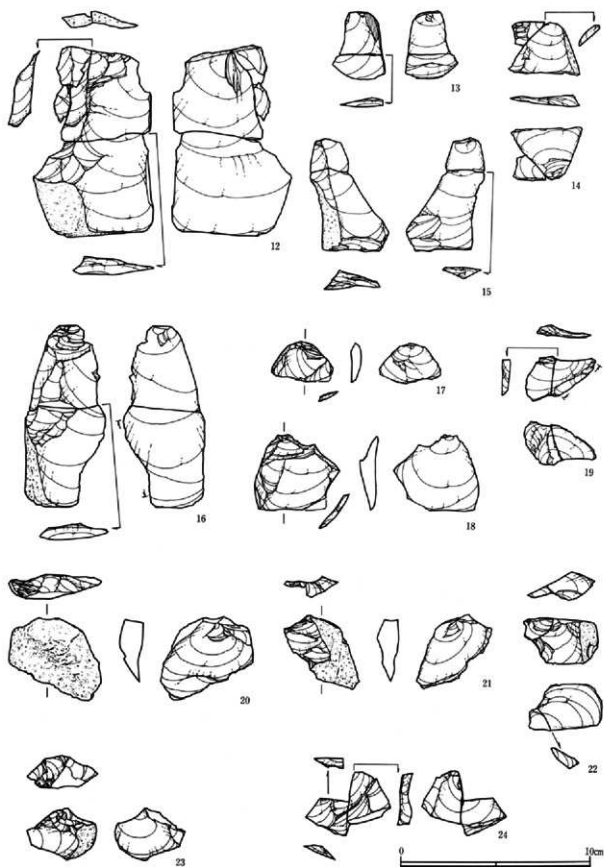
第47圖 採合資料-50 (1)



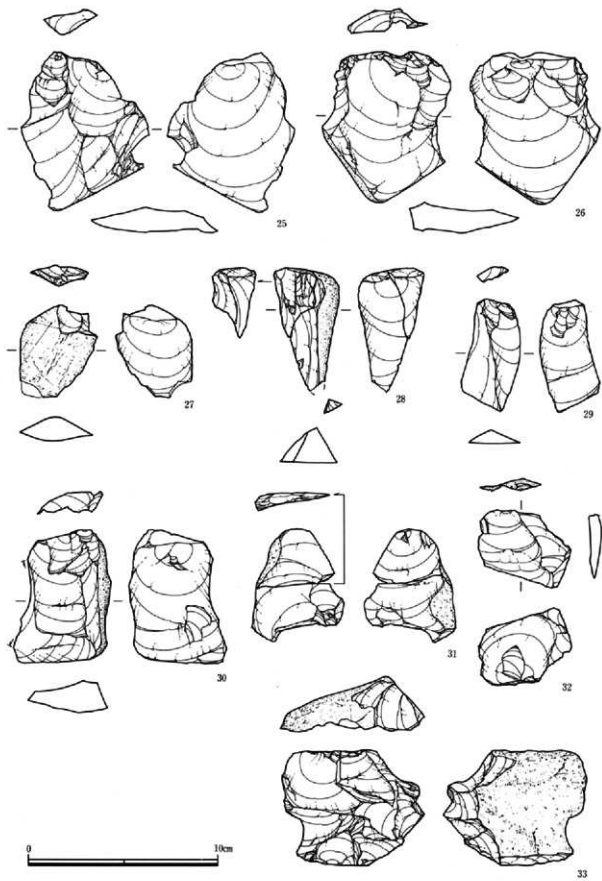


第48図 複合資料—50 (2)

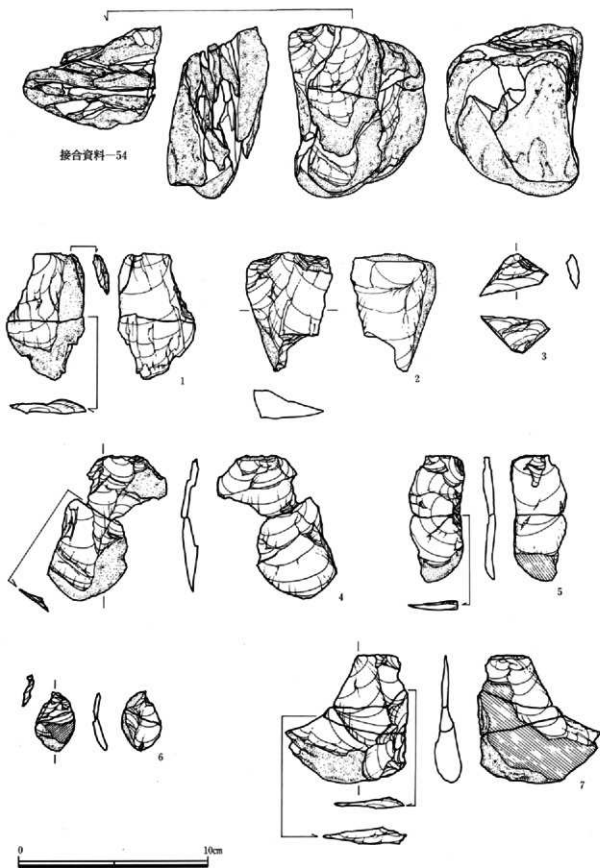




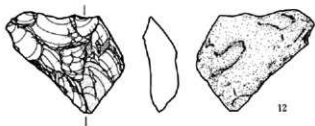
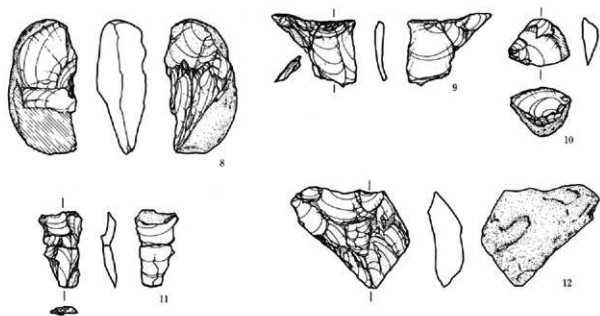
第49圖 接合資料—50(3)



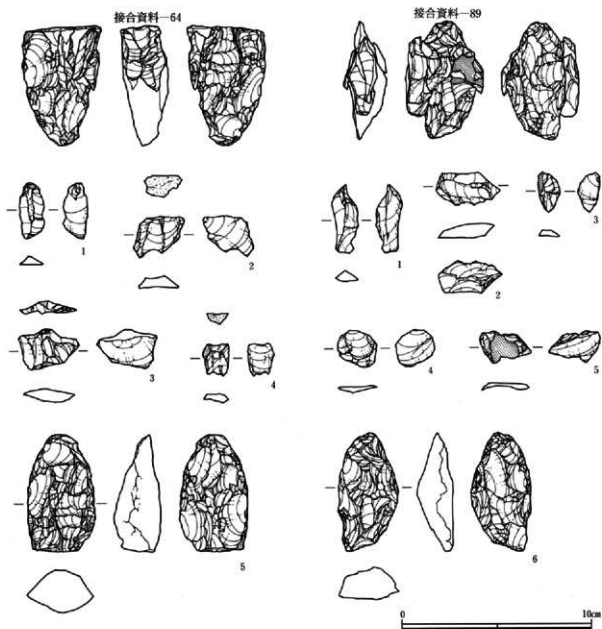
第50図 接合資料—50 (4)



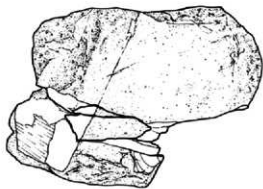
第51圖 接合資料-54 (1)



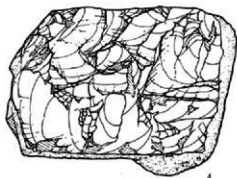
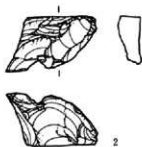
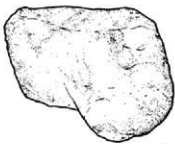
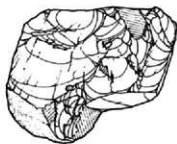
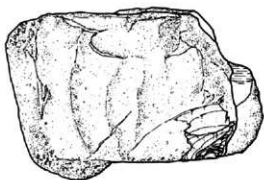
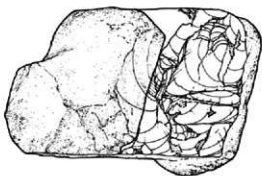
第52圖 接合資料-54 (2)・81



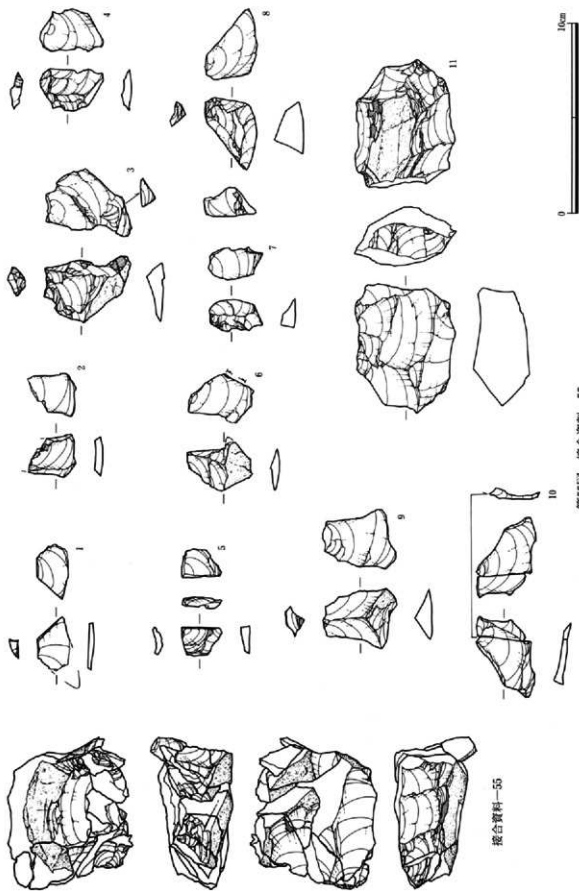
第53図 接合資料-64・89



接合資料-51



第54図 接合資料-51



第55圖 接合資料-55

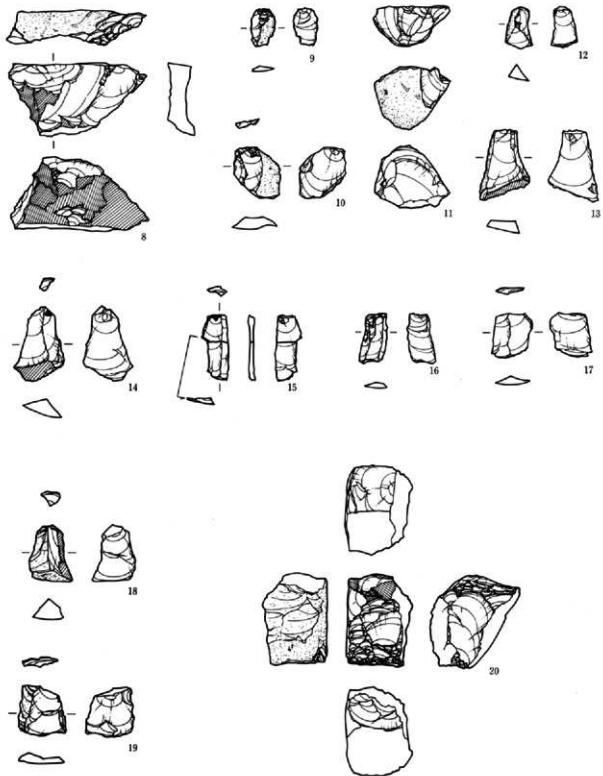




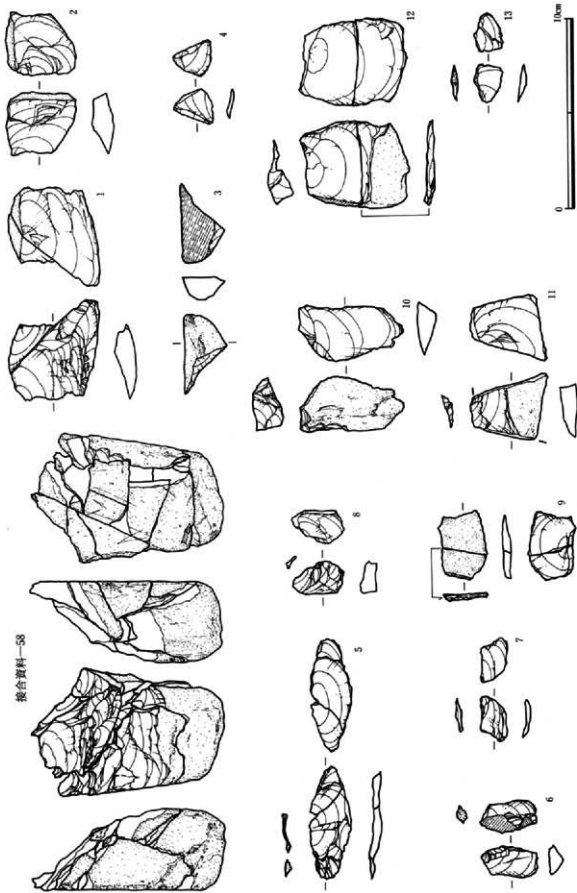
综合資料—56

第56图 综合資料—56 (1)

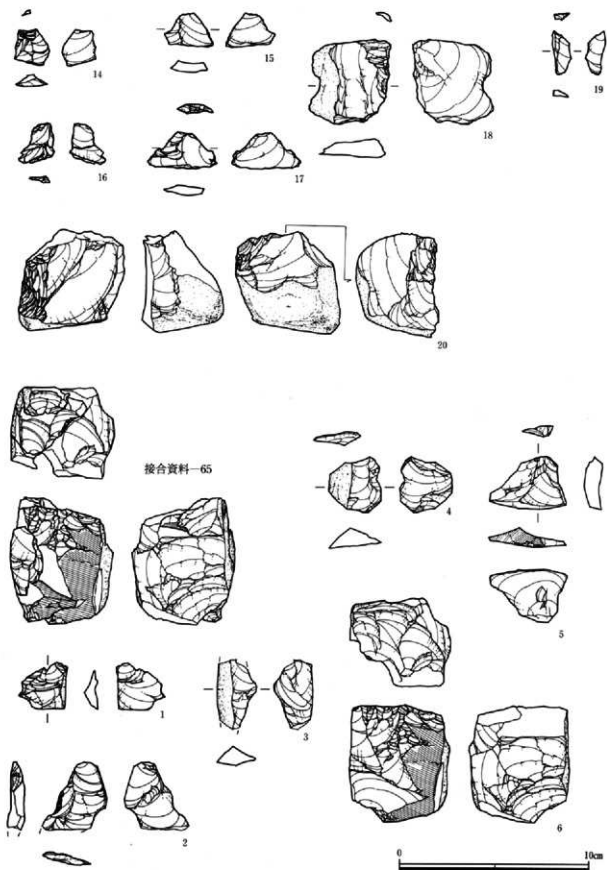




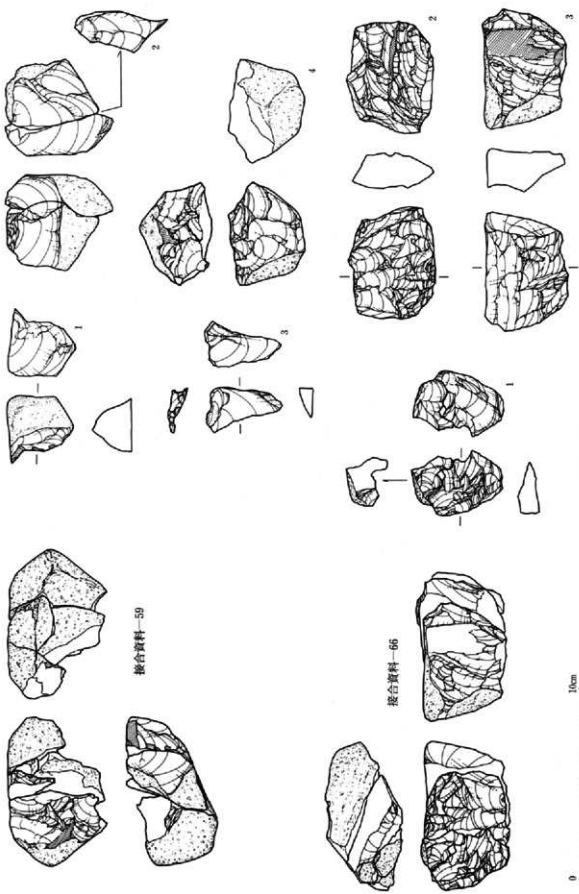
第57图 接合資料—56 (2)



第58図 接合資料—58 (1)



第59圖 接合資料-58 (2)・65

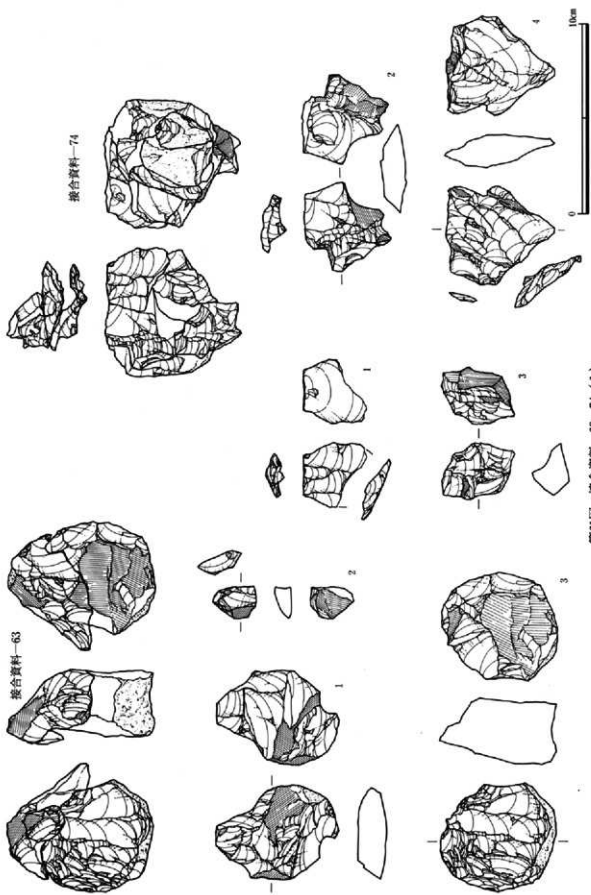


接合資料-59

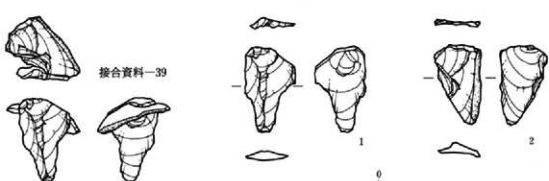
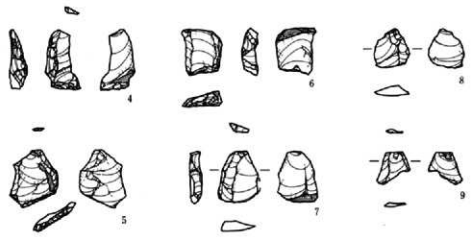
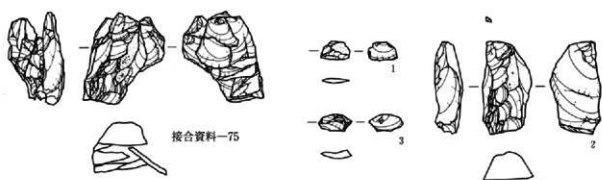
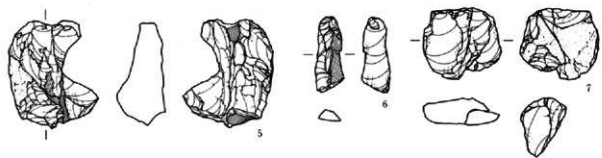
接合資料-66

0 10cm

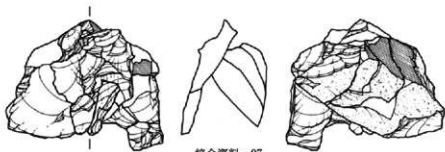
第60圖 接合資料-59・66



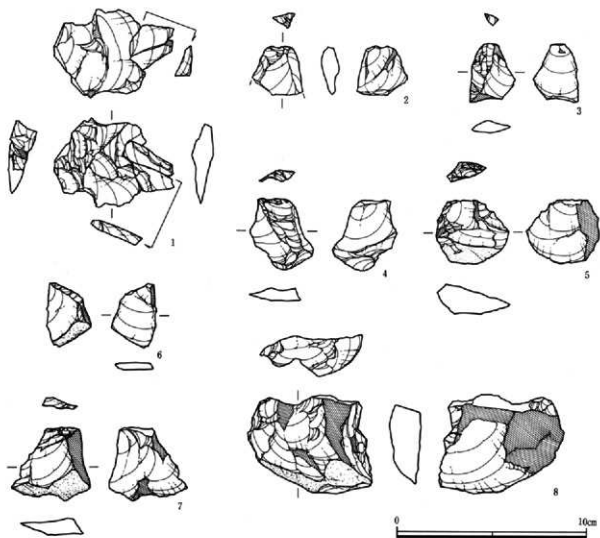
第61圖 接合資料—63・74 (1)



第62図 接合資料-74 (2)・39・75



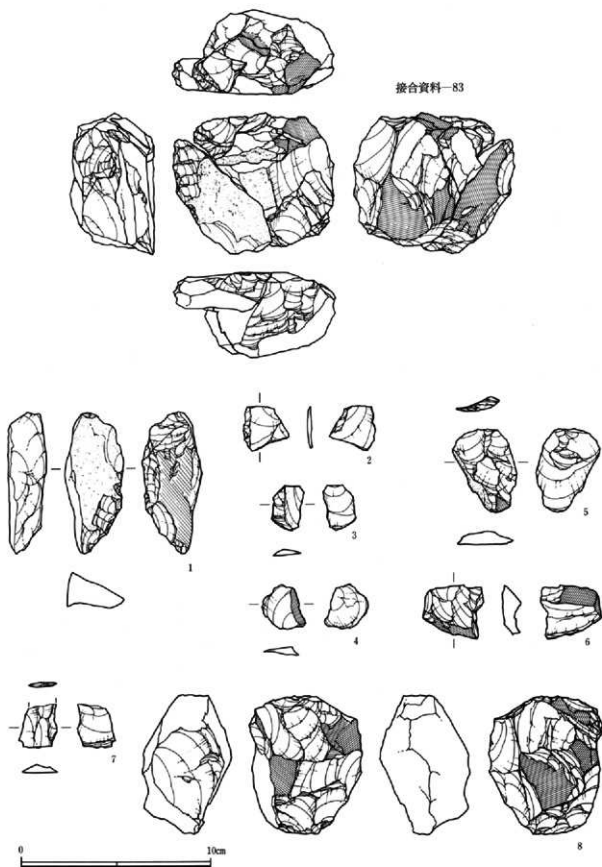
接合資料—97



第63圖 接合資料—97



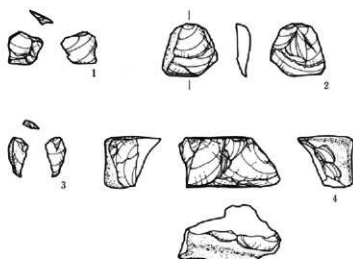
接合資料—83



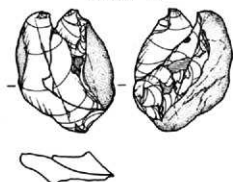
第64図 接合資料—83



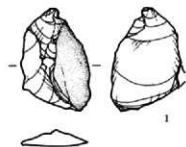
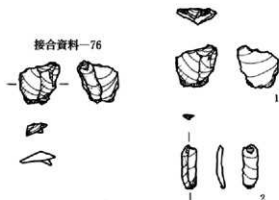
接合資料-36



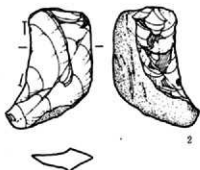
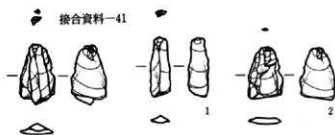
接合資料-69



接合資料-76



接合資料-41

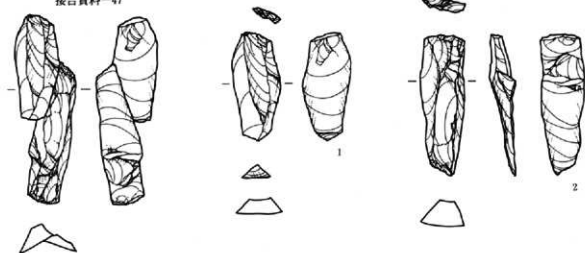


接合資料-73

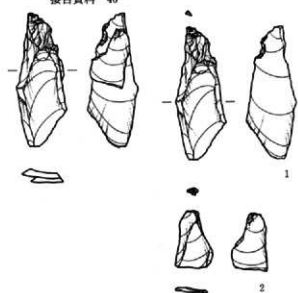


第65図 接合資料-36・41・69・73・76

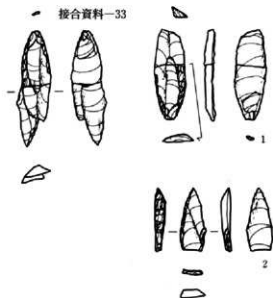
接合資料—47



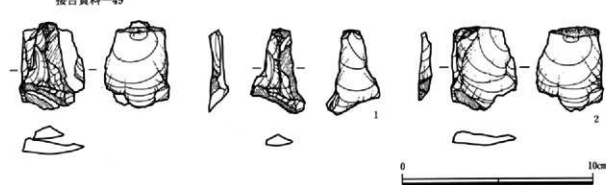
接合資料—40



接合資料—33



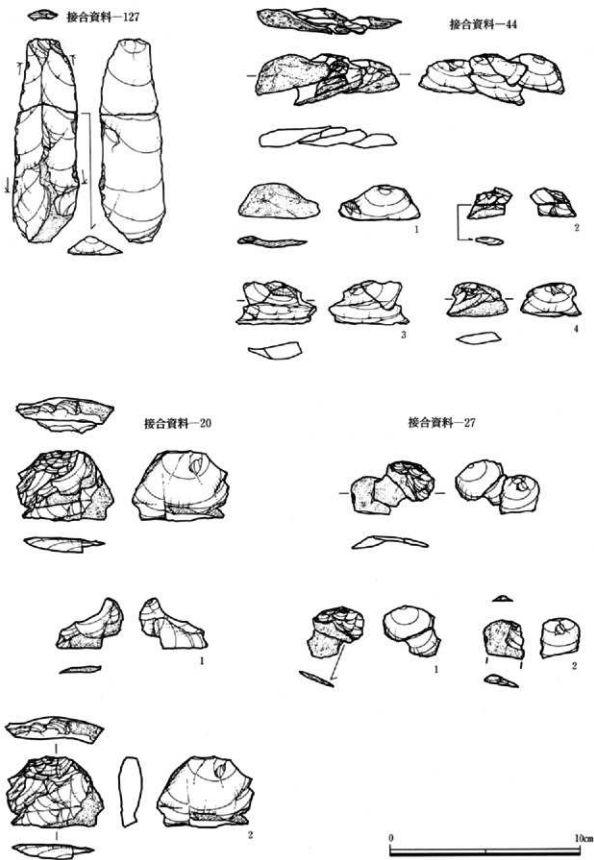
接合資料—49



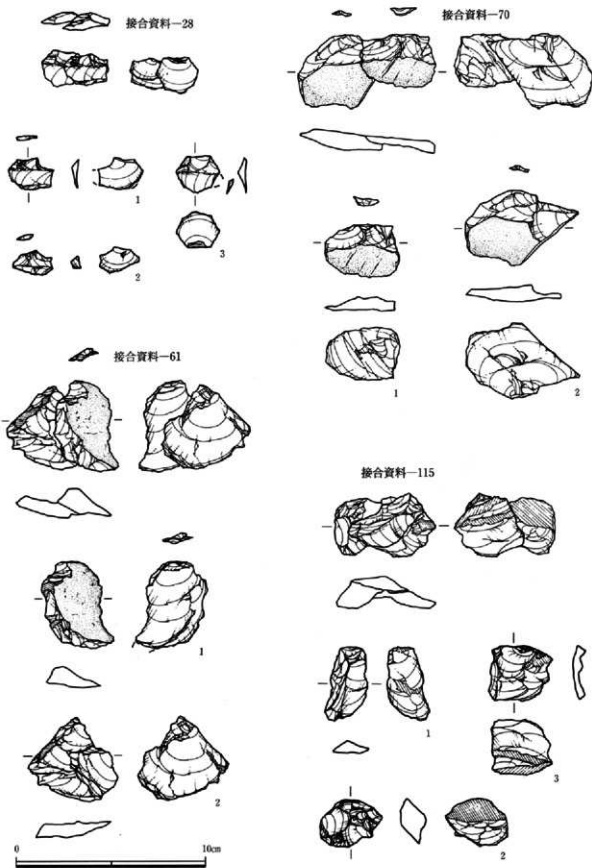
第66圖 接合資料—40・47・49・33



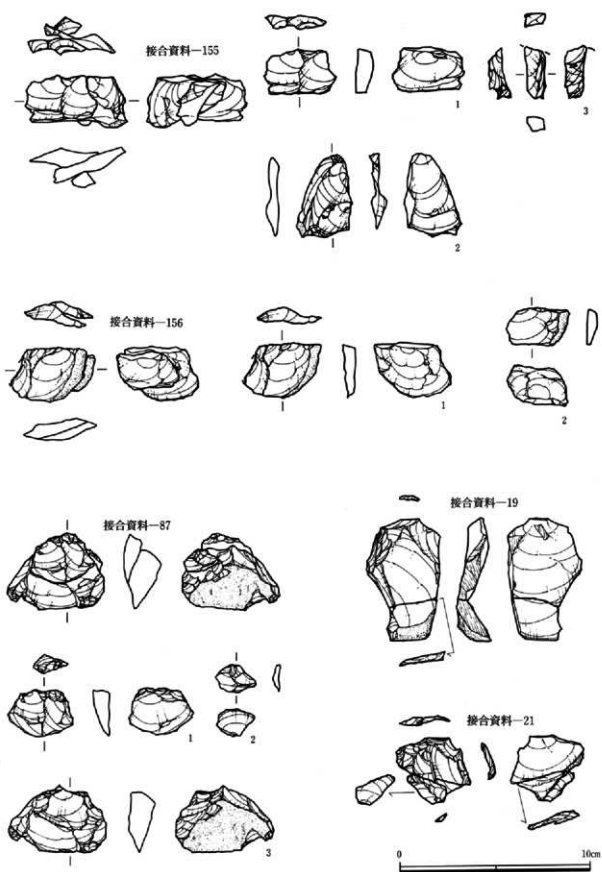
第67圖 接合資料—24・26・31・48・67・68・125



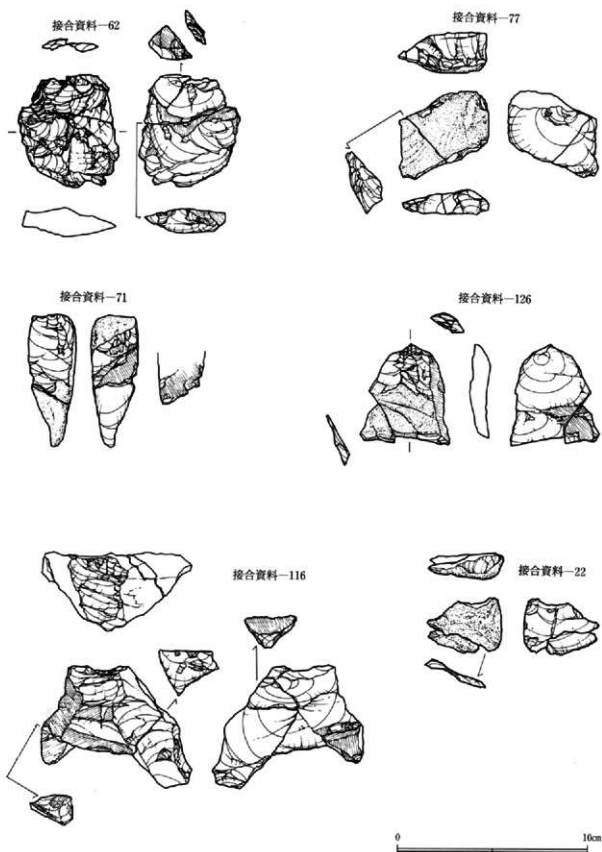
第68圖 接合資料-20・27・44・127



第69図 接合資料-28・61・70・115

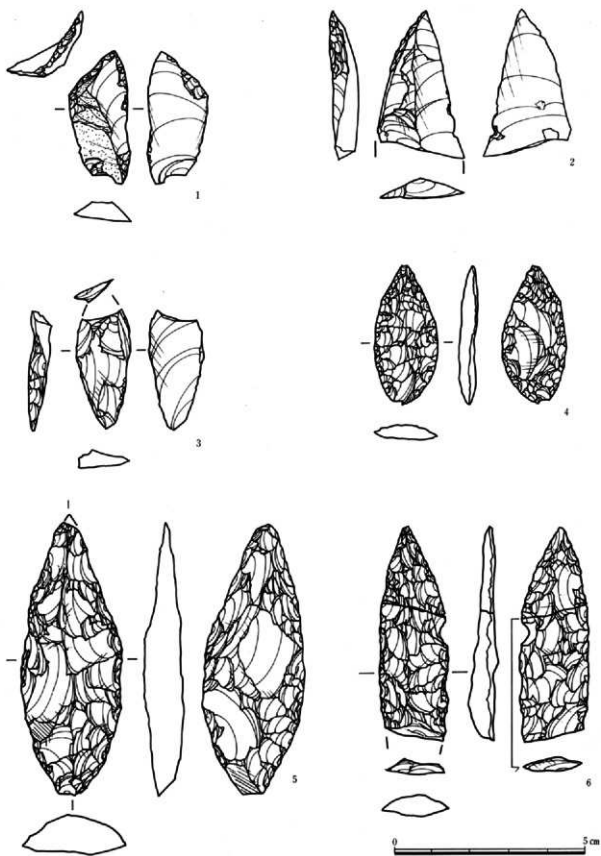


第70図 接合資料-19・21・87・155・156

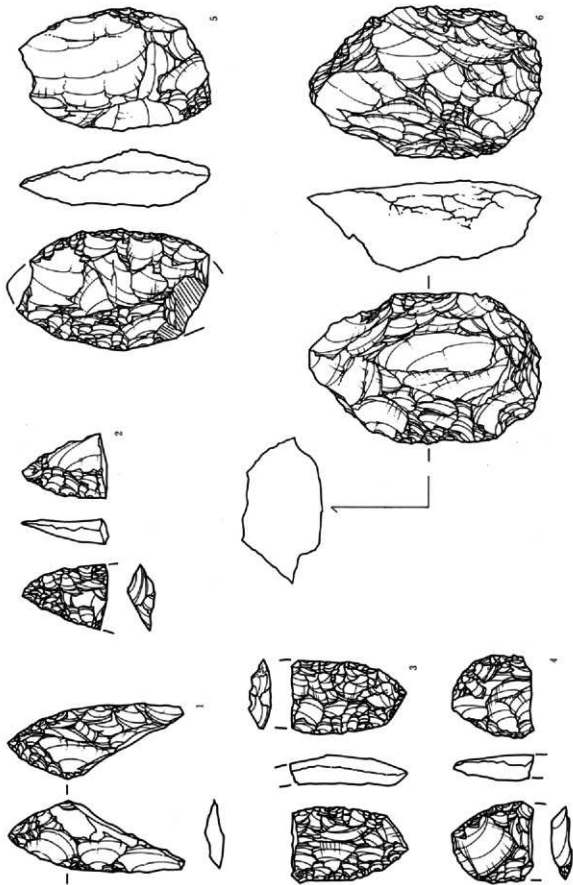


第71図 接合資料-22・62・71・77・116・126





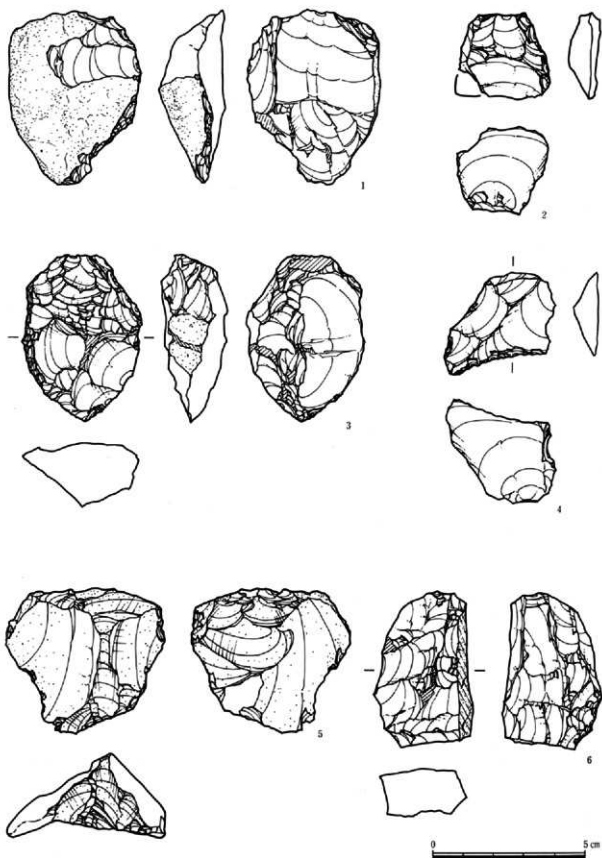
第72図 B地点出土の石器(1)



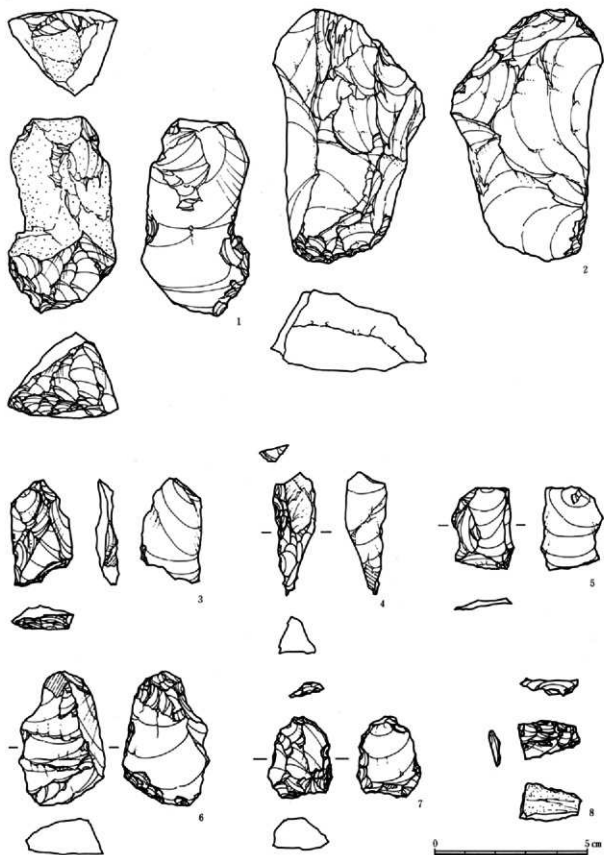
第73図 B地点出土の石器(2)



第74図 B地点出土の石器(3)



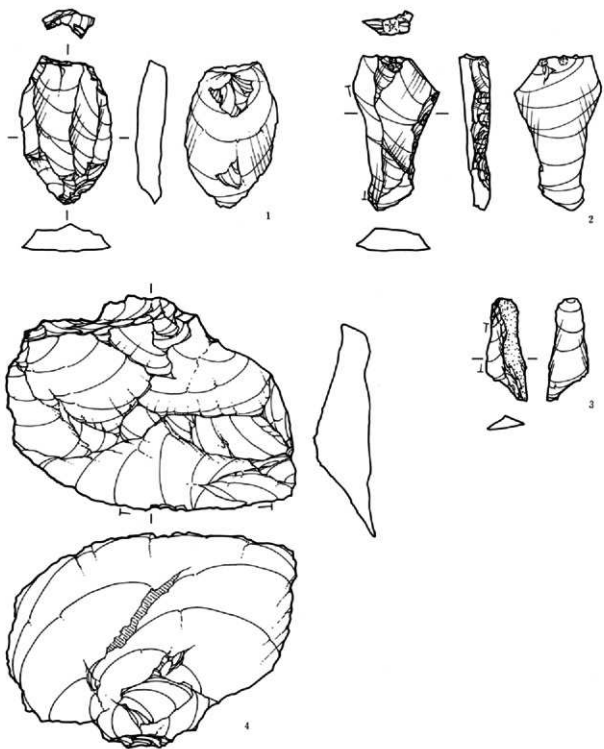
第75図 B地点出土の石器 (4)



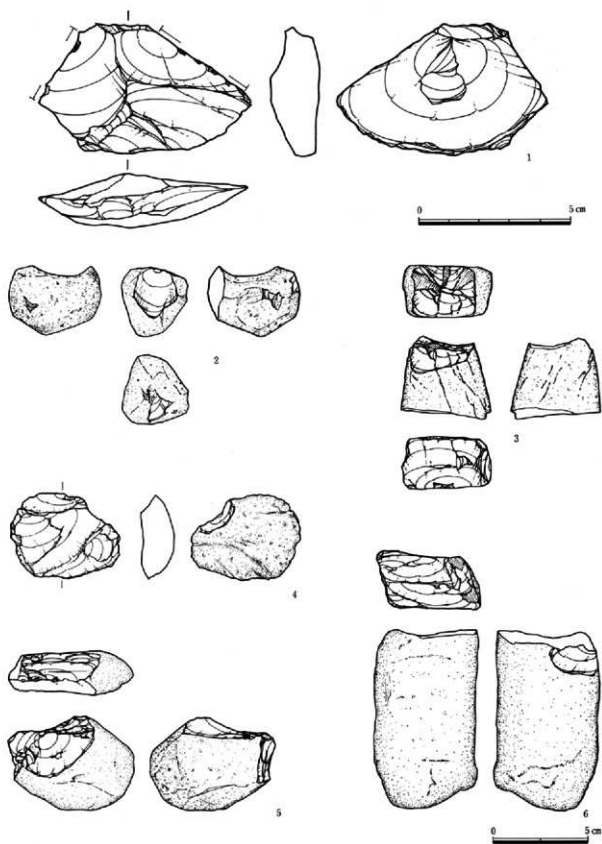
第76図 B地点出土の石器 (5)



第77図 B地点出土の石器(6)

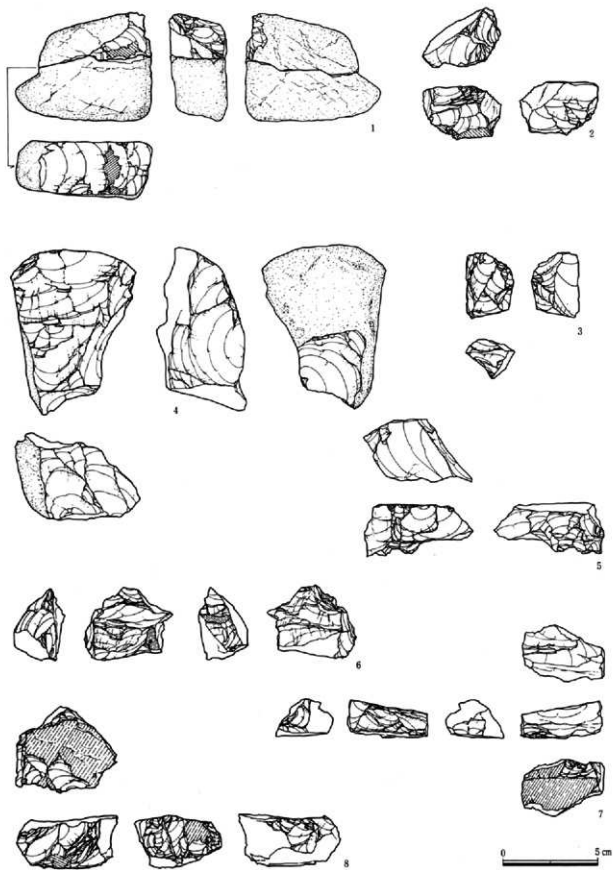


第78図 B地点出土の石器(7)



第79図 B地点出土の石器(8)

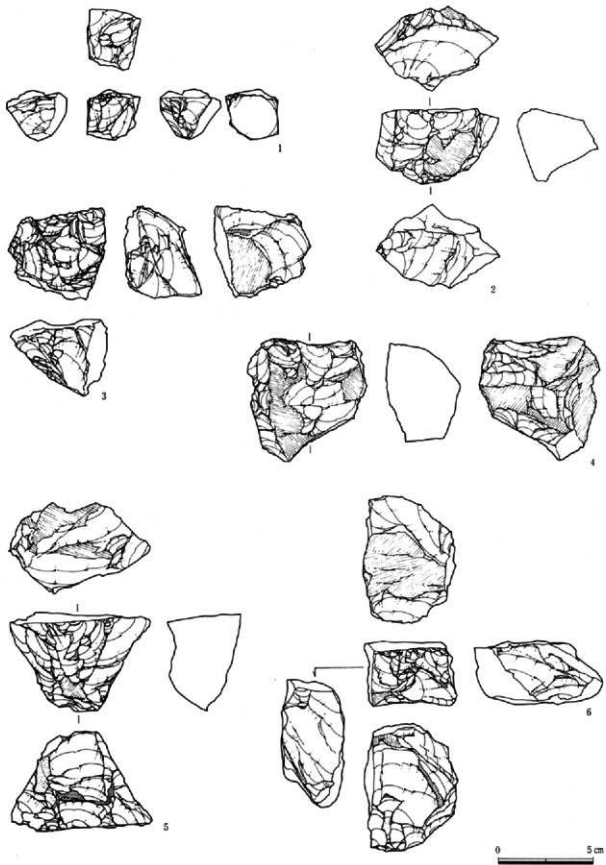




第80圖 B地点出土の石器(9)



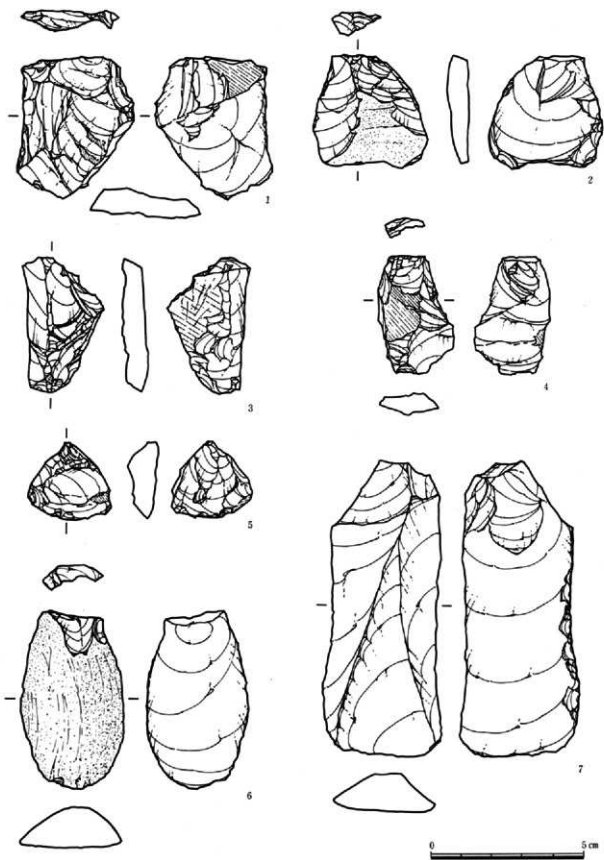
第81図 B地点出土の石器 (10)



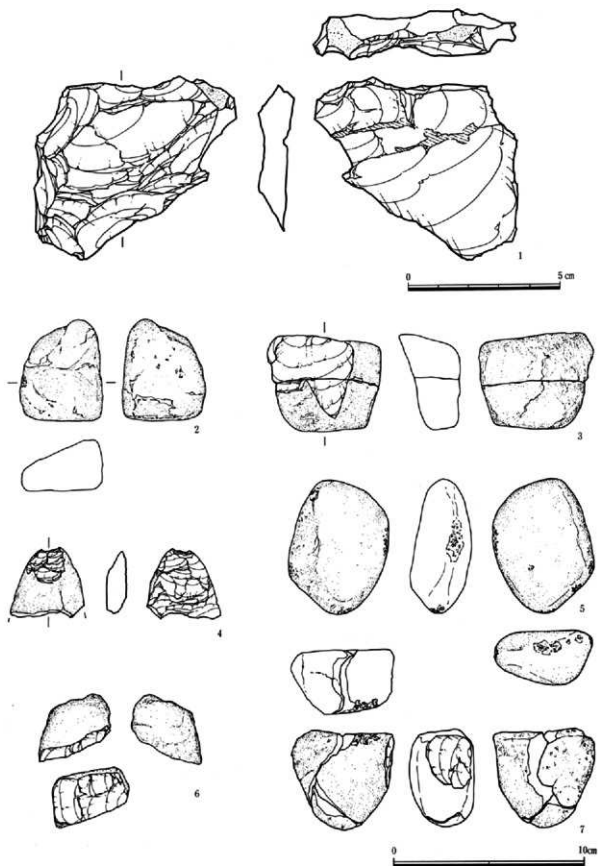
第82図 B地点出土の石器 (11)



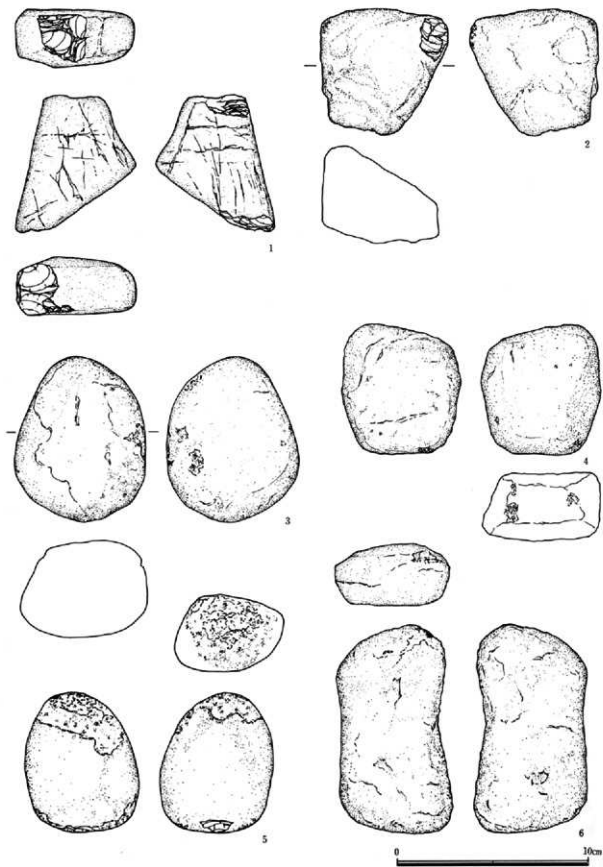
第83図 B地点出土の石器 (12)



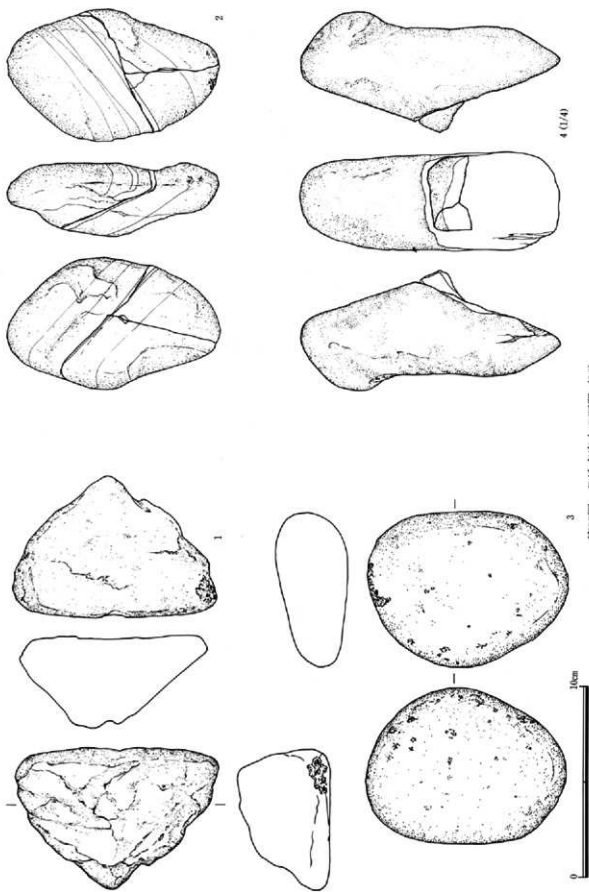
第84図 B地点出土の石器 (13)



第85図 B地点出土の石器 (14)

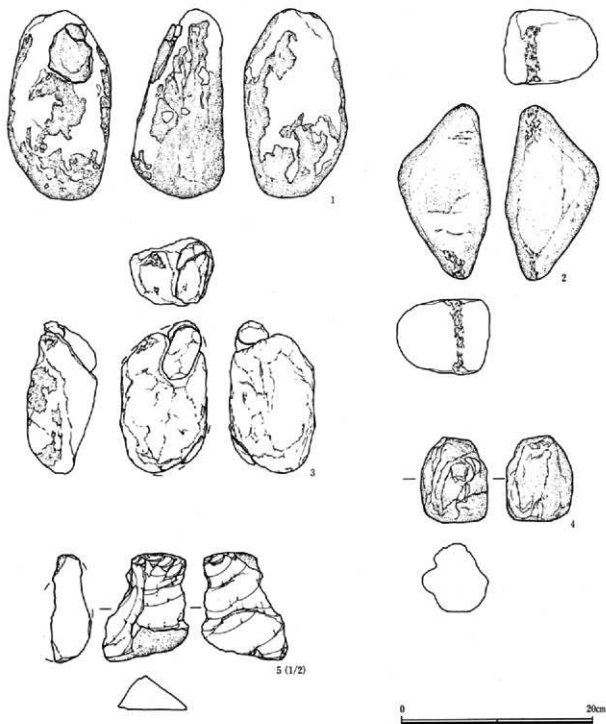


第86図 B地点出土の石器 (15)

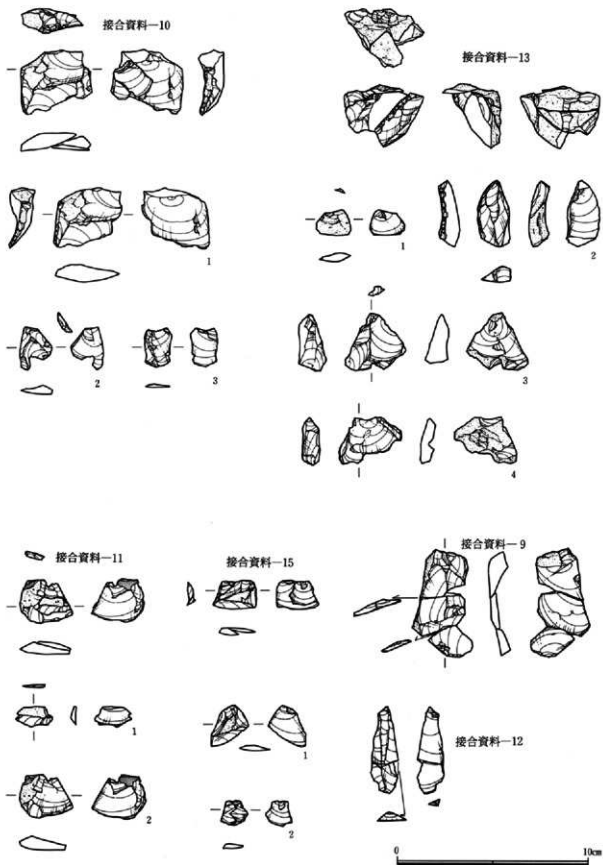


第87図 B地点出土の石器 (16)

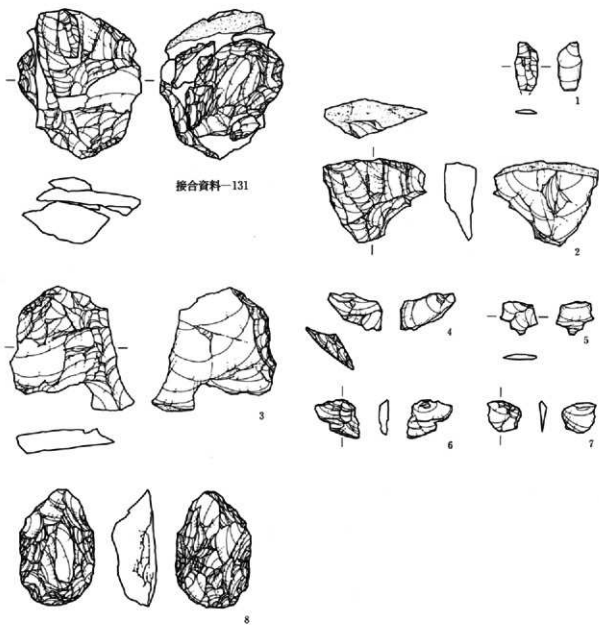




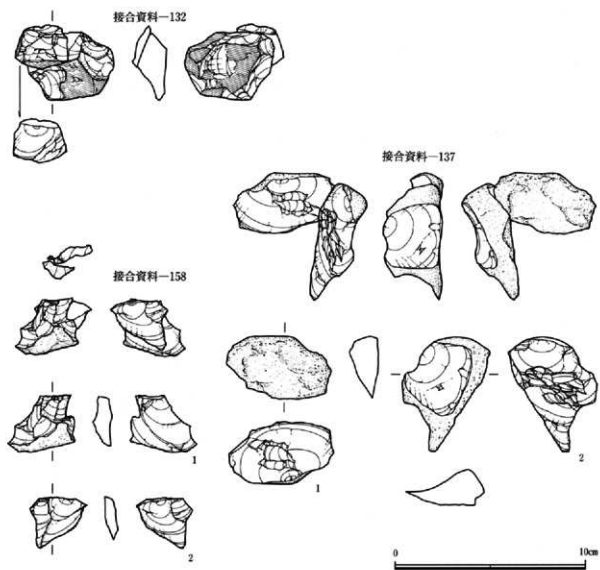
第88図 B地点出土の石器 (17)



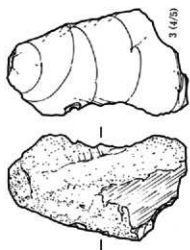
第89図 接合資料-9~13・15



第90圖 接合資料-14・131

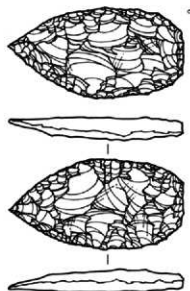


第91図 接合資料-132・137・158

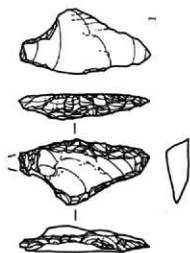


3 (4/5)

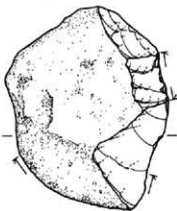
0 5 cm  
(1・2)



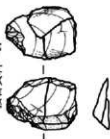
2



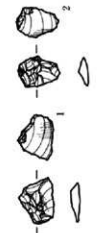
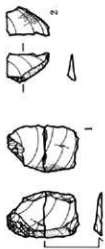
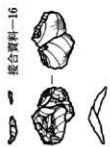
1



接合資料-17

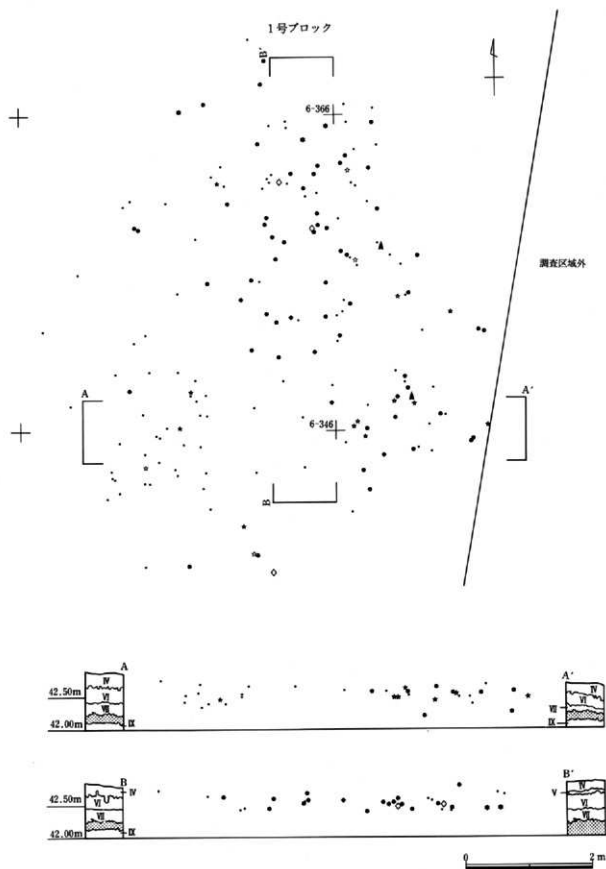


接合資料-16

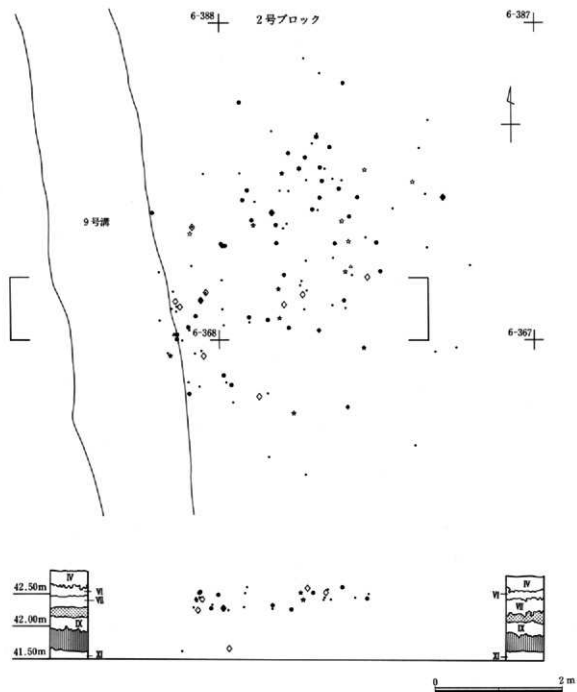


0 10cm

第92図 C地点出土の石器

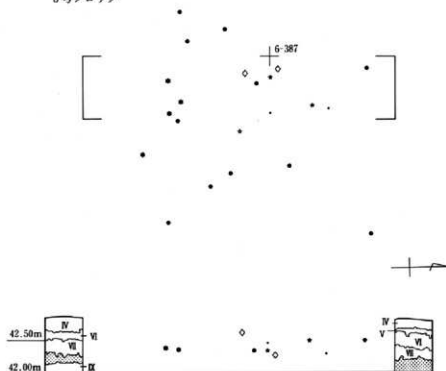


第93図 石器の分布 (1号ブロック)



第94図 石器の分布（2号ブロック）

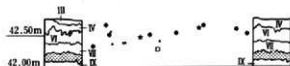
3号ブロック



4号ブロック



6-386



6号ブロック



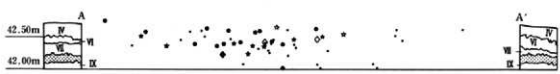
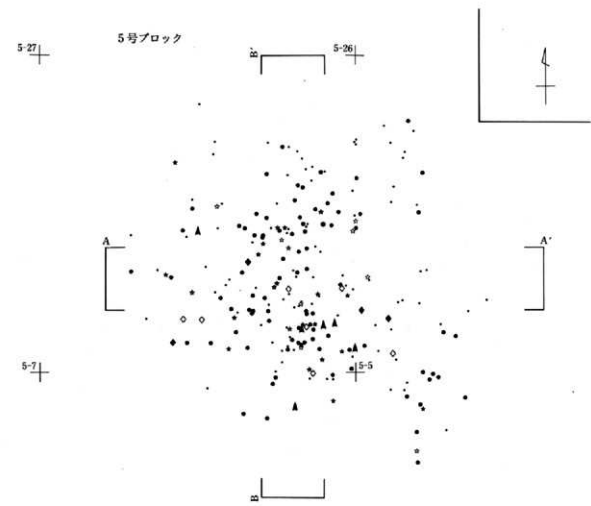
5-2



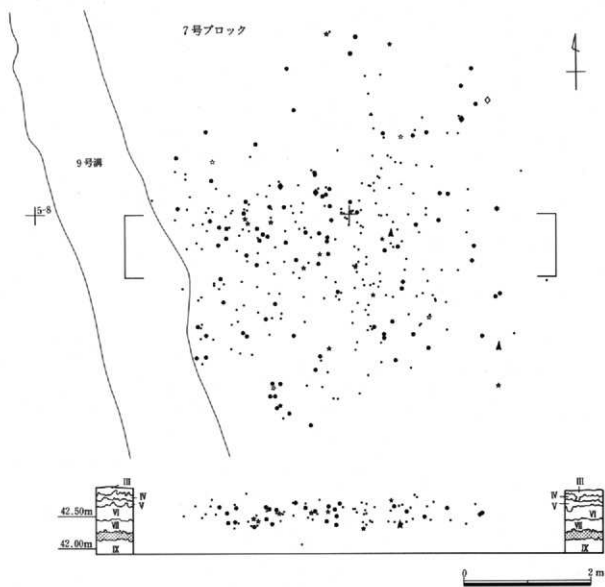
0 2 m

第95図 石器の分布 (3・4・6号ブロック)

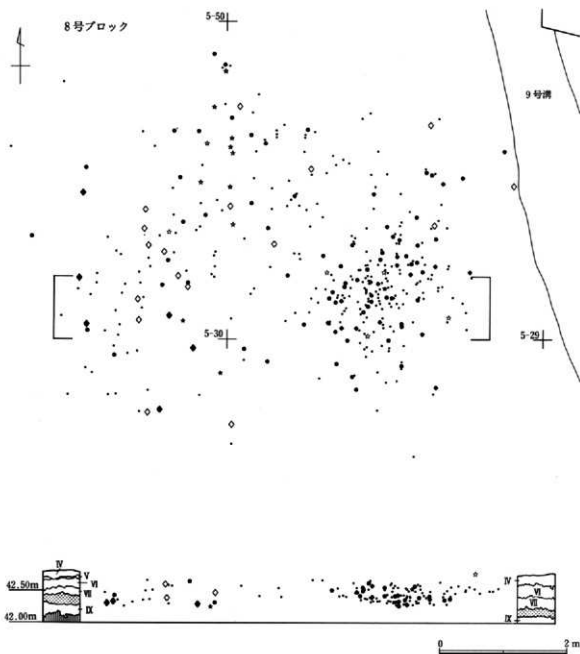




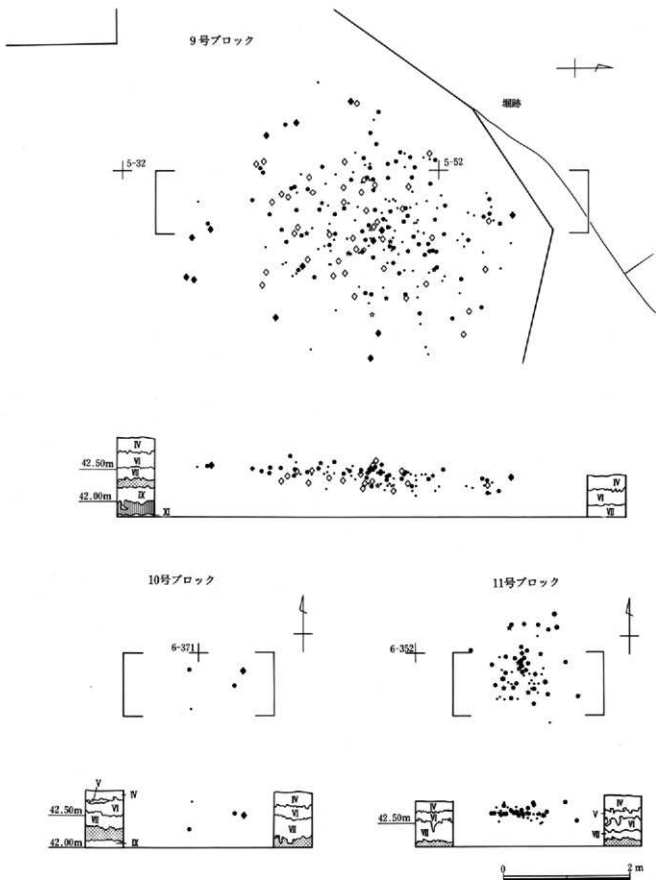
第96図 石器の分布 (5号ブロック)



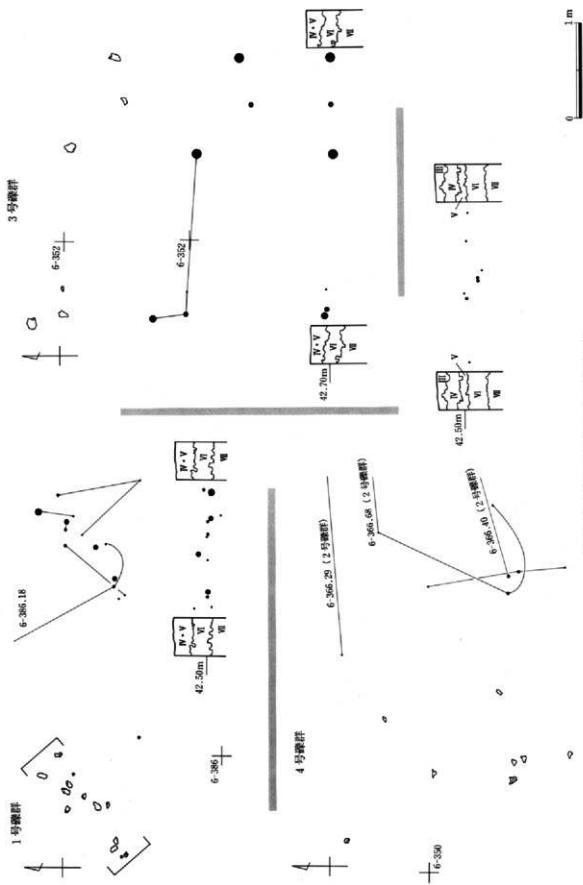
第97図 石器の分布（7号ブロック）



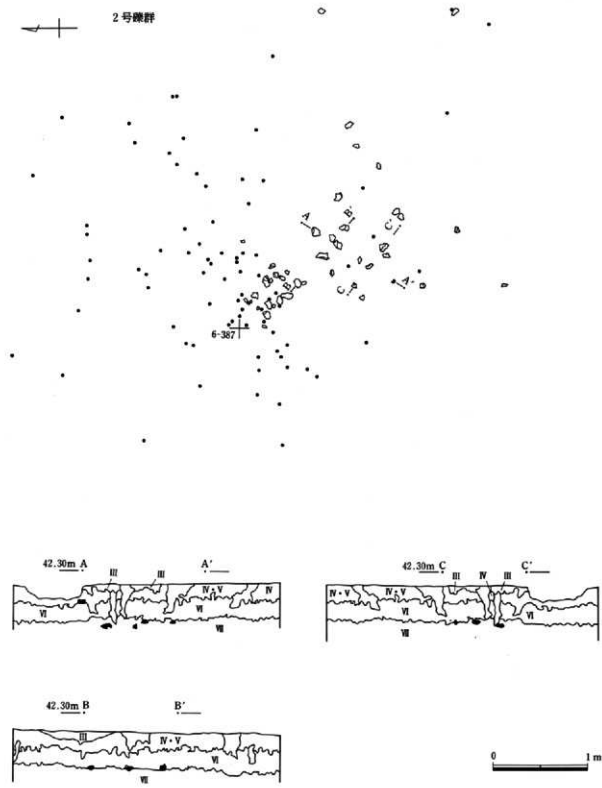
第98図 石器の分布（8号ブロック）



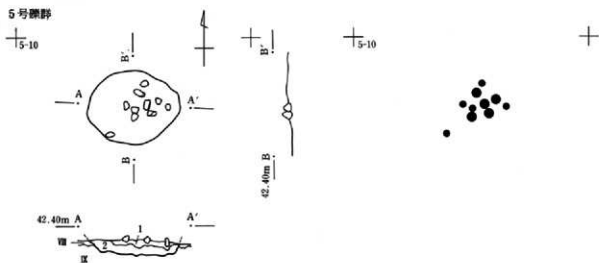
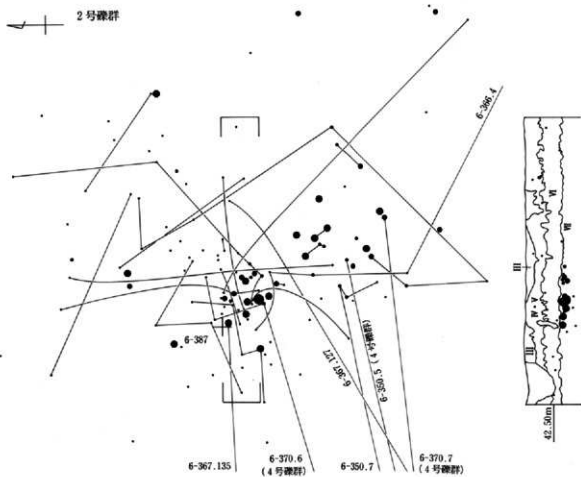
第99図 石器の分布 (9～11号ブロック)



第100図 群の分布 (1・3・4号群)



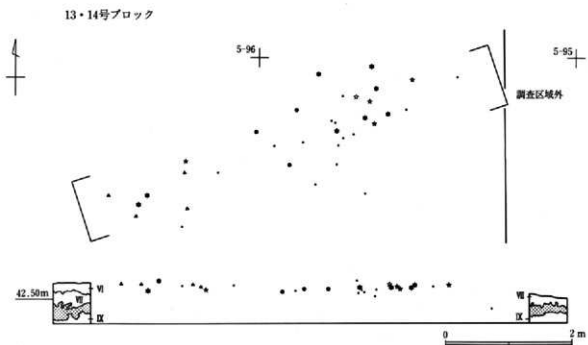
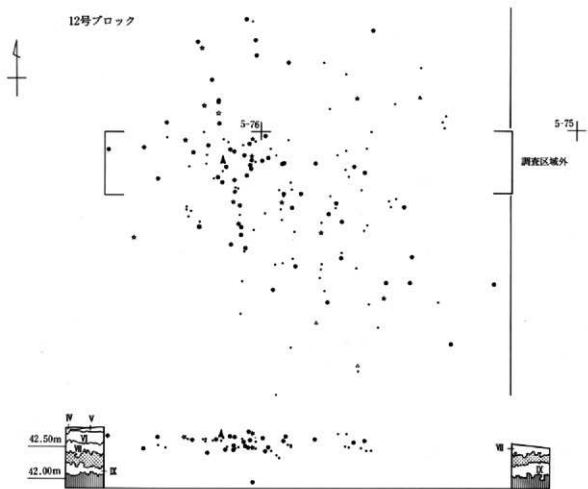
第101図 裸の分布 (2号裸群)



1. 黄褐色ローム VII層に類似。還元気味で、やや脱色している。
2. 黄褐色ローム(VII層)と暗褐色ローム(VIII層)の混土層。

0 1 m

第102図 礫の分布 (2・5号群)

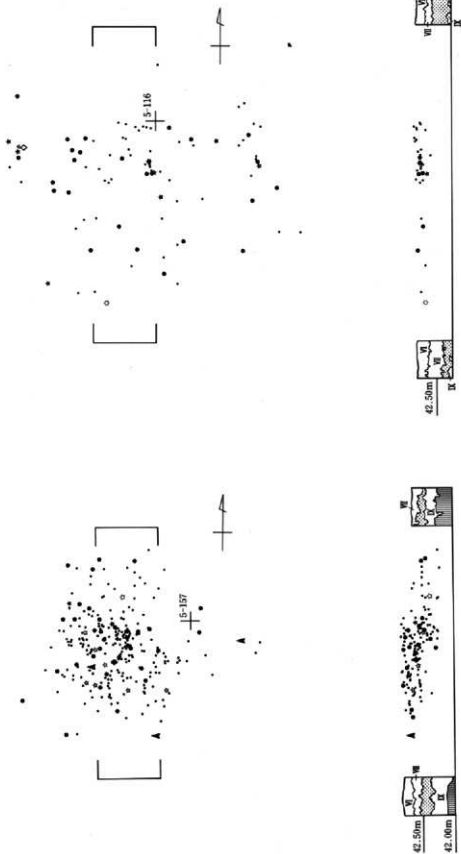


第103図 石器の分布 (12～14号ブロック)

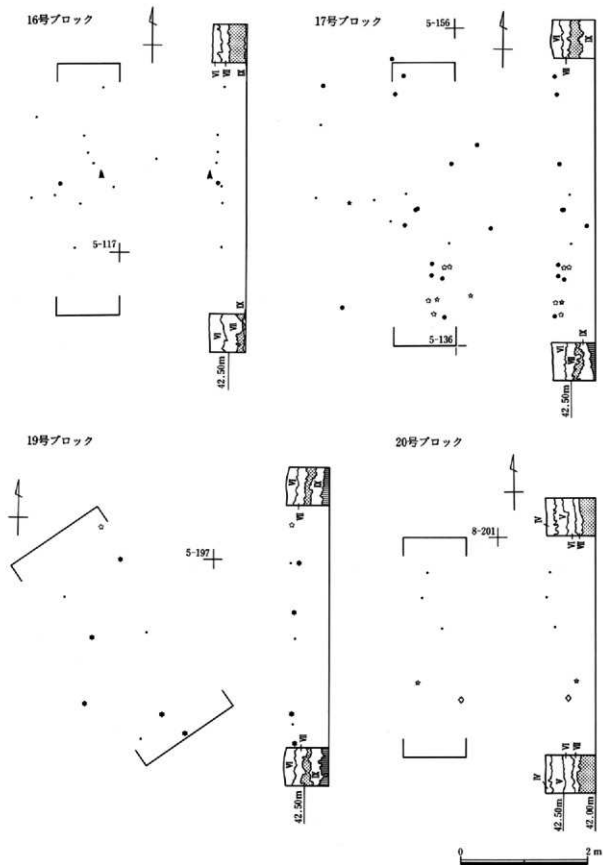


18号ブロック

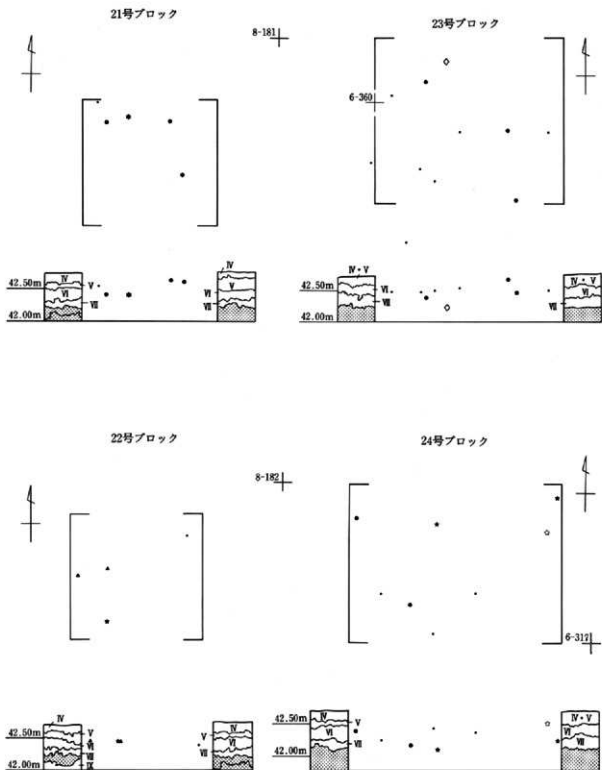
15号ブロック



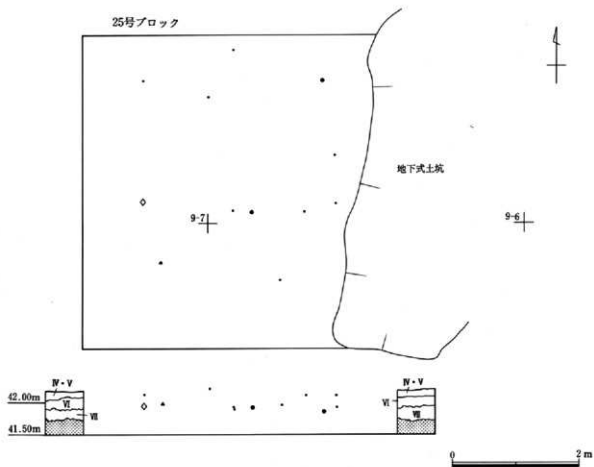
第104図 石器の分布 (15・18号ブロック)



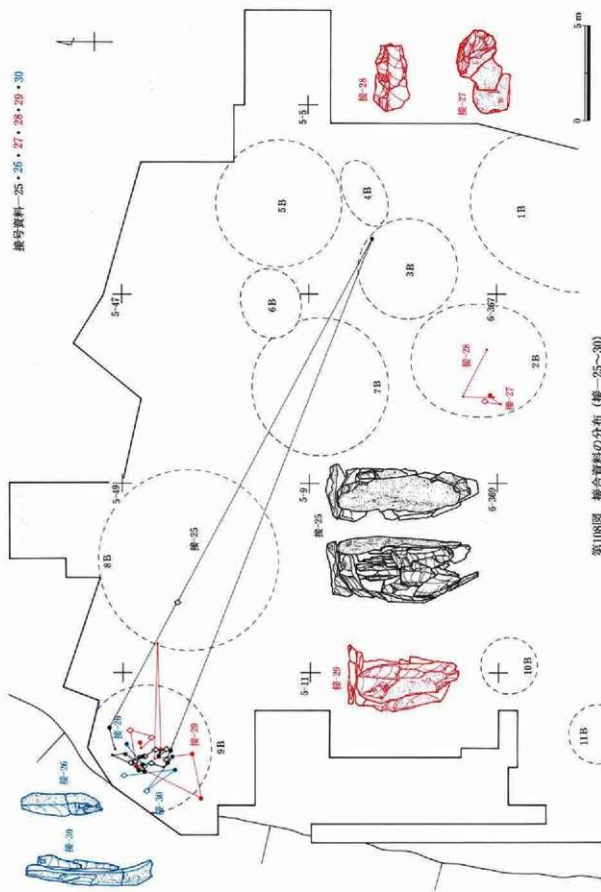
第105図 石器の分布 (16・17・19・20号ブロック)



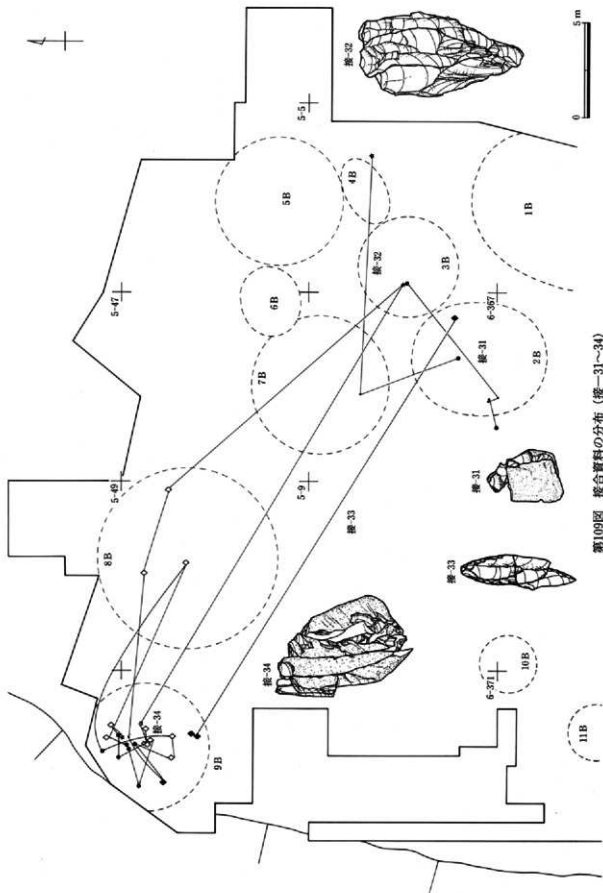
第106図 石器の分布 (21~24号ブロック)



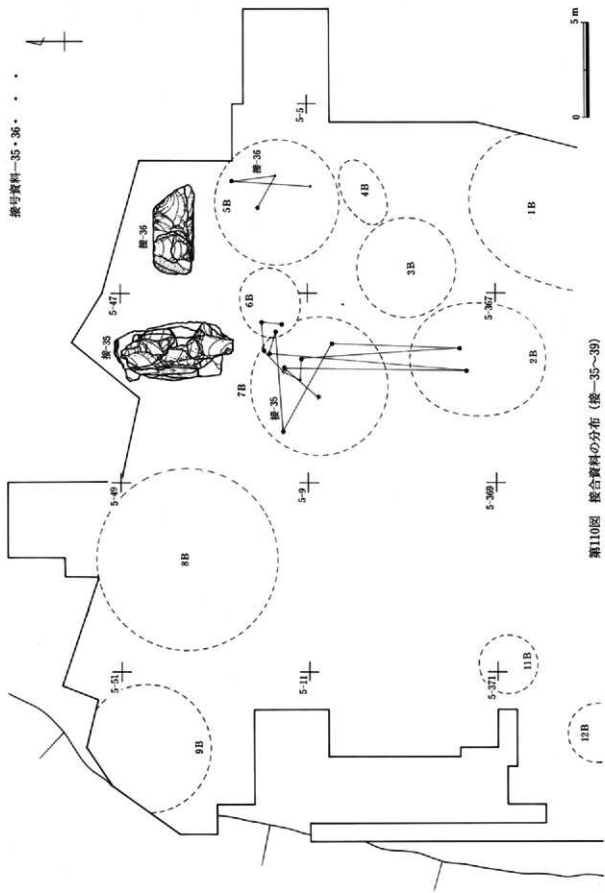
第107図 石器の分布 (25号ブロック)



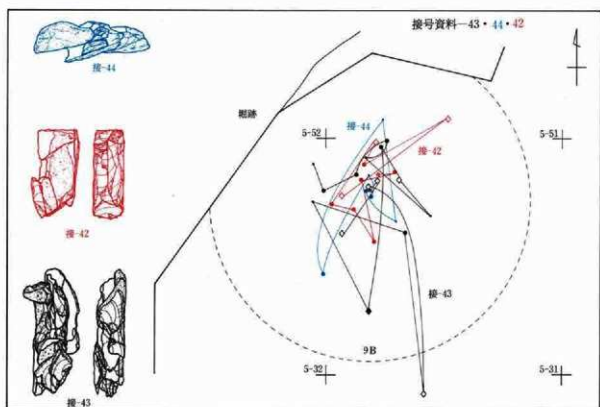
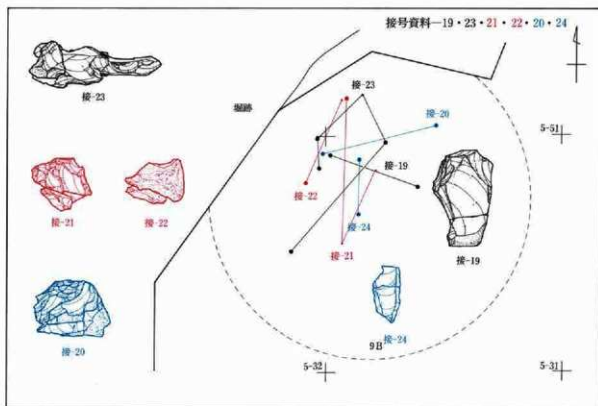
第108図 接合資料の分布 (接—25～30)



第109図 総合資料の分布 (掘-31~34)



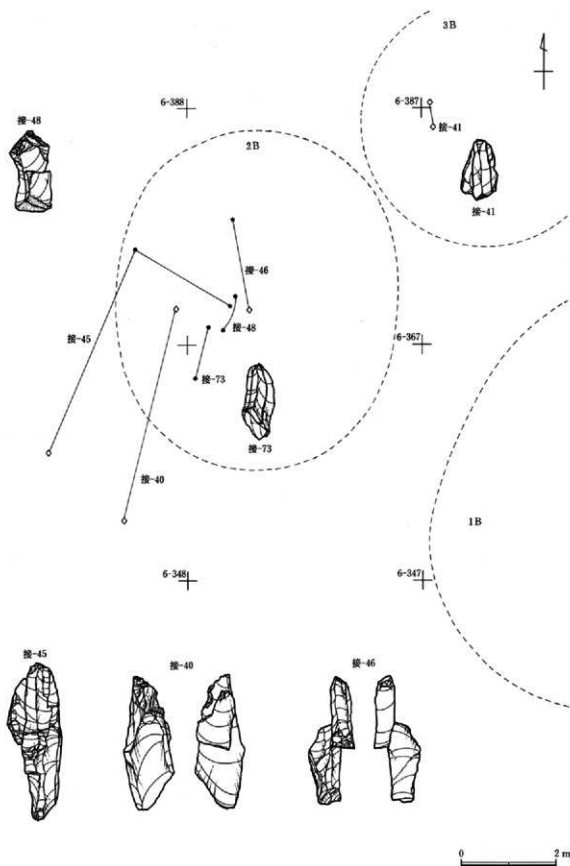
第110図 接合資料の分布 (接—35～39)



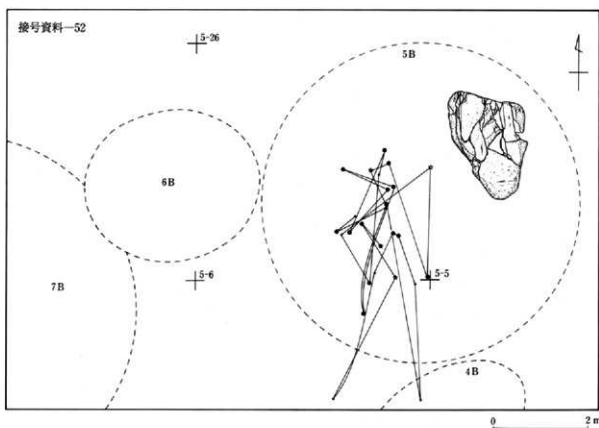
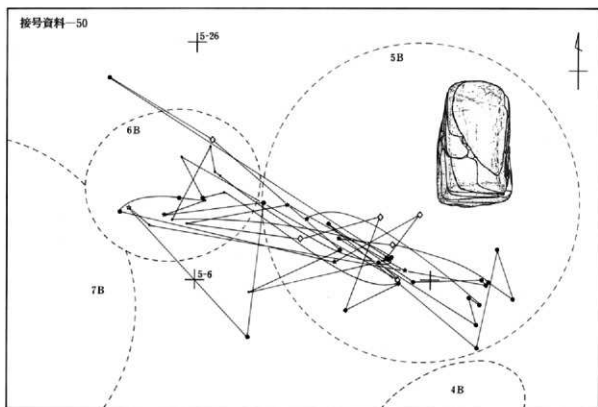
第111図 接合資料の分布 (接—19～24・42～44)

0 2 m

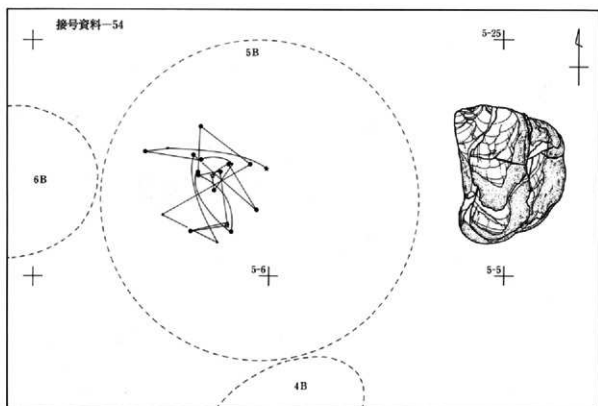
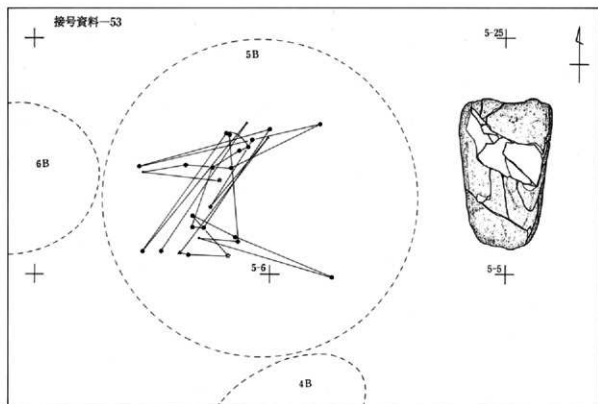




第112図 接合資料の分布 (接-40・41・45・46・48・73)

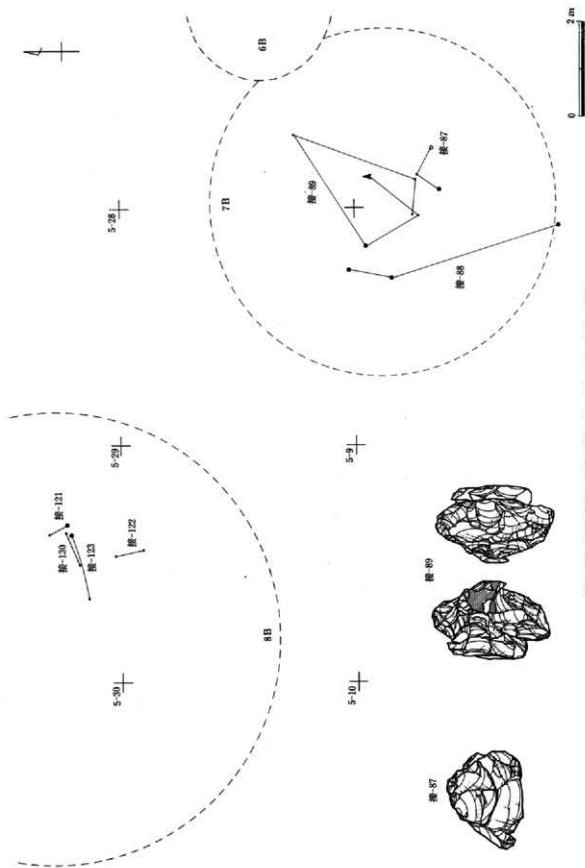


第113図 接合資料の分布 (接-50・52)

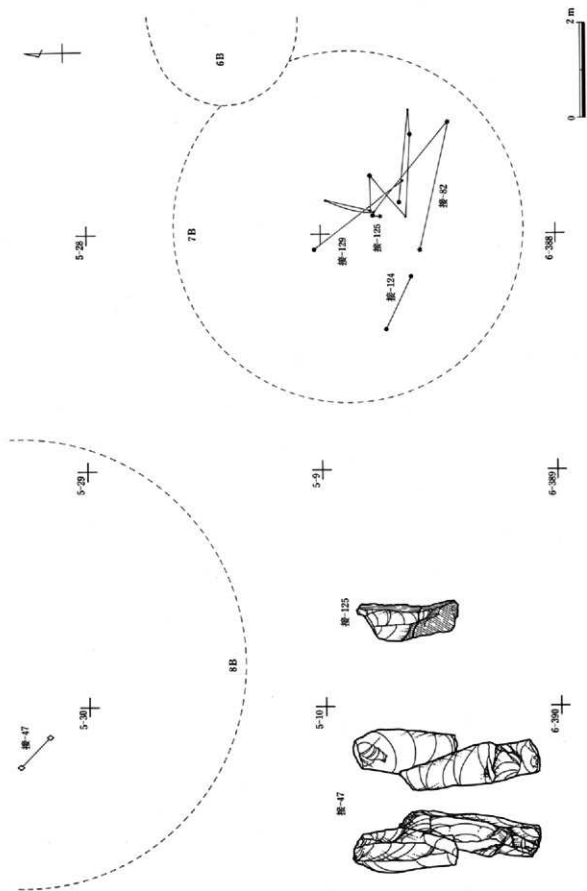


0 2m

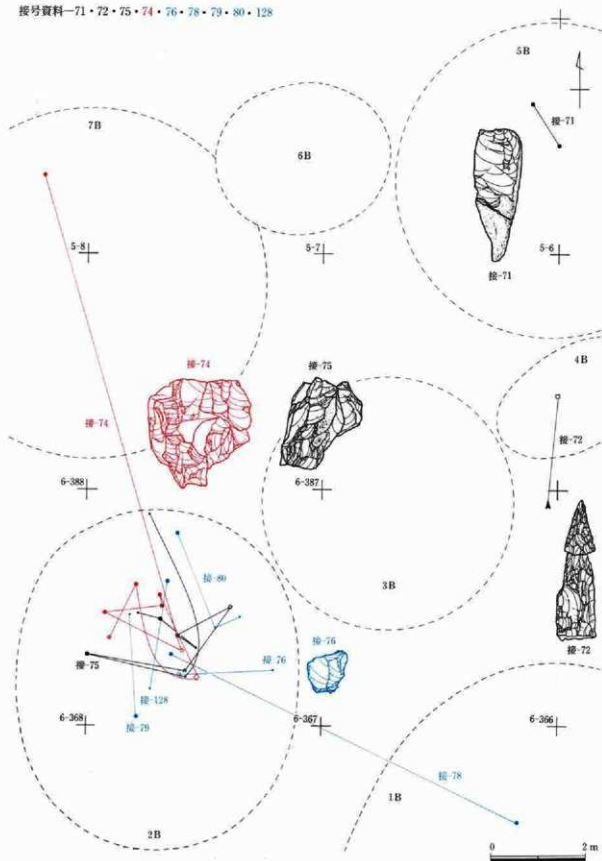
第114図 接号資料の分布 (接-53・54)



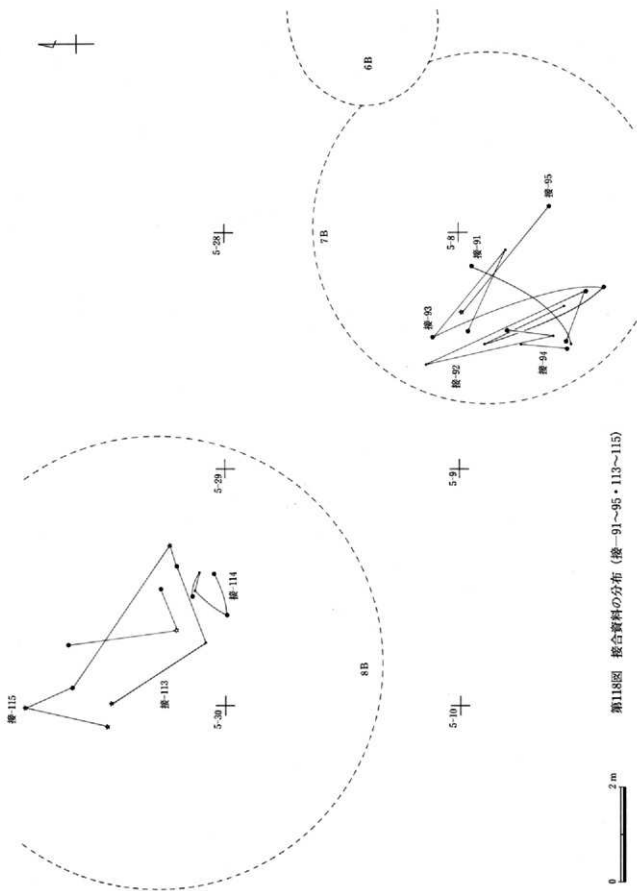
第115図 接合資料の分布 (接-87~89・121~123・130)



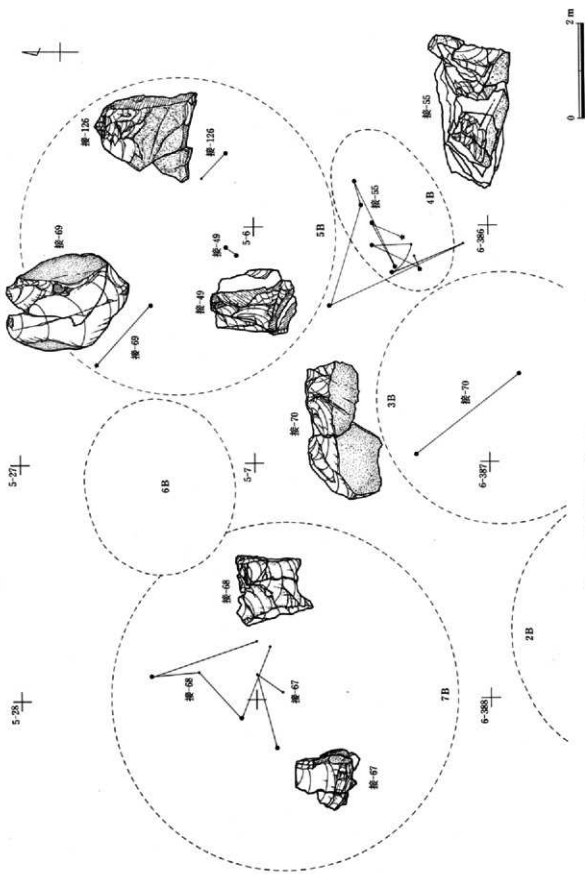
第116図 接合資料の分布 (標-47・82・124・125・129)



第117図 接合資料の分布 (接-71・72・74~76・78~80・128)

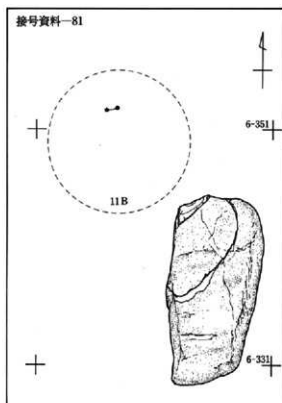
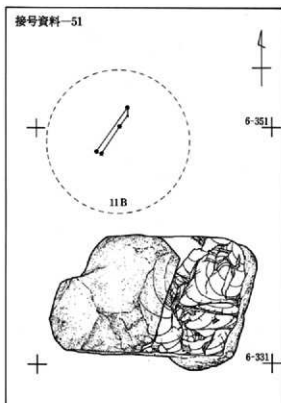
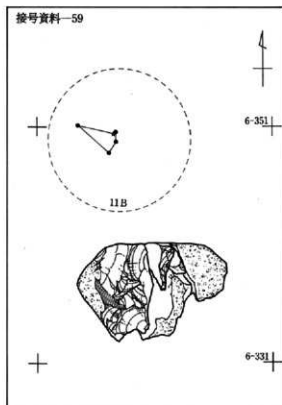
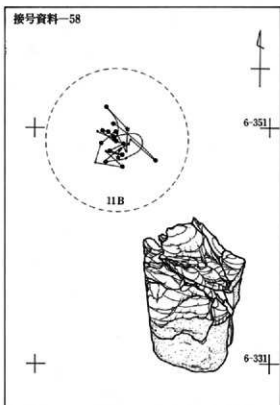


第118図 接合資料の分布 (接-91~95・113~115)



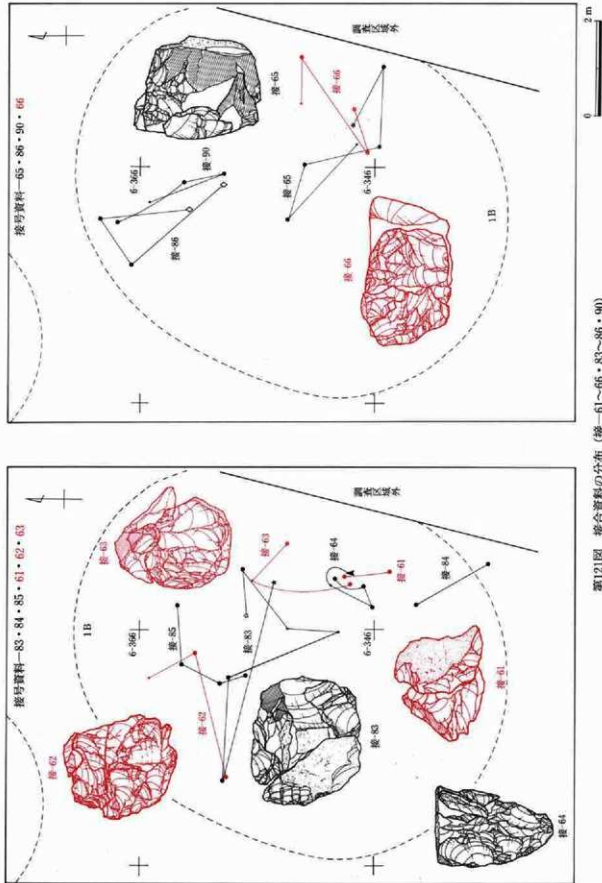
第119図 接合資料の分布 (標-49・55・67・70・126)



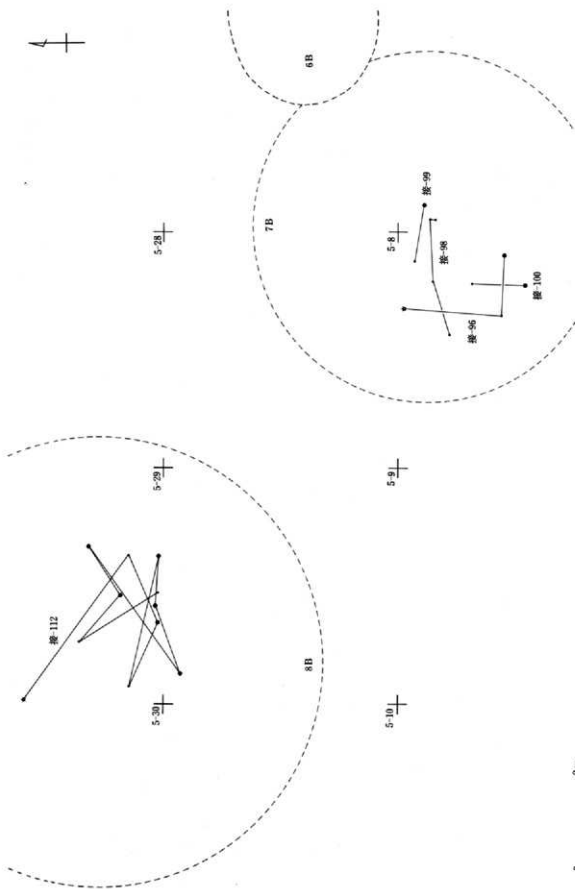


第120図 接合資料の分布 (接-51・58・59・81)

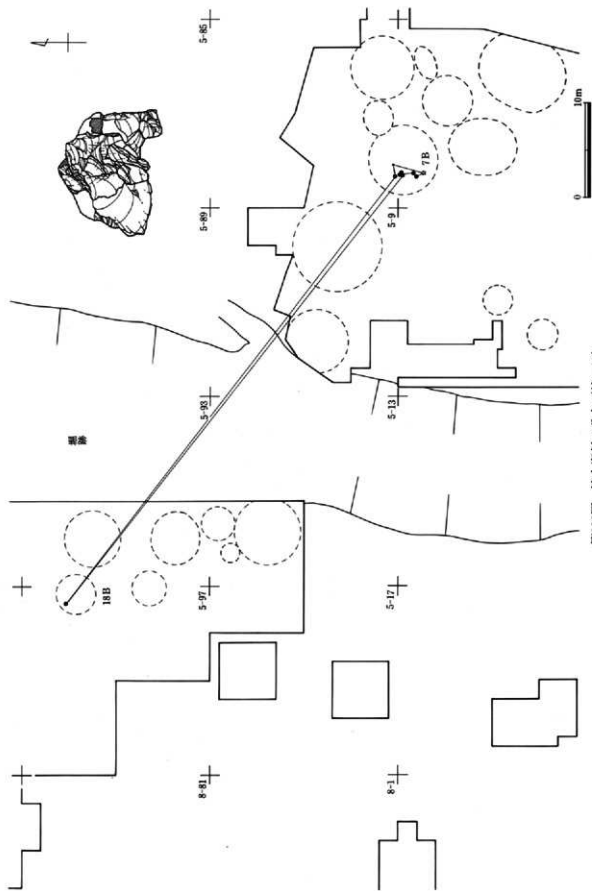
0 2 m



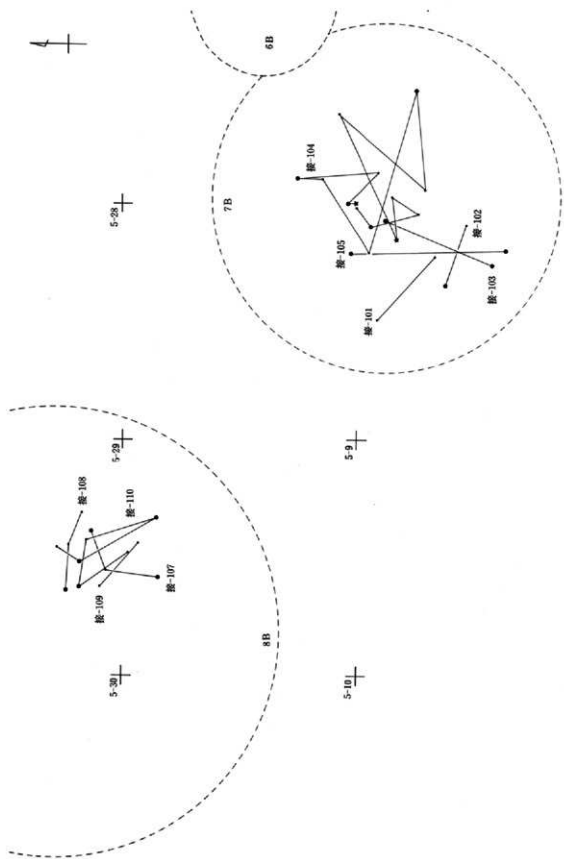
第121図 接合資料の分布 (接-61~66・83~86・90)



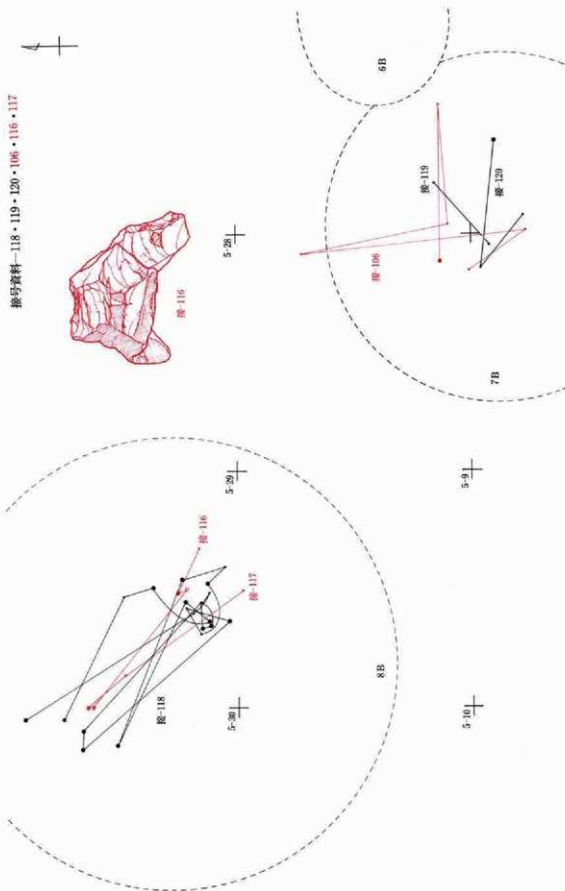
第122図 接合資料の分布 (接-96・98~100・112)



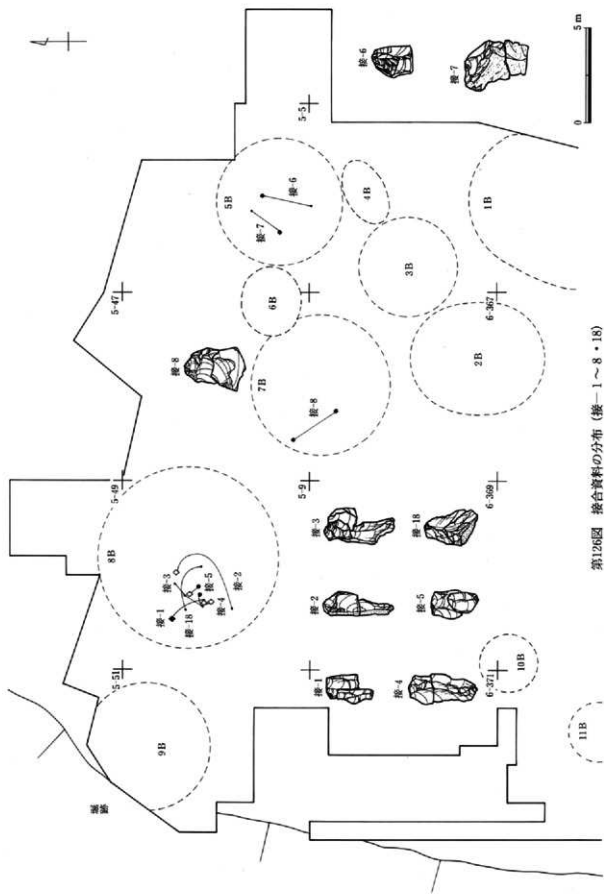
第123図 総合資料の分布 (接-97)



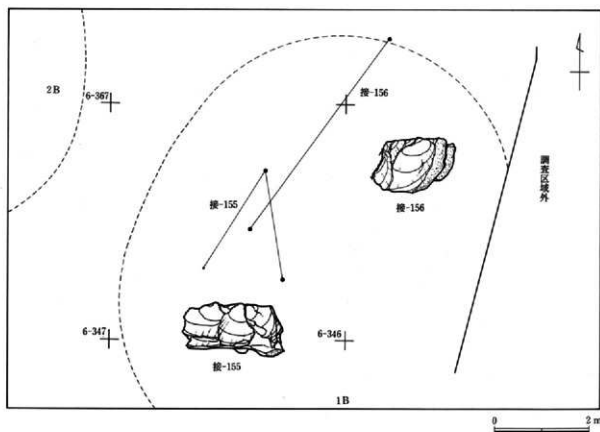
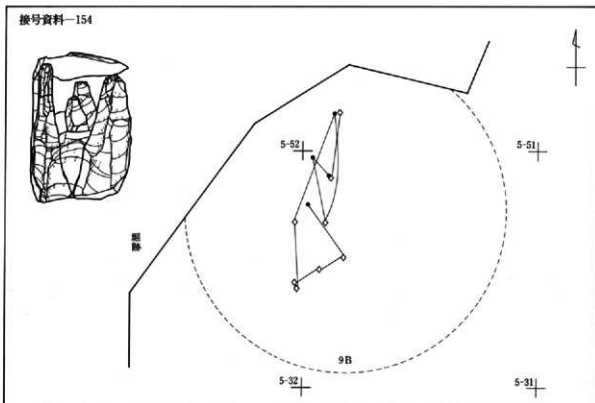
第124図 接合資料の分布 (標-101~105・107~110)



第125図 検合資料の分布 (検-106・116～120)

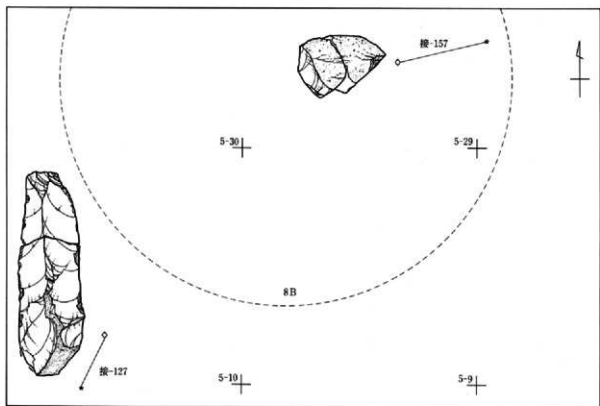
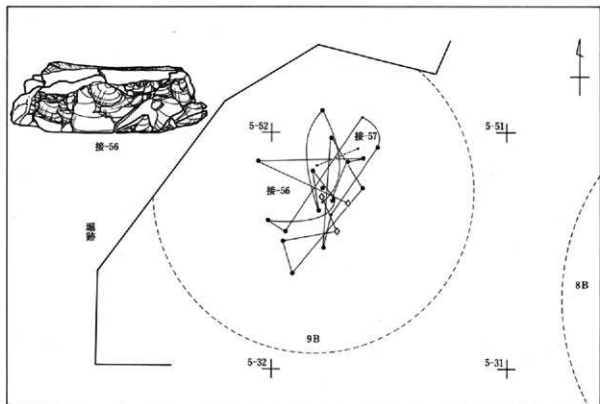


第126図 接合資料の分布 (接-1 ~ 8・18)



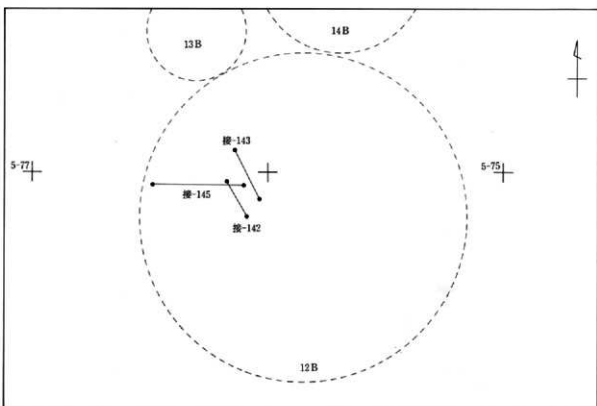
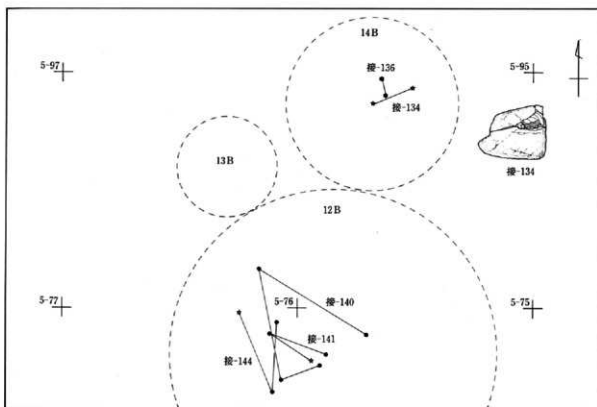
第127図 接合資料の分布 (接—154～156)





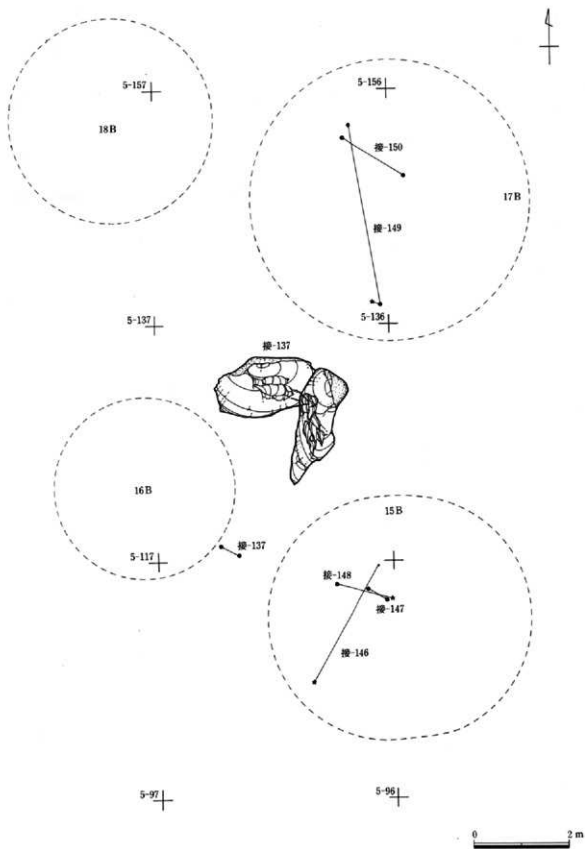
0 2m

第128図 接合資料の分布 (接-56・57・127・157)

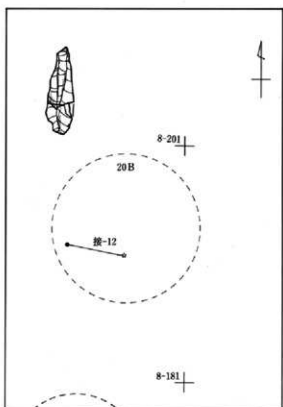
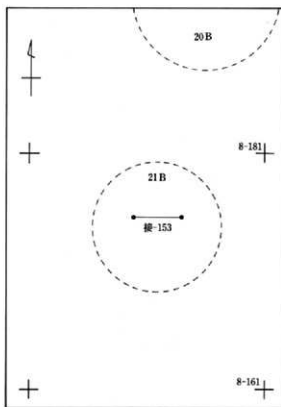
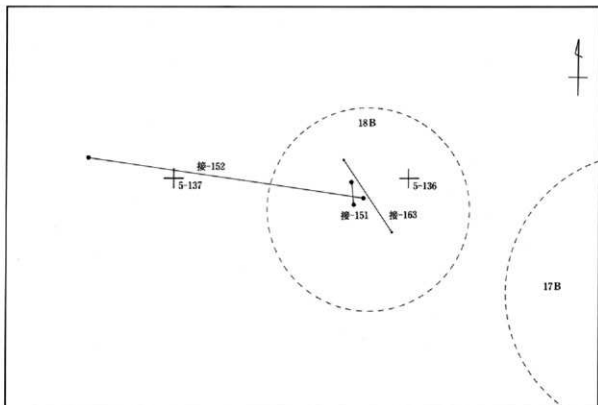


第129図 接合資料の分布 (接-134・136・140~145)

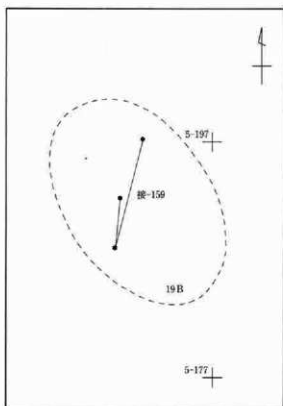
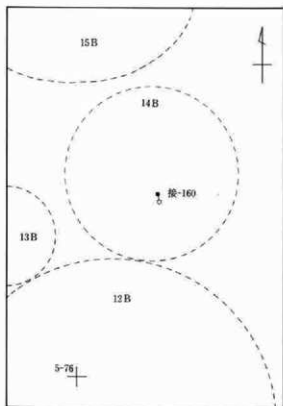
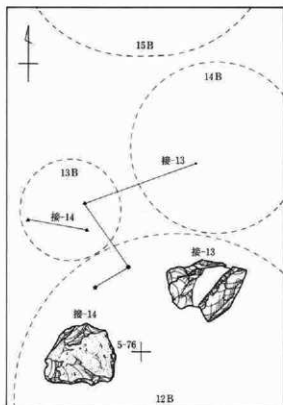
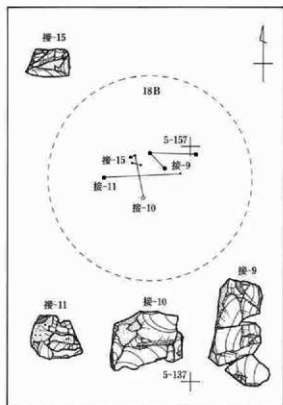
0 2 m



第130図 接台資料の分布 (接-137・146~150)

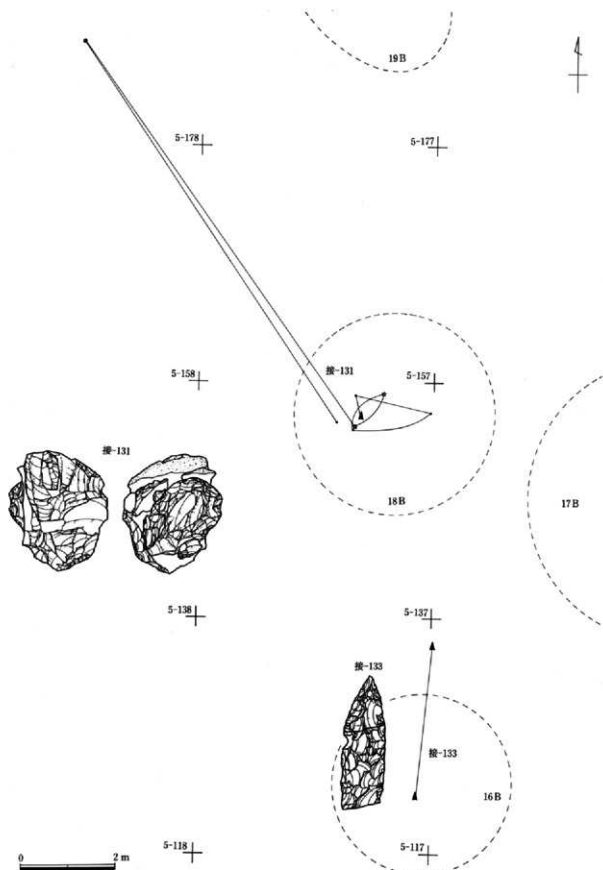


第131図 接合資料の分布 (接-12・151～153・163)

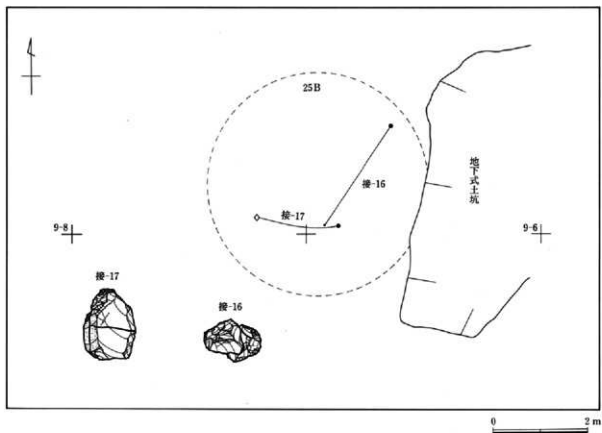


第132図 接合資料の分布 (接-9~11・13~15・159・160)

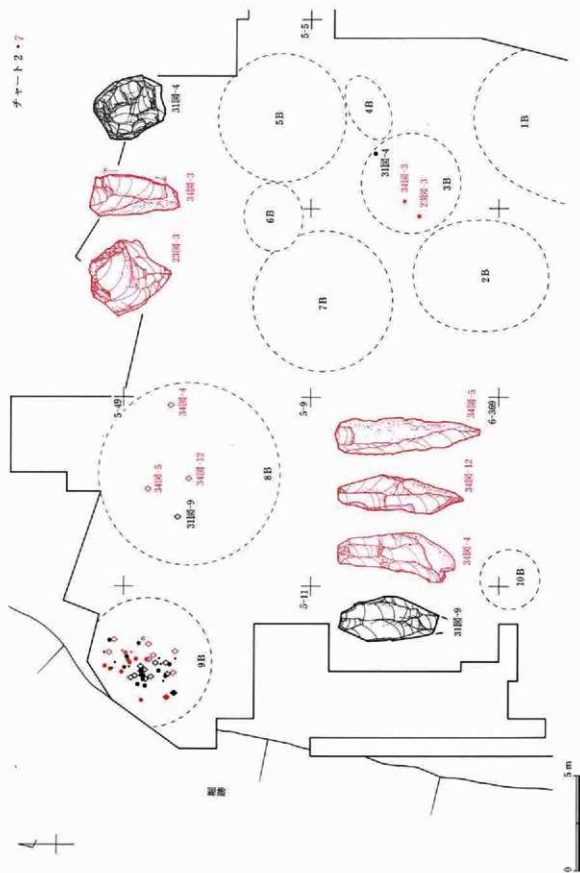
0 2 m



第133図 接合資料の分布 (接-131・133)

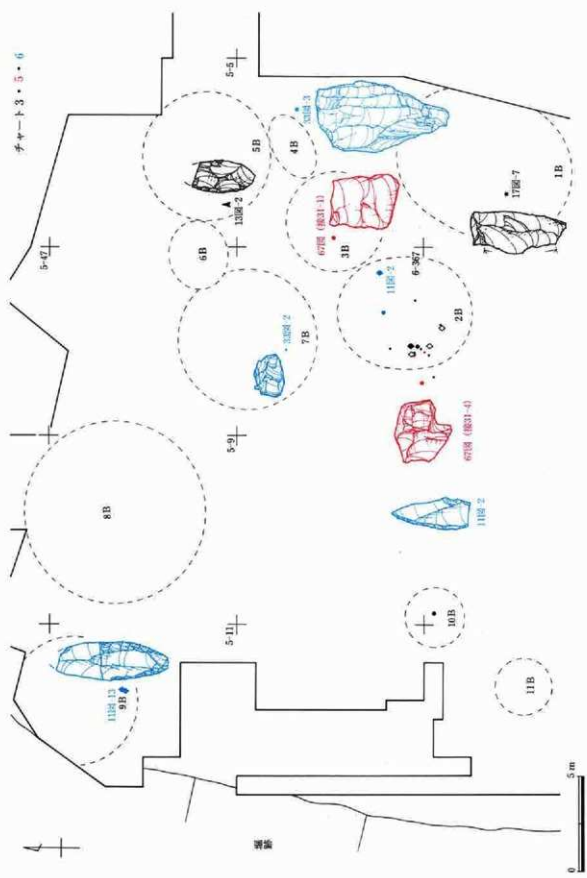


第134図 接合資料の分布（接-16・17）

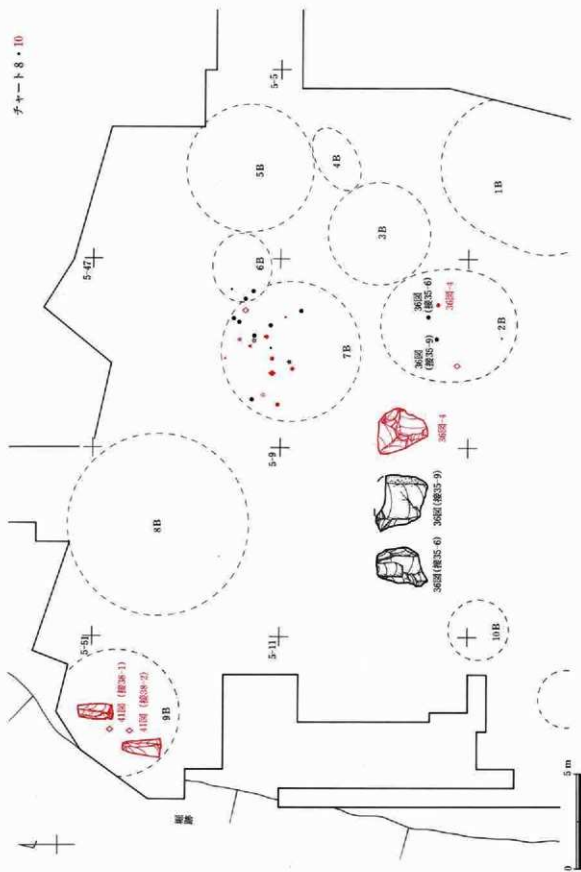


第135図 母岩別資料の分布 (チャート2・7)

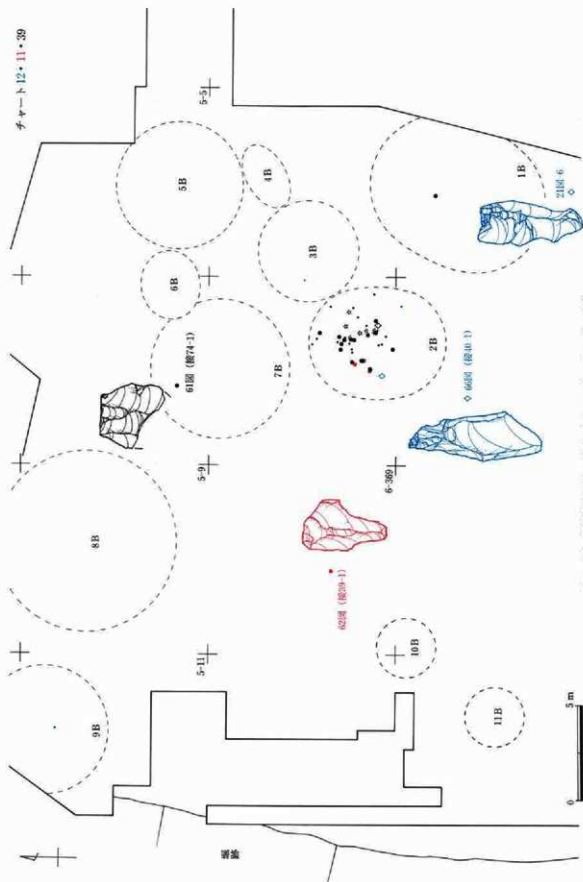




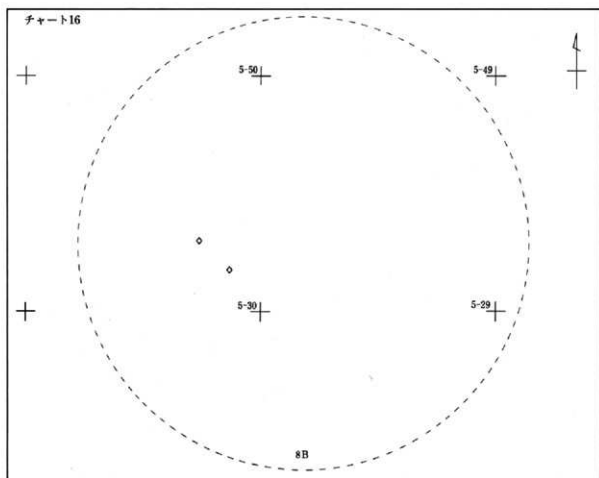
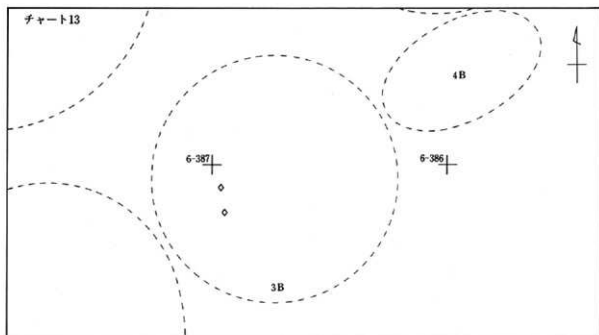
第136図 母岩別資料の分布 (チャート3・5・6)



第137図 母岩別資料の分布 (チャート 8・10)

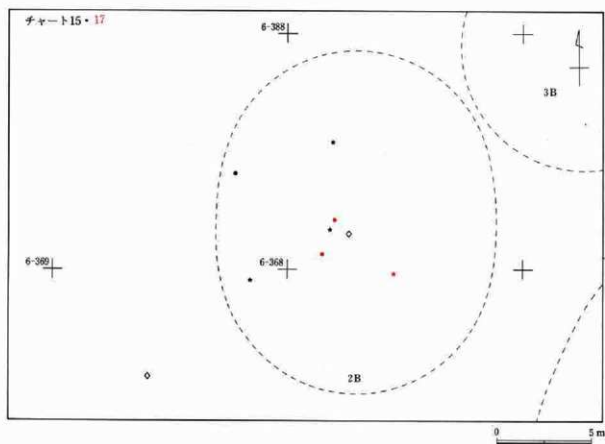
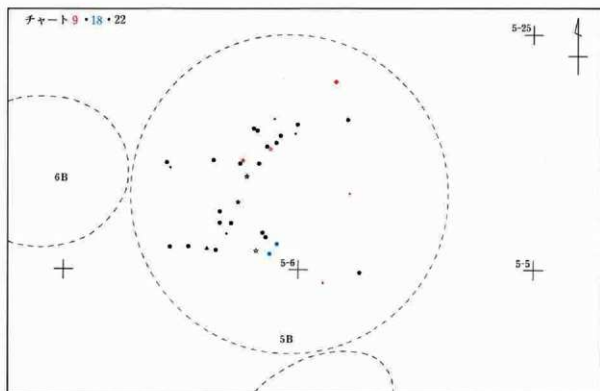


第138図 母岩別資料の分布 (チャート11・12・39)

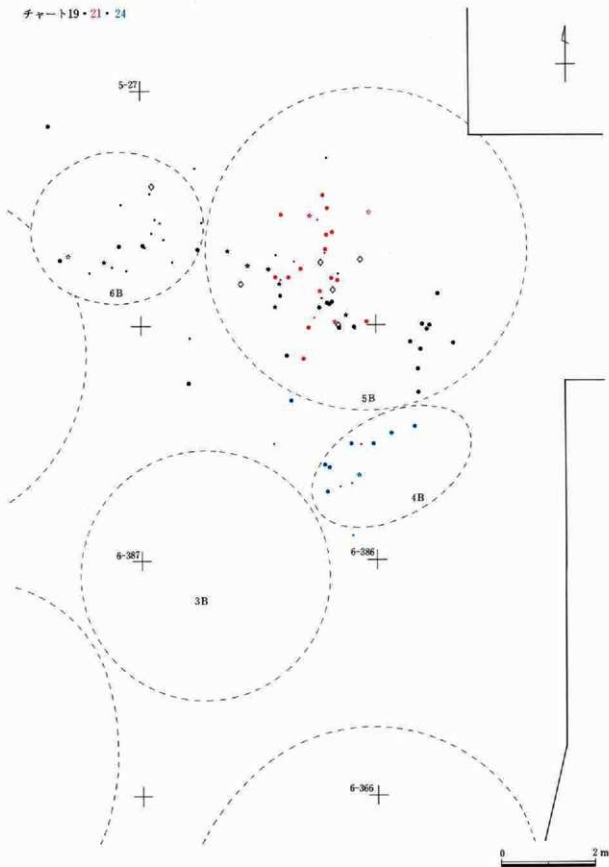


0 2 m

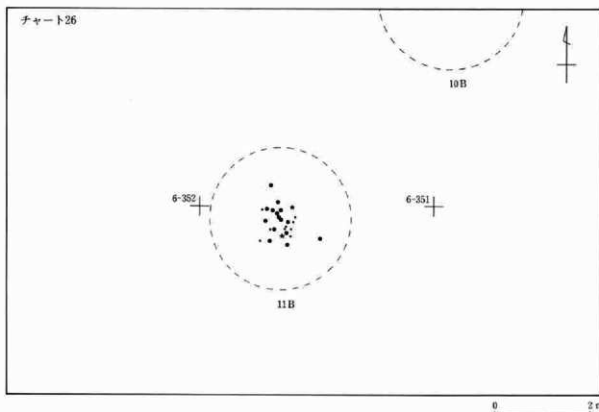
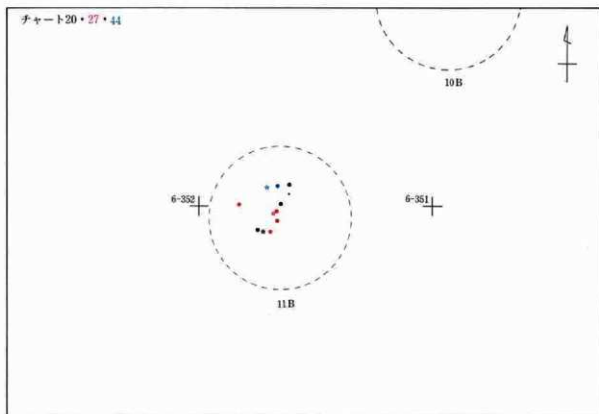
第139図 母岩別資料の分布 (チャート-13・16)



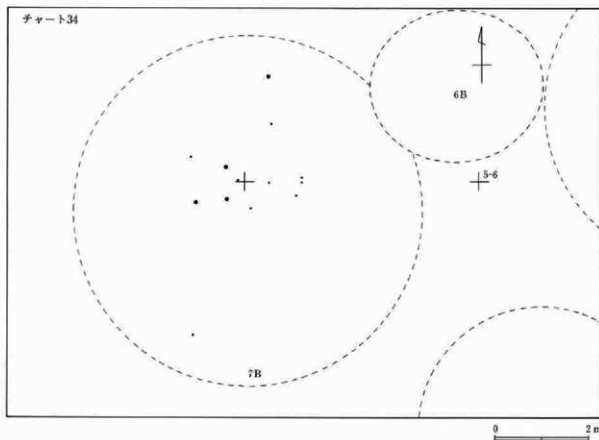
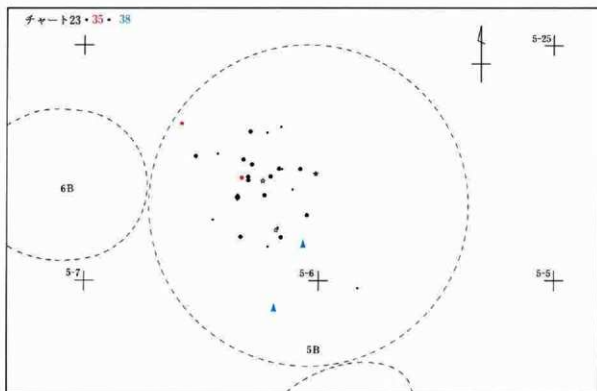
第140図 母岩別資料の分布 (チャート-9・15・17・18・22)



第141図 母岩別資料の分布 (チャート19・21・24)



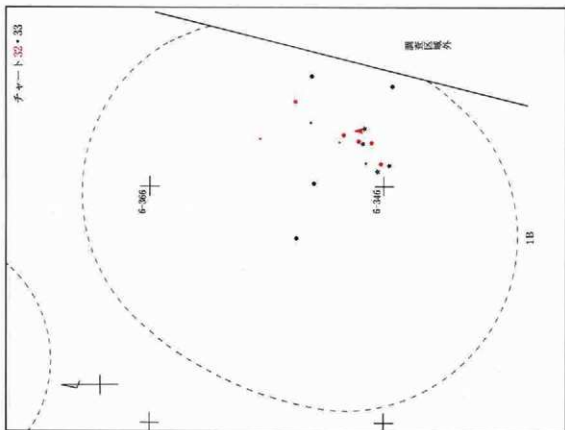
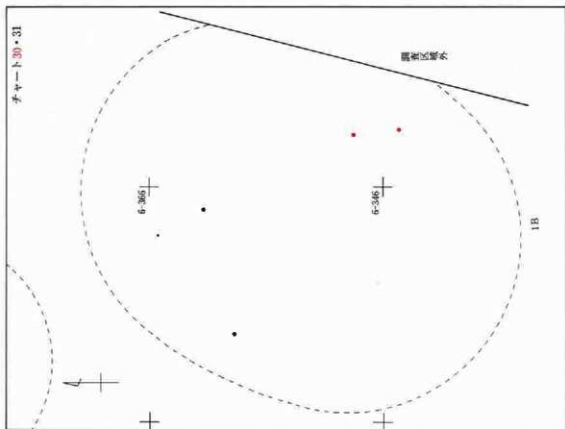
第142図 母岩別資料の分布 (チャート20・26・27・44)



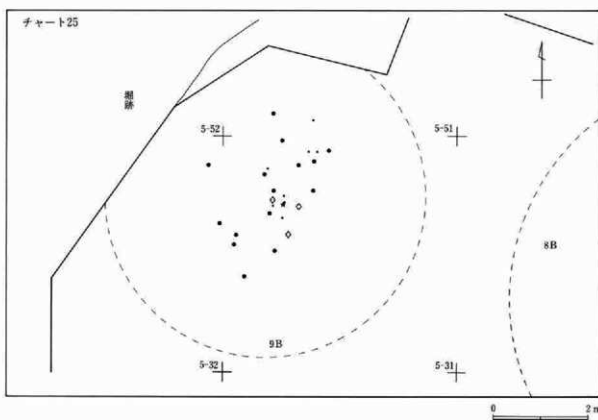
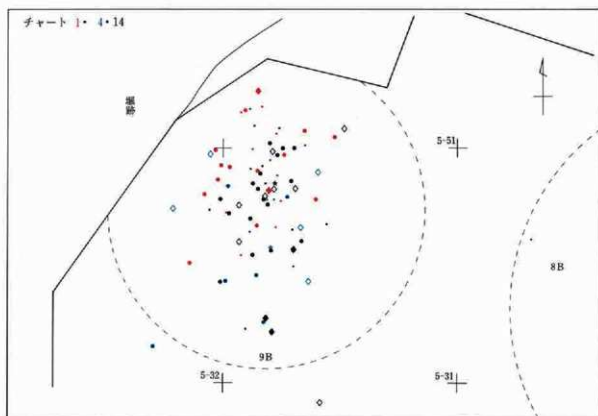
0 2 m

第143図 母岩別資料の分布 (チャート-23・34・35・38)

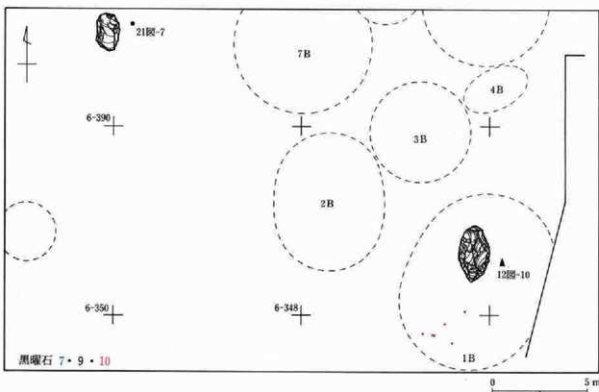
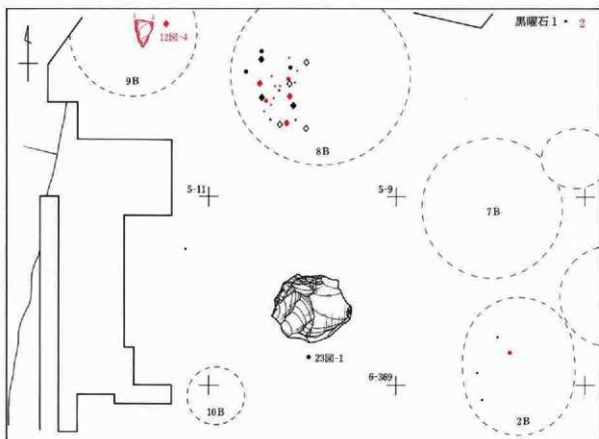




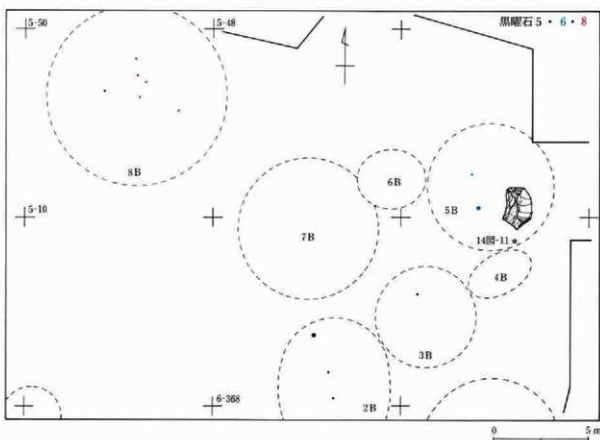
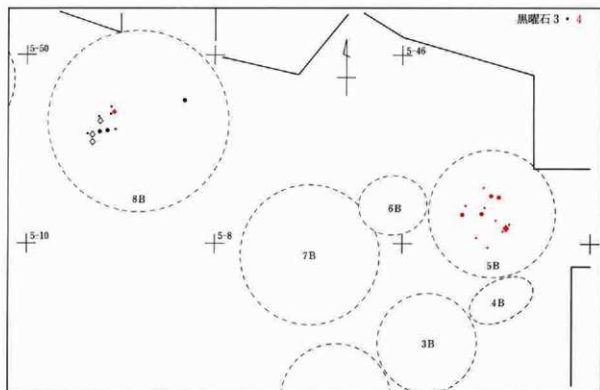
第144図 母岩所資料の分布 (チャート30~33)



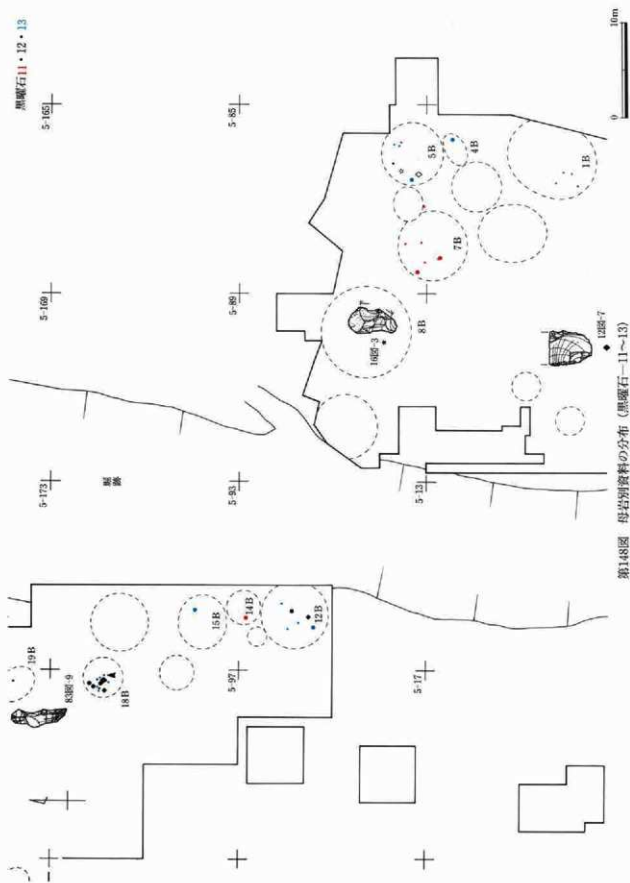
第145図 母岩別資料の分布 (チャート-1・4・14・25)



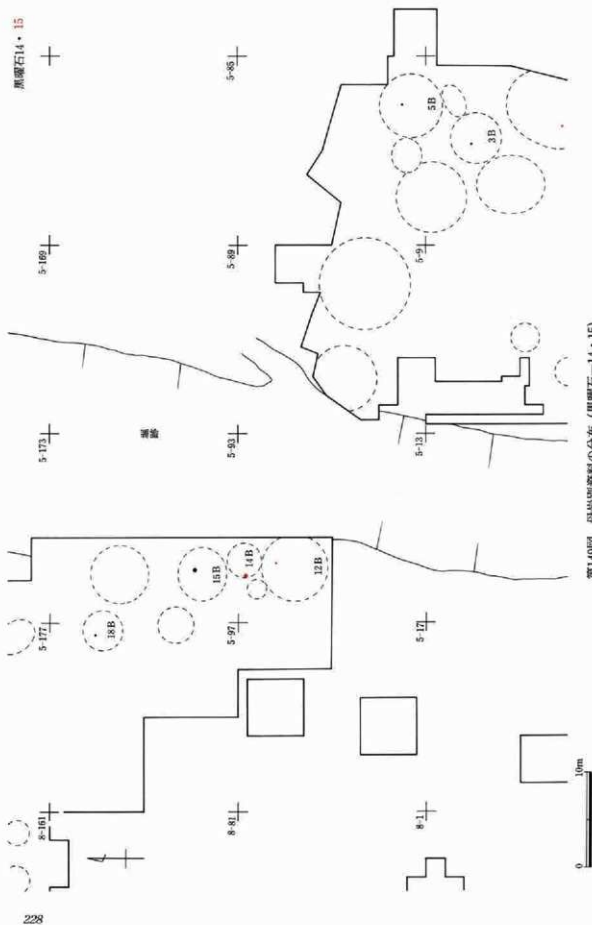
第146図 母岩別資料の分布 (黒曜石-1・2・7・9・10)



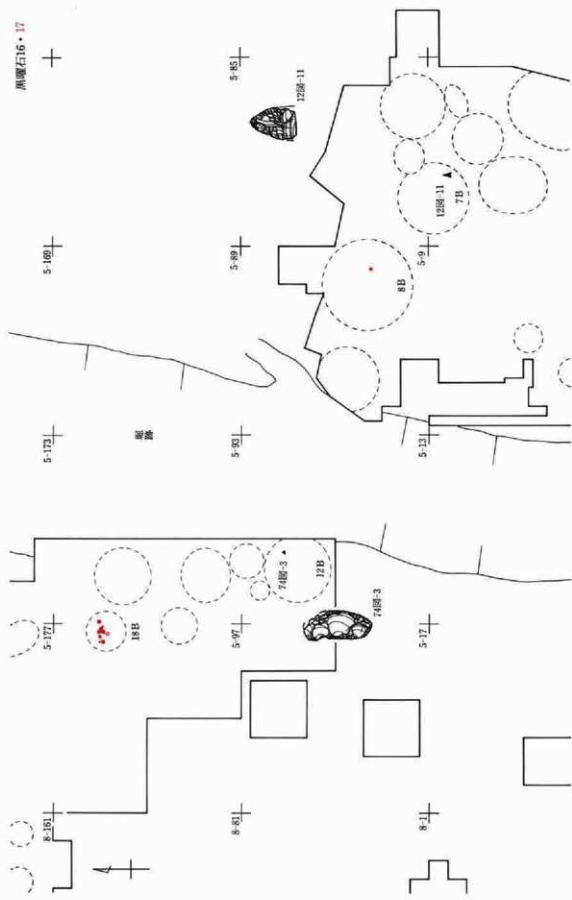
第147図 母岩別資料の分布 (黒曜石-3~6・8)



第148図 母岩別資料の分布 (黒曜石-11~13)

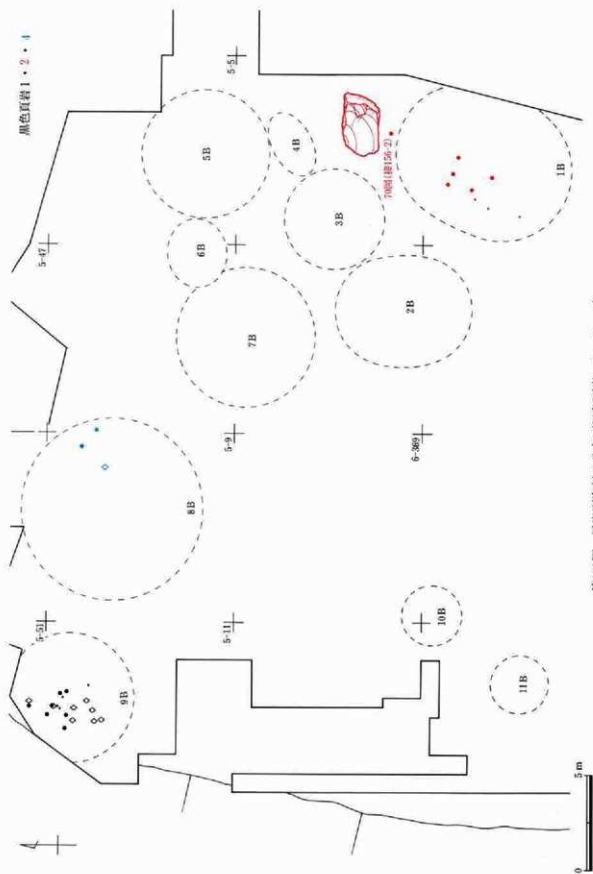


第149図 母岩別資料の分布 (黒曜石—14・15)



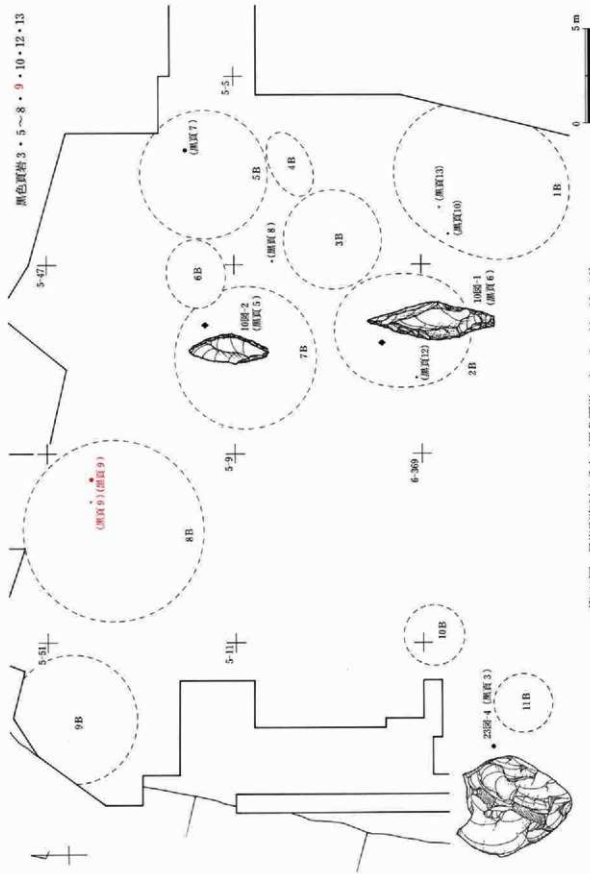
黒曜石16・17

第150図 母岩別資料の分布（黒曜石—16・17）

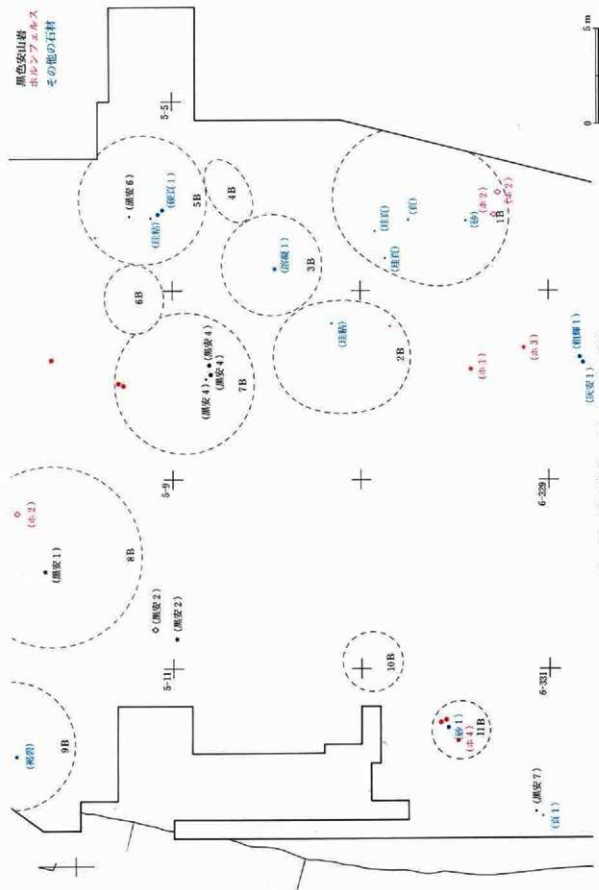


第151図 母岩別資料の分布 (黑色頁岩—1・2・4)

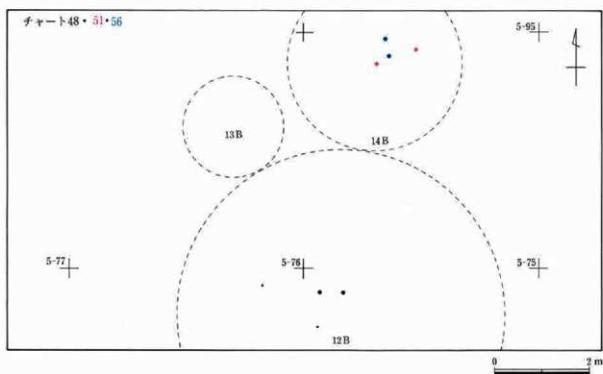
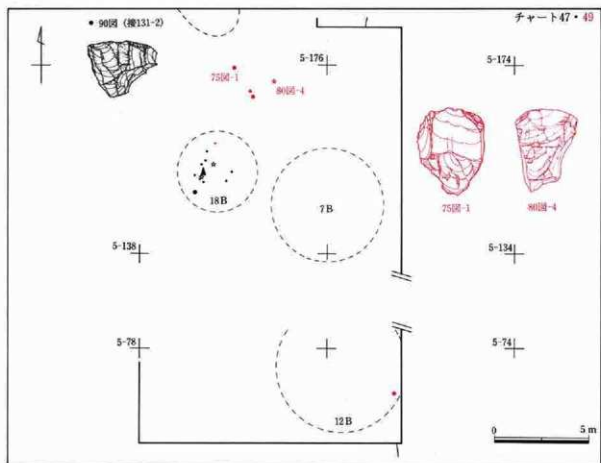




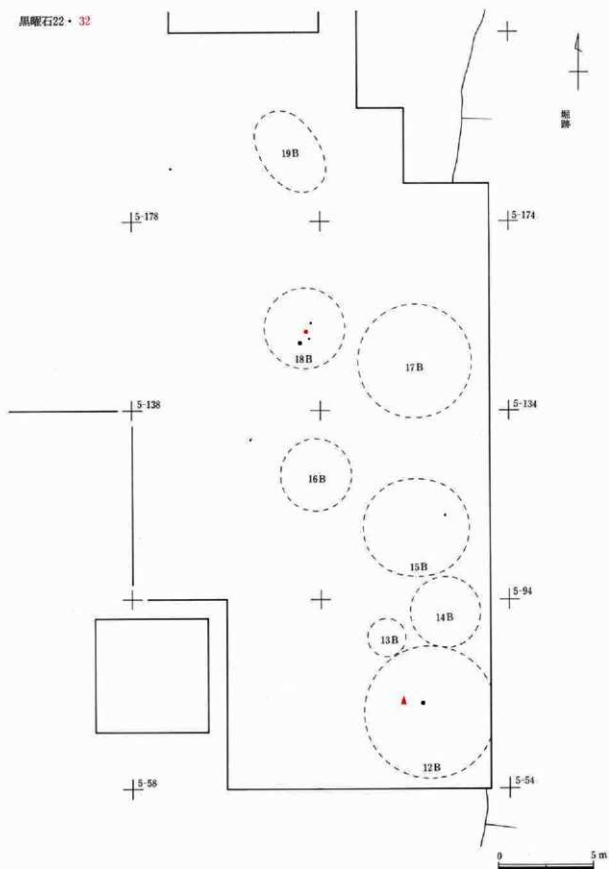
第152図 母岩別資料の分布 (黑色頁岩—3・5~10・12・13)



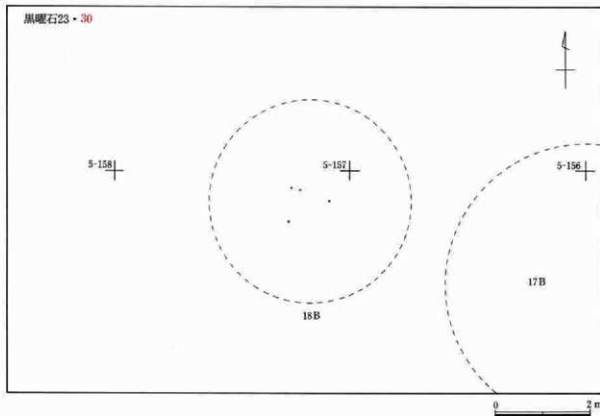
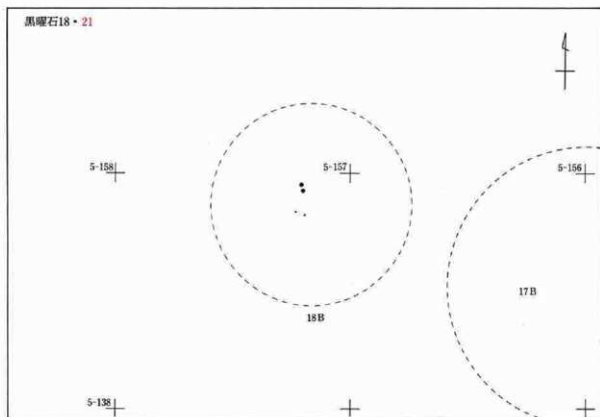
第153図 母岩別資料の分布 (その他の石材)



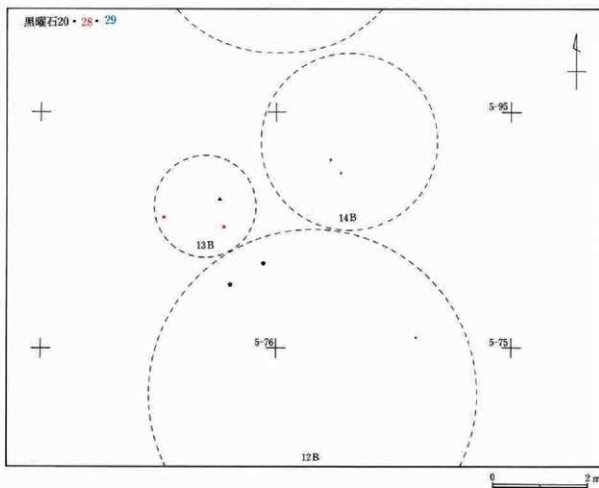
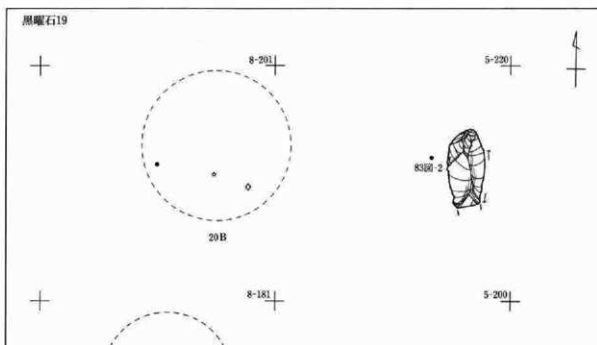
第154図 母岩別資料の分布 (チャート47~49・51・56)



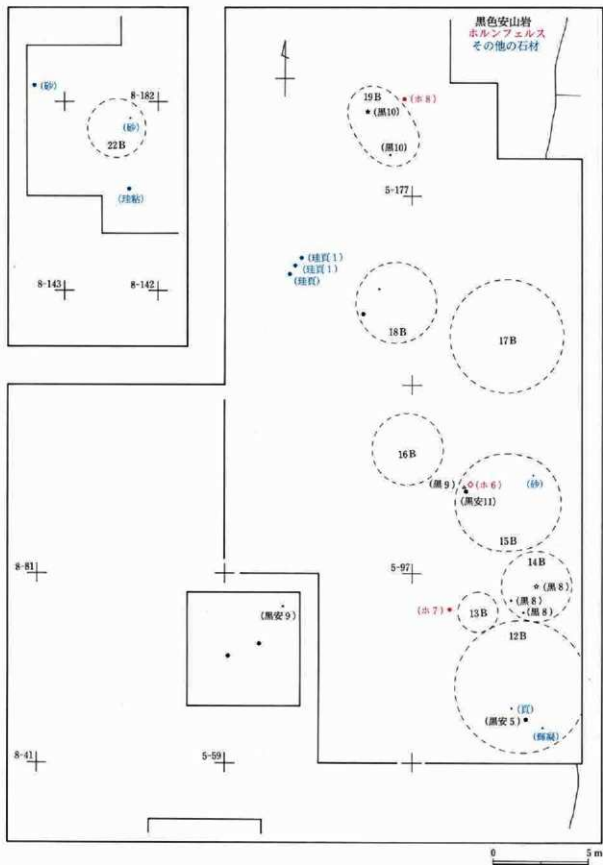
第155図 母岩別資料の分布 (黒曜石-22・32)



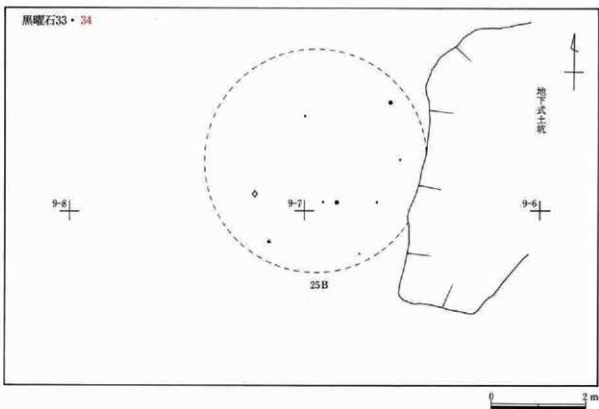
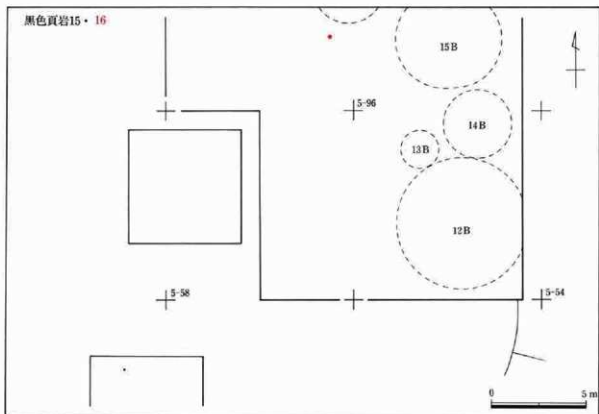
第156図 母岩別資料の分布 (黒曜石-18・21・23・30)



第157図 母岩別資料の分布 (黒曜石-19・20・28・29)

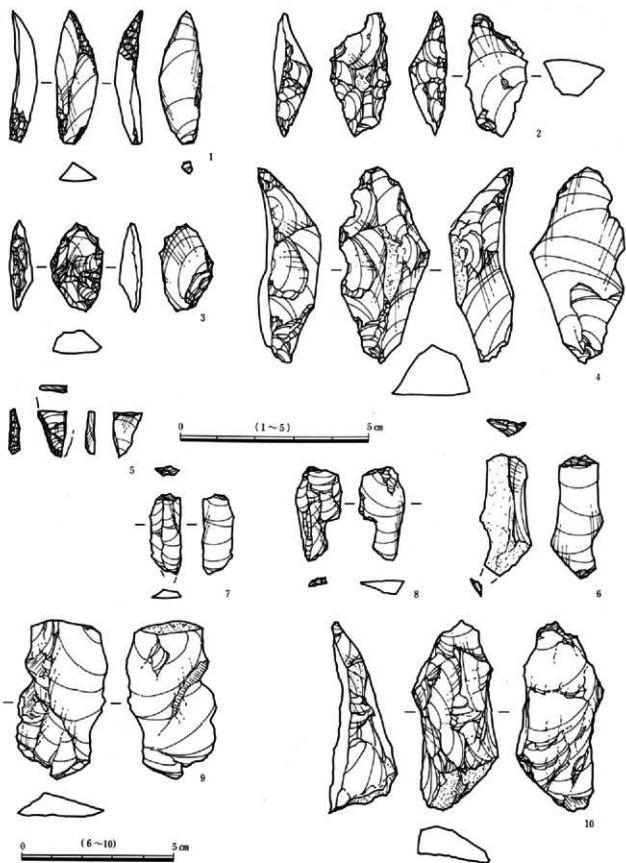


第158図 母岩別資料の分布 (その他の石材)

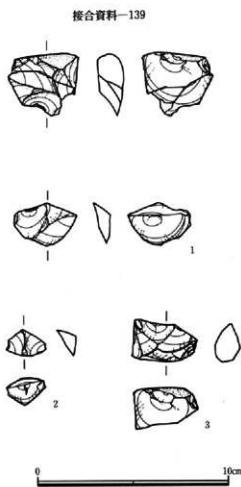
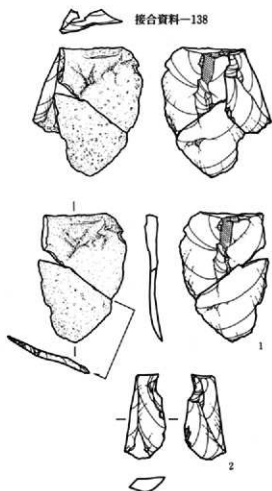
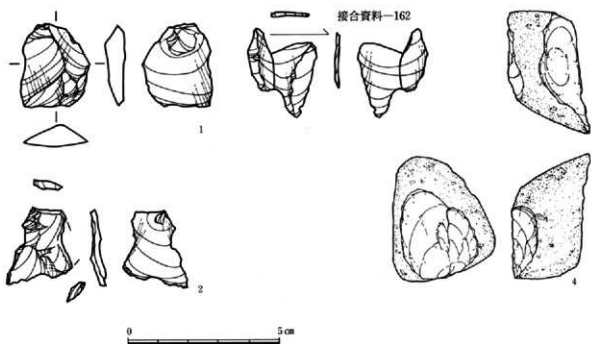


第159図 母岩別資料の分布（黒色頁岩—15・16、黒曜石—33・34）

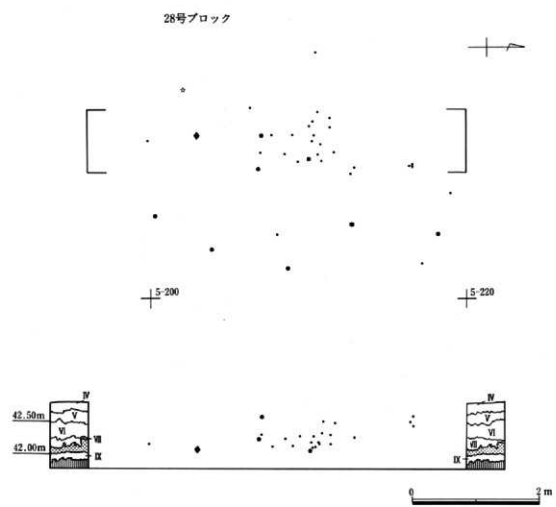
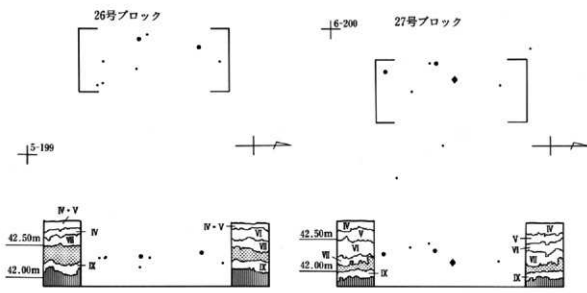




第160图 出土石器(1)

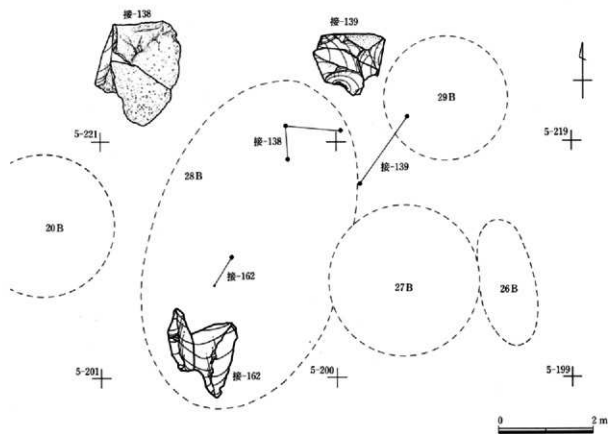
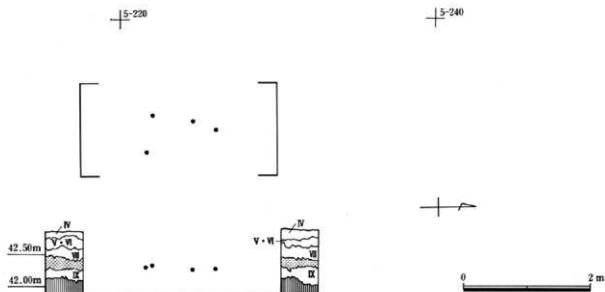


第161圖 出土石器(2)・接合資料-138・139

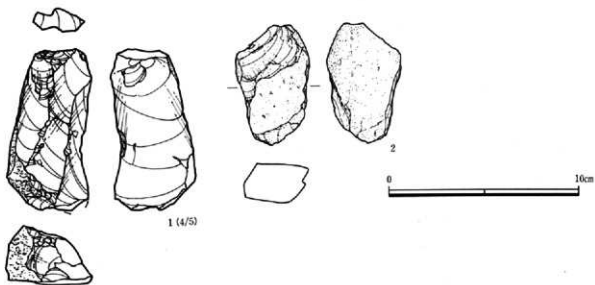


第162図 石器の分布 (26~28号ブロック)

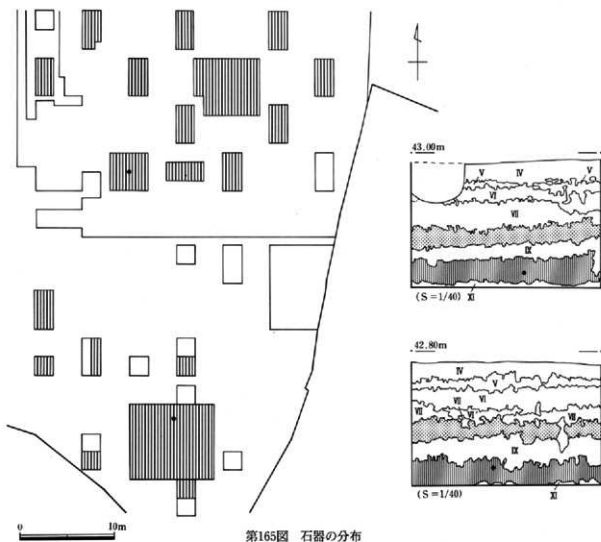
29号ブロック

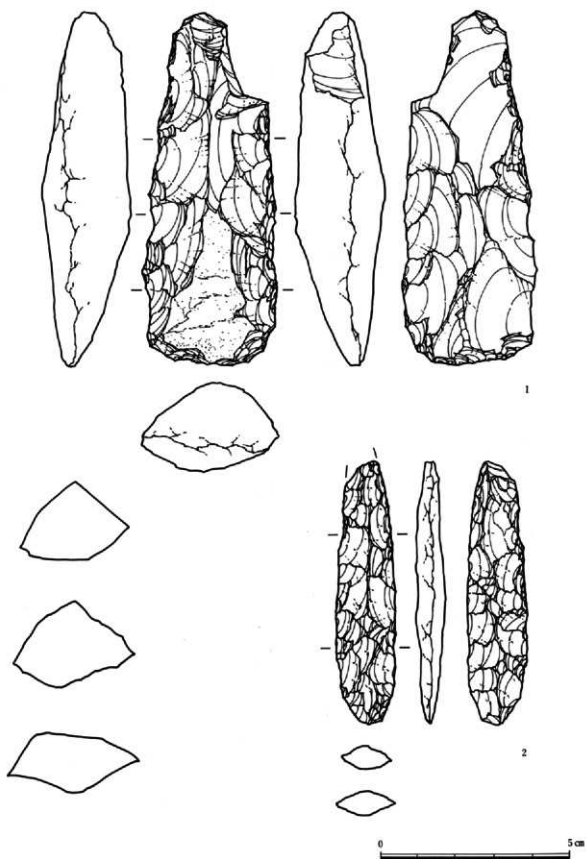


第163図 石器の分布 (29号ブロック)、接合資料の分布 (接-138・139・162)

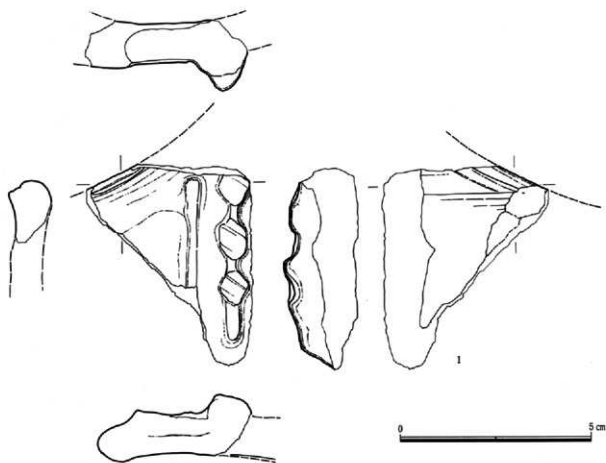


第164図 出土石器

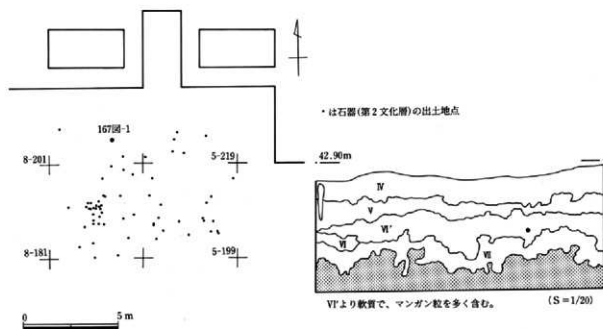




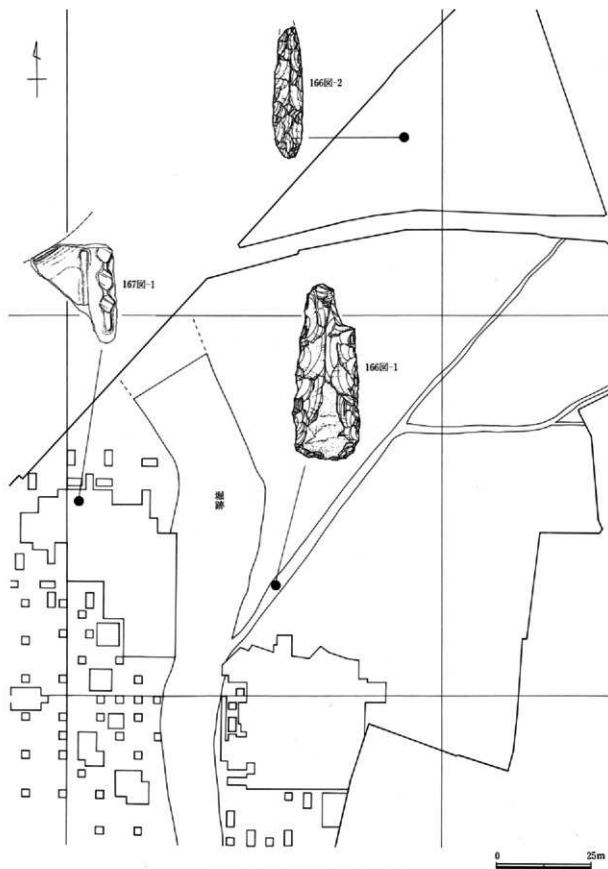
第166図 その他の出土遺物 (1)



第167図 その他の出土遺物（2）



第168図 同・遺物の出土地点（1）



第169図 同・遺物の出土地点（2）



## 計測値一覧表

# 第1文化層

## A地点出土石器

図版番号	フロッグ%	取り上げNo.	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第10図-1	2 B	6-367G5	ナイフ形石器	5.40	1.60	5.05	黒色頁岩	黒色頁岩 6		
第10図-2	7 B	5-7G93	ナイフ形石器	3.40	1.30	1.36	黒色頁岩	黒色頁岩 5		
第10図-3	8 B	5-31G116	ナイフ形石器	(2.80)	0.80	0.70	チャート			
第10図-4	9 B	5-31G11	ナイフ形石器	4.30	1.10	1.22	チャート	チャート14		
第10図-5	8 B	5-30G60	ナイフ形石器	(2.80)	1.20	1.30	黒曜石	黒曜石 1		
第10図-6	9 B	5-31G26	ナイフ形石器	3.30	0.90	0.86	チャート			
第10図-7	9 B	5-31G10	ナイフ形石器	3.30	0.70	1.03	チャート	チャート14	43	
第10図-8	B外	5-10G23	ナイフ形石器	4.20	1.40	3.16	黒曜石			搬入石器
第10図-9	7 B	5-8G42	ナイフ形石器	3.30	1.80	2.65	黒曜石			搬入石器
第10図-10	9 B	5-31G78	ナイフ形石器	(3.00)	0.90	0.87	チャート	チャート14		
第10図-11	10 B	6-350G9	ナイフ形石器	(3.20)	1.00	1.33	チャート			
第11図-1	7 B	5-8G35	ナイフ形石器	3.10	1.30	1.43	チャート	チャート10	37	
第11図-2	2 B	6-367G2	ナイフ形石器	3.40	1.40	2.15	チャート	チャート 6	33	
第11図-3	9 B	5-51G11	ナイフ形石器	(2.80)	1.20	1.28	チャート	チャート 1		
第11図-4	2 B	6-368G13	ナイフ形石器	(1.80)	1.00	0.47	チャート	チャート 3		
第11図-5	9 B	5-32G34	ナイフ形石器	(2.10)	1.30	1.49	チャート			
第11図-6	8 B	5-10G17	ナイフ形石器	(2.90)	1.40	1.09	黒曜石	黒曜石 1		
第11図-7	B外	6-390G5	ナイフ形石器	3.60	1.80	4.08	チャート			
第11図-8	9 B	5-31G123	ナイフ形石器	2.70	1.60	1.68	チャート	チャート 2		
第11図-9	8 B	5-30G4	ナイフ形石器	(1.60)	1.40	1.05	黒曜石	黒曜石 1	1	
第11図-10	5 B	5-5G29	ナイフ形石器	2.80	1.50	1.61	チャート			
第11図-11	不明	不明	ナイフ形石器	(2.60)	1.50	1.86	チャート			6区
第11図-12	9 B	5-32G2	ナイフ形石器	2.60	1.20	0.86	チャート	チャート 7	34	
第11図-13	9 B	5-31G4	ナイフ形石器	(2.10)	1.60	1.61	チャート	チャート 6	33	
第11図-13	9 B	5-31G5	ナイフ形石器	(2.90)	1.70	2.61	チャート	チャート 6	33	
第12図-1	5 B	5-5G4	ナイフ形石器	(2.90)	1.70	1.67	黒曜石	黒曜石 4		
第12図-2	8 B	5-10G14	ナイフ形石器	(2.20)	0.90	0.54	黒曜石	黒曜石 2		
第12図-3	9 B	5-31G68	ナイフ形石器	(2.20)	1.00	0.71	チャート			
第12図-4	9 B	5-31G67	ナイフ形石器	(1.10)	(0.80)	0.20	黒曜石	黒曜石 2		
第12図-5	8 B	5-30G80	ナイフ形石器	(0.90)	(0.70)	0.10	黒曜石	黒曜石 2		
第12図-6	9 B	5-31G114	ナイフ形石器	(1.90)	1.20	0.85	チャート	チャート 1		
第12図-7	B外	6-330G1	ナイフ形石器	(1.80)	1.50	1.36	黒曜石	黒曜石12		
第12図-8	9 B	5-32G31	ナイフ形石器	(1.20)	(1.20)	0.44	チャート	チャート 2		
第12図-9	8 B	5-30G77	ナイフ形石器	(1.80)	(1.10)	0.56	黒曜石	黒曜石 2		
第12図-10	1 B	6-345G47	尖頭鏃	2.30	1.30	1.58	黒曜石	黒曜石 9		
第12図-11	7 B	6-387G50	尖頭鏃	(2.00)	(1.40)	1.11	黒曜石	黒曜石16		
第12図-12	5 B	5-6G25	尖頭鏃	(1.80)	1.50	0.93	チャート			
第12図-13	5 B	5-6G160	尖頭鏃	(3.60)	1.60	3.24	チャート			
第12図-14	5 B	5-6G107	尖頭鏃	(4.40)	1.60	3.66	チャート	チャート38		
第12図-15	5 B	6-386G11	尖頭鏃	3.50	1.70	2.99	チャート	チャート38		
第13図-1	5 B	5-6G108	尖頭鏃	3.50	1.60	1.88	チャート			
第13図-2	5 B	5-6G15	尖頭鏃	(2.70)	1.40	1.05	チャート	チャート 3		
第13図-3	5 B	5-6G159	尖頭鏃	3.70	1.60	3.00	チャート			
第13図-4	1 B	6-345G11	尖頭鏃	6.20	3.60	56.43	チャート	チャート32	64	
第13図-5	7 B	6-387G114	尖頭鏃	6.30	3.20	33.68	チャート		89	
第13図-6	B外	6-366G89	尖頭鏃	5.90	1.70	6.68	チャート		72	破損後転用
第13図-7	4 B	6-389G96	形鏃	3.60	1.70	5.57	チャート		72	
第14図-1	不明	6-349G	鏃	3.20	1.90	4.58	チャート			
第14図-2	2 B	6-368G24	鏃	4.10	1.70	2.67	チャート			
第14図-3	不明	不明	鏃	4.90	2.70	7.50	黒曜石			19溝
第14図-4	2 B	6-367G74	鏃	3.10	2.00	5.10	チャート	チャート39		
第14図-5	2 B	6-367G125	鏃	2.50	2.20	4.01	チャート	チャート39	75	
第14図-6	9 B	5-31G161	鏃	(3.30)	1.30	3.18	チャート	チャート14	43	
第14図-7	8 B	5-30G17	加工痕ある剥片	2.30	1.60	1.37	黒曜石			
第14図-8	5 B	5-6G28	加工痕ある剥片	(2.10)	1.50	0.87	黒曜石	黒曜石12		
第14図-9	B外	6-307G5	加工痕ある剥片	2.90	2.60	4.75	チャート			
第14図-10	8 B	5-9G37	加工痕ある剥片	4.00	1.60	4.01	チャート			

図版番号	フック%	取り上げ%	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第14図-11	5 B	6-385G11	加工痕ある割片	(2.20)	1.50	1.18	黒曜石	黒曜石 5		
第14図-12	1 B	6-345G90	加工痕ある割片	3.20	1.40	3.14	チャート			
第14図-13	B外	6-326G28	加工痕ある割片	(1.10)	2.70	1.13	チャート			
第15図-1	1 B	6-326G23	加工痕ある割片	2.40	1.50	1.40	チャート			
第15図-2	5 B	5-9G13	加工痕ある割片	1.90	1.00	0.63	チャート			
第15図-3	B外	6-391G2	加工痕ある割片	3.70	2.30	5.60	チャート			
第15図-4	8 B	5-30G73	加工痕ある割片	4.90	4.30	53.74	チャート			
第15図-5	5 B	5-6G122	使用痕ある割片	6.90	4.30	23.28	チャート			
第15図-6	3 B	6-386G56	使用痕ある割片	6.20	3.30	26.88	チャート			
第15図-7	5 B	5-6G105	使用痕ある割片	6.30	4.20	15.29	チャート			
第15図-8	5 B	5-6G115	使用痕ある割片	6.60	3.90	32.98	チャート			
第16図-1	5 B	5-6G74	使用痕ある割片	3.70	3.00	4.71	チャート			
第16図-2	5 B	5-6G64	使用痕ある割片	3.70	2.50	4.13	チャート	チャート 9		
第16図-3	8 B	5-10G19	使用痕ある割片	2.60	1.40	1.17	黒曜石	黒曜石12		
第16図-4	2 B	6-347G4	使用痕ある割片	2.80	3.20	6.55	チャート	チャート17		
第16図-5	5 B	5-6G75	使用痕ある割片	6.10	5.00	35.25	チャート			
第16図-6	5 B	5-6G109	使用痕ある割片	7.10	3.00	16.95	チャート			
第16図-7	7 B	5-7G26	使用痕ある割片	2.16	4.50	5.57	チャート			
第16図-8	9 B	5-31G39	使用痕ある割片	2.60	3.90	9.31	褐色碧玉			
第16図-9	B外	6-388G121	使用痕ある割片	3.20	4.90	13.19	チャート			
第17図-1	7 B	6-387G129	使用痕ある割片	5.20	3.10	17.21	チャート			
第17図-2	7 B	6-387G28	使用痕ある割片	4.50	2.70	12.30	チャート			
第17図-3	B外	6-326G29	使用痕ある割片	5.50	2.90	11.66	チャート			
第17図-4	7 B	6-388G146	使用痕ある割片	3.00	2.50	3.98	チャート			
第17図-5	2 B	6-348G8	使用痕ある割片	(3.90)	2.20	2.82	チャート	チャート15		
第17図-6	1 B	6-346G20	使用痕ある割片	5.00	3.00	19.11	チャート			
第17図-7	1 B	6-346G91	使用痕ある割片	(5.10)	2.30	9.45	チャート	チャート 3		
第17図-8	5 B	6-386G10	使用痕ある割片	7.30	3.60	19.16	チャート			
第18図-1	B外	6-327G6	使用痕ある割片	6.90	9.30	94.32	ホルンフェルス	ホルンフェルス3		
第18図-2	不明	不明	石核	4.50	5.30	97.24	チャート			6区
第18図-3	B外	6-370G8	石核	4.40	4.50	61.38	チャート			
第19図-1	1 B	6-326G33	石核	6.10	7.40	105.39	チャート	チャート29		
第19図-2	B外	6-329G2	石核	2.70	4.30	23.44	チャート			
第19図-3	5 B	5-6G161	石核	3.90	2.70	15.57	黒曜石			
第19図-4	1 B	6-345G17	石核	4.60	6.70	81.93	チャート			
第19図-5	8 B	5-29G4	石核	6.60	6.30	83.36	黒色安山岩	黒色安山岩 1		
第19図-6	B外	5-7G75	石核	6.00	6.50	638.00	チャート	チャート40		
第19図-7	1 B	6-345G1	石核	3.60	5.70	323.00	チャート	チャート46		
第20図-1	7 B	5-8G24	石核	2.30	7.90	296.00	チャート	チャート43		
第20図-2	2 B	6-367G48	石核	5.10	8.60	727.00	チャート	チャート42		
第20図-3	11 B	6-331G26	石核	3.60	7.70	477.00	チャート	チャート41		
第20図-4	3 B	6-366G45	石核	6.10	7.50	336.75	溶結凝灰岩	溶結凝灰岩 1		
第21図-1	2 B	6-347G1	石核	5.20	6.70	426.32	チャート	チャート45		
第21図-2	8 B	5-10G13	縦長割片	(1.40)	1.30	0.82	黒曜石	黒曜石 1		
第21図-3	不明	5-10G	縦長割片	1.50	1.10	0.73	黒曜石	黒曜石 2		
第21図-4	5 B	5-6G21	縦長割片	(2.30)	1.20	1.20	黒曜石	黒曜石12		
第21図-5	2 B	6-367G117	割片	(1.60)	(1.30)	0.56	黒曜石	黒曜石 5		
第21図-6	B外	6-326G31	縦長割片	5.50	2.40	7.15	チャート	チャート12		
第21図-7	B外	5-9G7	割片	2.00	1.20	1.84	黒曜石	黒曜石 9		
第21図-8	8 B	5-9G3	縦長割片	(2.10)	1.10	0.79	黒曜石	黒曜石 1		
第21図-9	8 B	5-29G21	縦長割片	3.20	1.60	2.36	チャート			
第21図-10	2 B	6-367G47	縦長割片	2.40	1.80	2.32	チャート			
第21図-11	8 B	5-30G14	縦長割片	6.50	1.50	4.45	チャート			
第21図-12	2 B	6-348G14	縦長割片	(4.60)	1.60	4.72	チャート	チャート 3		接付
第22図-1	B外	5-50G1	縦長割片	8.00	2.20	14.64	チャート			
第22図-2	5 B	5-5G1	縦長割片	7.20	3.10	22.30	チャート			
第22図-3	2 B	6-347G22	縦長割片	(5.40)	1.60	6.71	チャート	チャート 3		
第22図-4	5 B	5-6G139	割片	2.60	2.70	2.78	硬質頁岩	硬質頁岩 1		
第22図-5	8 B	5-29G64	縦長割片	(5.90)	2.70	12.41	ホルンフェルス	ホルンフェルス2		
第22図-6	B外	6-325G12	縦長割片	6.50	2.60	14.29	ホルンフェルス	ホルンフェルス2		
第22図-7	1 B	6-326G24	縦長割片	5.00	2.40	6.91	ホルンフェルス	ホルンフェルス2		

図版番号	ブロック	取り上げNo	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第22図-8	10 B	6-351G18	銅片	3.20	2.60	5.04	黒曜石			
第23図-1	B外	6-369G1	銅片	3.60	4.20	11.31	黒曜石	黒曜石1		調整銅片
第23図-2	B外	6-386G15	銅片	2.60	3.00	5.92	チャート			
第23図-3	3 B	6-367G12	銅片	4.30	4.10	10.53	チャート	チャート7		
第23図-4	B外	6-352G8	銅片	7.90	9.10	166.36	黒色頁岩	黒色頁岩3		
第24図-1	5 B	5-5G2	銅片	7.50	5.10	24.38	チャート			
第24図-2	11 B	6-331G31	銅片	6.70	3.80	22.09	チャート			
第24図-3	不明	6-331G	銅片	5.30	4.70	39.39	黒色安山岩	黒色安山岩3		
第24図-4	B外	6-327G5	銅片	7.50	4.50	41.59	ホルンフェルス	ホルンフェルス1		
第24図-5	11 B	6-351G3	銅片	5.60	4.00	34.09	砂岩	砂岩1		
第25図-1	11 B	6-331G36	銅片	3.90	5.00	32.33	チャート			
第25図-2	不明	6-372G	銅片	7.80	4.90	74.63	黒色頁岩	黒色頁岩3		
第25図-3	5 B	5-6G106	銅片	6.00	5.50	75.20	チャート	チャート36		
第25図-4	11 B	6-331G22	銅片	7.50	8.40	69.34	ホルンフェルス	ホルンフェルス4		
第26図-1	B外	6-307G3	銅片	8.50	9.90	113.56	灰色安山岩	灰色安山岩1		
第26図-2	11 B	6-351G1	礫器	21.50	8.00	1,203.00	ホルンフェルス			
第26図-3	7 B	5-7G74	礫器	12.30	10.30	1,015.00	ホルンフェルス			
第26図-4	11 B	6-351G2	礫器	18.20	7.00	898.00	ホルンフェルス			
第26図-5	B外	6-287G1	礫器	7.30	5.80	334.27	チャート			
第27図-1	7 B	5-7G73	礫器	12.10	12.30	1,232.00	ホルンフェルス			
第27図-2	B外	5-27G1	礫器	15.20	13.00	1,216.00	ホルンフェルス			
第27図-3		6-365G2	銅片	6.10	2.50	39.70	チャート	チャート37		1 B ?
第27図-4	2 B	6-367G81	隕石	10.90	6.50	494.32	粗粒輝石安山岩			
第27図-5	B外	6-326G34	隕石	9.90	6.70	449.81	変圧岩			
第28図-1	3 B	6-369G39	隕石	7.00	5.00	191.45	粗粒輝石安山岩			
第28図-2	2 B	6-367G86	隕石	6.90	5.00	94.31	粗粒輝石安山岩			
第28図-3	3 B	6-366G15	隕石	7.90	7.00	372.79	粗粒輝石安山岩			
第28図-4	不明	6-367G	隕石	6.40	4.40	136.68	砂岩			
第28図-5	1 B	6-346G2	隕石	6.80	4.90	143.20	粗粒輝石安山岩			
第28図-6	3 B	6-366G55	隕石	9.70	6.10	311.98	粗粒輝石安山岩			
第28図-7	11 B	6-331G34	隕石	7.70	5.20	289.00	ホルンフェルス			
第29図-1	B外	6-326G37	隕石	9.70	5.50	313.70	溶結凝灰岩			
第29図-2	B外	6-327G1	隕石	11.30	6.80	374.05	溶結凝灰岩			
第29図-3	7 B	5-7G58	隕石	11.70	6.50	333.00	珪質頁岩			
第29図-4	1 B	6-346G1	隕石	9.40	7.70	581.90	粗粒輝石安山岩			
第29図-5	1 B	6-366G9	隕石	8.30	7.20	309.94	粗粒輝石安山岩			
第30図-1	11 B	6-331G18	隕石	13.10	10.00	817.00	石英斑岩			
第30図-2	B外	6-269G1	隕石	7.70	2.50	48.45	珪質頁岩			
第30図-3	B外	6-352G4	隕石	13.40	9.10	1,014.00	溶結凝灰岩			
第31図-1	9 B	5-31G180	縦長銅片	2.40	1.70	1.50	チャート	チャート2		25
第31図-2	9 B	5-31G38	銅片	3.30	1.60	1.33	チャート	チャート2		25
第31図-3	9 B	5-31G165	銅片	(2.50)	1.80	1.37	チャート	チャート2		25
第31図-4	3 B	6-389G20	銅片	3.80	3.50	12.94	チャート	チャート2		25
第31図-5	9 B	5-31G145	縦長銅片	8.20	2.50	16.65	チャート	チャート2		25
第31図-6	9 B	5-51G24	銅片	(2.20)	1.20	0.96	チャート	チャート2		25
第31図-7	9 B	5-31G18	縦長銅片	(2.40)	0.90	0.82	チャート	チャート2		25
第31図-8	9 B	5-31G150	縦長銅片	(4.00)	1.90	5.60	チャート	チャート2		25
第31図-9	8 B	5-30G12	縦長銅片	(5.30)	2.40	9.55	チャート	チャート2		25
第31図-10	不明	5-31G	砕片	(2.20)	0.90	0.56	チャート	チャート2		25
第31図-11	9 B	5-31G101	使用痕ある銅片	3.60	3.40	12.76	チャート	チャート2		25
第31図-12	9 B	5-32G29	銅片	(3.30)	2.50	4.57	チャート	チャート2		25
第31図-13	9 B	5-31G193	縦長銅片	(2.10)	1.40	0.95	チャート	チャート2		25
第32図-14	9 B	5-31G138	砕片	1.70	2.80	1.72	チャート	チャート2		25
第32図-15	9 B	5-32G33	銅片	2.50	2.40	2.46	チャート	チャート2		25
第32図-16	9 B	5-51G18	砕片	2.00	1.80	1.56	チャート	チャート2		25
第32図-17	9 B	5-31G43	銅片	(2.30)	1.70	3.02	チャート	チャート2		25
第32図-18	9 B	5-51G20	砕片	2.70	1.00	0.51	チャート	チャート2		25
第32図-19	9 B	5-31G17	銅片	2.10	2.10	3.13	チャート	チャート2		25
第32図-20	9 B	5-31G162	縦長銅片	3.80	1.60	2.48	チャート	チャート2		25
第32図-21	9 B	5-31G15	銅片	(2.70)	1.60	1.73	チャート	チャート2		25
第32図-22	9 B	5-31G156	縦長銅片	(2.70)	1.20	1.67	チャート	チャート2		25

図版番号	フロッタ	取り上げNo	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第32図-23	9 B	5-31G149	砕片	3.60	0.70	0.59	チャート	チャート2		25
第32図-24	9 B	5-31G166	石核	5.30	2.70	24.59	チャート	チャート2		25
第32図-1	9 B	5-31G151	砕片	(2.00)	(3.90)	2.54	チャート	チャート4		29
第32図-1	9 B	5-31G52	剥片	(2.20)	(3.20)	2.70	チャート	チャート4		29
第32図-2	9 B	5-31G30	縦長剥片	6.90	2.50	14.66	チャート	チャート4		29
第32図-3	9 B	5-31G70	縦長剥片	2.80	1.50	1.25	チャート	チャート4		29
第32図-4	9 B	5-31G124	剥片	1.40	1.60	1.86	チャート	チャート4		29
第32図-5	B外	5-32G10	剥片	(2.90)	3.60	4.82	チャート	チャート4		29
第33図-6	9 B	5-31G9	剥片	2.80	2.10	1.31	チャート	チャート4		29
第33図-7	9 B	5-31G134	砕片	1.80	1.20	0.71	チャート	チャート4		29
第33図-8	8 B	5-30G3	砕片	2.40	1.20	1.09	チャート	チャート4		29
第33図-9	9 B	5-31G139	石核	5.40	3.50	69.55	チャート	チャート4		29
第33図-1	2 B	6-367G62	砕片	8.70	3.20	22.66	チャート	チャート6		32
第33図-2	7 B	6-388G113	砕片	1.70	2.20	1.99	チャート	チャート6		32
第33図-3	B外	6-385G1	石核	10.60	5.70	234.03	チャート	チャート6		32
第34図-1	9 B	5-31G66	縦長剥片	(3.10)	1.90	3.26	チャート	チャート7		34
第34図-2	9 B	5-31G183	縦長剥片	3.90	1.90	4.57	チャート	チャート7		34
第34図-3	9 B	5-31G82	加工痕ある剥片	1.90	2.50	2.66	チャート	チャート7		34
第34図-3	3 B	6-386G114	使用痕ある剥片	4.80	2.20	7.91	チャート	チャート7		34
第34図-4	8 B	5-29G35	縦長剥片	9.30	3.90	41.72	チャート	チャート7		34
第34図-5	8 B	5-29G272	縦長剥片	7.70	2.00	11.99	チャート	チャート7		34
第34図-6	9 B	5-31G90	砕片	2.40	1.00	0.56	チャート	チャート7		34
第34図-7	9 B	5-32G2	ナイフ形石器	2.60	1.20	0.86	チャート	チャート7		34
第34図-8	9 B	5-31G54	剥片	(3.10)	(2.10)	6.13	チャート	チャート7		34
第34図-9	9 B	5-31G14	縦長剥片	(5.00)	1.90	7.88	チャート	チャート7		34
第34図-10	9 B	5-31G23	縦長剥片	4.20	2.20	6.02	チャート	チャート7		34
第34図-11	9 B	5-51G19	剥片	(3.90)	1.90	3.59	チャート	チャート7		34
第34図-12	8 B	5-29G32	縦長剥片	6.70	1.90	8.86	チャート	チャート7		34
第35図-13	9 B	5-51G23	縦長剥片	6.10	1.70	6.99	チャート	チャート7		34
第35図-14	9 B	5-31G56	剥片	2.20	2.20	2.47	チャート	チャート7		34
第35図-15	9 B	5-31G100	剥片	2.90	1.40	1.60	チャート	チャート7		34
第35図-16	9 B	5-32G9	剥片	2.10	1.70	3.81	チャート	チャート7		34
第35図-17	9 B	5-31G31	縦長剥片	4.80	2.30	5.05	チャート	チャート7		34
第35図-18	9 B	5-31G51	加工痕ある剥片	2.70	1.50	1.29	チャート	チャート7		34
第35図-19	9 B	5-51G2	剥片	(2.70)	2.90	3.00	チャート	チャート7		34
第35図-19	9 B	5-51G6	砕片	(1.10)	(1.00)	0.30	チャート	チャート7		34
第35図-20	9 B	5-51G25	縦長剥片	3.10	2.20	2.91	チャート	チャート7		34
第35図-21	9 B	5-31G88	石核	6.20	3.60	66.91	チャート	チャート7		34
第35図-1	6 B	5-7G6	砕片	(1.70)	(2.20)	1.91	チャート	チャート8		35
第35図-1	6 B	5-7G60	剥片	(2.00)	(2.40)	2.49	チャート	チャート8		35
第35図-2	7 B	5-7G17	剥片	(2.90)	2.70	4.83	チャート	チャート8		35
第35図-3	7 B	5-7G34	加工痕ある剥片	3.40	2.40	3.42	チャート	チャート8		35
第35図-4	7 B	5-7G87	砕片	(2.50)	1.40	1.13	チャート	チャート8		35
第36図-5	7 B	5-7G54	剥片	3.10	2.30	6.01	チャート	チャート8		35
第36図-6	2 B	6-367G59	剥片	(2.80)	2.10	2.59	チャート	チャート8		35
第36図-6	7 B	6-387G12	剥片	(3.50)	1.80	2.86	チャート	チャート8		35
第36図-7	6 B	5-7G12	剥片	(2.80)	2.50	3.18	チャート	チャート8		35
第36図-7	7 B	5-8G17	剥片	(2.40)	(2.00)	1.74	チャート	チャート8		35
第36図-8	7 B	5-7G18	剥片	4.90	2.30	8.54	チャート	チャート8		35
第36図-9	2 B	6-367G64	剥片	(2.80)	3.00	4.16	チャート	チャート8		35
第36図-10	7 B	5-7G92	剥片	2.30	1.50	1.61	チャート	チャート8		35
第36図-11	7 B	6-388G51	石核	5.40	3.80	45.49	チャート	チャート8		35
第36図-1	7 B	5-7G31	刮器	3.20	2.50	4.28	チャート	チャート10		37
第36図-2	7 B	6-388G35	剥片	2.90	3.80	5.31	チャート	チャート10		37
第36図-3	7 B	5-8G16	加工痕ある剥片	5.10	1.60	7.01	チャート	チャート10		37
第36図-4	2 B	6-367G50	剥片	2.70	2.50	4.55	チャート	チャート10		37
第36図-5	7 B	5-8G25	砕片	1.80	0.80	0.34	チャート	チャート10		37
第36図-6	7 B	5-7G38	砕片	(2.00)	1.20	0.54	チャート	チャート10		37
第36図-7	7 B	6-387G16	剥片	2.10	1.50	0.70	チャート	チャート10		37
第36図-8	7 B	5-7G15	縦長剥片	5.40	2.80	13.98	チャート	チャート10		37
第36図-9	7 B	5-8G3	剥片	3.90	2.60	4.62	チャート	チャート10		37

図版番号	フラット%	取り上げNo	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第37図-10	7 B	5-8G35	ナイフ形石器	3.10	1.30	1.43	チャート	チャート10		37
第37図-11	7 B	5-7G82	剥片	4.60	3.00	9.90	チャート	チャート10		37
第37図-12	7 B	5-7G79	石核	4.40	4.30	20.07	チャート	チャート10		37
第37図-1	9 B	5-31G143	剥片	(2.30)	2.30	7.11	チャート	チャート4		30
第37図-1	9 B	5-32G27	縦長剥片	(6.40)	2.20	15.87	チャート	チャート4		30
第37図-2	9 B	5-32G13	縦長剥片	(3.50)	1.00	1.88	チャート	チャート4		30
第37図-3	9 B	5-31G142	剥片	2.90	1.10	0.90	チャート	チャート4		30
第37図-1	9 B	5-31G127	縦長剥片	5.00	1.50	6.25	チャート	チャート14		42
第37図-2	9 B	5-51G3	縦長剥片	2.50	1.00	1.23	チャート	チャート14		42
第37図-3	9 B	5-31G109	剥片	2.00	1.60	1.41	チャート	チャート14		42
第37図-4	9 B	5-31G97	縦長剥片	2.40	1.70	2.51	チャート	チャート14		42
第37図-5	9 B	5-31G128	剥片	(2.30)	1.40	1.46	チャート	チャート14		42
第37図-5	9 B	5-31G133	剥片	(2.40)	2.00	9.75	チャート	チャート14		42
第37図-6	9 B	5-31G141	剥片	2.50	1.10	0.76	チャート	チャート14		42
第37図-7	9 B	5-31G45	剥片	2.70	1.30	1.47	チャート	チャート14		42
第37図-8	9 B	5-31G92	剥片	2.10	1.10	1.15	チャート	チャート14		42
第37図-9	9 B	5-31G53	石核	4.50	2.10	21.38	チャート	チャート14		42
第38図-1	9 B	5-32G21	砕片	1.40	2.20	0.75	チャート	チャート14		43
第38図-2	9 B	5-32G32	剥片	2.20	3.50	2.81	チャート	チャート14		43
第38図-3	9 B	5-31G121	剥片	1.70	2.50	1.86	チャート	チャート14		43
第38図-4	9 B	5-31G177	剥片	2.30	4.00	4.94	チャート	チャート14		43
第38図-5	9 B	5-31G195	砕片	1.50	2.10	1.39	チャート	チャート14		43
第38図-6	9 B	5-31G28	砕片	2.10	2.10	1.14	チャート	チャート14		43
第38図-7	9 B	5-31G62	縦長剥片	6.30	1.80	9.55	チャート	チャート14		43
第38図-8	9 B	5-31G96	剥片	1.90	1.60	1.21	チャート	チャート14		43
第38図-9	9 B	5-31G10	ナイフ形石器	3.30	0.70	1.03	チャート	チャート14		43
第38図-10	9 B	5-32G8	砕片	3.10	1.50	2.09	チャート	チャート14		43
第38図-11	9 B	5-31G29	剥片	2.10	3.50	2.58	チャート	チャート14		43
第38図-12	B外	5-11G1	縦長剥片	(2.60)	1.40	2.14	チャート	チャート14		43
第38図-13	9 B	5-31G186	縦長剥片	(3.70)	1.40	2.69	チャート	チャート14		43
第38図-14	9 B	5-31G161	撻器	(3.30)	1.30	3.18	チャート	チャート14		43
第38図-15	9 B	5-31G169	縦長剥片	5.10	1.70	7.23	チャート	チャート14		43
第38図-16	9 B	5-31G148	縦長剥片	(3.40)	1.20	1.43	チャート	チャート14		43
第39図-1	B外	6-348G1	縦長剥片	8.30	2.20	15.58	チャート	チャート15		45
第39図-2	2 B	6-368G18	剥片	3.60	1.30	3.22	チャート	チャート15		45
第39図-3	2 B	6-367G46	使用痕ある剥片	1.40	1.50	0.72	チャート	チャート15		45
第39図-1	2 B	6-367G41	縦長剥片	4.80	1.40	2.56	チャート	チャート15		46
第39図-2	2 B	6-367G89	使用痕ある剥片	4.30	2.30	5.93	チャート	チャート15		46
第39図-1	9 B	5-32G12	剥片	2.60	2.40	2.08	チャート	チャート1		23
第39図-2	9 B	5-31G57	剥片	(2.70)	5.00	7.41	チャート	チャート1		23
第39図-2	9 B	5-51G14	砕片	(1.30)	(1.80)	1.11	チャート	チャート1		23
第39図-3	9 B	5-32G28	剥片	4.20	1.60	5.30	チャート	チャート1		23
第39図-4	9 B	5-32G19	剥片	(4.70)	2.30	9.20	チャート	チャート1		23
第40図-1	9 B	5-31G125	剥片	5.10	3.60	11.80	黒色頁岩	黒色頁岩1		154
第40図-2	9 B	5-31G140	縦長剥片	6.80	3.70	19.19	黒色頁岩	黒色頁岩1		154
第40図-3	9 B	5-31G153	縦長剥片	6.90	3.50	19.21	黒色頁岩	黒色頁岩1		154
第40図-4	9 B	5-32G11	縦長剥片	(5.90)	2.70	15.37	黒色頁岩	黒色頁岩1		154
第40図-4	9 B	5-32G30	縦長剥片	(2.20)	1.80	2.48	黒色頁岩	黒色頁岩1		154
第40図-5	9 B	5-32G6	縦長剥片	4.70	2.50	10.32	黒色頁岩	黒色頁岩1		154
第40図-6	9 B	5-51G29	剥片	(3.30)	1.90	3.53	黒色頁岩	黒色頁岩1		154
第40図-7	9 B	5-31G132	縦長剥片	5.20	3.00	25.67	黒色頁岩	黒色頁岩1		154
第41図-8	9 B	5-31G103	剥片	(1.80)	1.20	0.88	黒色頁岩	黒色頁岩1		154
第41図-9	9 B	5-31G108	縦長剥片	(2.90)	1.80	2.05	黒色頁岩	黒色頁岩1		154
第41図-9	9 B	5-31G152	剥片	(2.00)	1.40	0.71	黒色頁岩	黒色頁岩1		154
第41図-10	9 B	5-51G12	縦長剥片	6.00	2.50	9.54	黒色頁岩	黒色頁岩1		154
第41図-1	9 B	5-31G41	縦長剥片	(1.90)	0.80	0.51	チャート	チャート10		38
第41図-2	9 B	5-31G155	縦長剥片	(2.10)	1.00	0.65	チャート	チャート10		38
第41図-1	8 B	5-30G39	砕片	(1.90)	0.70	0.26	黒曜石	黒曜石1		1
第41図-2	8 B	5-30G4	ナイフ形石器	(1.60)	1.40	1.05	黒曜石	黒曜石1		1
第41図-1	8 B	5-30G82	剥片	1.50	1.10	0.37	黒曜石	黒曜石3		5
第41図-2	8 B	5-30G83	縦長剥片	(1.60)	1.60	1.04	黒曜石	黒曜石3		5

図版番号	プロット	取り上げ%	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	総合	備 考
第41図-1	5 B	6-386G7	砕片	(1.40)	1.10	0.47	黒曜石	黒曜石 4	6	
第41図-2	5 B	5-5G40	剥片	(2.10)	1.60	2.37	黒曜石	黒曜石 4	6	
第41図-1	8 B	5-29G77	縦長剥片	(3.00)	2.70	8.07	黒色頁岩	黒色頁岩 4	157	
第41図-2	8 B	5-29G3	石核	3.50	3.20	36.56	黒色頁岩	黒色頁岩 4	157	
第41図-1	8 B	5-30G71	砕片	(1.30)	1.40	0.43	黒曜石	黒曜石 3	3	
第41図-2	8 B	5-30G67	砕片	(1.50)	1.20	0.44	黒曜石	黒曜石 3	3	
第41図-3	8 B	5-30G62	砕片	(1.50)	0.90	0.27	黒曜石	黒曜石 3	3	
第41図-4	8 B	5-30G27	剥片	3.40	1.20	0.92	黒曜石	黒曜石 3	3	
第42図-1	7 B	5-8G15	剥片	(2.10)	1.90	0.79	黒曜石	黒曜石11	8	
第42図-2	7 B	6-388G64	剥片	2.80	2.30	1.67	黒曜石	黒曜石11	8	
第42図	8 B	5-10G6	砕片	(1.90)	0.90	0.56	黒曜石	黒曜石 1	2	
第42図	8 B	5-29G6	縦長剥片	(1.90)	1.30	1.25	黒曜石	黒曜石 1	2	
第42図	8 B	5-30G40	縦長剥片	(1.30)	1.50	0.82	黒曜石	黒曜石 3	4	
第42図	8 B	5-30G56	縦長剥片	(2.40)	1.50	1.04	黒曜石	黒曜石 3	4	
第42図-1	8 B	5-30G48	砕片	1.60	2.10	1.73	黒曜石	黒曜石 4	18	
第42図-2	8 B	5-29G231	砕片	2.30	1.80	1.23	黒曜石	黒曜石 4	18	
第42図	5 B	5-6G184	砕片	(1.30)	1.90	0.57	黒曜石	黒曜石 4	7	
第42図	5 B	5-6G98	剥片	(2.40)	2.60	2.62	黒曜石	黒曜石 4	7	
第43図-1	5 B	5-6G97	砕片	2.50	2.20	3.00	チャート	チャート21	52	
第43図-2	5 B	5-6G91	剥片	5.10	2.80	12.91	チャート	チャート21	52	
第43図-3	5 B	5-6G78	砕片	2.90	1.60	1.28	チャート	チャート21	52	
第43図-4	5 B	5-6G58	剥片	(7.60)	(4.50)	67.34	チャート	チャート21	52	
第43図-4	5 B	5-6G59	剥片	(3.20)	(4.30)	21.64	チャート	チャート21	52	
第43図-4	5 B	5-6G68	剥片	(5.40)	(3.00)	24.85	チャート	チャート21	52	
第43図-4	5 B	6-386G12	剥片	(3.90)	(3.10)	9.84	チャート	チャート21	52	
第43図-5	5 B	5-6G48	剥片	5.30	(1.90)	5.70	チャート	チャート21	52	
第43図-5	5 B	5-6G92	剥片	7.30	(1.90)	18.36	チャート	チャート21	52	
第43図-6	5 B	5-6G182	砕片	2.00	1.60	1.73	チャート	チャート21	52	
第43図-7	不明	5-5G	剥片	(3.80)	2.50	11.05	チャート	チャート21	52	
第43図-7	5 B	6-386G4	剥片	(3.20)	2.70	7.27	チャート	チャート21	52	
第43図-8	5 B	5-6G90	砕片	3.80	1.30	3.49	チャート	チャート21	52	
第43図-9	5 B	5-6G15	加工痕ある剥片	(4.80)	3.90	36.94	チャート	チャート21	52	
第43図-9	5 B	5-6G140	剥片	(4.30)	3.90	23.55	チャート	チャート21	52	
第43図-10	5 B	5-6G57	剥片	(5.50)	4.40	44.07	チャート	チャート21	52	
第43図-10	5 B	5-6G66	石核	(6.40)	4.90	140.08	チャート	チャート21	52	
第44図-11	5 B	5-6G77	剥片	5.30	2.80	7.28	チャート	チャート21	52	
第44図-12	4 B	6-386G80	剥片	1.50	1.80	0.64	チャート	チャート21	52	
第44図-13	5 B	6-386G9	砕片	1.90	1.50	0.79	チャート	チャート21	52	
第44図-14	5 B	5-6G119	剥片	5.50	3.80	17.69	チャート	チャート21	52	
第44図-15	5 B	5-6G178	剥片	2.90	1.60	2.53	チャート	チャート21	52	
第44図-16	5 B	5-6G130	砕片	1.80	2.20	2.32	チャート	チャート21	52	
第44図-17	B外	6-386G19	砕片	2.90	1.70	1.37	チャート	チャート21	52	
第44図-18	5 B	5-6G129	石核	(4.50)	3.20	28.38	チャート	チャート21	52	
第44図-18	5 B	5-6G95	剥片	(2.80)	2.90	19.11	チャート	チャート21	52	
第44図-19	5 B	5-6G120	石核	3.00	4.70	33.93	チャート	チャート21	52	
第45図-1	5 B	5-6G43	剥片	4.50	5.00	16.90	チャート	チャート22	53	
第45図-2	5 B	5-6G125	剥片	4.30	2.30	11.76	チャート	チャート22	53	
第45図-3	5 B	5-6G84	砕片	1.90	2.10	1.47	チャート	チャート22	53	
第45図-4	5 B	6-385G26	剥片	6.20	3.90	24.52	チャート	チャート22	53	
第45図-5	5 B	5-6G124	剥片	4.20	3.20	11.55	チャート	チャート22	53	
第45図-6	5 B	5-6G135	加工痕ある剥片	2.10	2.10	2.03	チャート	チャート22	53	
第45図-6	5 B	5-6G96	剥片	3.10	2.70	5.20	チャート	チャート22	53	
第45図-7	5 B	5-6G174	剥片	2.70	4.20	11.67	チャート	チャート22	53	
第45図-8	5 B	5-6G188	砕片	5.40	2.90	4.60	チャート	チャート22	53	
第45図-8	5 B	5-6G86	附器	5.30	2.90	8.41	チャート	チャート22	53	
第45図-9	5 B	5-6G81	使用痕ある剥片	6.70	2.50	17.71	チャート	チャート22	53	
第45図-10	5 B	5-6G42	剥片	5.20	3.40	13.40	チャート	チャート22	53	
第45図-11	5 B	5-6G18	剥片	2.40	2.00	2.51	チャート	チャート22	53	
第45図-12	5 B	5-6G41	砕片	2.60	2.20	1.78	チャート	チャート22	53	
第45図-13	5 B	5-6G16	剥片	3.60	2.60	4.22	チャート	チャート22	53	
第45図-14	5 B	5-6G44	剥片	3.90	1.80	4.24	チャート	チャート22	53	

図版番号	フワツ%	取り上げ%	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第45図-15	5 B	5-6G189	銅片	3.00	2.60	3.91	チャート	チャート22		53
第45図-16	5 B	5-6G49	銅片	3.60	4.90	18.58	チャート	チャート22		53
第46図-17	5 B	5-6G65	銅片	5.10	4.50	63.45	チャート	チャート22		53
第46図-18	5 B	5-6G93	銅片	2.70	2.20	4.57	チャート	チャート22		53
第46図-19	5 B	5-6G83	銅片	3.50	2.00	4.59	チャート	チャート22		53
第46図-20	5 B	5-5G19	銅片	4.30	3.70	24.16	チャート	チャート22		53
第46図-21	5 B	5-6G24	銅片	2.90	2.00	4.85	チャート	チャート22		53
第46図-22	5 B	5-5G18	銅片	4.40	2.70	11.61	チャート	チャート22		53
第46図-23	5 B	5-6G54	銅片	3.70	2.60	9.80	チャート	チャート22		53
第46図-24	5 B	5-6G89	銅片	7.10	2.90	19.28	チャート	チャート22		53
第46図-25	5 B	5-6G23	銅片	2.50	1.50	1.94	チャート	チャート22		53
第46図-26	5 B	5-6G61	石核	7.40	5.20	111.38	チャート	チャート22		53
第48図-1	5 B	5-6G128	使用痕ある銅片	9.80	6.00	109.85	チャート	チャート19		50
第48図-2	5 B	5-6G13	使用痕ある銅片	6.10	4.50	43.68	チャート	チャート19		50
第48図-3	6 B	5-7G66	銅片	(1.60)	(2.90)	1.43	チャート	チャート19		50
第48図-4	5 B	5-6G144	縦長銅片	6.70	3.70	16.61	チャート	チャート19		50
第48図-4	5 B	5-6G82	縦長銅片	6.50	1.90	18.68	チャート	チャート19		50
第48図-5	5 B	6-386G13	銅片	3.80	3.80	11.04	チャート	チャート19		50
第48図-6	6 B	5-6G162	銅片	7.40	2.90	29.91	チャート	チャート19		50
第48図-6	6 B	5-6G164	銅片	(2.80)	(2.30)	2.13	チャート	チャート19		50
第48図-6	5 B	6-386G26	銅片	(6.30)	(3.50)	17.95	チャート	チャート19		50
第48図-7	5 B	5-6G152	銅片	(4.20)	4.70	30.69	チャート	チャート19		50
第48図-7	不明	5-7G	縦長銅片	(5.90)	(2.80)	13.38	チャート	チャート19		50
第48図-7	6 B	5-7G4	銅片	(2.00)	(1.70)	1.34	チャート	チャート19		50
第48図-7	5 B	6-386G104	縦長銅片	(6.20)	(3.40)	23.70	チャート	チャート19		50
第48図-8	5 B	5-6G138	銅片	6.30	4.00	34.29	チャート	チャート19		50
第48図-9	6 B	5-7G65	銅片	1.30	1.80	0.82	チャート	チャート19		50
第48図-10	6 B	5-6G146	銅片	2.10	2.00	1.23	チャート	チャート19		50
第48図-11	6 B	5-6G165	銅片	(1.80)	1.10	0.69	チャート	チャート19		50
第49図-12	5 B	5-6G136	銅片	4.80	4.80	23.13	チャート	チャート19		50
第49図-12	6 B	5-6G5	銅片	(2.00)	(1.00)	0.61	チャート	チャート19		50
第49図-12	5 B	5-6G88	銅片	(5.60)	6.40	59.12	チャート	チャート19		50
第49図-12	B外	6-386G1	銅片	(2.20)	(1.90)	2.14	チャート	チャート19		50
第49図-13	6 B	5-6G166	縦長銅片	(2.30)	(2.40)	3.69	チャート	チャート19		50
第49図-13	B外	5-7G78	銅片	(1.30)	2.80	1.83	チャート	チャート19		50
第49図-14	不明	5-7G	縦長銅片	2.90	3.70	6.07	チャート	チャート19		50
第49図-14	不明	不明	銅片	1.40	1.70	0.96	チャート	チャート19		50
第49図-15	5 B	5-6G137	銅片	(4.40)	4.20	15.41	チャート	チャート19		50
第49図-15	不明	5-7G	縦長銅片	(1.90)	2.00	2.19	チャート	チャート19		50
第49図-16	5 B	5-6G111	縦長銅片	(4.60)	3.80	14.60	チャート	チャート19		50
第49図-16	5 B	5-6G87	使用痕ある銅片	(5.40)	4.30	34.76	チャート	チャート19		50
第49図-17	5 B	5-7G11	銅片	2.10	3.30	3.74	チャート	チャート19		50
第49図-18	5 B	5-7G9	銅片	4.00	4.60	14.98	チャート	チャート19		50
第49図-19	6 B	5-6G194	銅片	2.40	(1.90)	1.94	チャート	チャート19		50
第49図-19	6 B	5-7G63	使用痕ある銅片	2.00	(2.30)	1.61	チャート	チャート19		50
第49図-20	5 B	5-6G8	銅片	4.40	4.90	21.36	チャート	チャート19		50
第49図-21	B外	6-386G14	銅片	3.90	4.00	11.82	チャート	チャート19		50
第49図-22	6 B	5-7G62	銅片	(1.10)	(1.60)	0.90	チャート	チャート19		50
第49図-22	6 B	5-7G8	加工痕ある銅片	(2.40)	(3.50)	13.12	チャート	チャート19		50
第49図-23	5 B	6-385G31	銅片	2.70	3.80	12.18	チャート	チャート19		50
第49図-24	5 B	6-385G24	銅片	(2.80)	(2.30)	6.13	チャート	チャート19		50
第49図-24	5 B	6-386G8	銅片	(2.00)	(2.50)	3.42	チャート	チャート19		50
第50図-25	5 B	5-6G102	銅片	8.50	6.80	70.46	チャート	チャート19		50
第50図-26	5 B	6-385G10	銅片	8.00	6.90	99.77	チャート	チャート19		50
第50図-27	5 B	5-5G6	銅片	4.90	4.10	24.81	チャート	チャート19		50
第50図-28	5 B	6-385G25	銅片	(6.40)	(2.60)	27.29	チャート	チャート19		50
第50図-28	5 B	6-385G32	銅片	(3.80)	(2.30)	8.23	チャート	チャート19		50
第50図-29	5 B	5-6G123	縦長銅片	6.00	3.20	13.45	チャート	チャート19		50
第50図-30	5 B	5-6G89	使用痕ある銅片	7.10	5.20	67.89	チャート	チャート19		50
第50図-31	5 B	6-385G17	銅片	(3.10)	(4.20)	12.77	チャート	チャート19		50
第50図-31	5 B	6-385G19	銅片	(3.60)	4.90	14.03	チャート	チャート19		50

6区



図版番号	フロッグ%	取り上げ%	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第50図-32	5 B	6-385G22	銅片	4.20	4.90	13.23	チャート	チャート19		50
第50図-33	5 B	5-6G22	石核	6.20	7.60	109.03	チャート	チャート19		50
第51図-1	5 B	5-6G117	加工痕ある銅片	3.65	4.00	12.53	チャート	チャート23		54
第51図-1	5 B	5-6G156	銅片	2.10	0.80	0.41	チャート	チャート23		54
第51図-1	5 B	5-6G94	銅片	3.30	4.10	9.44	チャート	チャート23		54
第51図-2	5 B	5-6G62	銅片	(6.20)	4.60	37.94	チャート	チャート23		54
第51図-3	5 B	5-6G147	銅片	2.20	3.70	3.90	チャート	チャート23		54
第51図-4	5 B	5-6G118	銅片	(5.40)	4.20	16.58	チャート	チャート23		54
第51図-4	5 B	5-6G73	銅片	(3.50)	4.20	8.55	チャート	チャート23		54
第51図-5	5 B	5-6C46	銅片	(3.30)	2.90	8.57	チャート	チャート23		54
第51図-5	5 B	5-6G52	銅片	(3.60)	2.80	7.43	チャート	チャート23		54
第51図-6	5 B	5-6G191	銅片	(1.80)	(1.90)	1.08	チャート	チャート23		54
第51図-6	5 B	5-6G151	銅片	(2.00)	2.10	2.48	チャート	チャート23		54
第51図-7	5 B	5-6G112	銅片	(2.40)	4.40	7.26	チャート	チャート23		54
第51図-7	5 B	5-6G171	銅片	(2.80)	3.70	6.01	チャート	チャート23		54
第51図-7	5 B	5-6G56	銅片	(3.60)	6.40	35.39	チャート	チャート23		54
第52図-8	5 B	5-6G63	加工痕ある銅片	7.20	3.60	65.95	チャート	チャート23		54
第52図-9	5 B	5-6G55	銅片	(2.60)	2.80	2.72	チャート	チャート23		54
第52図-9	5 B	5-6G76	銅片	(3.50)	(2.70)	5.20	チャート	チャート23		54
第52図-10	5 B	5-6G67	銅片	2.60	3.20	5.73	チャート	チャート23		54
第52図-11	5 B	5-6G26	銅片	(2.00)	2.40	2.56	チャート	チャート23		54
第52図-11	5 B	5-6G29	銅片	(2.20)	1.90	2.36	チャート	チャート23		54
第52図-12	5 B	5-6G53	石核	5.40	6.30	45.17	チャート	チャート23		54
第52図	11 B	6-351G6	銅片	6.70	4.20	71.53	チャート	チャート44		81
第52図	11 B	6-351G8	石核	12.30	6.50	560.79	チャート	チャート44		81
第53図-1	1 B	6-345G23	銅片	3.00	1.30	1.64	チャート	チャート32		64
第53図-2	1 B	6-345G7	銅片	2.20	2.70	4.01	チャート	チャート32		64
第53図-3	1 B	6-345G16	銅片	2.10	3.20	3.88	チャート	チャート32		64
第53図-4	1 B	6-345G25	銅片	1.60	1.40	1.11	チャート	チャート32		64
第53図-5	1 B	6-345G11	尖頭器	6.20	3.60	56.43	チャート	チャート32		64
第53図-1	7 B	6-388G140	銅片	3.60	1.40	2.25	チャート			89
第53図-2	7 B	6-387G35	銅片	1.70	3.40	4.44	チャート			89
第53図-3	7 B	5-7G22	銅片	2.10	1.10	0.76	チャート			89
第53図-4	7 B	6-388G38	銅片	2.00	2.10	1.13	チャート			89
第53図-5	7 B	6-388G141	銅片	1.70	2.70	1.42	チャート			89
第53図-6	7 B	6-387G114	尖頭器	6.30	3.20	33.68	チャート			89
第54図-1	11 B	6-331G17	銅片	7.10	9.00	271.00	チャート	チャート20		51
第54図-2	11 B	6-351G5	銅片	2.80	3.90	19.14	チャート	チャート20		51
第54図-3	11 B	6-351G10	銅片	1.90	(3.50)	3.18	チャート	チャート20		51
第54図-3	11 B	6-351G13	銅片	2.70	(1.80)	2.20	チャート	チャート20		51
第54図-4	11 B	6-331G16	石核	8.90	12.40	1,069.00	チャート	チャート20		51
第55図-1	4 B	6-386G72	銅片	(1.70)	(3.00)	1.68	チャート	チャート24		55
第55図-2	4 B	6-386G101	銅片	(2.60)	2.30	2.49	チャート	チャート24		55
第55図-3	4 B	6-386G81	銅片	(4.30)	3.30	13.27	チャート	チャート24		55
第55図-3	4 B	6-386G98	銅片	(0.90)	1.50	0.61	チャート	チャート24		55
第55図-4	4 B	6-386G83	銅片	3.40	2.30	4.33	チャート	チャート24		55
第55図-5	B外	6-386G64	銅片	2.10	(1.50)	1.77	チャート	チャート24		55
第55図-6	B外	6-386G17	銅片	3.40	(2.60)	4.70	チャート	チャート24		55
第55図-7	不明	6-385G	銅片	2.90	1.70	3.61	チャート	チャート24		55
第55図-8	4 B	6-385G8	銅片	2.80	3.80	10.81	チャート	チャート24		55
第55図-9	4 B	6-385G7	銅片	4.00	3.20	9.24	チャート	チャート24		55
第55図-10	4 B	6-385G9	銅片	2.50	(1.10)	1.29	チャート	チャート24		55
第55図-10	4 B	6-386G82	銅片	3.20	(3.00)	5.68	チャート	チャート24		55
第55図-11	4 B	6-386G77	石核	5.20	6.90	115.09	チャート	チャート24		55
第56図-1	9 B	5-31G49	銅片	(2.00)	(2.00)	1.10	チャート	チャート25		56
第56図-2	9 B	5-31G8	銅片	2.50	4.40	6.23	チャート	チャート25		56
第56図-3	9 B	5-31G135	銅片	4.00	5.30	37.58	チャート	チャート25		56
第56図-4	9 B	5-31G113	銅片	4.10	3.40	24.00	チャート	チャート25		56
第56図-5	9 B	5-31G118	銅片	(3.30)	3.80	12.62	チャート	チャート25		56
第56図-5	9 B	5-31G59	銅片	(1.00)	1.10	0.45	チャート	チャート25		56
第56図-6	9 B	5-31G147	銅片	(2.20)	3.20	3.98	チャート	チャート25		56

図版番号	フロッタ	取り上げNo	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第56図-6	9 B	5-32G5	剥片	(2.20)	2.50	2.82	チャート	チャート25	56	
第56図-7	9 B	5-51G4	砕片	1.10	2.20	0.93	チャート	チャート25	56	
第57図-8	9 B	5-31G83	剥片	3.80	7.40	46.23	チャート	チャート25	56	
第57図-9	9 B	5-31G157	砕片	(2.00)	2.40	0.64	チャート	チャート25	56	
第57図-10	9 B	5-31G19	剥片	2.70	2.50	5.23	チャート	チャート25	56	
第57図-11	9 B	5-31G95	剥片	3.40	4.00	26.11	チャート	チャート25	56	
第57図-12	9 B	5-31G80	剥片	(2.20)	1.40	1.87	チャート	チャート25	56	
第57図-13	9 B	5-31G13	剥片	3.70	2.70	6.04	チャート	チャート25	56	
第57図-14	9 B	5-31G146	剥片	3.90	2.70	7.12	チャート	チャート25	56	
第57図-15	9 B	5-31G33	縦長剥片	(1.50)	1.40	0.62	チャート	チャート25	56	
第57図-15	9 B	5-31G48	縦長剥片	(2.10)	1.20	0.92	チャート	チャート25	56	
第57図-16	9 B	5-31G79	縦長剥片	2.70	1.50	1.26	チャート	チャート25	56	
第57図-17	9 B	5-32G20	剥片	(1.40)	2.20	2.20	チャート	チャート25	56	
第57図-18	9 B	5-31G60	剥片	3.00	2.40	7.33	チャート	チャート25	56	
第57図-19	9 B	5-31G61	剥片	2.70	2.60	4.66	チャート	チャート25	56	
第57図-20	9 B	5-31G136	石核	4.90	3.50	93.52	チャート	チャート25	56	
第58図-1	11 B	6-33129	剥片	4.70	5.30	23.40	チャート	チャート26	58	
第58図-1	11 B	6-331G69	砕片	2.40	2.60	3.09	チャート	チャート26	58	
第58図-2	11 B	6-351G7	剥片	3.70	6.30	16.86	チャート	チャート26	58	
第58図-3	11 B	6-331G37	使用痕ある剥片	2.20	4.20	8.58	チャート	チャート26	58	
第58図-4	11 B	6-331G50	砕片	2.00	1.90	1.25	チャート	チャート26	58	
第58図-5	11 B	6-331G19	剥片	1.70	2.60	1.58	チャート	チャート26	58	
第58図-5	11 B	6-331G54	剥片	2.20	4.00	4.79	チャート	チャート26	58	
第58図-5	11 B	6-331G6	砕片	1.30	1.10	0.59	チャート	チャート26	58	
第58図-6	11 B	6-331G9	剥片	3.00	1.70	3.97	チャート	チャート26	58	
第58図-7	11 B	6-331G44	砕片	1.40	2.30	1.34	チャート	チャート26	58	
第58図-8	11 B	6-331G60	剥片	2.70	1.70	3.95	チャート	チャート26	58	
第58図-9	11 B	6-331G14	剥片	2.60	2.30	2.57	チャート	チャート26	58	
第58図-9	11 B	6-331G33	剥片	2.30	1.80	1.77	チャート	チャート26	58	
第58図-10	11 B	6-331G30	剥片	5.60	2.90	20.96	チャート	チャート26	58	
第58図-11	11 B	6-331G23	剥片	4.10	3.50	12.01	チャート	チャート26	58	
第58図-12	11 B	6-331G28	剥片	2.80	4.50	12.26	チャート	チャート26	58	
第58図-12	11 B	6-331G38	剥片	3.30	4.50	11.81	チャート	チャート26	58	
第58図-13	11 B	6-331G49	砕片	1.50	2.10	0.86	チャート	チャート26	58	
第59図-14	11 B	6-331G56	砕片	1.90	1.80	2.15	チャート	チャート26	58	
第59図-15	11 B	6-331G47	剥片	1.80	2.60	2.64	チャート	チャート26	58	
第59図-16	11 B	6-331G57	砕片	1.00	1.90	0.70	チャート	チャート26	58	
第59図-16	11 B	6-331G58	砕片	1.30	1.30	0.59	チャート	チャート26	58	
第59図-17	11 B	6-331G35	剥片	1.90	3.70	3.13	チャート	チャート26	58	
第59図-18	11 B	6-351G9	剥片	4.50	4.30	23.42	チャート	チャート26	58	
第59図-19	11 B	6-331G51	砕片	2.40	1.00	0.59	チャート	チャート26	58	
第59図-20	11 B	6-331G11	石核	5.30	5.60	156.97	チャート	チャート26	58	
第59図-1	1 B	6-34G5	剥片	2.50	2.50	3.42	チャート	チャート33	65	
第59図-2	1 B	6-34G82	剥片	(3.60)	(3.40)	7.77	チャート	チャート33	65	
第59図-3	1 B	6-34G27	剥片	(3.70)	2.10	5.45	チャート	チャート33	65	
第59図-4	1 B	6-32G2	使用痕ある剥片	3.00	2.80	8.72	チャート	チャート33	65	
第59図-5	1 B	6-32G20	剥片	2.80	4.10	9.69	チャート	チャート33	65	
第59図-6	1 B	6-34G8	石核	6.20	5.40	170.24	チャート	チャート33	65	
第60図-1	11 B	6-331G48	剥片	3.60	3.60	26.55	チャート	チャート27	59	
第60図-2	11 B	6-331G13	剥片	5.80	2.20	22.32	チャート	チャート27	59	
第60図-2	11 B	6-331G25	剥片	5.00	3.70	33.61	チャート	チャート27	59	
第60図-3	11 B	6-351G11	剥片	4.00	2.40	6.09	チャート	チャート27	59	
第60図-4	11 B	6-331G43	石核	4.10	5.50	80.38	チャート	チャート27	59	
第60図-1	1 B	6-34G34	砕片	(2.20)	2.70	3.18	チャート	チャート33	66	
第60図-1	1 B	6-34G39	剥片	(3.90)	3.60	12.16	チャート	チャート33	66	
第60図-2	1 B	6-34G2	石核	4.70	6.00	68.57	チャート	チャート33	66	
第60図-3	1 B	6-34G12	石核	4.40	6.40	82.84	チャート	チャート33	66	
第61図-1	1 B	6-34G9	剥片	6.60	5.10	44.04	チャート	チャート32	63	
第61図-2	1 B	6-34G45	砕片	(2.40)	(2.70)	3.64	チャート	チャート32	63	
第61図-3	1 B	6-34G41	石核	6.20	5.80	148.46	チャート	チャート32	63	
第61図-1	7 B	5-8C27	剥片	(3.40)	3.90	8.41	チャート	チャート39	74	

図版番号	フロッグ	取り上げ%	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第61図-2	2 B	6-367G53	加工痕ある銅片	4.50	4.70	27.20	チャート	チャート39	74	
第61図-3	2 B	6-367G143	銅片	3.90	3.00	16.37	チャート	チャート39	74	
第61図-4	2 B	6-367G75	銅片	5.80	5.30	42.43	チャート	チャート39	74	
第62図-5	2 B	6-367G77	銅片	5.70	4.80	60.60	チャート	チャート39	74	
第62図-6	2 B	6-367G3	縦長銅片	4.00	1.50	4.19	チャート	チャート39	74	
第62図-7	2 B	6-367G144	石核	3.80	3.60	19.95	チャート	チャート39	74	
第62図-7	2 B	6-367G90	銅片	3.20	2.40	5.63	チャート	チャート39	74	
第62図-1	2 B	6-367G87	銅片	1.00	1.60	0.49	チャート	チャート39	75	
第62図-2	2 B	6-367G63	銅片	5.00	2.60	19.85	チャート	チャート39	75	
第62図-3	2 B	6-367G52	銅片	0.90	1.80	0.77	チャート	チャート39	75	
第62図-4	2 B	6-367G69	加工痕ある銅片	3.10	1.90	3.23	チャート	チャート39	75	
第62図-5	2 B	6-367G26	加工痕ある銅片	3.00	2.60	2.55	チャート	チャート39	75	
第62図-6	2 B	6-367G125	槌器	2.50	2.20	4.01	チャート	チャート39	75	
第62図-7	2 B	6-367G110	銅片	2.70	2.10	3.57	チャート	チャート39	75	
第62図-8	2 B	6-367G124	銅片	2.10	1.90	1.79	チャート	チャート39	75	
第62図-9	2 B	6-367G190	銅片	1.70	1.70	0.51	チャート	チャート39	75	
第62図-1	B外	6-370G1	銅片	4.50	2.70	5.12	チャート	チャート11	39	
第62図-2	2 B	6-367G111	銅片	4.20	2.50	5.74	チャート	チャート11	39	
第63図-1	7 B	5-8G45	砂片	(2.70)	(1.90)	2.03	チャート		97	
第63図-1	7 B	6-388G104	加工痕ある銅片	(2.30)	(1.70)	2.28	チャート		97	
第63図-1	7 B	6-388G75	銅片	(4.90)	4.70	26.82	チャート		97	
第63図-2	7 B	5-8G30	銅片	2.60	2.70	6.82	チャート		97	
第63図-3	18 B	5-157G9	銅片	3.10	2.40	4.26	チャート		97	B地点
第63図-4	7 B	6-388G29	銅片	3.80	3.40	7.89	チャート		97	
第63図-5	7 B	6-388G28	銅片	3.40	3.80	15.82	チャート		97	
第63図-6	7 B	6-388G26	銅片	3.40	2.40	4.07	チャート		97	
第63図-7	7 B	6-388G134	銅片	3.90	4.20	11.32	チャート		97	
第63図-8	7 B	6-388G66	銅片	5.20	6.70	76.55	チャート		97	
第64図-1	1 B	6-345G50	加工痕ある銅片	7.50	3.20	41.16	チャート		83	
第64図-2	1 B	6-345G44	銅片	3.40	2.50	1.67	チャート		83	
第64図-3	1 B	6-345G28	砂片	2.40	1.80	1.34	チャート		83	
第64図-4	1 B	6-346G79	砂片	2.30	2.40	1.79	チャート		83	
第64図-5	1 B	6-346G41	銅片	4.40	3.40	10.09	チャート		83	
第64図-6	不明	6-346G	銅片	2.80	3.30	9.88	チャート		83	
第64図-7	1 B	6-346G46	銅片	(2.40)	2.10	2.20	チャート		83	
第64図-8	1 B	6-345G43	石核	7.40	6.10	221.00	チャート		83	
第65図-1	5 B	6-385G18	砂片	1.70	1.90	1.09	チャート	チャート9	36	
第65図-2	5 B	5-5G24	銅片	2.80	2.90	6.38	チャート	チャート9	36	
第65図-3	5 B	5-5G11	砂片	(2.10)	1.10	0.50	チャート	チャート9	36	
第65図-4	5 B	5-6G50	石核	2.70	5.40	41.75	チャート	チャート9	36	
第65図-1	5 B	5-6G72	銅片	5.40	3.70	17.01	チャート	チャート35	69	
第65図-2	5 B	5-6G31	使用痕ある銅片	6.30	4.60	40.15	チャート	チャート35	69	
第65図-1	2 B	6-367G4	加工痕ある銅片	2.20	2.20	2.94	チャート	チャート39	76	
第65図-2	2 B	6-367G1	砂片	(2.30)	0.80	0.61	チャート	チャート39	76	
第65図-1	3 B	6-386G136	縦長銅片	3.10	1.00	1.20	チャート	チャート13	41	
第65図-2	3 B	6-366G70	縦長銅片	2.80	1.80	1.68	チャート	チャート13	41	
第65図-1	2 B	6-367G102	銅片	3.30	1.00	0.73	チャート		73	
第65図-2	2 B	6-347G20	銅片	3.80	2.10	1.78	チャート		73	
第66図-1	8 B	5-30G25	縦長銅片	(5.70)	2.50	15.41	チャート	チャート16	47	
第66図-2	8 B	5-30G30	縦長銅片	7.40	2.30	18.67	チャート	チャート16	47	
第66図-1	B外	6-348G2	縦長銅片	7.00	2.70	8.27	チャート	チャート12	40	
第66図-2	2 B	6-368G32	縦長銅片	3.00	2.00	2.50	チャート	チャート12	40	
第66図-1	9 B	5-31G4	ナイフ形石器	(2.10)	1.60	1.61	チャート	チャート6	33	
第66図-1	9 B	5-31G5	ナイフ形石器	(2.90)	1.70	2.61	チャート	チャート6	33	
第66図-2	2 B	6-367G2	ナイフ形石器	3.40	1.40	2.15	チャート	チャート6	33	
第66図-1	5 B	5-6G127	銅片	4.50	2.90	7.25	チャート	チャート18	49	
第66図-2	5 B	5-6G126	銅片	4.40	3.50	12.48	チャート	チャート18	49	
第67図-1	7 B	5-8G44	銅片	(2.80)	3.10	4.21	チャート	チャート34	68	
第67図-1	7 B	6-387G19	砂片	(1.00)	1.90	0.73	チャート	チャート34	68	
第67図-2	7 B	5-7G27	銅片	(1.70)	1.90	1.45	チャート	チャート34	68	
第67図-2	7 B	5-7G33	砂片	(1.80)	2.10	2.34	チャート	チャート34	68	

図取番号	ブロック	取り上げNo.	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第67図-3	7 B	6-387G18	砕片	1.40	1.50	0.75	チャート	チャート34		68
第67図-1	3 B	6-386G111	削片	(3.70)	2.80	7.78	チャート	チャート5		31
第67図-2	2 B	6-348G21	砕片	1.70	1.80	1.15	チャート	チャート5		31
第67図-3	2 B	6-368G26	砕片	(1.70)	(1.80)	0.43	チャート	チャート5		31
第67図-3	2 B	6-368G7	砕片	(1.20)	2.00	0.59	チャート	チャート5		31
第67図-4	B外	6-368G2	削片	2.90	3.50	5.45	チャート	チャート5		31
第67図-1	7 B	6-388G33	削片	3.20	2.20	4.86	チャート	チャート34		67
第67図-2	7 B	5-7G50	砕片	1.60	1.60	0.75	チャート	チャート34		67
第67図-3	7 B	6-387G48	砕片	2.10	1.30	0.87	チャート	チャート34		67
第67図	9 B	5-31G107	削片	(1.50)	1.90	1.01	チャート	チャート1		24
第67図	9 B	5-31G37	削片	(2.50)	1.90	1.49	チャート	チャート1		24
第67図	2 B	6-367G121	削片	4.30	2.10	4.11	チャート	チャート17		48
第67図	2 B	6-367G45	削片	2.10	1.80	1.45	チャート	チャート17		48
第67図	9 B	5-31G189	縦長削片	(3.20)	1.50	2.98	チャート	チャート2		26
第67図	9 B	5-31G94	削片	(2.50)	1.50	1.84	チャート	チャート2		26
第67図	7 B	6-387G102	削片	(2.40)	1.90	2.42	チャート			125
第67図	7 B	6-387G37	使用痕ある削片	(3.40)	2.10	4.82	チャート			125
第68図	B外	5-10G22	縦長削片	(4.00)	3.10	12.59	黒色安山岩	黒色安山岩2		127
第68図	B外	6-390G17	使用痕ある削片	(7.30)	3.50	42.18	黒色安山岩	黒色安山岩2		127
第68図-1	9 B	5-31G119	削片	1.80	4.80	7.81	チャート	チャート14		44
第68図-2	9 B	5-31G32	砕片	(0.70)	2.00	0.61	チャート	チャート14		44
第68図-2	9 B	5-51G22	砕片	(0.90)	2.00	0.76	チャート	チャート14		44
第68図-3	9 B	5-31G168	砕片	1.60	2.20	0.84	チャート	チャート14		44
第68図-3	9 B	5-32G1	削片	2.10	4.30	4.57	チャート	チャート14		44
第68図-4	9 B	5-31G47	削片	1.80	3.20	3.02	チャート	チャート14		44
第68図-1	9 B	5-32G24	削片	2.70	3.60	3.66	チャート	チャート1		20
第68図-2	9 B	5-51G1	削片	3.70	5.20	26.91	チャート	チャート1		20
第68図-1	2 B	6-348G20	砕片	(1.50)	(1.90)	0.50	チャート	チャート3		27
第68図-1	2 B	6-368G6	削片	(1.90)	(2.70)	2.38	チャート	チャート3		27
第68図-2	2 B	6-368G16	縦長削片	(2.10)	2.10	2.88	チャート	チャート3		27
第69図-1	2 B	6-367G33	砕片	1.70	2.40	1.32	チャート	チャート3		28
第69図-2	2 B	6-368G17	削片	1.30	2.10	0.90	チャート	チャート3		28
第69図-3	2 B	6-368G5	砕片	2.00	2.30	1.66	チャート	チャート3		28
第69図-1	1 B	6-325G3	削片	4.60	3.80	16.09	チャート	チャート30		61
第69図-2	1 B	6-345G20	削片	4.50	4.80	13.35	チャート	チャート30		61
第69図-1	3 B	6-366G21	削片	2.80	4.00	8.97	チャート			70
第69図-2	3 B	6-386G87	削片	4.00	6.00	18.33	チャート			70
第69図-1	8 B	5-29G239	削片	3.90	2.30	6.03	チャート			115
第69図-2	8 B	5-29G51	加工痕ある削片	2.50	(3.30)	9.91	チャート			115
第69図-3	8 B	5-29G166	削片	2.90	(3.40)	7.56	チャート			115
第70図-1	1 B	6-346G73	削片	2.40	3.90	9.47	黒色頁岩	黒色頁岩2		155
第70図-2	1 B	6-346G110	削片	2.90	4.40	11.33	黒色頁岩	黒色頁岩2		155
第70図-3	1 B	6-346G70	削片	2.80	1.20	2.49	黒色頁岩	黒色頁岩2		155
第70図-1	1 B	6-346G108	削片	2.90	4.10	10.05	黒色頁岩	黒色頁岩2		156
第70図-2	B外	6-365G1	削片	2.00	3.30	4.36	黒色頁岩	黒色頁岩2		156
第70図-1	7 B	6-387G98	削片	2.50	3.50	6.07	チャート			87
第70図-2	7 B	6-387G34	砕片	1.40	2.10	1.10	チャート			87
第70図-3	7 B	6-387G127	加工痕ある削片	3.50	5.20	25.69	チャート			87
第70図	9 B	5-31G181	削片	(4.70)	3.90	25.60	チャート	チャート1		19
第70図	9 B	5-31G64	削片	(2.30)	2.60	8.55	チャート	チャート1		19
第70図	9 B	5-31G112	削片	(1.50)	(2.70)	0.67	チャート	チャート1		21
第70図	9 B	5-31G16	砕片	(1.50)	(2.10)	0.90	チャート	チャート1		21
第70図	9 B	5-51G10	削片	(2.60)	3.90	5.99	チャート	チャート1		21
第71図	1 B	6-346G35	削片	(4.20)	5.40	29.91	チャート	チャート31		62
第71図	1 B	6-346G45	削片	(2.30)	(4.40)	12.17	チャート	チャート31		62
第71図	1 B	6-346G6	削片	(1.80)	(2.25)	1.95	チャート	チャート31		62
第71図	5 B	5-5G14	削片	(4.80)	2.50	25.92	チャート			71
第71図	5 B	5-6G40	削片	(3.50)	2.20	5.28	チャート			71
第71図	8 B	5-29G112	削片	(2.10)	(2.20)	5.82	チャート			116
第71図	8 B	5-29G157	加工痕ある削片	1.70	(2.80)	3.28	チャート			116
第71図	8 B	5-29G248	石核	4.70	6.30	75.89	チャート			116

図版番号	フロア%	取り上げ%	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第71図	8 B	5-29G91	銅片	(4.40)	(4.60)	32.85	チャート			116
第71図	不明	6-367G	銅片	(3.20)	(2.50)	8.15	チャート	チャート39		77
第71図	2 B	6-367G69	加工痕ある銅片	3.80	(4.40)	42.06	チャート	チャート39		77
第71図	5 B	5-9G10	銅片	2.05	1.90	1.80	チャート			126
第71図	5 B	5-9G7	銅片	5.00	4.00	21.00	チャート			126
第71図	9 B	5-32G16	銅片	(2.90)	4.00	10.35	チャート	チャート1		22
第71図	9 B	5-51G16	銅片	(1.20)	(2.70)	2.09	チャート	チャート1		22

#### B地点出土石器

図版番号	フロア%	取り上げ%	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第72図-1	18 B	5-137G68	ナイフ形石器	3.50	1.60	2.12	黒曜石	黒曜石12		築地加工 鍍入石器
第72図-2	B外	6-297G2	ナイフ形石器	(3.90)	2.30	3.69	黒曜石			鍍入石器
第72図-3	不明	8-83G	ナイフ形石器	(3.20)	1.50	1.58	黒曜石			柱穴・鍍入石器
第72図-4	12 B	5-56G22	尖頭器	3.60	1.70	2.48	黒曜石	黒曜石32		
第72図-5	B外	5-97G1	尖頭器	7.20	2.70	18.66	チャート			
第72図-6	B外	5-116G6	尖頭器	(3.60)	1.80	5.55	チャート			133
第72図-6	16 B	5-117G1	尖頭器	(2.30)	1.70	1.18	チャート			133
第73図-1	B外	5-96G38	尖頭器	4.70	1.90	4.58	チャート			
第73図-2	B外	5-179G4	尖頭器	2.20	1.70	1.76	チャート			
第73図-3	B外	5-117G4	尖頭器	(3.10)	2.00	4.43	黒曜石	黒曜石31		
第73図-4	18 B	5-137G26	尖頭器	(2.10)	2.10	2.74	黒曜石	黒曜石12		
第73図-5	18 B	5-136G21	尖頭器	(5.10)	3.20	21.61	チャート			
第73図-6	18 B	5-137G73	尖頭器	6.10	3.80	59.34	チャート	チャート47		131
第74図-1	18 B	5-137G114	形器	4.80	2.90	14.31	黒曜石			
第74図-2	B外	8-162G5	石鏃	3.60	1.60	3.74	チャート			
第74図-3	12 B	5-75G47	削器	(3.70)	1.60	3.24	黒曜石	黒曜石16		
第74図-4	不明	不明	削器	(2.90)	2.10	3.90	黒曜石			40溝
第74図-5	22 B	8-162G9	削器	7.90	3.40	45.71	チャート			
第74図-6	不明	不明	削器	(3.00)	3.60	6.93	黒色安山岩	黒色安山岩12		20位カマド龍方
第75図-1	B外	5-156G2	削器	4.40	5.70	53.63	チャート	チャート49		
第75図-2	不明	不明	削器	2.10	(3.00)	7.92	チャート			14住龍方 8区
第75図-3	不明	不明	削器	5.50	3.90	43.29	チャート			
第75図-4	22 B	8-162G8	削器	3.40	3.70	7.80	チャート			
第75図-5	12 B	5-59G2	鏃器	4.80	5.20	42.71	黒曜石	黒曜石25		
第75図-6	B外	5-56G1	削器	5.10	3.30	32.64	チャート			
第76図-1	12 B	5-55G1	鏃器	6.50	3.70	54.08	黒曜石	黒曜石26		
第76図-2	15 B	5-96G44	鏃器	8.30	5.10	93.50	黒色安山岩	黒色安山岩9		
第76図-3	18 B	5-137G126	加工痕ある銅片	3.50	2.00	4.65	チャート			
第76図-4	18 B	5-137G152	加工痕ある銅片	4.10	1.40	4.68	チャート			
第76図-5	18 B	5-137G172	加工痕ある銅片	2.70	2.00	2.06	チャート			
第76図-6	12 B	5-76G22	加工痕ある銅片	4.40	2.90	16.97	チャート			
第76図-7	17 B	5-136G9	加工痕ある銅片	2.70	2.10	4.90	チャート			
第76図-8	18 B	5-137G180	加工痕ある銅片	1.30	2.00	1.06	黒曜石			
第77図-1	B外	5-178G4	加工痕ある銅片	3.70	5.30	26.47	チャート			
第77図-2	17 B	5-135G5	加工痕ある銅片	(4.50)	4.30	25.79	チャート			
第77図-3	14 B	5-75G18	加工痕ある銅片	1.90	4.00	7.52	黒色安山岩	黒色安山岩8		
第77図-4	不明	不明	加工痕ある銅片	(2.20)	2.80	4.37	黒曜石			1号組
第77図-5	B外	8-163G3	使用痕ある銅片	(2.30)	1.00	1.32	チャート			
第77図-6	18 B	5-137G61	使用痕ある銅片	(1.90)	1.10	0.62	チャート			
第77図-7	18 B	5-157G10	使用痕ある銅片	3.50	2.30	6.76	チャート			
第77図-8	12 B	5-56G17	使用痕ある銅片	(3.50)	2.80	10.25	チャート			
第77図-9	不明	5-59G	使用痕ある銅片	(2.50)	2.80	3.00	黒曜石	黒曜石30		1号組
第78図-1	24 B	6-317G8	使用痕ある銅片	4.90	3.10	14.75	黒曜石			鍍入石器
第78図-2	不明	5-139G	使用痕ある銅片	5.10	2.90	9.91	黒曜石			
第78図-3	不明	5-56G	使用痕ある銅片	3.40	1.40	1.49	黒曜石	黒曜石29		
第78図-4	17 B	5-136G4	使用痕ある銅片	7.20	9.70	104.28	チャート			鍍入石器
第79図-1	22 B	8-162G7	使用痕ある銅片	4.30	7.10	43.62	チャート			
第79図-2	12 B	5-55G3	石核	3.70	4.90	69.18	黒曜石	黒曜石24		

図版番号	フロッグNo	取り上げNo	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第79図-3	14 B	5-75G26	石核	2.80	4.70	87.53	チャート	チャート54		
第79図-4	19 B	5-177G1	石核	4.50	5.80	49.73	黒色安山岩	黒色安山岩10		
第79図-5	14 B	5-75G22	石核	(5.00)	6.60	100.31	チャート	チャート52		
第79図-6	24 B	6-317G3	石核	3.10	5.50	272.46	チャート	チャート50		
第80図-1	14 B	5-75G19	石核	(3.50)	3.00	68.76	チャート	チャート51	134	
第80図-1	14 B	5-75G23	石核	(2.40)	3.10	111.72	チャート	チャート51	134	
第80図-2	19 B	5-197G3	石核	2.90	4.10	30.50	チャート			
第80図-3	12 B	5-75G36	石核	3.50	2.60	15.60	チャート			
第80図-4	B外	5-156G1	石核	8.60	6.60	264.78	チャート	チャート49		
第80図-5	12 B	5-55G34	石核	2.70	5.80	47.27	チャート			
第80図-6	12 B	5-96G34	石核	3.80	4.70	42.93	チャート			
第80図-7	12 B	5-76G24	石核	2.00	4.30	25.51	チャート			
第80図-8	18 B	5-157G37	石核	2.70	5.40	69.62	チャート			
第81図-1	15 B	5-96G43	石核	6.30	6.60	118.58	チャート			
第81図-2	17 B	5-136G7	石核	7.40	2.70	92.03	チャート			
第81図-3	15 B	5-96G6	石核	4.20	8.00	251.83	チャート			
第81図-4	不明	不明	石核	5.80	3.50	34.69	チャート			8区柱穴
第81図-5	17 B	5-136G6	石核	7.30	4.40	108.60	チャート			
第81図-6	B外	5-198G1	石核	6.00	3.60	46.42	チャート			
第82図-1	B外	5-119G4	石核	2.70	2.80	25.11	チャート			
第82図-2	17 B	5-136G2	石核	3.90	6.50	95.92	チャート			
第82図-3	15 B	5-95G7	石核	4.80	5.20	87.84	チャート			
第82図-4	13 B	5-76G5	石核	6.50	6.30	181.71	チャート			
第82図-5	15 B	5-96G46	石核	5.30	7.40	161.73	チャート			
第82図-6	15 B	5-95G13	石核	3.40	4.90	146.83	チャート			
第83図-1	20 B	8-181G11	縦長刺片	(5.30)	2.30	7.35	黒曜石	黒曜石19		
第83図-2	B外	5-200G15	刺片	(4.20)	2.10	7.32	黒曜石	黒曜石19		
第83図-3	18 B	5-137G204	刺片	(2.60)	1.50	0.82	黒曜石	黒曜石12		
第83図-4	B外	6-298G1	縦長刺片	4.30	2.90	11.24	黒曜石			
第83図-5	18 B	5-137G200	刺片	1.50	(1.80)	0.69	黒曜石	黒曜石12		尖頭部調整刺片
第83図-6	12 B	5-55G83	刺片	1.80	2.20	1.15	黒曜石	黒曜石12		
第83図-7	12 B	5-55G23	刺片	(1.90)	1.30	0.57	黒曜石	黒曜石12		
第83図-8	18 B	5-137G14	刺片	(1.70)	(1.30)	0.40	黒曜石	黒曜石12		尖頭部調整刺片
第83図-9	19 B	5-177G2	砕片	3.00	1.00	0.71	黒曜石	黒曜石32		刺片
第83図-10	18 B	5-137G35	刺片	(2.60)	3.20	4.26	黒曜石	黒曜石18		
第83図-11	15 B	5-96G12	刺片	1.20	3.20	1.83	黒曜石			尖頭部調整刺片
第83図-12	18 B	5-137G133	刺片	2.50	2.80	3.45	黒曜石	黒曜石18		尖頭部調整刺片
第83図-13	B外	6-318G1	刺片	4.60	2.70	11.21	チャート			
第84図-1	不明	5-95G	縦長刺片	4.60	3.90	17.46	チャート			
第84図-2	不明	5-135G	縦長刺片	3.80	3.80	11.61	チャート			掘入石器
第84図-3	不明	5-234G	刺片	5.00	2.70	10.96	チャート			
第84図-4	23 B	6-359G2	縦長刺片	3.90	2.50	5.96	チャート			
第84図-5	B外	5-96G37	刺片	2.50	2.70	6.90	チャート			
第84図-6	B外	5-76G13	刺片	5.90	3.40	32.42	ホルンフェルス	ホルンフェルス7		
第84図-7	15 B	5-96G45	縦長刺片	9.80	3.90	60.75	ホルンフェルス	ホルンフェルス6		使用痕
第85図-1	15 B	5-96G42	刺片	6.00	6.70	47.30	黒色安山岩	黒色安山岩11		
第85図-2	13 B	5-76G9	隕石	5.40	4.40	82.25	チャート			
第85図-3	14 B	5-75G20	隕石	3.40	6.00	61.74	チャート	チャート56	136	
第85図-3	14 B	5-75G21	隕石	(2.70)	5.40	49.85	チャート	チャート56	136	
第85図-4	B外	5-115G2	隕石	3.70	3.80	17.11	チャート			
第85図-5	13 B	5-76G10	隕石	7.10	5.30	145.85	溶結凝灰岩			
第85図-6	B外	5-115G3	隕石	3.60	3.80	39.43	チャート	チャート57		
第85図-7	15 B	5-96G58	隕石	5.30	5.40	119.44	砂岩			
第86図-1	14 B	5-75G25	隕石	7.20	6.30	178.02	チャート	チャート53		
第86図-2	B外	5-136G19	隕石	6.70	6.80	309.69	チャート	チャート58		
第86図-3	21 B	8-161G5	隕石	8.70	7.00	409.59	溶結凝灰岩			
第86図-4	12 B	5-96G4	隕石	7.00	6.30	236.22	溶結凝灰岩			
第86図-5	14 B	5-75G27	隕石	7.40	6.00	254.32	凝灰質砂岩			
第86図-6	19 B	5-177G4	隕石	11.00	6.10	378.35	珪質頁岩			
第87図-1	19 B	5-177G5	隕石	10.80	7.50	427.13	チャート			
第87図-2	19 B	5-177G3	隕石	8.50	6.30	149.59	デイサイト			159

図版番号	プロット	取り上げNo	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第87図-1	19B	5-177G7	礫石	5.70	4.00	57.12	デイサイト		159	
第87図-2	19B	5-197G4	礫石	6.80	3.50	114.47	デイサイト		159	
第87図-3	B外	5-116G5	礫石	10.50	8.20	478.76	粗粒輝石安山岩			
第87図-4		5-75G	礫片	4.00	3.10	19.32	溶結凝灰岩		160	
第87図-4		5-75G28	礫片	4.40	7.20	52.55	溶結凝灰岩		160	
第87図-4		5-75G29	礫	27.50	10.10	3,800.00	溶結凝灰岩		160	
第88図-1	雑群外	5-75G30	礫	20.00	10.40	2,720.00	ホルンフェルス			
第88図-2	B外	5-197G2	台石	18.60	9.90	194.00	ホルンフェルス			
第88図-3	雑群外	5-197G1	礫	14.80	9.20	123.00	ホルンフェルス		161	
第88図-3	雑群外	5-198G3	礫片	7.70	3.80	88.96	ホルンフェルス		161	
第88図-4		5-76G	礫	9.00	6.80	582.43	チャート			
第88図-5	B外	5-140G4	礫石	5.60	4.50	43.96	チャート	チャート59		
第89図-1	18B	5-137G65	削器	3.20	3.50	5.64	黒曜石	黒曜石17	10	
第89図-2	18B	5-137G183	砕片	2.30	1.70	1.18	黒曜石	黒曜石17	10	
第89図-3	18B	5-137G41	加工痕ある削片	(2.00)	1.90	0.62	黒曜石	黒曜石17	10	
第89図-1	14B	5-75G16	砕片	1.40	1.90	0.84	黒曜石	黒曜石20	13	
第89図-2	13B	5-76G6	削器	3.50	1.80	5.60	黒曜石	黒曜石20	13	
第89図-3	12B	5-76G14	削片	3.00	3.20	8.22	黒曜石	黒曜石20	13	
第89図-4	12B	5-76G19	石核	2.50	3.40	5.40	黒曜石	黒曜石20	13	
第89図-1	18B	5-137G2	砕片	(1.10)	2.00	0.54	黒曜石	黒曜石17	9	
第89図-2	18B	5-137G77	削片	2.30	2.90	3.49	黒曜石	黒曜石17	11	
第89図-1	18B	5-137G66	砕片	2.20	2.00	0.91	黒曜石	黒曜石30	15	
第89図-2	18B	5-137G109	砕片	1.30	1.40	0.45	黒曜石	黒曜石30	15	
第89図-1	18B	5-136G24	削片	1.60	2.30	1.70	黒曜石	黒曜石17	9	
第89図-2	18B	5-137G58	削片	(2.40)	2.80	3.08	黒曜石	黒曜石17	9	
第89図-2	18B	5-137G7	削片	(2.30)	2.50	5.53	黒曜石	黒曜石17	9	
第89図	20B	8-181G10	削片	(3.10)	(1.40)	1.55	黒曜石	黒曜石19	12	
第89図	20B	8-181G12	加工痕ある削片	(1.70)	(1.50)	1.14	黒曜石	黒曜石19	12	
第90図-1	18B	5-137G79	砕片	(2.60)	1.30	0.93	チャート	チャート47	131	
第90図-2	B外	5-178G2	削片	4.60	5.60	40.10	チャート	チャート47	131	
第90図-3	18B	5-137G75	加工痕ある削片	6.60	6.60	51.57	チャート	チャート47	131	
第90図-4	18B	5-137G166	加工痕ある削片	2.00	2.90	3.52	チャート	チャート47	131	
第90図-5	18B	5-137G81	砕片	1.80	2.00	0.90	チャート	チャート47	131	
第90図-6	18B	5-137G1	砕片	2.00	2.30	1.84	チャート	チャート47	131	
第90図-7	18B	5-137G179	砕片	1.60	1.80	0.81	チャート	チャート47	131	
第90図-8	18B	5-137G73	尖頭器	6.10	3.80	59.34	チャート	チャート47	131	
第90図-1	13B	5-76G7	削器	3.30	3.80	15.03	黒曜石	黒曜石28	14	石核から転用
第90図-2	13B	5-76G12	削器	2.40	3.10	2.88	黒曜石	黒曜石28	14	
第91図-1	12B	5-59G58	削片	(2.40)	(2.90)	5.18	チャート	チャート48	132	
第91図-2	不明	5-56G	石核	(3.60)	(4.80)	28.60	チャート	チャート48	132	
第91図-1	B外	5-158G4	削片	2.70	3.00	8.20	珩質頁岩		158	
第91図-2	不明	5-158G	削片	3.10	3.60	4.14	珩質頁岩		158	
第91図-1	B外	5-116G19	削片	3.35	5.60	25.45	チャート		137	
第91図-2	B外	5-116G18	削片	6.10	4.70	34.26	チャート		137	

### C地点出土旧石器

図版番号	プロット	取り上げNo	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第92図-1	不明	不明	ナイフ形石器	(3.50)	1.70	3.21	石英			80溝
第92図-2	不明	9-9C	尖頭器	4.60	2.40	6.76	黒曜石			
第92図-3	不明	9-71G	縦長削片	6.00	4.10	20.33	チャート			
第92図-4	B外	9-70G2	使用痕ある削片	8.70	10.70	263.96	粗粒輝石安山岩	粗粒輝石安山岩1		
第92図-1	25B	9-6G9	削片	1.90	2.40	1.97	黒曜石	黒曜石33	16	
第92図-2	25B	9-6G8	削片	2.00	1.90	1.22	黒曜石	黒曜石33	16	
第92図-1	不明	不明	縦長削片	1.80	2.40	2.27	黒曜石	黒曜石33	17	5号地下
第92図-1	25B	9-7G2	縦長削片	2.00	2.40	3.09	黒曜石	黒曜石33	17	
第92図-2	25B	9-6G7	削片	(2.20)	(1.60)	0.92	黒曜石	黒曜石33	17	

## 第2文化層

図版番号	フロッグ%	取り上げ%	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第160図-1	27B	5-199G21	ナイフ形石器	3.50	1.10	1.49	黒曜石			挿入石器
第160図-2	B外	5-78G5	切出形石器	3.30	1.60	3.54	黒曜石			
第160図-3	29B	5-219G1	尖頭器	2.40	1.30	1.51	黒曜石			
第160図-4	B外	5-75G4	角錐状石器	5.20	2.40	12.81	黒曜石			
第160図-5	28B	5-200G24	ナイフ形石器	(1.20)	(0.70)	0.23	黒曜石			
第160図-6	28B	5-200G22	剥片	(4.10)	1.30	3.21	黒曜石			
第160図-7	28B	5-200G5	剥片	(2.20)	1.10	0.65	黒曜石			
第160図-8	26B	5-199G7	剥片	3.10	1.50	1.83	黒曜石			
第160図-9	29B	5-219G3	剥片	5.20	2.90	11.90	チャート			
第160図-10	28B	5-200G2	剥片	6.30	2.80	24.70	チャート			
第161図-1	27B	5-199G12	剥片	2.70	2.30	3.84	黒曜石			
第161図-2	27B	5-199G13	砕片	2.60	2.20	1.43	黒曜石			
第161図-3	28B	5-200G26	砕片	(2.10)	(0.90)	0.25	黒曜石		162	
第161図-3	28B	5-200G30	剥片	(2.50)	(1.50)	0.55	黒曜石		162	
第161図-4	28B	5-200G16	礫石	4.20	6.60	150.46	粗粒輝石安山岩			
第161図-1	28B	5-220G1	剥片	(4.40)	4.00	7.79	チャート			138
第161図-1	28B	5-200G17	剥片	(4.60)	4.50	14.98	チャート			138
第161図-2	28B	5-219G7	剥片	4.50	2.20	7.33	チャート			138
第161図-1	B外	5-199G14	剥片	2.30	3.30	4.92	チャート			139
第161図-2	29B	5-219G5	剥片	1.90	2.10	1.39	チャート			139
第161図-3	不明	5-220G	石核	2.20	3.40	9.90	チャート			139

## 第3文化層

図版番号	フロッグ%	取り上げ%	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第164図-1	B外	6-330G6	縦長剥片	5.30	2.80	24.03	黒曜石			
第164図-2	B外	6-229G1	礫	6.30	3.90	66.42	実質玄武岩			

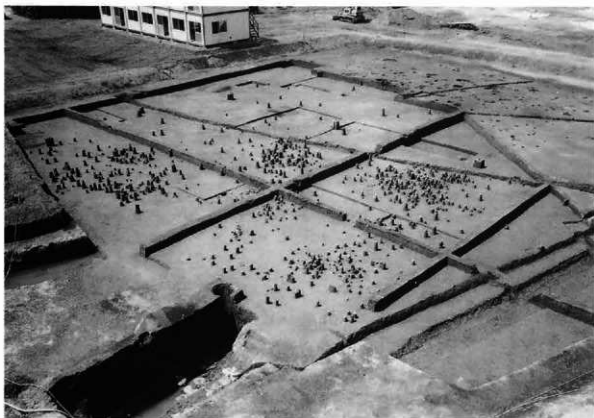
## その他の石器

図版番号	フロッグ%	取り上げ%	器種名称	長さcm	幅cm	重さg	石 材	母 岩	接合	備 考
第166図-1	不明	不明	打製石斧	9.30	3.60	70.33	チャート			45溝
第166図-2	不明	不明	尖頭器	(6.90)	1.60	9.47	黒色頁岩			56住



写 真 图 版





1. 石礎の分布状態1 (A地点、北東側から)



2. 石礎の分布状態2 (A地点、南西側から)

PL: 2



1. 瓦葺状態 (A地点)



2. 石器の出土状態 (2号棟群)



1. 調査区全景 (B地点、南側上空から)



2. 石器の分布状態 (B地点、東側から)



1. 台地縁辺に出土した旧石器 (A地点)



2. 土層の堆積状態1 (5-5G)



3. 土層の堆積状態2 (5-209G)



4. 土層の堆積状態3 (5-169G)



5. 土層の堆積状態4 (5-95G)

発掘調査では、遺跡の南西から北東へ徐々に低地が後退する様子が見て取れた。第一文化層の石器層はAs-Opk1(?)降下以前の台地縁辺に出土(写真1・6)した。当時の低地<=台地(新)>は河川性の泥炭堆積物(写真3・4)で埋まり、As-YF降下段階には完全に台地化した。



6. 台地縁辺に出土した旧石器 (B地点)



7. 両・調査状況



1. 石器の分布状態1 (2~7号ブロック)



2. 石器の分布状態2 (6-266G付近)



3. 石器の分布状態3 (1号ブロック)



4. 石器の分布状態4 (2~7号ブロック)



5. 石器の分布状態5 (7号ブロック)



6. 石器の分布状態6 (8号ブロック)



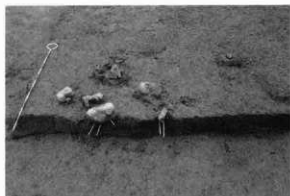
7. 石器の分布状態7 (9号ブロック)



8. 石器の分布状態8 (10号ブロック)



1. 1号石群



2. 2号石群



3. 3号石群



4. 3号石群



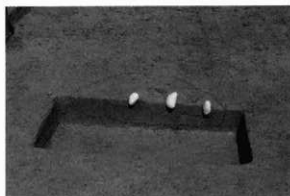
5. 4号石群



6. 4号石群



7. 5号石群



8. 5号石群





1. 石器の分布状態1 (2文化層、西から)



2. 石器の分布状態2 (26号ブロック)



3. 石器の分布状態3 (28号ブロック)



4. 石器の分布状態4 (28号ブロック)



5. 完備状態



1. 石器の出土状態1 (6-368G)



2. 石器の出土状態2 (6-345G)



3. 土層の堆積状態 (6-391G)



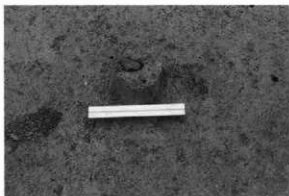
4. 土層の堆積状態 (6-370G)



5. A地点調査状況



6. 土層の堆積状況 (5-8G)



1. 石器の出土状態1



2. 石器 (第160図3) の出土状態2



3. 石器 (第160図6) の出土状態3



4. 石器 (第160図9) の出土状態4



5. 土器 (第167図1) の出土状態1



6. 土器 (同前) の出土状態2



7. 土器 (同前) の出土状態3



8. 土器 (同前) の出土状態4



1. 炭化物散布状態 (5-138・158G)



2. 焼土遺構確認状況



3. 焼土遺構調査状況1



4. 焼土遺構調査状況2



5. 同・概ち割り



6. 同・完感状況



7. 炭化物の出土状況 (6-272G)



8. 同左



1. 土壤攪乱確認状況 (5-11・31G)



2. 同・完成状況



3. 土壤攪乱確認状況 (5-10・30G)



4. 同・完成状況



5. 土壤攪乱確認状況 (6-386G)



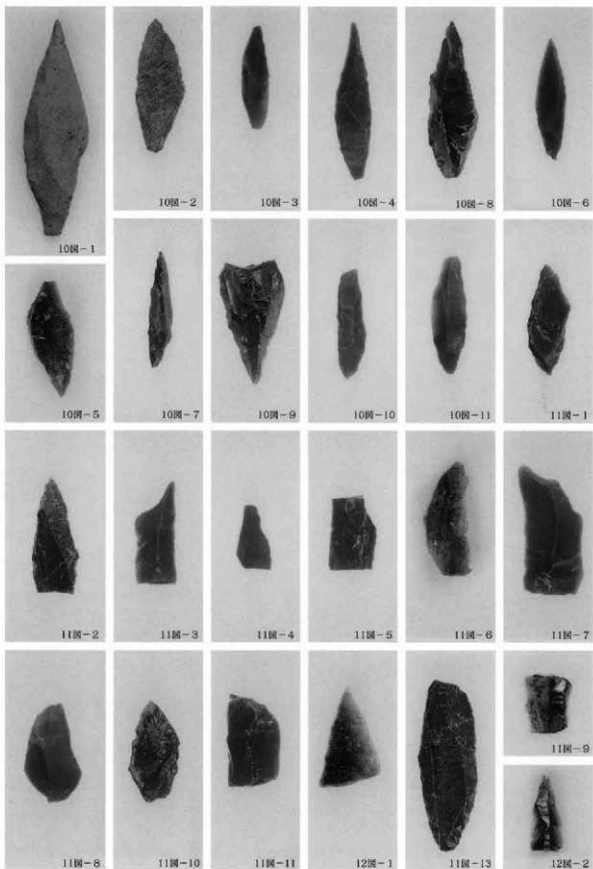
6. 同・完成状況



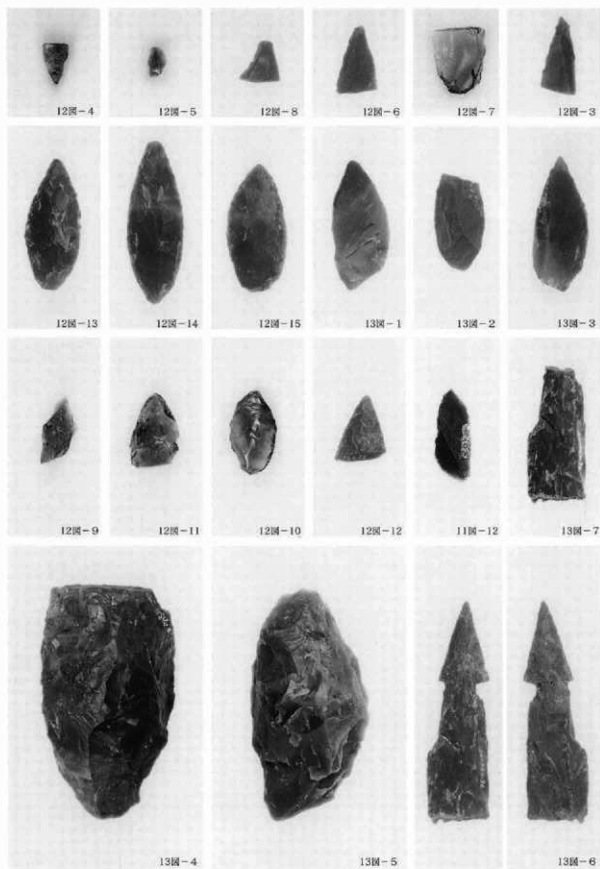
7. 土壤攪乱完成状況 (6-388・389G)



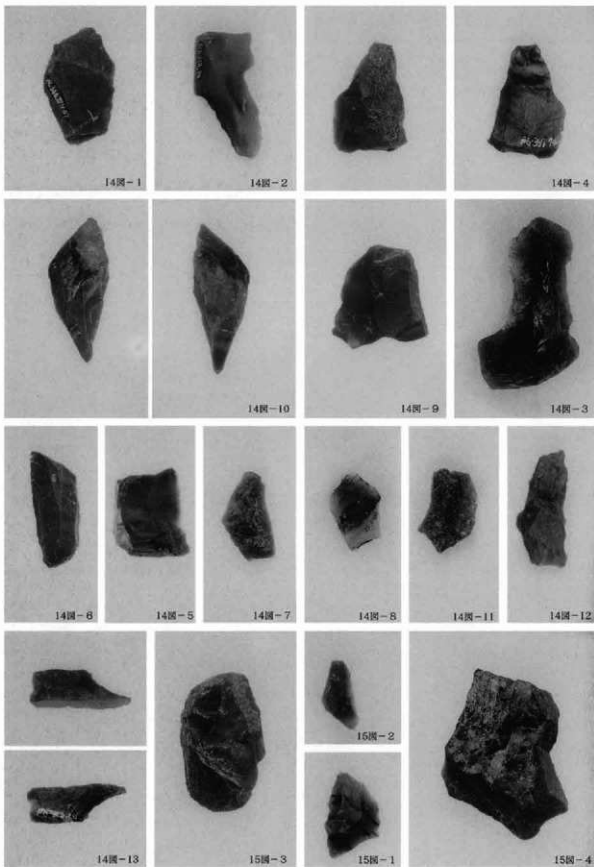
8. 同・測量風景



A地点出土の石器1



A地点出土の石器2



A地点出土の石器3





15圖-6



15圖-7



15圖-6



15圖-8



16圖-5



16圖-6



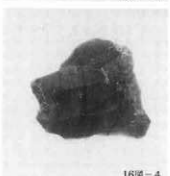
16圖-1



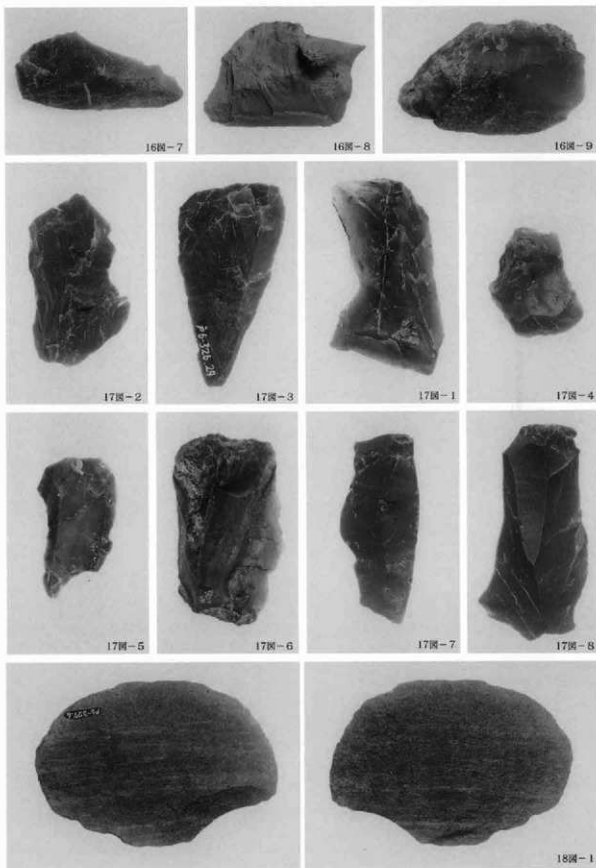
16圖-3



16圖-2



16圖-4



A地点出土の石器5



18K-2



19K-2

18K-3



19K-3



19K-4



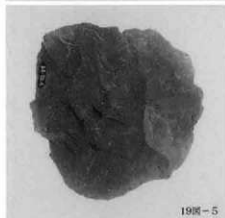
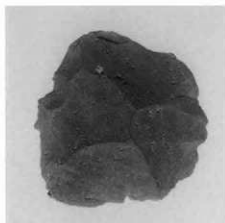
19K-7



19K-1



A地点出土の石器6



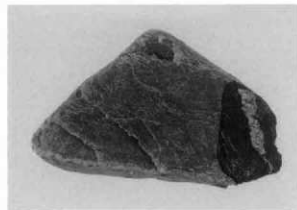
19圖-5



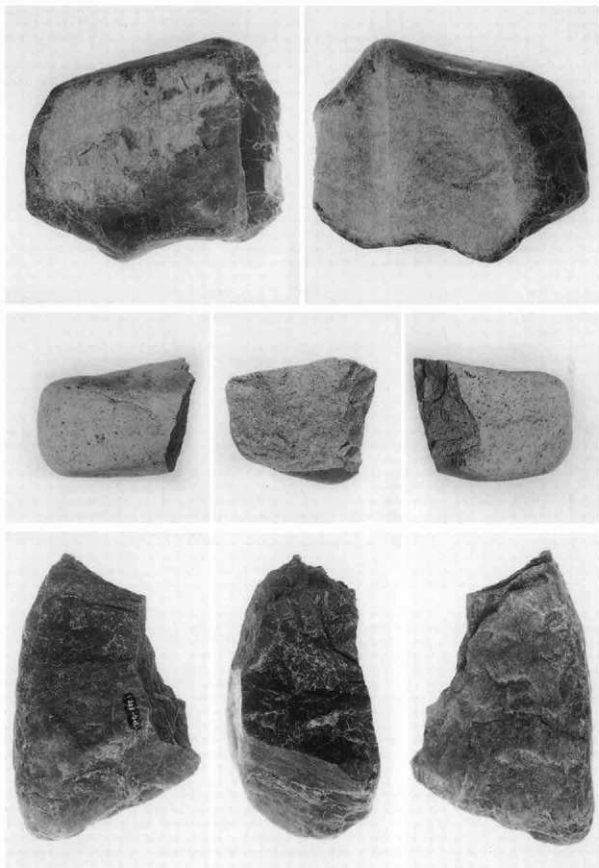
19圖-6



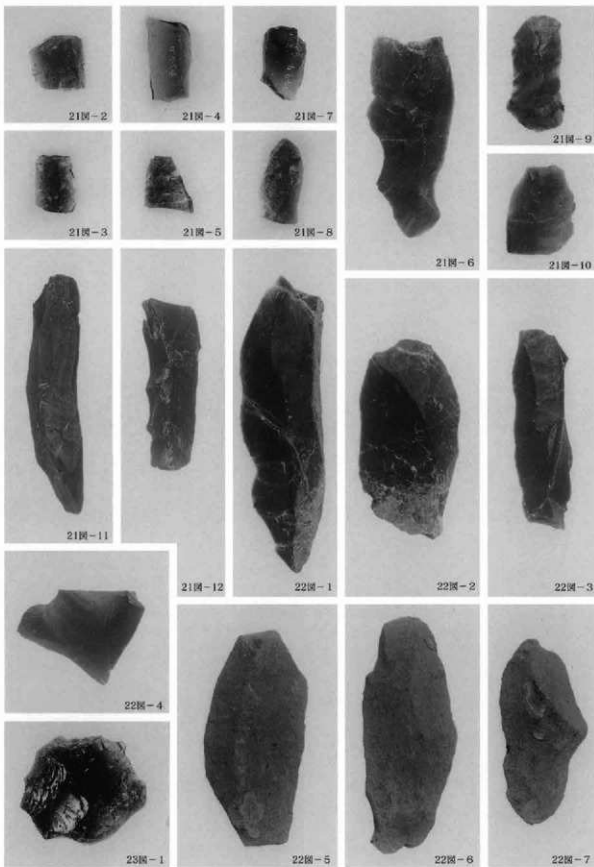
20圖-1



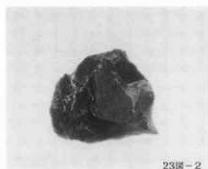
20圖-3



A地点出土の石器B



A地点出土の石器9



23圖-2



23圖-3



23圖-4



24圖-1



24圖-2



24圖-3



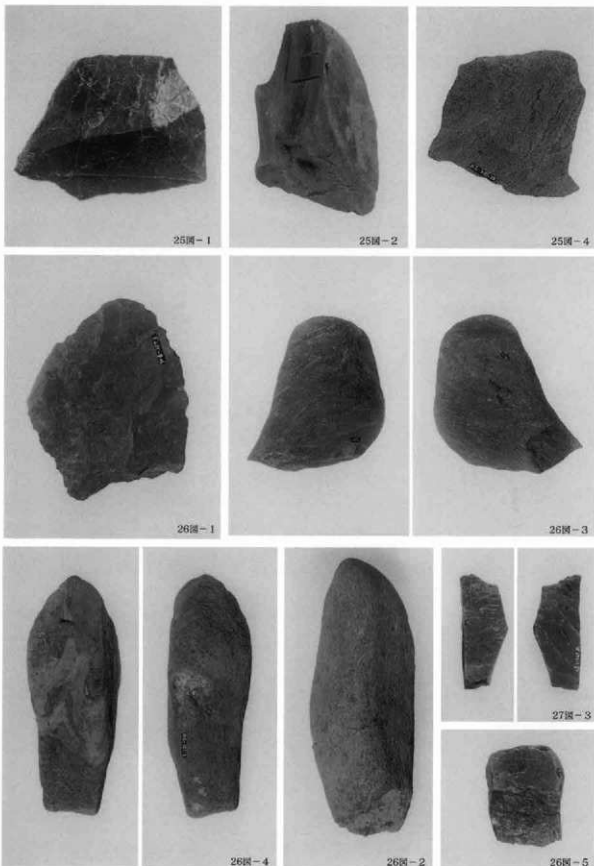
24圖-4



24圖-5

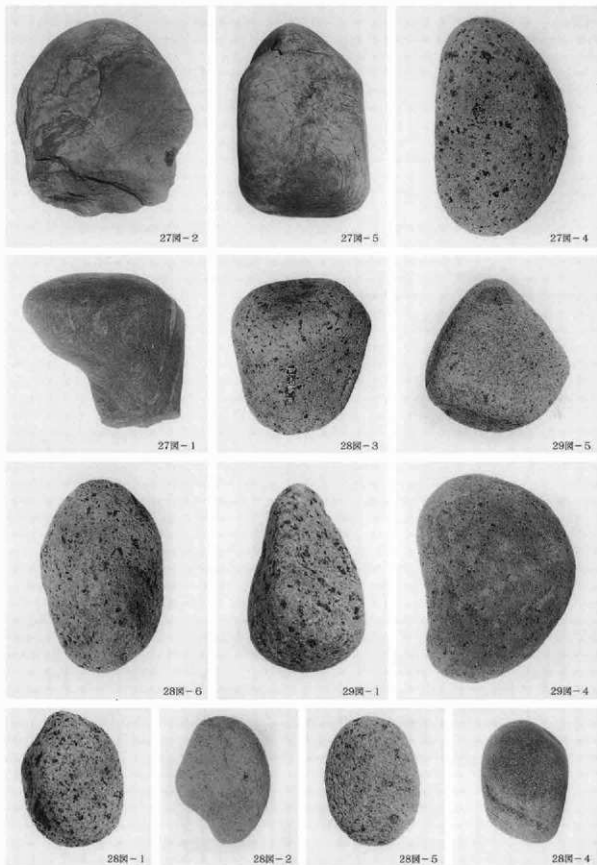


25圖-3

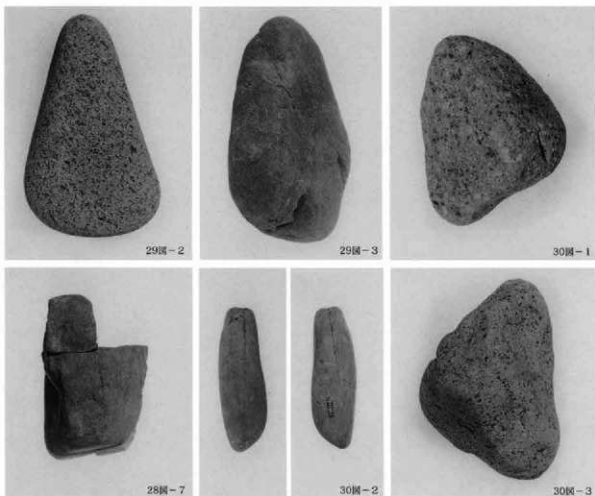


A地点出土の石器11



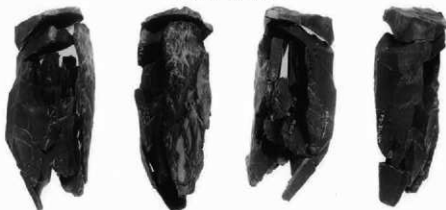


A地点出土の石器12



A地点出土の石器13

接合資料-25 (第31圖)



接合資料1 (A地点)



接合資料-29 (003200)



接合資料-32 (003300)

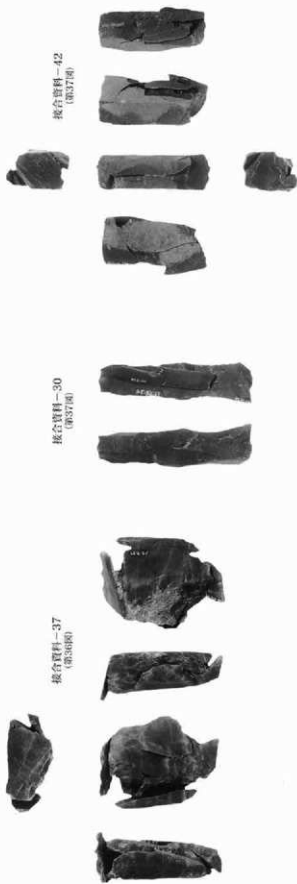


接合資料-35 (003500)



接合資料-34 (003400)

接合資料2 (A地点)





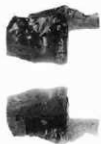
接合資料-154 (B408)



接合資料-157 (B418)



接合資料-38  
(B418)



接合資料-1  
(B418)



接合資料-6  
(B418)



接合資料-18  
(B428)



接合資料-8  
(B428)



接合資料-3  
(B418)



接合資料-5  
(B418)



接合資料-2  
(B428)



接合資料-4  
(B428)

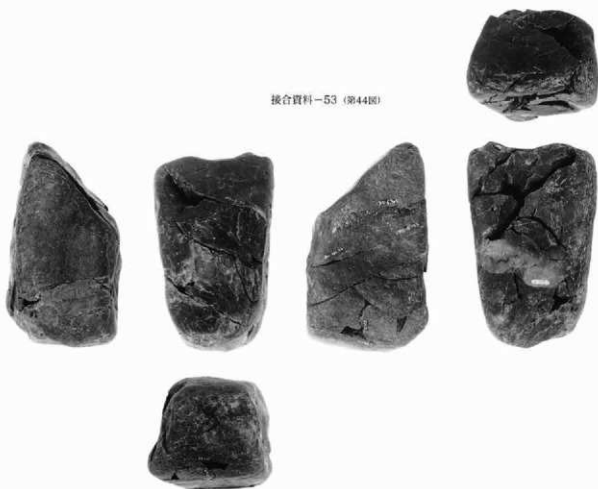


接合資料-7  
(B428)

接合資料4 (A地画)



接合資料-52 (第42回)



接合資料-53 (第44回)

接合資料5 (A地点)



接合資料-89  
(M538)



接合資料-64 (M538)



接合資料-50 (M498)



接合資料G (A地点)





接合資料-81 (第521号)



接合資料-54  
(第518号)



接合資料-51 (第540号)



接合資料7 (A地点)

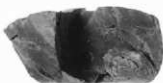




接合資料-55  
(005501)



接合資料-56  
(005603)



接合資料8 (A地蔵)



接合資料-58 (第58回)



接合資料-63 (第61回)



接合資料-65 (第59回)



接合資料9 (A地点)



接合資料-66 (第60回)



接合資料-59 (第60回)

接合資料-75 (第62回)



接合資料-39 (第62回)



接合資料-74 (第61回)



接合資料10 (A地点)

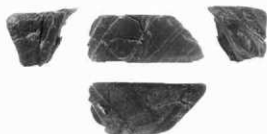


接合資料-83 (第64図)

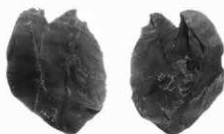


接合資料-97 (第63図)

接合資料-36 (第65図)



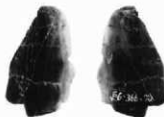
接合資料-69 (第65図)



接合資料-76  
(第65図)



接合資料-41  
(第65図)



接合資料-73  
(第65図)



接合資料11 (A地点)



接合資料-47  
(第66圖)



接合資料-40  
(第66圖)



接合資料-33  
(第66圖)



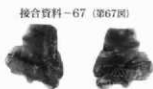
接合資料-49 (第66圖)



接合資料-68  
(第67圖)



接合資料-31  
(第67圖)



接合資料-67 (第67圖)



接合資料-24  
(第67圖)



接合資料-48  
(第67圖)

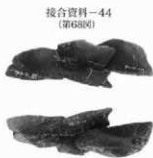
接合資料-26  
(第67圖)



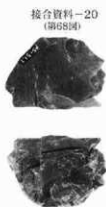
接合資料-125  
(第67圖)



接合資料-127 (第68圖)



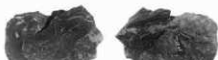
接合資料-44  
(第68圖)



接合資料-20  
(第68圖)



接合資料-27 (第68圖)



接合資料-115 (第69圖)



接合資料-28 (第68圖)



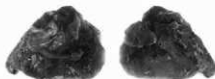
接合資料-155 (第70圖)



接合資料-70 (第68圖)



接合資料-156 (第70圖)



接合資料-87 (第70圖)



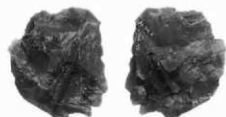
接合資料-21 (第70圖)



接合資料-22 (第71圖)



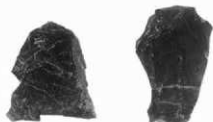
接合資料-61 (第69圖)



接合資料-62 (第71圖)



接合資料-77 (第71圖)



接合資料-126  
(第71圖)



接合資料-19  
(第70圖)



接合資料-71 (第71圖)



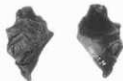
接合資料-116 (第71圖)



接合資料-78



接合資料-79



接合資料-80



接合資料-91



接合資料-82



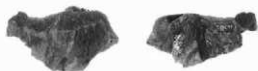
接合資料-84



接合資料-88



接合資料-85



接合資料-90



接合資料-86



接合資料-93



接合資料14 (A地点)



接合資料-92



接合資料-94



接合資料-95

接合資料-100



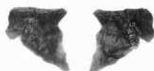
接合資料-98



接合資料-96



接合資料-99



接合資料-102

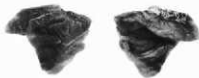


接合資料-104

接合資料-103

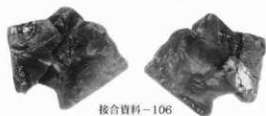


接合資料-101

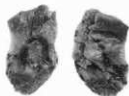


接合資料15 (A地点)





接合資料-106



接合資料-107



接合資料-105



接合資料-108



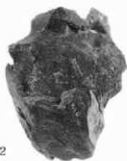
接合資料-109



接合資料-111



接合資料-112



接合資料-113



接合資料-110



接合資料16 (A地点)

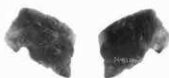
PL : 40



接合資料-117



接合資料-114



接合資料-120



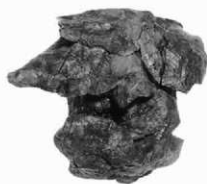
接合資料-122



接合資料-124



接合資料-123



接合資料-118



接合資料-121



接合資料-119



接合資料17 (A地点)



72K-1



72K-2



72K-3



72K-4



72K-5



72K-6



73K-1



73K-2



73K-4



73K-3



73K-6



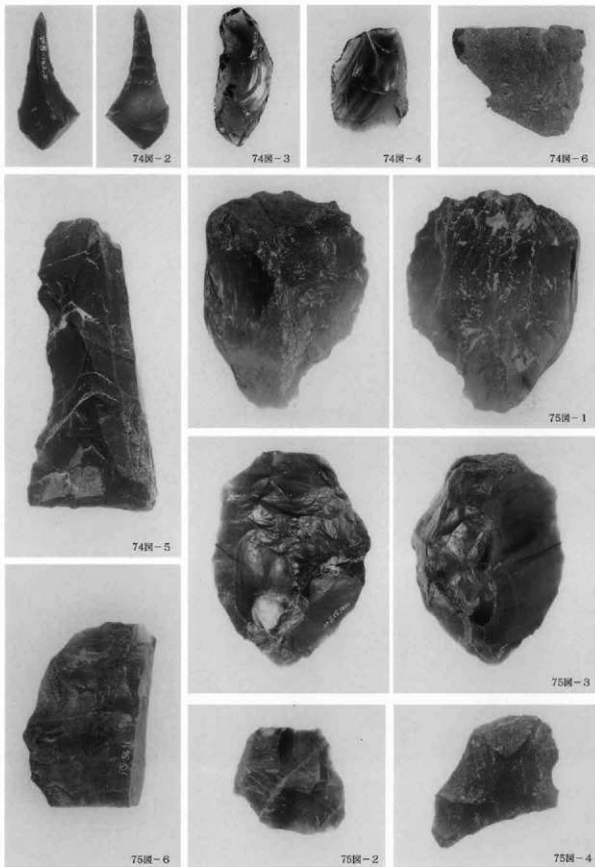
73K-5



74K-1



B地点出土の石器 1



B地点出土の石器2



75圖-5



76圖-1



76圖-2



76圖-3



76圖-4



76圖-5

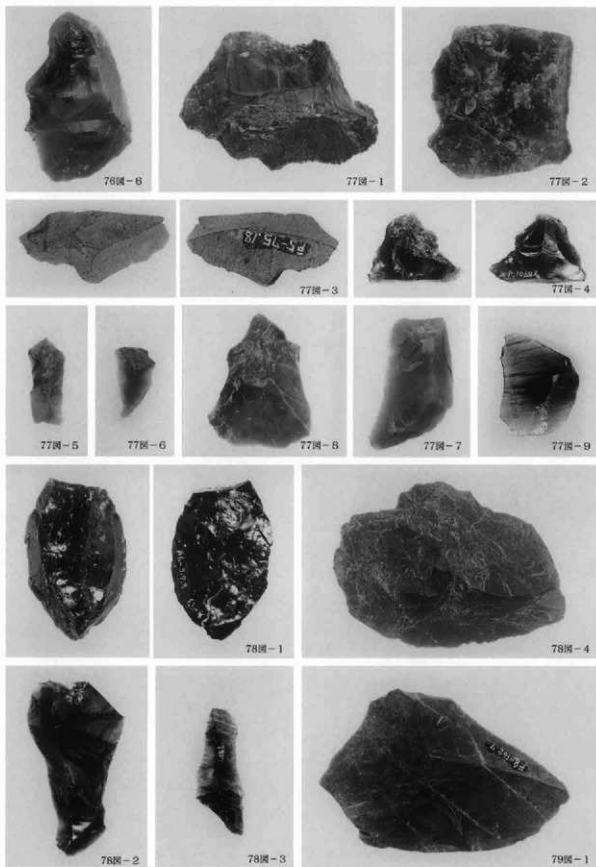


76圖-7



76圖-8

B地点出土の石器3



B地点出土の石器4



79K-2



79K-4



79K-6



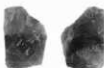
79K-5



79K-3



80K-1



80K-3



80K-4



80K-5



80K-2





804-7



804-6



804-8



814-1



814-2



814-3



814-4



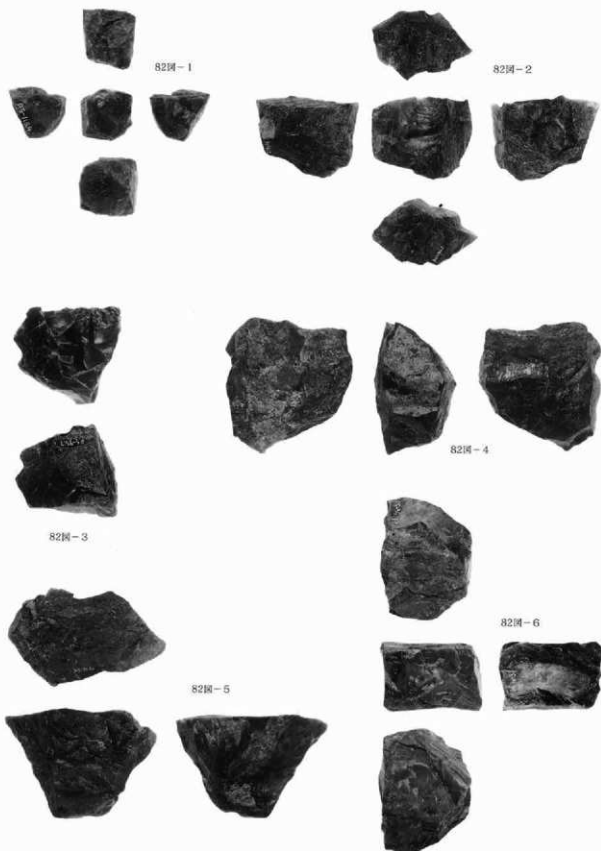
814-5



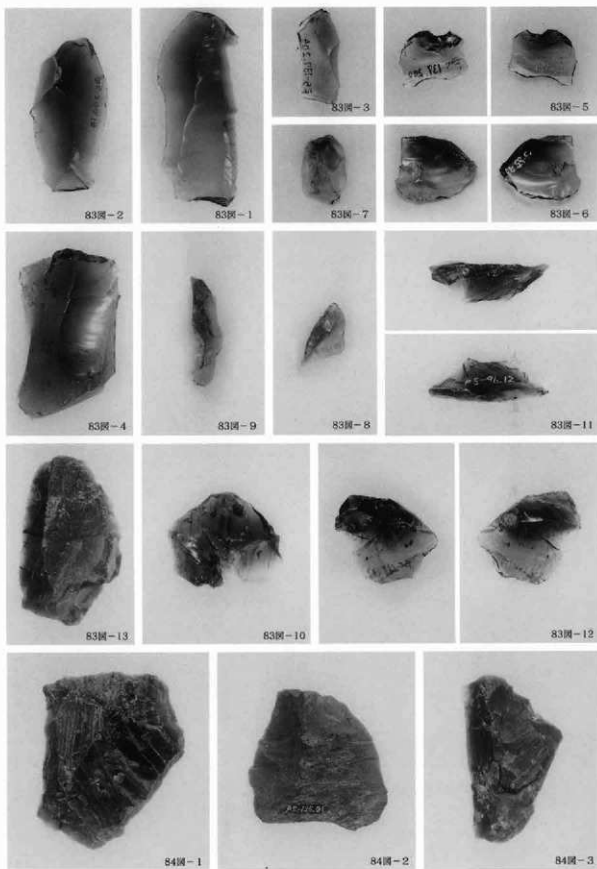
814-6







B地点出土の石器7



B地点出土の石器8



84圖-7



84圖-6



85圖-1



84圖-4



84圖-5



85圖-2



85圖-3



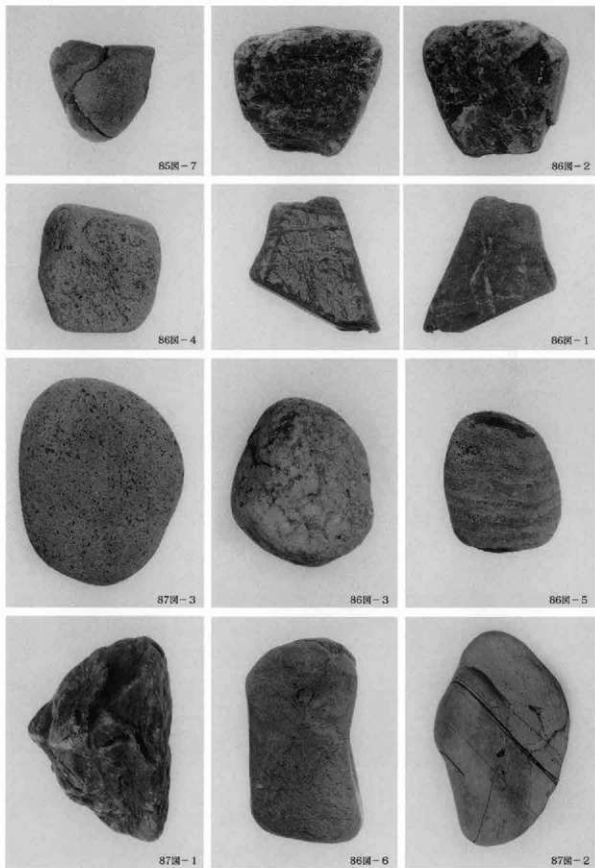
85圖-4



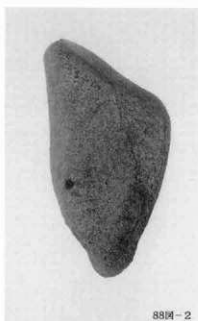
85圖-5



85圖-6



B地点出土の石器10



B地点出土の石器11



接合資料-13 (第89図)



接合資料-10  
(第89図)



接合資料-11  
(第89図)



接合資料-15  
(第89図)



接合資料-9  
(第89図)

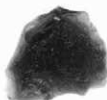


接合資料-12  
(第89図)



接合資料-131 (第90図)

接合資料-14 (第90図)



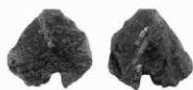
接合資料-132 (第91図)



接合資料-137 (第91図)

接合資料-158 (第91図)





接合資料-135



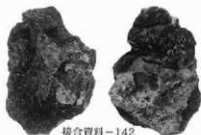
接合資料-140



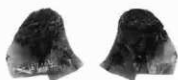
接合資料-151



接合資料-141



接合資料-142



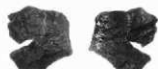
接合資料-152



接合資料-143



接合資料-153



接合資料-145



接合資料-146

接合資料-147



接合資料-144



接合資料-150



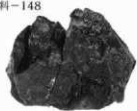
接合資料-149

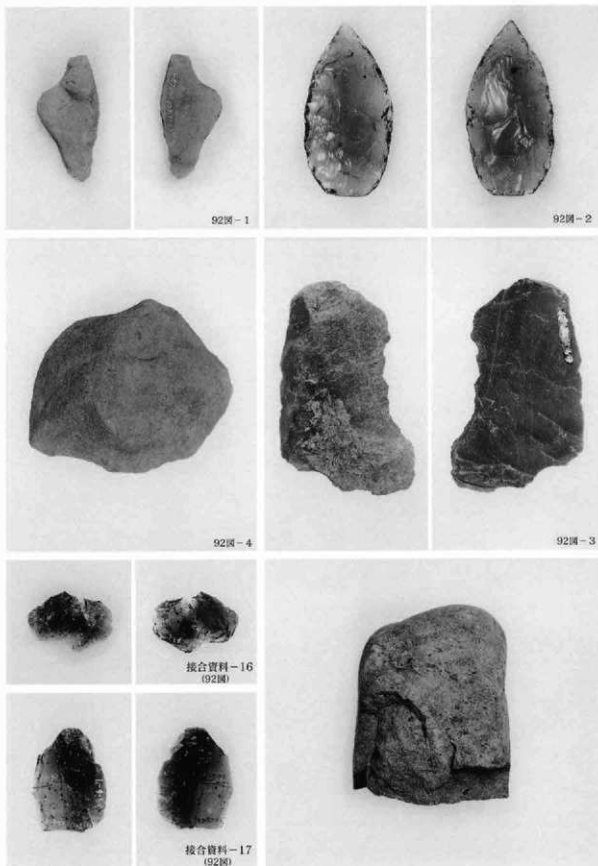


接合資料-148



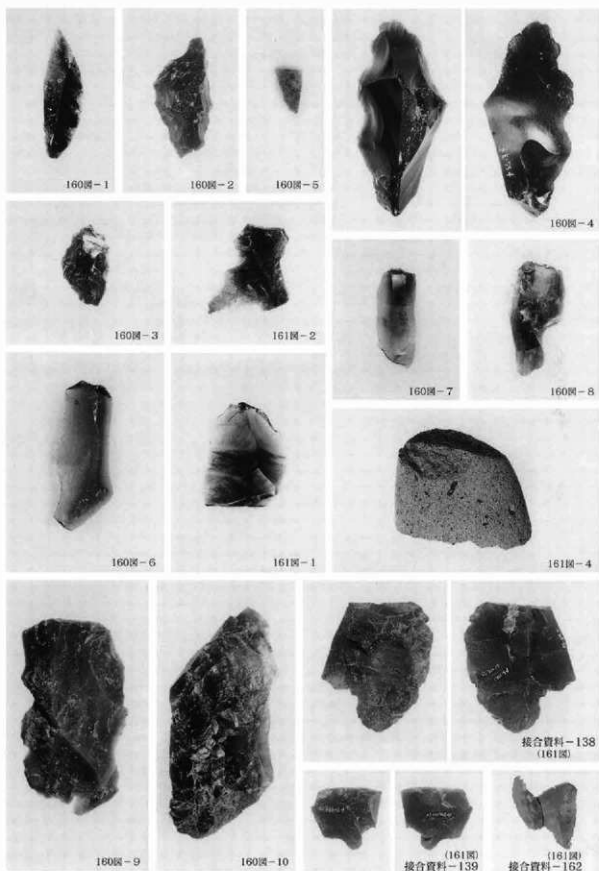
接合資料2 (B地点)



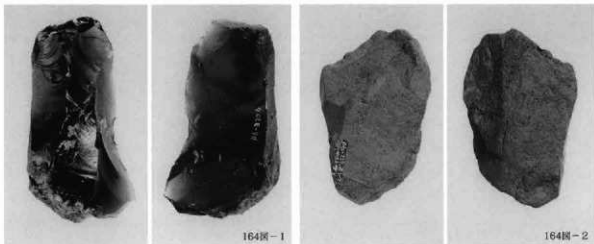


C地点出土の石器





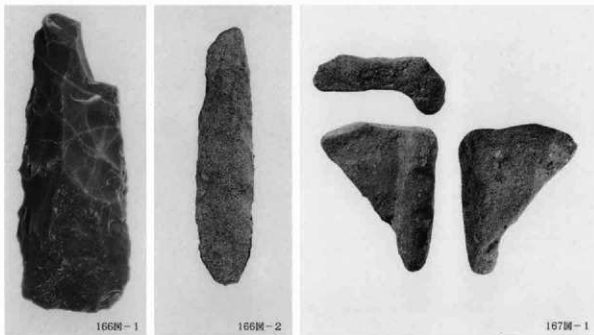
第2文化層出土の石器



164図-1

164図-2

第3文化層出土の石器



166図-1

166図-2

167図-1

その他の遺物

群馬県埋蔵文化財調査事業調査報告第257集

**東長岡戸井口遺跡**  
〔第4分冊・旧石器時代編〕

東長岡住宅団地建設工事に  
伴う埋蔵文化財調査報告書

平成11年12月20日 印刷  
平成11年12月25日 発行

編集／群馬県埋蔵文化財調査事業団  
〒377-0061 勢多郡北栢村大字下箱田784番地の2  
電話 (0279) 32-2511 (代表)

発行／群馬県考古資料普及会  
〒377-0061 勢多郡北栢村大字下箱田784番地の2  
電話 (0279) 32-2511 (代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社